

令和6年度

事業年報

第49号

公益財団法人

栃木県保健衛生事業団

令和6年度

事業年報

公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

はじめに

平素より、当事業団の各種健診・検査事業の実施にあたりまして、格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業団におきましては、令和6年度は市町などと連携した受診勧奨や広報活動を中心とした普及啓発事業等を積極的に実施するとともに、国の制度変更にも対応しながら、各種健診・検査事業を適正かつ円滑に実施しました。

普及啓発事業では、テレビ、ラジオ、新聞、SNSなどに加え、新たにJR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージを活用し検診の受診率向上などの普及啓発を行ったほか、県内プロスポーツ試合において、乳がんに関する資料配付やパネル展示等を実施するなど、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を展開いたしました。

集団健診事業における住民健診では、市町とともに受診率の向上に努めたほか、令和6年度から開始となった第4期特定健康診査における質問項目の変更や中性脂肪に係る検査項目の変更などに的確に対応しました。

検査事業では、新生児の先天性代謝異常等検査において、ライソゾーム病等スクリーニング検査の令和7年度からの事業化に向け、一般社団法人とちぎ子ども医療支援プロジェクトからの補助金を受け、令和6年10月から半年間、栃木県産婦人科医会及び自治医科大学・獨協医科大学等と連携して、データ収集を兼ねて無償にてパイロットテストを実施しました。

人間ドック事業では、「とちぎ健康の森の長寿命化工事」の影響を受け、開設日数が大幅に減少したことから、実施体制の見直しを行い1日あたりの受入枠を増やし、受診機会の確保に努めました。

特定保健指導事業では、令和6年度から開始された第4期特定保健指導で、積極的支援における評価体系が大きく変更となり、成果を重視した評価体系（アウトカム評価）となったことから、ICTも活用できる新たな保健指導システムを稼働するとともに運用方法の見直し等を行いました。

食品環境検査事業では、検査実施体制の効率化と施設の有効活用を総合的に判断し、令和6年4月から腸内細菌検査事業を食品環境検査所（栃木県保健環境センター内）に移転し、従来の食品検査や簡易専用水道検査等に加えて実施しました。

今後も、物価上昇の影響による検診器材の高騰や賃上げによる人件費の上昇など経費の増加が進行する中、計画的な職員採用、人材育成、設備投資や健診・検査の精度管理の維持向上に努めるとともに、顧客サービス向上や普及啓発による受診者の確保と経費削減にも取り組みながら、経営基盤の安定強化に努めてまいりますので、引き続き御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、「令和6（2024）年度事業年報」として当事業内容や実績等をまとめましたので、皆様の保健活動等の一助として御活用いただければ幸いに存じます。

令和8年2月

公益財団法人栃木県保健衛生事業団
理事長 渡 邊 慶

経営理念

1 社会貢献

私たちは、県民の皆様の健康保持増進を通じて、社会に貢献します。

2 事業推進

私たちは、県民のニーズに対応し、快適で信頼される健診・検査や支援を行います。

3 精度の高い健診・検査

私たちは、能力の向上に努め、精度の高い健診・検査を行います。

4 職員意識

私たちは、健康づくりのプロとしての誇りを持ち、働きがいのある職場をめざします。

平成 25 年 4 月 1 日制定



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

目 次

はじめに	
経営理念	
トピックス	1
地域保健	5
1 健康診査	6
2 肝炎ウイルス検診	14
3 骨粗しょう症検診	15
4 結核検診	16
5 その他の事業・検査	17
職域保健	19
1 一般健康診断	20
2 メンタルヘルス支援	23
3 ハラスメント防止支援	27
4 特殊健康診断	29
5 骨粗しょう症検診	30
6 結核検診	31
7 その他の事業・検査	32
がん検診	33
1 がん検診の概要	34
2 胃がん検診	35
3 胃がんリスク層別化検査	37
4 肺がん検診	40
5 大腸がん検診	46
6 子宮がん検診	49
7 乳がん検診	56
8 前立腺がん検診	60
学域・母子保健	63
1 心臓検診	64
2 腎臓検診（尿検査）	68
3 寄生虫卵検査	72
4 小児生活習慣病予防健診	73
5 貧血検査	75
6 脂質検査	76
7 血清検査	77
8 骨粗しょう症検診	78
9 結核検診	79
10 先天性代謝異常等検査	80
人間ドック	81
健康支援	95
とちぎ健康づくりセンター支援事業	99

環 境 保 健	103
1 腸内細菌検査	104
2 食品検査	105
3 簡易専用水道検査	107
4 食品自主衛生管理認証事業	111
5 放射能検査	112
6 その他の検査	113
発見がん追跡調査結果	115
1 集団検診	116
2 人間ドック	157
調 査 ・ 研 究	159
1 調査・研究	160
2 集統計・解析	160
3 論文・研究発表	161
精 度 管 理	173
1 精度管理体制	174
2 精度管理調査	178
3 優良施設認定等	179
4 安全管理体制の充実	179
5 研修会等参加状況	181
6 学術委員	184
7 判定医	185
連 携 ・ 協 力	187
広 報 活 動	191
1 予防医学推進のための普及活動	192
2 健診・検査受診率向上のための普及活動	196
総 括	197
1 沿革	198
2 組織・機構	200
3 機器整備状況	203
4 会議の開催	204

ト ピ ッ ク ス

【集団健診】

乳がん検診車（ほほえみ7号）の更新

1台の検診車に2台のX線撮影装置を搭載した、マンモグラフィ検診車を導入しました。

従来の装置では、照射スイッチを離れたタイミングで圧迫板が退避する仕様となっておりますが、今回導入した装置ではX線照射が終了したタイミングで圧迫板が自動で退避するようになりました。以前より短い圧迫時間で検査を受けていただけるようになりました。



胃部検診車（あすなろ7号）の更新

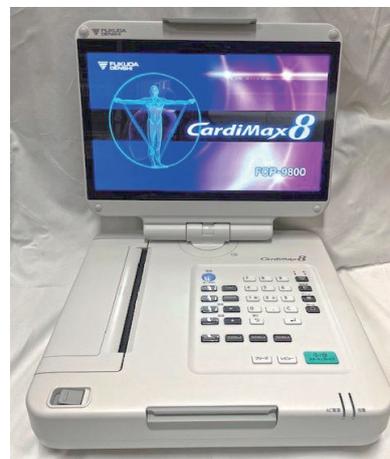
マンモグラフィ検診車と同様に、ダブル車となる胃部検診車を導入しました。胃X線撮影装置には富士フィルムメディカル社製のFPD（フラットパネルディテクタ）を搭載しました。FPD搭載のダブル車は当施設で初めてとなります。従来のI.I.D.R.に比べ画質が向上し、放射線量を低く抑えて撮影できます。



解析付心電計の更新

精度の維持と向上を目的として、心電図検査装置をフクダ電子株式会社の『FCP-9800』に更新しました。

FCP-9800は最新心電図解析プログラムを搭載しており、リスクが高く判読が困難とされる心疾患の診断をサポートする機能を有しています。また、15.6インチのワイドディスプレイでフルHDという高解像度なスペックも加わりました。これまでにない高精細な心電図波形を描出できるようになり、作業効率の向上と精度の高い検査を実施することができます。



腸内細菌検査（検便検査）の移転

令和6年4月から、腸内細菌検査（検便検査）部門が宇都宮市下岡本町にあります当事業団の「食品環境検査所」に移転しました。

栃木県保健環境センター北棟2階にあり、食品検査やノロウイルス検査などと同じ窓口で受付ができるようになりました。



個人結果書の表記の変更

セクシュアル・ジェンダーの多様性に併せて、令和6年度より個人結果書の一部修正を行いました。変更点は次の通りです。

- ① 「性別 男性・女性」の表記ではなく、これまでの個人結果書の性別欄と同位置に、男性は「1」女性は「2」のコードのみを印字します。
- ② 男女で異なる基準値の検査項目【腹囲、貧血（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値）】については、男女両方の基準値を印字します。

《結果書（住民健診）サンプル》

健診結果のお知らせ
令和6年4月1日の健康診査結果についてお知らせいたします。

市町名 ○○○市
担当課 ○○○課
TEL 000-0000-0000

生年月日 昭和00年00月00日生（00歳） 性別 女性 2
電算入力コード TEL 000-000-0000
保険証記号 000000000 保険証番号 000000000
保険者番号 000000000 受診券番号 000000000
年齢計算日 令和7年3月31日

健康診査判定		
検査項目		基準値
身体計測	身長	
	体重（標準体重）	
	腹囲	男 ~84.9 女 ~89.9
	BMI	~24.9
	血圧	~129/~84

【人間ドック】

上部消化管内視鏡装置の更新

令和7年1月に、内視鏡画像診断支援システム『CADEYE（キャドアイ）』（富士フイルムメディカル社製）を導入しました。“CADEYE”は従来型の内視鏡検査とは異なり、AIを使った画像認識機能によって、優れた精度で病変部を検出することができます。対象エリアを枠で囲って表示し、検出音で医師に注意を促します。これにより従来の内視鏡検査と比べ、より病変を見逃しにくい検査が可能となりました。内視鏡専門医師の技術と臨床知見にAI診断がプラスされ、早期がんの発見に期待が高まります。



【普及啓発】

栃木県庁昭和館 赤ライトアップの実施

令和6年9月24日から30日までの「結核・呼吸器感染症予防週間」に合わせ、県感染症対策課との共催で栃木県庁昭和館を赤色にライトアップしました。このライトアップは、結核予防の普及啓発のため、結核予防会本部の呼び掛けにより今年度から開始したもので、赤色は、世界共通の結核予防のシンボルマーク・複十字の色を表しています。ライトアップの様子は様々なメディアで取り上げられ、結核の予防と早期発見の重要性について広く啓発することができました。



デジタルサイネージの活用

令和6年9月から11月までの3ヶ月間、JR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージにて3種類の健康に関する啓発動画を掲出しました。(9月：がん征圧月間、10月：乳がん月間、11月：栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間)

LRT開業に合わせ、令和5年8月に設置されたデジタルサイネージは、広告の他にLRTやバスの時刻表、周辺の観光情報やニュースなど様々な情報を調べることができる媒体です。掲出した場所は、LRT停留場や新しい商業施設などが近いことから人通りが多い所です。これからも様々な広報媒体を活用しながら、幅広い世代へ健康に関する啓発活動を展開していきます。



「インナービジョン」への掲載

当事業団では、肺がんなどの早期発見や発見率の向上を目指し、令和4年10月より県内の健診機関に先駆けて、胸部X線の画像診断にAI画像解析ソフト（エルピクセル株式会社 医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Screening）を使用した運用を実施しています。

今回そのAIソフトウェアの使用経験に関する当事業団の報告が、令和7年2月25日発行の医療雑誌『インナービジョン』に掲載されました。

(タイトル：健診機関における画像診断支援AIソフトウェアの導入と運用)

CRT 栃木放送への出演

令和6年9月20日、CRT栃木放送スタジオにて『ど～も、嶋均三です』にゲスト出演いたしました。番組内では、「結核・呼吸器感染症予防週間（9月24日～9月30日）」について取り上げていただき、結核予防会栃木県支部として、「結核」に関する現状や予防についてお話ししました。

番組内では、パーソナリティの嶋均三さんから結核の予防について質問いただくなど、関心を持って聴いてくださいました。また、福嶋真理子アナウンサーには、「今回のお話を、家族や友達などと会話して、正しい情報を広めていただければ嬉しいです」と呼び掛けていただきました。



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」への参加

令和6年9月14日(土)～15日(日)に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」が壬生町総合公園陸上競技場(わんぱく公園内)にて開催されました。

「リレー・フォー・ライフ」はがんサバイバーやその家族を支援し、地域全体でがん征圧を目指すチャリティー活動です。

当事業団も実行委員として運営に携わる他、当日は54名の職員が参加し、リレーウォークを通じてがん患者とその家族の支援に向けて想いをつなげました。



地 域 保 健

- 1 健 康 診 査
- 2 肝 炎 ウ イ ル ス 検 査
- 3 骨 粗 し ょ う 症 検 査
- 4 結 核 検 査
- 5 そ の 他 の 事 業 ・ 検 査

1	健康診査
---	------

1 概要

1] 目的

(1) 特定健康診査

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とする者を抽出する。

※根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律

(2) 健康診査

特定健康診査対象以外の者を対象に生活習慣病を早期に発見し、必要に応じて医療につなげる。

※根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法

2] 対象

(1) 特定健康診査（国保、被用者保険）

1) 基本的な健診

医療保険加入者のうち特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者

項目：質問項目、診察、身体計測（身長・体重・BMI・腹囲）、血圧測定、血中脂質検査（空腹時中性脂肪または随時中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール）、肝機能検査（AST・ALT・ γ -GT）、血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c検査、やむを得ない場合には随時血糖）、尿検査（尿糖・尿蛋白）

2) 詳細な健診

貧血検査、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン検査（eGFRによる腎機能の評価を含む）などを医師の判断に基づき実施。

(2) 健康診査

1) 後期高齢者

後期高齢者医療制度の被保険者に該当する者

2) その他

特定健康診査及び、後期高齢者を対象とした健康診査に該当しない者

3] 健診内容及び判定基準

(1) 特定健康診査及び健康診査判定

厚生労働省作成の「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に準拠し、判定した。

(2) メタボリックシンドローム判定

「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に準拠し、判定した。

(3) 保健指導レベル

「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」に準拠し、対象を階層化した。

第4期特定健診（2024年度以降）における変更点

(1) 基本的な健診の項目

血中脂質検査における中性脂肪において、やむを得ず空腹時以外で中性脂肪を測定する場合は、随時中性脂肪による血中脂質検査を可とした。

(2) 標準的な質問票

喫煙や飲酒に係る質問項目について、より正確にリスクを把握できるように詳細な選択肢へ修正した。また、特定保健指導の受診歴を確認する質問項目に修正した。

2 実施状況

表1 特定健康診査及び健康診査判定内訳

			受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)	要継続治療 (%)
特定健康診査	国 保	男	18,036	228 (1.3)	8,135 (45.1)	9,420 (52.2)	253 (1.4)
		女	22,890	573 (2.5)	11,854 (51.8)	9,869 (43.1)	594 (2.6)
	社 保	男	441	17 (3.9)	170 (38.5)	246 (55.8)	8 (1.8)
		女	8,321	807 (9.7)	3,706 (44.5)	3,402 (40.9)	406 (4.9)
	施設型*	男	8	0 (0.0)	4 (50.0)	3 (37.5)	1 (12.5)
		女	46	11 (23.9)	18 (39.1)	15 (32.6)	2 (4.3)
健康診査	後 期	男	11,044	27 (0.2)	4,800 (43.5)	6,061 (54.9)	156 (1.4)
		女	11,432	40 (0.3)	5,730 (50.1)	5,389 (47.1)	273 (2.4)
	40歳未満	男	1,104	191 (17.3)	468 (42.4)	439 (39.8)	6 (0.5)
		女	3,377	1,009 (29.9)	1,593 (47.2)	731 (21.6)	44 (1.3)
	衛生等	男	121	7 (5.8)	45 (37.2)	69 (57.0)	0 (0.0)
		女	144	7 (4.9)	58 (40.3)	75 (52.1)	4 (2.8)
総 数	男	30,754	470 (1.5)	13,622 (44.3)	16,238 (52.8)	424 (1.4)	
	女	46,210	2,447 (5.3)	22,959 (49.7)	19,481 (42.2)	1,323 (2.9)	
	計	76,964	2,917 (3.8)	36,581 (47.5)	35,719 (46.4)	1,747 (2.3)	

*施設型とは、施設健診事業として当施設内で実施した特定健康診査

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特定健康診査	受診者数	42,645	52,997	53,531	53,429	49,742
健康診査	受診者数	16,340	21,312	23,164	25,778	27,222
総 数	受診者数	58,985	74,309	76,695	79,207	76,964

表2 メタボリックシンドローム判定内訳

			受診者数	該 当 (%)	予 備 群 (%)	非 該 当 (%)	判定不能 (%)
国 保	男	18,036	5,622 (31.2)	3,443 (19.1)	8,971 (49.7)	0 (0.0)	
	女	22,890	2,462 (10.8)	1,382 (6.0)	19,045 (83.2)	1 (0.0)	
社 保	男	441	141 (32.0)	82 (18.6)	218 (49.4)	0 (0.0)	
	女	8,321	625 (7.5)	519 (6.2)	7,177 (86.3)	0 (0.0)	
総 数	男	18,477	5,763 (31.2)	3,525 (19.1)	9,189 (49.7)	0 (0.0)	
	女	31,211	3,087 (9.9)	1,901 (6.1)	26,222 (84.0)	1 (0.0)	
	計	49,688	8,850 (17.8)	5,426 (10.9)	35,411 (71.3)	1 (0.0)	

表3 保健指導レベル判定内訳

			受診者数	積極的支援 (%)	動機付け支援 (%)	情報提供 (%)	情報提供のうち服薬による (%)
国 保	男	18,036	968 (5.4)	2,253 (12.5)	14,815 (82.1)	9,530 (64.3)	
	女	22,890	259 (1.1)	1,264 (5.5)	21,367 (93.3)	11,198 (52.4)	
社 保	男	441	24 (5.4)	64 (14.5)	353 (80.0)	210 (59.5)	
	女	8,321	169 (2.0)	452 (5.4)	7,700 (92.5)	2,564 (33.3)	
総 数	男	18,477	992 (5.4)	2,317 (12.5)	15,168 (82.1)	9,740 (64.2)	
	女	31,211	428 (1.4)	1,716 (5.5)	29,067 (93.1)	13,762 (47.3)	
	計	49,688	1,420 (2.9)	4,033 (8.1)	44,235 (89.0)	23,502 (53.1)	

表4 検査項目別判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)		要指導 (%)		要精検 (%)		要継続治療 (%)	
身体計測 (BMI・腹囲)	男	25,470	11,355	(44.6)	14,115	(55.4)	-	-	-	-
	女	40,075	30,111	(75.1)	9,964	(24.9)	-	-	-	-
診察	男	30,225	27,765	(91.9)	795	(2.6)	578	(1.9)	1,087	(3.6)
	女	44,433	41,801	(94.1)	1,137	(2.6)	863	(1.9)	632	(1.4)
血圧	男	30,746	8,244	(26.8)	3,734	(12.1)	3,935	(12.8)	14,833	(48.2)
	女	46,164	20,317	(44.0)	5,364	(11.6)	4,854	(10.5)	15,629	(33.9)
脂質	男	30,744	9,637	(31.3)	7,590	(24.7)	5,064	(16.5)	8,453	(27.5)
	女	46,162	12,559	(27.2)	9,044	(19.6)	8,896	(19.3)	15,663	(33.9)
糖尿病	男	30,746	8,295	(27.0)	15,364	(50.0)	1,963	(6.4)	5,124	(16.7)
	女	46,164	17,066	(37.0)	23,835	(51.6)	1,481	(3.2)	3,782	(8.2)
肝機能	男	30,582	20,958	(68.5)	6,579	(21.5)	2,488	(8.1)	557	(1.8)
	女	45,614	38,765	(85.0)	4,852	(10.6)	1,339	(2.9)	658	(1.4)
腎機能	男	30,745	19,346	(62.9)	8,462	(27.5)	2,336	(7.6)	601	(2.0)
	女	46,162	33,792	(73.2)	10,338	(22.4)	1,643	(3.6)	389	(0.8)
貧血	男	30,535 *	22,358	(73.2)	5,867	(19.2)	1,820	(6.0)	486	(1.6)
	女	44,209	31,338	(70.9)	9,270	(21.0)	2,558	(5.8)	1,043	(2.4)
心電図	男	29,993	17,371	(57.9)	9,821	(32.7)	2,801	(9.3)	-	-
	女	42,013	29,659	(70.6)	10,719	(25.5)	1,635	(3.9)	-	-
眼底	男	21,305 *	15,378	(72.2)	3,533	(16.6)	2,393	(11.2)	-	-
	女	28,309 *	21,736	(76.8)	4,424	(15.6)	2,147	(7.6)	-	-
総合判定	男	30,746	470	(1.5)	13,618	(44.3)	16,235	(52.8)	423	(1.4)
	女	46,164	2,436	(5.3)	22,941	(49.7)	19,466	(42.2)	1,321	(2.9)
計		76,910	2,906	(3.8)	36,559	(47.5)	35,701	(46.4)	1,744	(2.3)

*受診者数に判定不能を含む

表5 市町・保険区分別実施状況

	実施 日数	受診者数	国保 (%)	社保 (%)	後期 (%)	40歳未満 (%)	その他の 保険区分 (%)
宇都宮市	40	3,503	2,068 (59.0)	583 (16.6)	844 (24.1)	0 (0.0)	8 (0.2)
栃木市	101	13,054	6,486 (49.7)	1,705 (13.1)	3,773 (28.9)	1,048 (8.0)	42 (0.3)
鹿沼市	24	1,675	809 (48.3)	302 (18.0)	225 (13.4)	339 (20.2)	0 (0.0)
小山市	101	11,354	5,873 (51.7)	1,329 (11.7)	3,937 (34.7)	156 (1.4)	59 (0.5)
大田原市	70	9,277	5,127 (55.3)	874 (9.4)	2,743 (29.6)	492 (5.3)	41 (0.4)
矢板市	35	3,583	1,901 (53.1)	279 (7.8)	1,378 (38.5)	23 (0.6)	2 (0.1)
那須塩原市	73	7,128	4,047 (56.8)	744 (10.4)	2,243 (31.5)	74 (1.0)	20 (0.3)
さくら市	40	5,541	2,761 (49.8)	630 (11.4)	1,595 (28.8)	542 (9.8)	13 (0.2)
那須烏山市	25	2,787	1,535 (55.1)	282 (10.1)	772 (27.7)	191 (6.9)	7 (0.3)
下野市	41	4,528	2,177 (48.1)	773 (17.1)	844 (18.6)	711 (15.7)	23 (0.5)
益子町	29	3,337	2,064 (61.9)	299 (9.0)	839 (25.1)	125 (3.7)	10 (0.3)
茂木町	16	2,067	1,206 (58.3)	144 (7.0)	606 (29.3)	107 (5.2)	4 (0.2)
芳賀町	20	2,789	1,374 (49.3)	246 (8.8)	863 (30.9)	299 (10.7)	7 (0.3)
野木町	25	2,754	1,497 (54.4)	264 (9.6)	853 (31.0)	135 (4.9)	5 (0.2)
塩谷町	14	1,392	842 (60.5)	126 (9.1)	335 (24.1)	86 (6.2)	3 (0.2)
那珂川町	18	2,141	1,159 (54.1)	182 (8.5)	626 (29.2)	153 (7.1)	21 (1.0)
総数	672	76,910	40,926 (53.2)	8,762 (11.4)	22,476 (29.2)	4,481 (5.8)	265 (0.3)

表6 市町別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

	受診者数	特定健康診査判定				メタボリックシンドローム判定				保健指導レベル			
		異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)	要継続治療 (%)	該当 (%)	予備群 (%)	非該当 (%)	判定不能 (%)	積極的支援 (%)	動機付け支援 (%)	情報提供 (%)	情報提供のうち 服薬による (%)
宇都宮市	2,068	60 (2.9)	955 (46.2)	1,016 (49.1)	37 (1.8)	391 (18.9)	260 (12.6)	1,417 (68.5)	0 (0.0)	61 (2.9)	205 (9.9)	1,802 (87.1)	931 (51.7)
栃木市	6,486	140 (2.2)	3,209 (49.5)	3,001 (46.3)	136 (2.1)	1,239 (19.1)	789 (12.2)	4,458 (68.7)	0 (0.0)	158 (2.4)	576 (8.9)	5,752 (88.7)	3,262 (56.7)
鹿沼市	809	19 (2.3)	371 (45.9)	407 (50.3)	12 (1.5)	129 (15.9)	99 (12.2)	581 (71.8)	0 (0.0)	31 (3.8)	75 (9.3)	703 (86.9)	350 (49.8)
小山市	5,873	138 (2.3)	2,843 (48.4)	2,768 (47.1)	124 (2.1)	1,168 (19.9)	650 (11.1)	4,055 (69.0)	0 (0.0)	217 (3.7)	538 (9.2)	5,118 (87.1)	2,800 (54.7)
大田原市	5,127	61 (1.2)	2,623 (51.2)	2,329 (45.4)	114 (2.2)	1,063 (20.7)	598 (11.7)	3,466 (67.6)	0 (0.0)	144 (2.8)	346 (6.7)	4,637 (90.4)	2,952 (63.7)
矢板市	1,901	32 (1.7)	944 (49.7)	884 (46.5)	41 (2.2)	370 (19.5)	211 (11.1)	1,320 (69.4)	0 (0.0)	46 (2.4)	156 (8.2)	1,699 (89.4)	1,006 (59.2)
那須塩原市	4,047	87 (2.1)	1,901 (47.0)	1,990 (49.2)	69 (1.7)	726 (17.9)	469 (11.6)	2,851 (70.4)	1 (0.0)	138 (3.4)	347 (8.6)	3,562 (88.0)	1,875 (52.6)
さくら市	2,761	58 (2.1)	1,365 (49.4)	1,289 (46.7)	49 (1.8)	558 (20.2)	341 (12.4)	1,862 (67.4)	0 (0.0)	72 (2.6)	235 (8.5)	2,454 (88.9)	1,421 (57.9)
那須烏山市	1,535	17 (1.1)	728 (47.4)	767 (50.0)	23 (1.5)	318 (20.7)	170 (11.1)	1,047 (68.2)	0 (0.0)	40 (2.6)	144 (9.4)	1,351 (88.0)	798 (59.1)
下野市	2,177	48 (2.2)	1,072 (49.2)	1,014 (46.6)	43 (2.0)	373 (17.1)	262 (12.0)	1,542 (70.8)	0 (0.0)	56 (2.6)	190 (8.7)	1,931 (88.7)	1,003 (51.9)
益子町	2,064	43 (2.1)	1,025 (49.7)	948 (45.9)	48 (2.3)	413 (20.0)	249 (12.1)	1,402 (67.9)	0 (0.0)	61 (3.0)	166 (8.0)	1,837 (89.0)	1,065 (58.0)
茂木町	1,206	15 (1.2)	552 (45.8)	602 (49.9)	37 (3.1)	240 (19.9)	168 (13.9)	798 (66.2)	0 (0.0)	30 (2.5)	101 (8.4)	1,075 (89.1)	657 (61.1)
芳賀町	1,374	22 (1.6)	729 (53.1)	583 (42.4)	40 (2.9)	310 (22.6)	146 (10.6)	918 (66.8)	0 (0.0)	41 (3.0)	84 (6.1)	1,249 (90.9)	831 (66.5)
野木町	1,497	28 (1.9)	691 (46.2)	746 (49.8)	32 (2.1)	310 (20.7)	177 (11.8)	1,010 (67.5)	0 (0.0)	54 (3.6)	189 (12.6)	1,254 (83.8)	674 (53.7)
塩谷町	842	8 (1.0)	377 (44.8)	439 (52.1)	18 (2.1)	200 (23.8)	101 (12.0)	541 (64.3)	0 (0.0)	21 (2.5)	74 (8.8)	747 (88.7)	451 (60.4)
那珂川町	1,159	25 (2.2)	604 (52.1)	506 (43.7)	24 (2.1)	276 (23.8)	135 (11.6)	748 (64.5)	0 (0.0)	57 (4.9)	91 (7.9)	1,011 (87.2)	652 (64.5)
総数	40,926	801 (2.0)	19,989 (48.8)	19,289 (47.1)	847 (2.1)	8,084 (19.8)	4,825 (11.8)	28,016 (68.5)	1 (0.0)	1,227 (3.0)	3,517 (8.6)	36,182 (88.4)	20,728 (57.3)

表7 性・年齢階級別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

	受診者数	特定健康診査判定				メタボリックシンドローム判定				保健指導レベル				
		異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	該当	予備群	非該当	判定不能	積極的支援	動機付け支援	情報提供	情報提供のうち 服薬による	
男	40～44歳	806	55	342	407	2	122	186	498	0	184	84	538	91
	45～49歳	1,023	49	425	540	9	199	212	612	0	206	96	721	191
	50～54歳	1,020	24	427	558	11	231	225	564	0	193	96	731	274
	55～59歳	1,009	20	425	550	14	298	195	516	0	165	84	760	385
	60～64歳	1,602	16	697	874	15	505	257	840	0	220	90	1,292	762
	65～69歳	4,388	31	1,991	2,297	69	1,497	863	2,028	0	0	688	3,700	2,597
	70～74歳	7,265	32	3,394	3,724	115	2,485	1,317	3,463	0	0	997	6,268	4,615
	75歳	923	1	434	470	18	285	188	450	0	0	118	805	615
	計	18,036	228	8,135	9,420	253	5,622	3,443	8,971	0	968	2,253	14,815	9,530
(%)		(1.3)	(45.1)	(52.2)	(1.4)	(31.2)	(19.1)	(49.7)	(0.0)	(5.4)	(12.5)	(82.1)	(64.3)	
女	40～44歳	918	184	437	277	20	25	48	845	0	30	50	838	49
	45～49歳	1,063	114	498	415	36	52	83	928	0	49	100	914	109
	50～54歳	1,136	74	541	496	25	77	87	972	0	61	88	987	202
	55～59歳	1,290	43	618	599	30	115	81	1,094	0	44	80	1,166	380
	60～64歳	2,539	48	1,260	1,167	64	266	152	2,121	0	75	98	2,366	1,080
	65～69歳	5,933	53	3,139	2,573	168	673	373	4,886	1	0	380	5,553	3,129
	70～74歳	8,863	50	4,761	3,828	224	1,117	510	7,236	0	0	429	8,434	5,481
	75歳	1,148	7	600	514	27	137	48	963	0	0	39	1,109	768
	計	22,890	573	11,854	9,869	594	2,462	1,382	19,045	1	259	1,264	21,367	11,198
(%)		(2.5)	(51.8)	(43.1)	(2.6)	(10.8)	(6.0)	(83.2)	(0.0)	(1.1)	(5.5)	(93.3)	(52.4)	
総計	40,926	801	19,989	19,289	847	8,084	4,825	28,016	1	1,227	3,517	36,182	20,728	
(%)		(2.0)	(48.8)	(47.1)	(2.1)	(19.8)	(11.8)	(68.5)	(0.0)	(3.0)	(8.6)	(88.4)	(57.3)	

※年度末年齢

表8 性・年齢階級別検査項目別判定内訳（特定健康診査・国保対象者）

	総合判定					身体計測					診 察				
	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療
男	40～44歳	806	55	342	407	2	806	375	431	806	795	8	0	3	
	45～49歳	1,023	49	425	540	9	1,023	484	539	1,023	1,010	8	3	2	
	50～54歳	1,020	24	427	558	11	1,020	437	583	1,020	1,002	7	3	8	
	55～59歳	1,009	20	425	550	14	1,009	421	588	1,009	976	14	12	7	
	60～64歳	1,602	16	697	874	15	1,602	725	877	1,602	1,544	28	15	15	
	65～69歳	4,388	31	1,991	2,297	69	4,388	1,836	2,552	4,388	4,169	82	47	90	
	70～74歳	7,265	32	3,394	3,724	115	7,265	3,163	4,102	7,264	6,685	191	119	269	
	75歳	923	1	434	470	18	923	417	506	923	844	30	19	30	
計	18,036	228	8,135	9,420	253	18,036	7,858	10,178	18,035	17,025	368	218	424		
(%)		(1.3)	(45.1)	(52.2)	(1.4)		(43.6)	(56.4)		(94.4)	(2.0)	(1.2)	(2.4)		
女	40～44歳	918	184	437	277	20	918	732	186	918	898	13	2	5	
	45～49歳	1,063	114	498	415	36	1,063	760	303	1,063	1,042	8	7	6	
	50～54歳	1,136	74	541	496	25	1,136	815	321	1,136	1,102	18	10	6	
	55～59歳	1,290	43	618	599	30	1,290	969	321	1,290	1,257	15	9	9	
	60～64歳	2,539	48	1,260	1,167	64	2,539	1,911	628	2,539	2,443	45	34	17	
	65～69歳	5,933	53	3,139	2,573	168	5,933	4,401	1,532	5,933	5,683	124	65	61	
	70～74歳	8,863	50	4,761	3,828	224	8,863	6,606	2,257	8,863	8,375	207	167	114	
	75歳	1,148	7	600	514	27	1,148	872	276	1,148	1,076	27	25	20	
計	22,890	573	11,854	9,869	594	22,890	17,066	5,824	22,890	21,876	457	319	238		
(%)		(2.5)	(51.8)	(43.1)	(2.6)		(74.6)	(25.4)		(95.6)	(2.0)	(1.4)	(1.0)		
総 数	40,926	801	19,989	19,289	847	40,926	24,924	16,002	40,925	38,901	825	537	662		
(%)		(2.0)	(48.8)	(47.1)	(2.1)		(60.9)	(39.1)		(95.1)	(2.0)	(1.3)	(1.6)		

	血 圧					脂 質					糖尿病					
	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	
男	40～44歳	806	519	134	105	48	806	252	235	252	67	806	434	329	21	22
	45～49歳	1,023	576	190	145	112	1,023	292	288	317	126	1,023	487	453	36	47
	50～54歳	1,020	508	179	144	189	1,020	266	295	299	160	1,020	426	476	42	76
	55～59歳	1,009	408	166	140	295	1,009	263	281	266	199	1,009	365	478	59	107
	60～64歳	1,602	530	229	244	599	1,602	419	404	365	414	1,602	500	798	87	217
	65～69歳	4,388	1,090	540	637	2,121	4,388	1,192	1,100	822	1,274	4,388	1,089	2,305	276	718
	70～74歳	7,265	1,537	884	952	3,892	7,264	2,188	1,785	1,089	2,202	7,265	1,536	3,856	504	1,369
	75歳	923	208	102	95	518	923	293	221	129	280	923	178	488	64	193
計	18,036	5,376	2,424	2,462	7,774	18,035	5,165	4,609	3,539	4,722	18,036	5,015	9,183	1,089	2,749	
(%)		(29.8)	(13.4)	(13.7)	(43.1)		(28.6)	(25.6)	(19.6)	(26.2)		(27.8)	(50.9)	(6.0)	(15.2)	
女	40～44歳	918	761	83	48	26	918	546	208	137	27	918	643	253	6	16
	45～49歳	1,063	792	109	87	75	1,063	528	275	196	64	1,063	623	399	11	30
	50～54歳	1,136	763	135	113	125	1,136	395	283	313	145	1,136	553	535	17	31
	55～59歳	1,290	772	194	117	207	1,290	293	324	392	281	1,290	469	720	26	75
	60～64歳	2,539	1,242	371	267	659	2,539	505	526	702	806	2,539	761	1,512	79	187
	65～69歳	5,933	2,360	859	711	2,003	5,933	1,054	1,136	1,375	2,368	5,933	1,447	3,800	196	490
	70～74歳	8,863	2,715	1,285	1,132	3,731	8,863	1,610	1,607	1,687	3,959	8,863	1,829	5,758	359	917
	75歳	1,148	306	169	144	529	1,148	204	197	199	548	1,148	216	740	56	136
計	22,890	9,711	3,205	2,619	7,355	22,890	5,135	4,556	5,001	8,198	22,890	6,541	13,717	750	1,882	
(%)		(42.4)	(14.0)	(11.4)	(32.1)		(22.4)	(19.9)	(21.8)	(35.8)		(28.6)	(59.9)	(3.3)	(8.2)	
総 数	40,926	15,087	5,629	5,081	15,129	40,925	10,300	9,165	8,540	12,920	40,926	11,556	22,900	1,839	4,631	
(%)		(36.9)	(13.8)	(12.4)	(37.0)		(25.2)	(22.4)	(20.9)	(31.6)		(28.2)	(56.0)	(4.5)	(11.3)	

※年度末年齢

*受診者数に判定不能含む

表8 続き

	肝機能					腎機能					
	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	
男	40～44歳	806	448	214	137	7	806	733	59	11	3
	45～49歳	1,023	532	315	168	8	1,023	916	87	16	4
	50～54歳	1,020	592	244	168	16	1,020	850	137	23	10
	55～59歳	1,009	571	271	152	15	1,009	808	161	26	14
	60～64歳	1,602	980	396	197	29	1,602	1,205	324	57	16
	65～69歳	4,388	2,803	1,075	421	89	4,388	2,988	1,142	206	52
	70～74歳	7,264	5,115	1,537	490	122	7,265	4,455	2,210	481	119
	75歳	923	683	176	44	20	923	532	306	70	15
	計	18,035	11,724	4,228	1,777	306	18,036	12,487	4,426	890	233
	(%)		(65.0)	(23.4)	(9.9)	(1.7)		(69.2)	(24.5)	(4.9)	(1.3)
女	40～44歳	918	821	71	22	4	918	850	48	17	3
	45～49歳	1,063	908	110	40	5	1,063	962	79	19	3
	50～54歳	1,136	924	130	67	15	1,136	985	135	10	6
	55～59歳	1,290	1,046	164	58	22	1,290	1,078	185	16	11
	60～64歳	2,539	2,089	315	97	38	2,539	1,992	494	36	17
	65～69歳	5,933	4,971	689	172	101	5,933	4,388	1,387	113	45
	70～74歳	8,863	7,558	930	227	148	8,863	6,095	2,430	259	79
	75歳	1,148	990	119	26	13	1,148	743	351	41	13
	計	22,890	19,307	2,528	709	346	22,890	17,093	5,109	511	177
	(%)		(84.3)	(11.0)	(3.1)	(1.5)		(74.7)	(22.3)	(2.2)	(0.8)
総	数	40,925	31,031	6,756	2,486	652	40,926	29,580	9,535	1,401	410
	(%)		(75.8)	(16.5)	(6.1)	(1.6)		(72.3)	(23.3)	(3.4)	(1.0)

	貧血					心電図				眼底				
	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	受診者数	異常認めず	要指導	要精検	
男	40～44歳	800	626	147	23	4	801	660	130	11	687	640	16	31
	45～49歳	1,018	806	168	42	2	1,021	829	179	13	886	791	46	49
	50～54歳	1,016	793	167	48	8	1,018	794	202	22	853	741	56	56
	55～59歳	1,001	760	199	36	6	1,004	744	227	33	830	661	92	77
	60～64歳	1,591	1,194	306	77	14	1,591	1,063	456	72	1,289	1,001	159	129
	65～69歳	4,342	3,346	774	176	46	4,354	2,828	1,263	263	3,371	2,418	571	382
	70～74歳	7,221*	5,534	1,245	342	99	7,231	4,194	2,344	693	5,276*	3,601	1,045	629
	75歳	920	687	175	47	11	918	505	311	102	636	422	123	91
	計	17,909*	13,746	3,181	791	190	17,938	11,617	5,112	1,209	13,828*	10,275	2,108	1,444
	(%)		(76.8)	(17.8)	(4.4)	(1.1)		(64.8)	(28.5)	(6.7)		(74.3)	(15.2)	(10.4)
女	40～44歳	913	602	177	87	47	914	778	130	6	738	703	18	17
	45～49歳	1,059	640	207	116	96	1,058	859	186	13	851	779	44	28
	50～54歳	1,129	805	191	81	52	1,127	908	204	15	898	811	55	32
	55～59歳	1,285	920	264	72	29	1,282	999	267	16	959	806	93	60
	60～64歳	2,526	1,886	500	104	36	2,527	1,929	550	48	1,840	1,454	246	140
	65～69歳	5,902	4,442	1,172	226	62	5,903	4,331	1,407	165	3,964	2,963	670	331
	70～74歳	8,852	6,505	1,858	341	148	8,842	6,120	2,380	342	5,687*	4,075	1,127	484
	75歳	1,148	835	228	65	20	1,147	763	337	47	685	472	142	71
	計	22,814	16,635	4,597	1,092	490	22,800	16,687	5,461	652	15,622*	12,063	2,395	1,163
	(%)		(72.9)	(20.1)	(4.8)	(2.1)		(73.2)	(24.0)	(2.9)		(77.2)	(15.3)	(7.4)
総	数	40,723*	30,381	7,778	1,883	680	40,738	28,304	10,573	1,861	29,450*	22,338	4,503	2,607
	(%)		(74.6)	(19.1)	(4.6)	(1.7)		(69.5)	(26.0)	(4.6)		(75.9)	(15.3)	(8.9)

※年度末年齢

*受診者数に判定不能含む

2 肝炎ウイルス検診

1 概要

1] 目的

- (1) 肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及
- (2) 肝炎ウイルス感染の状況認識及び肝炎進行の遅延

2] 対象

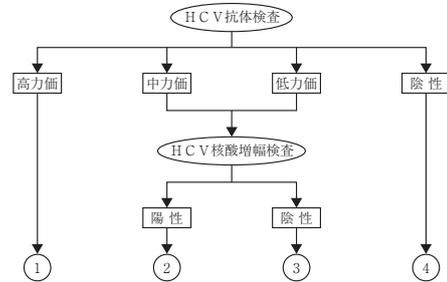
- (1) 40歳となる者
- (2) 41歳以上の者であって、過去に受検歴のない希望者

3] 検査方法

(1) 検査項目

- 1) 問診
- 2) B型肝炎ウイルス検査：HBs抗原検査
- 3) C型肝炎ウイルス検査：HCV抗体検査、HCV核酸増幅検査

(2) C型肝炎ウイルス検査の流れ



4] 判定基準

	検査結果	判 定
B型肝炎ウイルス検査	陽性 陰性	
C型肝炎ウイルス検査	① ② ③ ④	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定 「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定

2 実施状況

表1 B型肝炎ウイルス検査判定内訳

	受診者数	陽 性 (%)	陰 性 (%)
男	3,104	17 (0.55)	3,087 (99.45)
女	4,129	21 (0.51)	4,108 (99.49)
計	7,233	38 (0.53)	7,195 (99.47)

表2 C型肝炎ウイルス検査判定内訳

	受診者数	① (%)	② (%)	③ (%)	④ (%)
男	3,090	7 (0.23)	0 (0.00)	13 (0.42)	3,070 (99.35)
女	4,101	2 (0.05)	1 (0.02)	9 (0.22)	4,089 (99.71)
計	7,191	9 (0.13)	1 (0.01)	22 (0.31)	7,159 (99.55)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
B型肝炎ウイルス検査	受診者数	5,597	6,872	6,159	7,245	7,233
C型肝炎ウイルス検査	受診者数	5,561	6,840	6,091	7,191	7,191

3

骨粗しょう症検診

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で音響的骨評価値を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 (×10 ⁶)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)	
男	39歳以下	10	6 (60.0)	3 (30.0)	1 (10.0)
	40～44歳	5	2 (40.0)	1 (20.0)	2 (40.0)
	45～49歳	7	7 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	50～54歳	9	5 (55.6)	3 (33.3)	1 (11.1)
	55～59歳	11	8 (72.7)	3 (27.3)	0 (0.0)
	60～64歳	61	39 (63.9)	14 (23.0)	8 (13.1)
	65～69歳	96	51 (53.1)	32 (33.3)	13 (13.5)
	70～74歳	213	121 (56.8)	71 (33.3)	21 (9.9)
	75～79歳	65	37 (56.9)	21 (32.3)	7 (10.8)
	80歳以上	58	35 (60.3)	13 (22.4)	10 (17.2)
計	535	311 (58.1)	161 (30.1)	63 (11.8)	
女	39歳以下	521	437 (83.9)	83 (15.9)	1 (0.2)
	40～44歳	780	649 (83.2)	130 (16.7)	1 (0.1)
	45～49歳	961	792 (82.4)	158 (16.4)	11 (1.1)
	50～54歳	1,285	1,012 (78.8)	253 (19.7)	20 (1.6)
	55～59歳	1,140	691 (60.6)	383 (33.6)	66 (5.8)
	60～64歳	1,368	556 (40.6)	672 (49.1)	140 (10.2)
	65～69歳	1,855	636 (34.3)	958 (51.6)	261 (14.1)
	70～74歳	2,269	628 (27.7)	1,227 (54.1)	414 (18.2)
	75～79歳	728	183 (25.1)	402 (55.2)	143 (19.6)
	80歳以上	366	59 (16.1)	169 (46.2)	138 (37.7)
計	11,273	5,643 (50.1)	4,435 (39.3)	1,195 (10.6)	
総 数	11,808	5,954 (50.4)	4,596 (38.9)	1,258 (10.7)	

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	9,826	13,055	13,968	13,777	11,808
要精検率 (%)	14.6	12.7	10.9	10.4	10.7

4	結核検診
---	------

1 概要

1] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

2] 判定方法

呼吸器の専門医が二重読影を行い判定する。
 なお、二重読影は第一、第二読影を独立して行う。

2 実施状況

令和2年度以降、受託なし。

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	231	0	0	0	0
要精検率(%)	5.6	-	-	-	-

※単独実施での検診のみ計上

5

その他の事業・検査

受診団体の依頼等により、下記の事業及び検査を実施した。

1-1 インターネットを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した集団健診申込受付は、健診対象の全市民が24時間スマートフォンやパソコンから「いつでも・どこでも」健診申込を可能とするものである。

インターネットを利用した申込の割合は下表のとおりであった。また、年代別で見ると、30歳から50歳代の割合が高く、時間帯としては、閉庁時間帯における申込割合が高かった。

表1 インターネットを利用した健診申込状況

受診日 優先予約	健診 申込数	事前に予約された 予約日のまま受診 した人数 (%)	インターネット利用 での申込数 (%)	インターネット申込の内 閉庁時間帯の申込数 (%)
栃木市	17,147	-	7,244 (42.2)	4,210 (58.1)
下野市	7,703	-	4,630 (60.1)	2,818 (60.8)
鹿沼市	9,465	-	3,730 (39.4)	2,235 (59.9)
大田原市	13,021	-	4,871 (37.4)	2,899 (59.5)
那須烏山市	3,909	-	1,447 (37.0)	850 (58.7)
芳賀町 ○	3,924	2,012 (86.8)	497 (12.7)*	327 (65.8)
野木町	3,895	-	1,712 (44.0)	925 (54.0)
矢板市 ○	6,284	3,456 (86.6)	840 (13.4)*	543 (64.6)
塩谷町 ○	3,479	1,939 (76.4)	227 (6.5)*	155 (68.3)
小山市 ○	18,334	9,245 (83.7)	3,048 (16.6)*	1,804 (59.2)
さくら市 ○	8,965	4,090 (80.3)	1,911 (21.3)*	1,167 (61.1)

*芳賀町、矢板市、塩谷町、小山市及びさくら市は、前年度受診者に受診予約日の決定通知を送付（受診日優先予約）しており、受診予約日の変更または、新規申込者のみインターネットを利用している。

1-2 コールセンターを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した申込方式に併せ、集団健診の電話予約受付業務を当事業団が代行するコールセンター事業を平成30年度健診申込分から開始した。

専用電話回線を期間限定で開設し、県内の専門業者と連携しながら専門のオペレーターが電話による予約受付を行った。

表2 コールセンターを利用した健診申込状況

	コールセンター開設中の 健診申込総数	健診申込数内の コールセンター利用での 申込数 (%)	健診申込数内の インターネット利用での 申込数 (%)
大田原市（3日間）	1,562	1,102 (70.6)	460 (29.4)
矢板市（3日間）	132	94 (71.2)	38 (28.8)
小山市（平日15日間）	2,693	1,161 (43.1)	1,532 (56.9)
さくら市（7日間）	568	425 (74.8)	143 (25.2)

2 特定健診・若年健康診査の二次検診実施【大田原市】

健康課題である循環器病及び糖尿病等の予防可能な生活習慣病を早期発見、早期介入することを目的に、平成25年度から下表のとおり特定健診・若年健康診査の二次検診を実施している。

「自分のからだをもっと知る自分探しの二次検診」として、市の全額負担により令和6年9月から令和7年2月の期間に37名の検診を実施した。

	内 容	目 的
75 g 糖負荷検査 (インスリン測定を含む)	血液検査 (4回採血*)	隠れ糖尿病(リスクの度合い)の発見
頸動脈超音波検査	超音波検査	早期の動脈硬化による血管変化 (血管の厚さやプラーク)の把握
微量アルブミン尿検査	尿検査	早期の腎機能の変化(傷み具合)の把握

*空腹時・30分・60分・120分

3 風しんの追加的対策における風しん抗体検査の実施

平成31(2019)年4月1日から国の「風しんに関する追加的対策」が実施され、これに伴い当事業においても集合契約に係る風しん抗体検査の実施体制を整備している。

実施団体数：15市町、受診者数：190名

4 「推定1日食塩摂取量」検査の実施【塩谷町】

高血圧者に対する保健指導等をより効果的に行うことを目的として、令和3年度から特定健康診査・健康診査の受診者全員を対象に、「推定1日食塩摂取量」の検査を実施した。

特定健康診査等の受診に併せて、追加の採尿を行い、推定1日食塩摂取量の算出方法については、「高血圧治療ガイドライン2019」を参考とした。

実施日数：14日、受診者：1,392名

職 域 保 健

- 1 一 般 健 康 診 断
- 2 メ ン タ ル ヘ ル ス 支 援
- 3 ハ ラ ス メ ン ト 防 止 支 援
- 4 特 殊 健 康 診 断
- 5 骨 粗 し ょ う 症 検 診
- 6 結 核 検 診
- 7 そ の 他 の 事 業 ・ 検 査

1	一般健康診断
---	--------

1 概要

1] 目的

労働者の健康状況の把握と必要な者に対する措置、作業関連疾患の予防と保健指導

2] 健診内容

労働安全衛生法及び労働安全衛生規則（第43条、44条及び45条）に基づき、1年以内ごとに1回、定期的に実施が義務づけられている検査項目を基本としている。

2 実施状況

表1 検査項目別判定内訳（判定実施件数で集計）

		受診者数	やせ (%)		普通 (%)		肥満 (%)			
B M I	男	41,520	1,956	(4.7)	24,633	(59.3)	14,931	(36.0)		
	女	27,249	3,642	(13.4)	17,422	(63.9)	6,185	(22.7)		
		受診者数	非該当 (%)		基準該当 (%)					
腹 囲	男	36,621	19,826	(54.1)	16,795	(45.9)				
	女	24,799	21,288	(85.8)	3,511	(14.2)				
		受診者数	異常認めず (%)		要経過観察 (%)		要精密検査 (%)		要継続治療 (%)	
診 察	男	40,542	39,704	(97.9)	350	(0.9)	208	(0.5)	280	(0.7)
	女	26,895	26,263	(97.7)	307	(1.1)	192	(0.7)	133	(0.5)
聴 力	男	40,427	36,744	(90.9)	1,777	(4.4)	1,906	(4.7)	-	-
	女	26,736	25,553	(95.6)	671	(2.5)	512	(1.9)	-	-
血 圧	男	41,767	30,119	(72.1)	4,203	(10.1)	1,327	(3.2)	6,118	(14.6)
	女	28,072	22,839	(81.4)	2,027	(7.2)	620	(2.2)	2,586	(9.2)
貧 血	男	36,472*	33,377	(91.5)	1,806	(5.0)	1,020	(2.8)	267	(0.7)
	女	26,087	21,966	(84.2)	2,030	(7.8)	997	(3.8)	1,094	(4.2)
肝 機 能	男	35,907	24,087	(67.1)	5,818	(16.2)	5,497	(15.3)	505	(1.4)
	女	25,929	23,054	(88.9)	1,616	(6.2)	1,030	(4.0)	229	(0.9)
脂 質	男	36,389	19,739	(54.2)	8,773	(24.1)	4,445	(12.2)	3,432	(9.4)
	女	26,382	16,340	(61.9)	5,030	(19.1)	2,453	(9.3)	2,559	(9.7)
糖 尿 病	男	42,288	34,411	(81.4)	4,321	(10.2)	1,235	(2.9)	2,321	(5.5)
	女	28,409	24,195	(85.2)	3,065	(10.8)	379	(1.3)	770	(2.7)
尿 蛋 白	男	41,697	38,625	(92.6)	2,272	(5.4)	800	(1.9)	-	-
	女	27,779	26,355	(94.9)	1,101	(4.0)	323	(1.2)	-	-
心 電 図	男	33,367	27,673	(82.9)	4,849	(14.5)	845	(2.5)	-	-
	女	24,330	20,756	(85.3)	3,189	(13.1)	385	(1.6)	-	-
腎 機 能	男	33,033	29,610	(89.6)	2,884	(8.7)	294	(0.9)	245	(0.7)
	女	23,233	20,773	(89.4)	2,206	(9.5)	134	(0.6)	120	(0.5)
総合判定	男	42,662	10,751	(25.2)	15,899	(37.3)	14,513	(34.0)	1,499	(3.5)
	女	28,766	8,900	(30.9)	11,926	(41.5)	6,721	(23.4)	1,219	(4.2)
計		71,428	19,651	(27.5)	27,825	(39.0)	21,234	(29.7)	2,718	(3.8)

※胸部X線検査の集計は「結核検診」、喀痰検査の集計は「肺がん検診」に掲載

*受診者数に判定不能を含む

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	73,563	72,698	72,751	72,703	71,428

表2 性・年齢階級別判定内訳（判定実施件数で集計）

	総合判定					BMI				腹囲			診 察		
	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	やせ	普通	肥満	受診者数	非該当	基準該当	受診者数	異常認めず	要観察
19歳以下	941	555	225	155	6	880	135	569	176	142	112	30	865	858	3
20～24歳	4,187	2,137	1,253	765	32	4,028	457	2,588	983	1,913	1,510	403	3,702	3,660	20
25～29歳	4,569	1,934	1,564	1,042	29	4,482	327	2,907	1,248	3,935	2,790	1,145	4,404	4,355	32
30～34歳	4,543	1,647	1,587	1,246	63	4,453	215	2,649	1,589	3,970	2,339	1,631	4,395	4,335	27
35～39歳	4,584	1,294	1,710	1,477	103	4,516	147	2,597	1,772	4,308	2,342	1,966	4,447	4,394	26
男 40～44歳	4,319	1,027	1,708	1,465	119	4,241	120	2,498	1,623	4,103	2,179	1,924	4,168	4,115	28
45～49歳	4,675	828	1,875	1,752	220	4,548	121	2,565	1,862	4,405	2,192	2,213	4,493	4,422	31
50～54歳	4,971	652	2,022	1,981	316	4,838	110	2,646	2,082	4,636	2,147	2,489	4,753	4,657	44
55～59歳	4,024	410	1,612	1,720	282	3,931	118	2,224	1,589	3,801	1,748	2,053	3,855	3,736	37
60歳以上	5,849	267	2,343	2,910	329	5,603	206	3,390	2,007	5,408	2,467	2,941	5,460	5,172	102
計	42,662	10,751	15,899	14,513	1,499	41,520	1,956	24,633	14,931	36,621	19,826	16,795	40,542	39,704	350
(%)		(25.2)	(37.3)	(34.0)	(3.5)		(4.7)	(59.3)	(36.0)		(54.1)	(45.9)		(97.9)	(0.9)
19歳以下	658	410	146	98	4	622	121	429	72	133	128	5	524	516	3
20～24歳	2,776	1,513	853	378	32	2,660	465	1,825	370	1,852	1,780	72	2,421	2,382	19
25～29歳	3,431	1,847	1,142	380	62	3,253	575	2,168	510	2,898	2,728	170	3,341	3,298	20
30～34歳	2,720	1,286	1,013	371	50	2,544	353	1,666	525	2,274	2,043	231	2,642	2,603	22
35～39歳	2,802	1,136	1,113	469	84	2,664	343	1,689	632	2,471	2,155	316	2,717	2,669	20
女 40～44歳	2,840	899	1,225	607	109	2,723	279	1,767	677	2,681	2,286	395	2,684	2,629	28
45～49歳	3,146	695	1,425	818	208	3,029	335	1,845	849	2,984	2,467	517	2,996	2,931	31
50～54歳	3,353	542	1,580	1,036	195	3,236	358	1,991	887	3,178	2,609	569	3,192	3,119	38
55～59歳	2,735	307	1,359	890	179	2,629	329	1,605	695	2,569	2,086	483	2,578	2,505	38
60歳以上	4,305	265	2,070	1,674	296	3,889	484	2,437	968	3,759	3,006	753	3,800	3,611	88
計	28,766	8,900	11,926	6,721	1,219	27,249	3,642	17,422	6,185	24,799	21,288	3,511	26,895	26,263	307
(%)		(30.9)	(41.5)	(23.4)	(4.2)		(13.4)	(63.9)	(22.7)		(85.8)	(14.2)		(97.7)	(1.1)
総 数	71,428	19,651	27,825	21,234	2,718	68,769	5,598	42,055	21,116	61,420	41,114	20,306	67,437	65,967	657
(%)		(27.5)	(39.0)	(29.7)	(3.8)		(8.1)	(61.2)	(30.7)		(66.9)	(33.1)		(97.8)	(1.0)

	診 察		聴 力			血 圧					貧 血					
	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療
19歳以下	4	0	877	872	4	1	880	834	38	4	4	482	454	4	23	1
20～24歳	10	12	3,983	3,944	27	12	4,043	3,813	200	20	10	3,129	2,994	35	88	12
25～29歳	8	9	4,367	4,322	21	24	4,521	4,220	241	38	22	3,942	3,770	73	95	4
30～34歳	11	22	4,278	4,211	30	37	4,488	4,039	324	60	65	3,918	3,705	102	94	17
35～39歳	13	14	4,391	4,274	64	53	4,534	3,794	436	124	180	4,033	3,831	118	70	14
男 40～44歳	13	12	4,173	3,996	92	85	4,261	3,293	479	149	340	3,763*	3,530	154	70	8
45～49歳	15	25	4,472	4,169	142	161	4,572	3,118	578	224	652	4,060*	3,763	192	83	21
50～54歳	22	30	4,686	4,194	246	246	4,862	2,774	700	264	1,124	4,273	3,858	275	111	29
55～59歳	35	47	3,822	3,257	261	304	3,946	1,983	551	209	1,203	3,468	3,062	261	96	49
60歳以上	77	109	5,378	3,505	890	983	5,660	2,251	656	235	2,518	5,404	4,410	592	290	112
計	208	280	40,427	36,744	1,777	1,906	41,767	30,119	4,203	1,327	6,118	36,472*	33,377	1,806	1,020	267
(%)	(0.5)	(0.7)		(90.9)	(4.4)	(4.7)		(72.1)	(10.1)	(3.2)	(14.6)		(91.5)	(5.0)	(2.8)	(0.7)
19歳以下	4	1	618	615	1	2	623	592	11	18	2	302	278	9	9	6
20～24歳	14	6	2,687	2,653	24	10	2,730	2,628	63	37	2	2,305	2,087	123	57	38
25～29歳	15	8	3,366	3,327	26	13	3,411	3,273	119	13	6	3,066	2,722	199	83	62
30～34歳	12	5	2,643	2,602	30	11	2,698	2,555	113	16	14	2,465	2,121	204	73	67
35～39歳	14	14	2,718	2,674	36	8	2,776	2,564	143	24	45	2,636	2,186	232	125	93
女 40～44歳	20	7	2,648	2,593	38	17	2,772	2,433	185	59	95	2,647	2,073	259	156	159
45～49歳	20	14	2,973	2,885	53	35	3,077	2,446	311	100	220	2,952	2,181	300	179	292
50～54歳	14	21	3,137	3,012	75	50	3,279	2,402	353	124	400	3,143	2,537	248	143	215
55～59歳	17	18	2,527	2,372	85	70	2,649	1,798	274	72	505	2,585	2,314	126	68	77
60歳以上	62	39	3,419	2,820	303	296	4,057	2,148	455	157	1,297	3,986	3,467	330	104	85
計	192	133	26,736	25,553	671	512	28,072	22,839	2,027	620	2,586	26,087	21,966	2,030	997	1,094
(%)	(0.7)	(0.5)		(95.6)	(2.5)	(1.9)		(81.4)	(7.2)	(2.2)	(9.2)		(84.2)	(7.8)	(3.8)	(4.2)
総 数	400	413	67,163	62,297	2,448	2,418	69,839	52,958	6,230	1,947	8,704	62,559*	55,343	3,836	2,017	1,361
(%)	(0.6)	(0.6)		(92.8)	(3.6)	(3.6)		(75.8)	(8.9)	(2.8)	(12.5)		(88.5)	(6.1)	(3.2)	(2.2)

*受診者数に判定不能を含む

表2 続き

	肝機能					脂質					糖尿病				
	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療
19歳以下	349	261	27	61	0	482	440	24	17	1	940	922	10	4	4
20～24歳	2,673	2,044	254	365	10	3,133	2,604	393	120	16	4,171	4,078	53	29	11
25～29歳	3,941	2,845	460	615	21	3,934	2,766	797	313	58	4,556	4,317	190	38	11
30～34歳	3,921	2,646	534	724	17	3,895	2,385	996	429	85	4,517	4,103	305	54	55
35～39歳	4,033	2,643	617	738	35	4,029	2,236	1,038	589	166	4,550	4,009	355	95	91
男 40～44歳	3,763	2,352	701	668	42	3,760	1,896	1,053	591	220	4,277	3,675	372	91	139
45～49歳	4,066	2,508	794	696	68	4,046	1,883	1,130	645	388	4,609	3,759	502	127	221
50～54歳	4,279	2,695	887	619	78	4,249	1,780	1,205	665	599	4,910	3,538	731	221	420
55～59歳	3,471	2,295	645	457	74	3,450	1,421	894	501	634	3,974	2,655	682	203	434
60歳以上	5,411	3,798	899	554	160	5,411	2,328	1,243	575	1,265	5,784	3,355	1,121	373	935
計	35,907	24,087	5,818	5,497	505	36,389	19,739	8,773	4,445	3,432	42,288	34,411	4,321	1,235	2,321
(%)		(67.1)	(16.2)	(15.3)	(1.4)		(54.2)	(24.1)	(12.2)	(9.4)		(81.4)	(10.2)	(2.9)	(5.5)
19歳以下	177	167	3	7	0	301	257	28	15	1	655	644	7	3	1
20～24歳	2,017	1,926	54	35	2	2,303	1,968	232	88	15	2,764	2,668	78	11	7
25～29歳	3,051	2,894	77	69	11	3,062	2,498	423	112	29	3,425	3,302	100	10	13
30～34歳	2,451	2,279	87	77	8	2,458	1,901	411	118	28	2,703	2,529	142	19	13
35～39歳	2,623	2,418	106	87	12	2,628	1,971	426	165	66	2,789	2,551	180	20	38
女 40～44歳	2,694	2,438	130	108	18	2,696	1,892	517	200	87	2,801	2,506	243	23	29
45～49歳	2,982	2,637	184	135	26	2,984	1,809	672	297	206	3,101	2,639	347	40	75
50～54歳	3,175	2,651	300	186	38	3,178	1,608	776	451	343	3,304	2,637	503	61	103
55～59歳	2,604	2,138	290	144	32	2,608	956	669	432	551	2,676	1,998	495	48	135
60歳以上	4,155	3,506	385	182	82	4,164	1,480	876	575	1,233	4,191	2,721	970	144	356
計	25,929	23,054	1,616	1,030	229	26,382	16,340	5,030	2,453	2,559	28,409	24,195	3,065	379	770
(%)		(88.9)	(6.2)	(4.0)	(0.9)		(61.9)	(19.1)	(9.3)	(9.7)		(85.2)	(10.8)	(1.3)	(2.7)
総数	61,836	47,141	7,434	6,527	734	62,771	36,079	13,803	6,898	5,991	70,697	58,606	7,386	1,614	3,091
(%)		(76.2)	(12.0)	(10.6)	(1.2)		(57.5)	(22.0)	(11.0)	(9.5)		(82.9)	(10.4)	(2.3)	(4.4)

	尿蛋白				心電図				腎機能				
	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	受診者数	異常認めず	要観察	要精検	要継続治療
19歳以下	930	805	85	40	517	470	44	3	128	126	2	0	0
20～24歳	4,150	3,689	314	147	1,932	1,708	206	18	1,628	1,591	35	1	1
25～29歳	4,529	4,253	237	39	3,475	3,087	353	35	3,501	3,378	107	7	9
30～34歳	4,480	4,221	220	39	3,495	3,119	349	27	3,464	3,326	121	11	6
35～39歳	4,517	4,259	201	57	3,815	3,373	392	50	3,806	3,630	147	10	19
男 40～44歳	4,252	3,983	221	48	3,559	3,089	418	52	3,655	3,466	169	8	12
45～49歳	4,557	4,265	221	71	3,853	3,274	506	73	3,953	3,617	283	26	27
50～54歳	4,828	4,462	261	105	4,115	3,364	634	117	4,177	3,721	388	35	33
55～59歳	3,918	3,620	204	94	3,370	2,581	675	114	3,401	2,791	532	39	39
60歳以上	5,536	5,068	308	160	5,236	3,608	1,272	356	5,320	3,964	1,100	157	99
計	41,697	38,625	2,272	800	33,367	27,673	4,849	845	33,033	29,610	2,884	294	245
(%)		(92.6)	(5.4)	(1.9)		(82.9)	(14.5)	(2.5)		(89.6)	(8.7)	(0.9)	(0.7)
19歳以下	645	569	43	33	474	446	27	1	69	66	3	0	0
20～24歳	2,755	2,514	179	62	1,642	1,499	134	9	1,427	1,366	57	0	4
25～29歳	3,407	3,188	187	32	2,785	2,572	199	14	2,576	2,441	123	4	8
30～34歳	2,693	2,533	134	26	2,266	2,073	176	17	2,084	1,971	101	1	11
35～39歳	2,769	2,647	106	16	2,508	2,209	272	27	2,507	2,365	129	4	9
女 40～44歳	2,758	2,624	108	26	2,527	2,217	284	26	2,497	2,324	158	3	12
45～49歳	3,061	2,921	105	35	2,812	2,412	368	32	2,762	2,534	212	7	9
50～54歳	3,263	3,142	90	31	3,008	2,477	486	45	2,967	2,668	271	12	16
55～59歳	2,633	2,561	52	20	2,482	1,999	434	49	2,474	2,067	375	16	16
60歳以上	3,795	3,656	97	42	3,826	2,852	809	165	3,870	2,971	777	87	35
計	27,779	26,355	1,101	323	24,330	20,756	3,189	385	23,233	20,773	2,206	134	120
(%)		(94.9)	(4.0)	(1.2)		(85.3)	(13.1)	(1.6)		(89.4)	(9.5)	(0.6)	(0.5)
総数	69,476	64,980	3,373	1,123	57,697	48,429	8,038	1,230	56,266	50,383	5,090	428	365
(%)		(93.5)	(4.9)	(1.6)		(83.9)	(13.9)	(2.1)		(89.5)	(9.0)	(0.8)	(0.6)

2 メンタルヘルス支援

1 概要

1] 目的

(1) ストレスチェック

労働者自身のストレスへの気づきや職場改善につなげることにより、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止すること（一次予防）を目的とする。

(2) ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

従業員のメンタル不全の早期発見・改善・予防、ストレスの軽減及び適切な職場適応を図り、自己成長に寄与することを目的とする。

2] 対象

(1) ストレスチェック

労働者50人以上の事業場

(2) ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

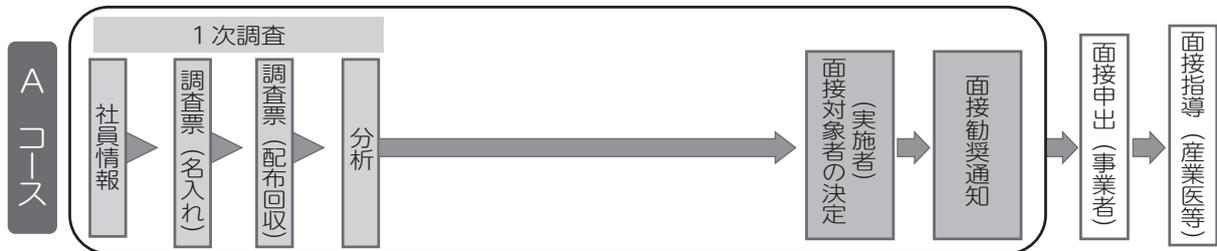
新規採用職員、新任管理職、メンタル不調で長期休暇を取得し職場復帰した職員、ストレスチェックで医師面接を申し出なかった職員など

3] 内容

(1) ストレスチェック

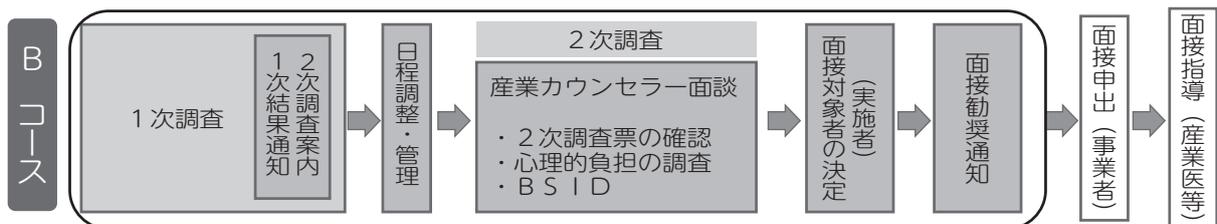
・ Aコース

職業性ストレス簡易調査票（57項目）を使用し、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルの評価基準に準拠した方法で高ストレス者を抽出する。



・ Bコース

職業性ストレス簡易調査票（57項目）の1次調査に加え、2次調査として1次調査における高ストレス者を対象に産業カウンセラーによる面談（補足的面談）を実施し、高ストレス者の絞り込み等を行う。



1) 高ストレス者を選定するための方法

①1次調査（労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルの評価基準に準拠）

- ・「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者
- ・「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する評価点の合計が高い者

②2次調査

- ・2調査票（勤務状況、心身ストレス反応の状況、生活習慣の状況等）
- ・BSID（うつ病の簡便な構造化面接法）及び心理的負担の状況等の調査を実施し、高ストレス者を抽出する。

2) 集団分析

①集団分析の目的

ストレスチェックのデータを基にした集団分析結果を提供し、各職場における業務改善や管理監督者向け研修等、職場環境の改善につなげる。

②実施内容

ストレスチェック制度実施マニュアルに基づく「仕事のストレス判定図」、「ストレスプロフィール評価」等を用いて集計分析し、職場ごとのストレス状態が把握できる集計表及びコメント・解説等を提供する。

3) 結果説明

各団体の安全衛生委員会や管理者向け説明会等に参加し、結果の説明や解説を行う。

2 実施状況

1] ストレスチェック

表1 業種別実施状況

業種別	団体数	対象者数	有効回答者数 (%)	高ストレス者数 (%)	高ストレス率 (%)			総合健康リスク*			
					3年度	4年度	5年度	3年度	4年度	5年度	6年度
公務員	20	8,295	8,056 (97.1)	821 (10.2)	(8.9)	(10.5)	(9.7)	83	85	86	85
教育	25	8,607	8,315 (96.6)	780 (9.4)	(9.2)	(9.7)	(10.2)	90	90	91	90
医療	12	6,933	5,922 (85.4)	870 (14.7)	(15.8)	(15.6)	(15.2)	101	99	100	100
農業団体	9	3,194	2,943 (92.1)	406 (13.8)	(14.2)	(14.7)	(14.9)	93	94	92	91
製造等	37	4,982	4,549 (91.3)	846 (18.6)	(18.8)	(18.5)	(17.9)	111	108	109	108
福祉	25	2,987	2,783 (93.2)	426 (15.3)	(15.0)	(14.6)	(14.5)	98	98	103	103
その他	46	3,693	3,283 (88.9)	489 (14.9)	(14.7)	(14.6)	(14.1)	99	96	99	97
総数	174	38,691	35,851 (92.7)	4,638 (12.9)	(12.7)	(13.2)	(12.9)	94	94	95	95

*仕事のストレス要因から予想される健康問題のリスクを標準集団の平均を100として現した数値

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
有効回答者数	35,571	35,088	36,085	35,101	35,851
高ストレス者率 (%)	11.9	12.7	13.2	12.9	12.9
総合健康リスク	92	94	94	95	95

表2 性・年齢別実施状況

	対象者数	有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)		
男	29歳以下	2,711	2,508	(92.5)	311	(12.4)
	30～39歳	4,119	3,774	(91.6)	606	(16.1)
	40～49歳	4,215	3,919	(93.0)	644	(16.4)
	50歳以上	8,220	7,602	(92.5)	785	(10.3)
	計	19,265	17,803	(92.4)	2,346	(13.2)
女	29歳以下	3,519	3,277	(93.1)	442	(13.5)
	30～39歳	3,703	3,390	(91.5)	499	(14.7)
	40～49歳	4,538	4,267	(94.0)	582	(13.6)
	50歳以上	7,666	7,114	(92.8)	769	(10.8)
	計	19,426	18,048	(92.9)	2,292	(12.7)
総数	38,691	35,851	(92.7)	4,638	(12.9)	

表3 Aコース実施状況

	対象者数	1次調査				
		有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)		
男	29歳以下	1,958	1,771	(90.4)	248	(14.0)
	30～39歳	2,676	2,364	(88.3)	443	(18.7)
	40～49歳	3,029	2,760	(91.1)	506	(18.3)
	50歳以上	5,505	5,008	(91.0)	593	(11.8)
	計	13,168	11,903	(90.4)	1,790	(15.0)
女	29歳以下	2,608	2,392	(91.7)	355	(14.8)
	30～39歳	2,493	2,209	(88.6)	370	(16.7)
	40～49歳	2,975	2,755	(92.6)	423	(15.4)
	50歳以上	5,008	4,560	(91.1)	553	(12.1)
	計	13,084	11,916	(91.1)	1,701	(14.3)
総数	26,252	23,819	(90.7)	3,491	(14.7)	

表4 Bコース実施状況

	対象者数	1次調査				2次調査				
		有効回答者数 (%)		高ストレス者数 (%)		実施者数 (%)				
男	29歳以下	753	737	(97.9)	63	(8.5)	32	(50.8)	17	(53.1)
	30～39歳	1,443	1,410	(97.7)	163	(11.6)	62	(38.0)	45	(72.6)
	40～49歳	1,186	1,159	(97.7)	138	(11.9)	66	(47.8)	47	(71.2)
	50歳以上	2,715	2,594	(95.5)	192	(7.4)	76	(39.6)	52	(68.4)
	計	6,097	5,900	(96.8)	556	(9.4)	236	(42.4)	161	(68.2)
女	29歳以下	911	885	(97.1)	87	(9.8)	43	(49.4)	25	(58.1)
	30～39歳	1,210	1,181	(97.6)	129	(10.9)	66	(51.2)	52	(78.8)
	40～49歳	1,563	1,512	(96.7)	159	(10.5)	82	(51.6)	54	(65.9)
	50歳以上	2,658	2,554	(96.1)	216	(8.5)	115	(53.2)	75	(65.2)
	計	6,342	6,132	(96.7)	591	(9.6)	306	(51.8)	206	(67.3)
総数	12,439	12,032	(96.7)	1,147	(9.5)	542	(47.3)	367	(67.7)	

表5 集団分析実施状況

	団 体 数	実 施 数 (%)
総 数	174	119 (68.3)

表6 結果説明会等の実施状況

業 種	団 体 数	回 数
公 務 員	11	14
医 療	3	4
製 造 業	4	6
そ の 他	4	4
総 数	22	28

2] ストレスチェックフォローアップ面談・カウンセリング・教育研修

表1 ストレスチェックフォローアップ面談の実施状況

業 種	団 体 数	人 数	日 数
農 業 団 体	1	11	3
製 造 業	1	5	2
総 数	2	16	5

表2 定期カウンセリングの実施状況

業 種	団 体 数	人 数	日 数
公 務 員	10	396	107
医 療	3	52	34
製 造 業	3	133	55
そ の 他	3	51	25
総 数	19	632	221

表3 教育研修の実施状況

内 容	団 体 数	回 数	人 数
ラインケア研修	1	1	33
セルフケア研修	8	11	165
目的別研修	4	16	404
総 数	13	28	602

3

ハラスメント防止支援

1 概要

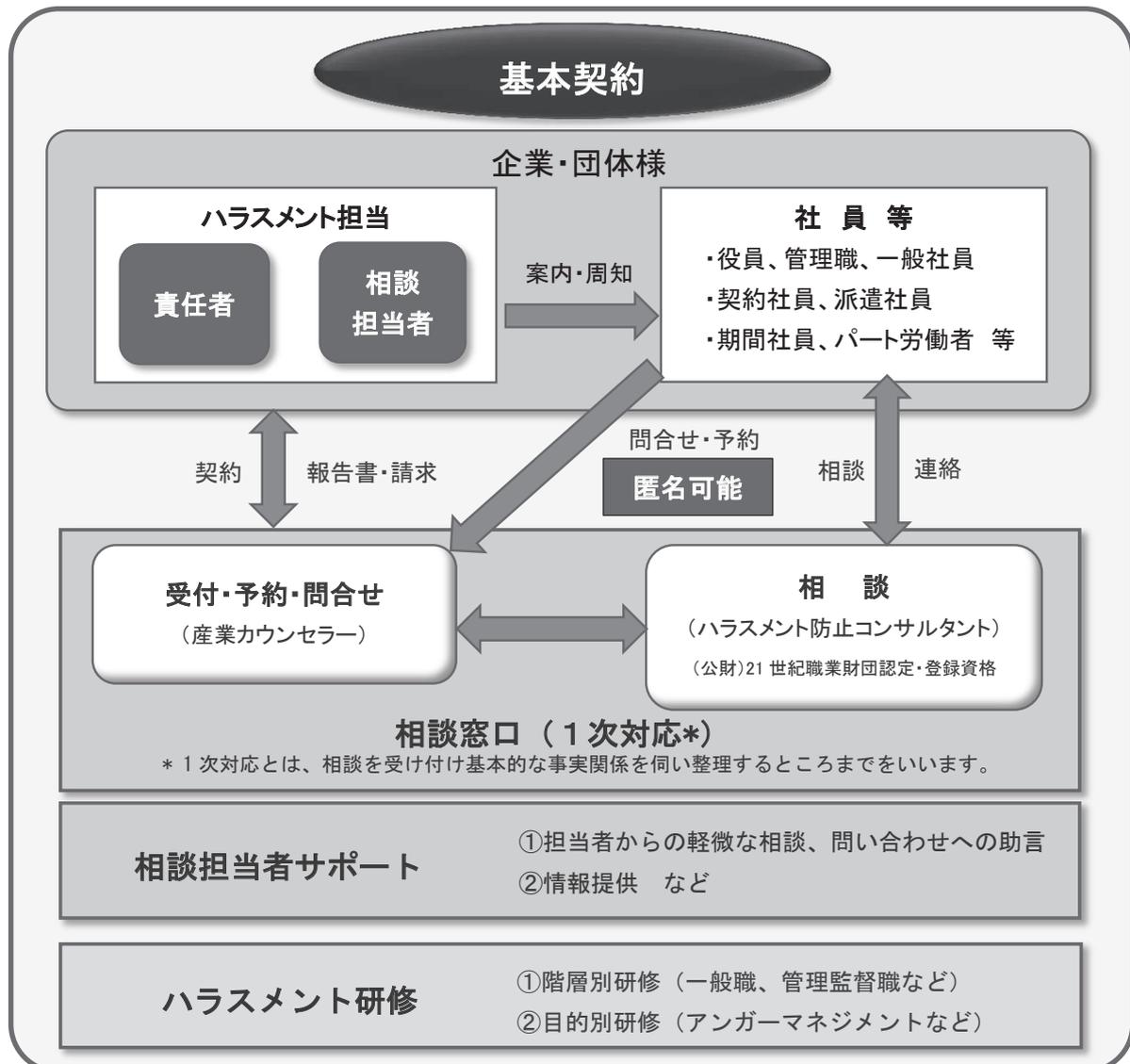
1] 目的

企業等におけるパワハラ防止措置の義務化に伴い、ハラスメント相談体制や研修、再発防止策等の充実が事業主に求められた。一方、対応にあたる企業担当者のスキル及び経験不足等により、必要な相談機能が伴わないケースも想定される。そこでハラスメント防止の専門家による社外相談窓口「ハラスメント相談ほっとライン」を開設し、相談対応、ハラスメント防止対策構築、ハラスメント事案解決、研修、当事者のケア等に対応し、企業等におけるハラスメント対策及びメンタルヘルス対策の充実に資することを目的とする。

2] 対象

契約企業等の従業員（経営層・管理者からの相談も可）

3] 内容



- ・相談申込の受付、予約、問合せ
「ハラスメント相談申込シート」を使用し、電話またはメールで相談申込を受け付ける。匿名での申込みも可能とする。
- ・ハラスメント相談(1次対応)
[相談申込者] メール、電話、Zoom、LINE、対面によりハラスメント防止コンサルタント(公益財団法人21世紀職業財団認定・登録)が相談業務を行う。
[相談担当者] 企業等の担当者や責任者からの相談対応及び問い合わせへの助言を行う。
- ・ハラスメント研修

2 実施状況

1] ハラスメント相談ほっとライン

業 種	団 体 数
公 務 員	5
医 療	2
そ の 他	2
総 数	9

2] 教育研修・セミナー

表1 教育研修の実施状況

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公 務 員	7	19	719
公務員 (VTR) *	1	-	1,067
医 療	1	1	28
医 療 (VTR) *	1	-	433
そ の 他	6	16	421
総 数	16	36	2,668

*7分3本 2～3ヵ月間視聴

表2 相談担当者セミナーの実施状況

基礎編

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公務員他	8	1	16

実践編

業 種	団 体 数	回 数	人 数
公務員他	8	1	16

4

特殊健康診断

1 概要

1] 目的

有害作業因子による健康障害（職業病）の早期発見と対処

2] 健診内容

特殊健康診断は、特定の有害業務に従事する労働者を対象に、労働安全衛生法及びじん肺法に基づき実施が義務づけられている検査項目を基本としている。

3] 判定方法

判定区分は「所見あり」「所見なし」の2区分とした。

「所見あり」には既往歴あり、自覚症状あり、検査所見が含まれる。

最終判定は、事業場の産業医等が作業環境等を含めて総合的に判断する。

2 実施状況

	受診団体数	受診者数	判定区分		
			所見なし	所見あり	
法定項目	じん肺	58	593	489	104
	有機溶剤	88	4,215	4,115	100
	鉛	17	563	562	1
	石綿	18	177	144	33
	電離放射線	32	3,658	2,376	1,282
	特定化学物質	86	5,915	5,326	589
行政指導項目	情報機器作業	20	657	189	468
	騒音	41	1,789	1,221	568
	有害光線	20	879	743	136
	引き金取扱従事者	10	156	113	43
	レーザー光線	14	280	231	49
	振動	9	175	81	94
総数		19,057	15,590	3,467	

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	15,549	18,688	19,539	17,556	19,057

5	骨粗しょう症検診
---	----------

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で音響的骨評価値を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351 ~ 2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158 ~ 2.427	2.158未満

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
男	19歳以下	1 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	25～29歳	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～34歳	7 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)
	35～39歳	4 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)
	40～44歳	4 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)
	45～49歳	6 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)
	50～54歳	12 (58.3)	1 (8.3)	4 (33.3)
	55～59歳	10 (50.0)	2 (20.0)	3 (30.0)
	60歳以上	43 (32.6)	20 (46.5)	9 (20.9)
計	92 (48.9)	28 (30.4)	19 (20.7)	
女	19歳以下	1 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	8 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)
	25～29歳	17 (76.5)	4 (23.5)	0 (0.0)
	30～34歳	6 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)
	35～39歳	11 (81.8)	2 (18.2)	0 (0.0)
	40～44歳	34 (85.3)	5 (14.7)	0 (0.0)
	45～49歳	59 (74.6)	15 (25.4)	0 (0.0)
	50～54歳	85 (70.6)	20 (23.5)	5 (5.9)
	55～59歳	98 (52.0)	35 (35.7)	12 (12.2)
	60歳以上	263 (23.6)	151 (57.4)	50 (19.0)
計	582 (47.9)	235 (40.4)	68 (11.7)	
総 数	674 (48.1)	263 (39.0)	87 (12.9)	

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	385	511	511	501	674
要精検率 (%)	16.4	13.1	13.9	15.6	12.9

6

結核検診

1 概要

1] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

2] 判定方法

呼吸器の専門医が二重読影を行い判定した。

なお、二重読影は第一、第二読影を独立して行った。

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
19歳以下	903	874 (96.8)	20 (2.2)	9 (1.0)
20～24歳	3,253	3,143 (96.6)	97 (3.0)	13 (0.4)
25～29歳	4,191	4,043 (96.5)	136 (3.2)	12 (0.3)
30～34歳	3,976	3,806 (95.7)	154 (3.9)	16 (0.4)
35～39歳	3,936	3,679 (93.5)	229 (5.8)	28 (0.7)
男 40～44歳	3,721	3,389 (91.1)	304 (8.2)	28 (0.8)
45～49歳	4,045	3,511 (86.8)	485 (12.0)	49 (1.2)
50～54歳	4,455	3,765 (84.5)	627 (14.1)	63 (1.4)
55～59歳	3,855	3,068 (79.6)	693 (18.0)	94 (2.4)
60歳以上	6,135	4,292 (70.0)	1,637 (26.7)	206 (3.4)
計	38,470	33,570 (87.3)	4,382 (11.4)	518 (1.3)
19歳以下	728	699 (96.0)	22 (3.0)	7 (1.0)
20～24歳	3,238	3,121 (96.4)	106 (3.3)	11 (0.3)
25～29歳	3,596	3,484 (96.9)	100 (2.8)	12 (0.3)
30～34歳	2,694	2,612 (97.0)	72 (2.7)	10 (0.4)
35～39歳	2,743	2,592 (94.5)	134 (4.9)	17 (0.6)
女 40～44歳	2,877	2,699 (93.8)	154 (5.4)	24 (0.8)
45～49歳	3,401	3,098 (91.1)	265 (7.8)	38 (1.1)
50～54歳	3,809	3,364 (88.3)	402 (10.6)	43 (1.1)
55～59歳	3,233	2,711 (83.9)	469 (14.5)	53 (1.6)
60歳以上	4,817	3,315 (68.8)	1,288 (26.7)	214 (4.4)
計	31,136	27,695 (88.9)	3,012 (9.7)	429 (1.4)
総数	69,606	61,265 (88.0)	7,394 (10.6)	947 (1.4)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	68,514	68,401	68,082	70,957	69,606
要精検率 (%)	1.6	1.3	1.6	1.5	1.4

7

その他の事業・検査

受診団体の依頼により、次の事業・検査を実施した。

1 腹部超音波検査

団体数	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
285	1,405	294 (20.9)	1,064 (75.7)	47 (3.3)

2 ペプシノゲン検査 (単独)

団体数	受診者数	異常認めず (%)	要精検 (%)
30	638	610 (95.6)	28 (4.4)

3 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査 (単独)

団体数	受診者数	異常認めず (%)	要精検 (%)
23	90	76 (84.4)	14 (15.6)

4 インフルエンザ予防接種

受診者数 3,132人

5 風しん抗体検査

受診者数 189人

※地域保健「5 その他の検査」参照

が ん 検 診

- 1 がん検診の概要
- 2 胃がん検診
- 3 胃がんリスク層別化検査
- 4 肺がん検診
- 5 大腸がん検診
- 6 子宮がん検診
- 7 乳がん検診
- 8 前立腺がん検診

1	がん検診の概要
---	---------

1 概 要

1] 出張型がん検診の検診項目及び検査方法

胃 が ん 検 診	胃 X線検査
胃がんリスク層別化検査	ペプシノゲン検査 ヘリコバクター・ピロリ抗体検査
肺 が ん 検 診	胸部 X線検査または胸部 CT 検査 高危険群に対する喀痰細胞診検査
大 腸 が ん 検 診	免疫学的便潜血検査
子 宮 頸 が ん 検 診	子宮頸部の細胞診検査 子宮頸部の細胞診検査・HPV-DNA 検査
子 宮 体 が ん 検 診	子宮体部の細胞診検査（個別医療機関方式のみ実施）
乳 が ん 検 診	マンモグラフィ・超音波検査
前 立 腺 が ん 検 診	前立腺特異抗原（PSA）検査

2] 判定区分

異常認めず	明らかな異常所見は認められませんでした。
精 検 不 要	わずかな所見が認められますが、精密検査の必要はありません。
要継続通院 ^{*1}	今後も医療機関での治療、通院を継続してください。
要 精 検	精密検査が必要な所見が認められます。医療機関を受診してください。
要再検査 ^{*2}	医療機関で再検査を受けられるようおすすめいたします。
判 定 不 能	撮影不良や標本不良などの原因で判定できませんでした。医療機関で再検査を受けられるようおすすめいたします。

^{*1}前立腺がん検診のみ

^{*2}喀痰細胞診検査のみ

2 実施状況

	地 域 検 診		職 域 検 診		総 数	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
胃 が ん 検 診	34,371	37,569	10,457	11,664	44,828	49,233
胃がんリスク層別化検査	3,693	3,508	3,886	4,033	7,579	7,541
肺 が ん 検 診	77,906	79,789	14,654	14,309	92,560	94,098
大 腸 が ん 検 診	75,314	76,845	24,199	24,450	99,513	101,295
子 宮 頸 が ん 検 診	41,171	37,029	3,549	3,631	44,720	40,660
子 宮 体 が ん 検 診	3,538	3,410	-	-	3,538	3,410
乳 が ん 検 診	50,809	48,952	4,965	5,004	55,774	53,956
前 立 腺 が ん 検 診	26,374	27,421	3,822	4,106	30,196	31,527

2 胃がん検診

1 概要

撮影方式	II DR方式またはFPD方式
撮影枚数	8枚（日本消化器がん検診学会が示す基準撮影法に準拠）
使用造影剤	硫酸バリウム 200W/V%、130cc
撮影技師	一般社団法人日本消化器がん検診学会認定胃がん検診専門技師
読影方法	二重読影及び比較読影
判定基準	「胃X線検診のための読影判定区分アトラス」に準拠
読影医	一般社団法人日本消化器がん検診学会認定医及び消化器専門医

2 実施状況

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地域	男	15,884	9,619 (60.6)	4,916 (30.9)	1,349 (8.5)
	女	18,487	12,224 (66.1)	5,294 (28.6)	969 (5.2)
職域	男	6,956	5,322 (76.5)	1,191 (17.1)	443 (6.4)
	女	3,501	2,719 (77.7)	654 (18.7)	128 (3.7)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	33,486	39,973	39,045	37,569	34,371
	要精検率 (%)	8.5	7.8	6.5	6.4	6.7
職域	受診者数	13,367	12,941	12,202	11,664	10,457
	要精検率 (%)	6.8	6.4	5.3	5.3	5.5

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)		胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 疾患	異常 認めず		
39歳以下	262	241 (92.0)	19 (7.3)	2 (0.8)	2 (100.0)				2		0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	813	695 (85.5)	97 (11.9)	21 (2.6)	13 (61.9)				10	3	0 (0.0)	8 (38.1)
45～49歳	1,041	865 (83.1)	137 (13.2)	39 (3.7)	26 (66.7)				21	5	0 (0.0)	13 (33.3)
50～54歳	1,159	909 (78.4)	199 (17.2)	51 (4.4)	36 (70.6)				33	3	4 (7.8)	11 (21.6)
55～59歳	1,130	850 (75.2)	216 (19.1)	64 (5.7)	48 (75.0)				40	8	2 (3.1)	14 (21.9)
男 60～64歳	1,585	1,060 (66.9)	415 (26.2)	110 (6.9)	89 (80.9)	1			78	10	2 (1.8)	19 (17.3)
65～69歳	3,140	1,823 (58.1)	1,010 (32.2)	307 (9.8)	245 (79.8)	1	2	4	212	26	14 (4.6)	48 (15.6)
70～74歳	3,841	1,910 (49.7)	1,533 (39.9)	398 (10.4)	321 (80.7)	6	2	5	271	37	21 (5.3)	56 (14.1)
75～79歳	2,658	1,159 (43.6)	1,178 (44.3)	321 (12.1)	271 (84.4)	6	5	8	223	29	13 (4.0)	37 (11.5)
80歳以上	255	107 (42.0)	112 (43.9)	36 (14.1)	30 (83.3)				29	1	1 (2.8)	5 (13.9)
計	15,884	9,619 (60.6)	4,916 (30.9)	1,349 (8.5)	1,081 (80.1)	14	9	17	919	122	57 (4.2)	211 (15.6)
39歳以下	402	367 (91.3)	25 (6.2)	10 (2.5)	8 (80.0)				7	1	1 (10.0)	1 (10.0)
40～44歳	1,451	1,251 (86.2)	170 (11.7)	30 (2.1)	26 (86.7)				19	7	0 (0.0)	4 (13.3)
45～49歳	1,834	1,483 (80.9)	303 (16.5)	48 (2.6)	35 (72.9)			1	25	9	2 (4.2)	11 (22.9)
50～54歳	1,953	1,551 (79.4)	335 (17.2)	67 (3.4)	55 (82.1)				44	11	1 (1.5)	11 (16.4)
55～59歳	1,889	1,374 (72.7)	441 (23.3)	74 (3.9)	62 (83.8)	1			53	8	3 (4.1)	9 (12.2)
女 60～64歳	2,305	1,569 (68.1)	624 (27.1)	112 (4.9)	103 (92.0)				88	15	2 (1.8)	7 (6.3)
65～69歳	3,184	1,835 (57.6)	1,143 (35.9)	206 (6.5)	191 (92.7)	1	2		167	21	2 (1.0)	13 (6.3)
70～74歳	3,380	1,785 (52.8)	1,352 (40.0)	243 (7.2)	221 (90.9)	5	2		182	32	3 (1.2)	19 (7.8)
75～79歳	1,981	955 (48.2)	856 (43.2)	170 (8.6)	155 (91.2)	1	1		134	19	1 (0.6)	14 (8.2)
80歳以上	108	54 (50.0)	45 (41.7)	9 (8.3)	8 (88.9)				5	3	0 (0.0)	1 (11.1)
計	18,487	12,224 (66.1)	5,294 (28.6)	969 (5.2)	864 (89.2)	8	5	1	724	126	15 (1.5)	90 (9.3)
総数	34,371	21,843 (63.6)	10,210 (29.7)	2,318 (6.7)	1,945 (83.9)	22	14	18	1,643	248	72 (3.1)	301 (13.0)

表2 市町別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
		異常認めず (%)	精検不要(%)	要精検(%)		胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
宇都宮市	1,477	944 (63.9)	431 (29.2)	102 (6.9)	76 (74.5)		1	2	66	7	0 (0.0)	26 (25.5)
足利市	2,225	1,308 (58.8)	776 (34.9)	141 (6.3)	125 (88.7)	2	1		101	21	0 (0.0)	16 (11.3)
栃木市	4,600	2,946 (64.0)	1,360 (29.6)	294 (6.4)	247 (84.0)	2	1	1	214	29	9 (3.1)	38 (12.9)
鹿沼市	1,716	1,137 (66.3)	453 (26.4)	126 (7.3)	104 (82.5)		1		95	8	0 (0.0)	22 (17.5)
小山市	5,120	3,377 (66.0)	1,434 (28.0)	309 (6.0)	268 (86.7)	1	1	4	218	44	16 (5.2)	25 (8.1)
大田原市	3,304	2,115 (64.0)	952 (28.8)	237 (7.2)	192 (81.0)	3		1	167	21	8 (3.4)	37 (15.6)
矢板市	1,295	780 (60.2)	426 (32.9)	89 (6.9)	76 (85.4)		2	1	62	11	3 (3.4)	10 (11.2)
那須塩原市	3,618	2,331 (64.4)	1,052 (29.1)	235 (6.5)	195 (83.0)	4	2	2	172	15	0 (0.0)	40 (17.0)
さくら市	2,337	1,516 (64.9)	624 (26.7)	197 (8.4)	173 (87.8)	2	1	3	155	12	9 (4.6)	15 (7.6)
那須烏山市	913	553 (60.6)	294 (32.2)	66 (7.2)	58 (87.9)		3	1	41	13	3 (4.5)	5 (7.6)
下野市	2,763	1,860 (67.3)	743 (26.9)	160 (5.8)	133 (83.1)	2		1	111	19	8 (5.0)	19 (11.9)
益子町	1,034	557 (53.9)	391 (37.8)	86 (8.3)	79 (91.9)				67	12	1 (1.2)	6 (7.0)
茂木町	775	434 (56.0)	286 (36.9)	55 (7.1)	46 (83.6)	2			39	5	0 (0.0)	9 (16.4)
芳賀町	892	537 (60.2)	284 (31.8)	71 (8.0)	63 (88.7)	3		1	44	15	4 (5.6)	4 (5.6)
野木町	1,182	814 (68.9)	300 (25.4)	68 (5.8)	53 (77.9)	1			42	10	7 (10.3)	8 (11.8)
塩谷町	452	252 (55.8)	172 (38.1)	28 (6.2)	22 (78.6)				17	5	4 (14.3)	2 (7.1)
那珂川町	668	382 (57.2)	232 (34.7)	54 (8.1)	35 (64.8)		1	1	32	1	0 (0.0)	19 (35.2)
総数	34,371	21,843 (63.6)	10,210 (29.7)	2,318 (6.7)	1,945 (83.9)	22	14	18	1,643	248	72 (3.1)	301 (13.0)

表3 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)	要精検(%)
29歳以下	123	112 (91.1)	6 (4.9)	5 (4.1)
30～34歳	320	286 (89.4)	26 (8.1)	8 (2.5)
35～39歳	767	689 (89.8)	54 (7.0)	24 (3.1)
40～44歳	867	739 (85.2)	95 (11.0)	33 (3.8)
45～49歳	1,024	841 (82.1)	150 (14.6)	33 (3.2)
男 50～54歳	1,354	1,034 (76.4)	236 (17.4)	84 (6.2)
55～59歳	1,108	801 (72.3)	220 (19.9)	87 (7.9)
60～64歳	803	511 (63.6)	228 (28.4)	64 (8.0)
65～69歳	399	223 (55.9)	110 (27.6)	66 (16.5)
70歳以上	191	86 (45.0)	66 (34.6)	39 (20.4)
計	6,956	5,322 (76.5)	1,191 (17.1)	443 (6.4)
29歳以下	63	62 (98.4)	1 (1.6)	0 (0.0)
30～34歳	143	125 (87.4)	15 (10.5)	3 (2.1)
35～39歳	419	367 (87.6)	44 (10.5)	8 (1.9)
40～44歳	469	391 (83.4)	64 (13.6)	14 (3.0)
45～49歳	580	474 (81.7)	88 (15.2)	18 (3.1)
女 50～54歳	693	531 (76.6)	137 (19.8)	25 (3.6)
55～59歳	547	395 (72.2)	130 (23.8)	22 (4.0)
60～64歳	377	262 (69.5)	96 (25.5)	19 (5.0)
65～69歳	163	88 (54.0)	59 (36.2)	16 (9.8)
70歳以上	47	24 (51.1)	20 (42.6)	3 (6.4)
計	3,501	2,719 (77.7)	654 (18.7)	128 (3.7)
総数	10,457	8,041 (76.9)	1,845 (17.6)	571 (5.5)

3

胃がんリスク層別化検査

1 概要

1] 検査方法

【ペプシノゲン】

検査装置	JCA-BM9130
検査方法	ラテックス凝集免疫比濁法
判定基準	陽性：PGI 70.0ng/mL以下 かつ PG I / II比 3.0以下 認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構による『胃がんリスク層別化（ABC検診）』に準拠

【ヘリコバクター・ピロリ抗体】

検査装置	JCA-BM9130
検査方法	ラテックス凝集免疫比濁法
判定基準	陽性：5.0U/mL以上 認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構による『胃がんリスク層別化（ABC検診）』に準拠

2] 判定区分 上記両検査結果から、A群～D群の群別に判定を行う

	異常認めず		要二次検査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	-	-	+	+
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	-	+	+	-

2 実施状況

			受診者数	異常認めず (%)	要二次検査 (%)
地域	男		1,330	1,058 (79.5)	272 (20.5)
	女		2,363	1,938 (82.0)	425 (18.0)
職域	男		1,535	1,313 (85.5)	222 (14.5)
	女		2,351	1,885 (80.2)	466 (19.8)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	2,758	3,704	3,781	3,508	3,693
	要二次検査率 (%)	20.0	21.6	20.4	18.4	18.9
職域	受診者数	2,360	4,886	3,493	4,033	3,886
	要二次検査率 (%)	14.7	18.9	16.7	14.8	17.7

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳								二次検査結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%) (A群)		要二次検査(%)	二次検査 受診者数(%)			胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認 め ず			
		B群(%)	C群(%)		D群(%)										
39歳以下	93	76 (81.7)	17 (18.3)	14 (15.1)	3 (3.2)	0 (0.0)	12 (70.6)				12	0 (0.0)	5 (29.4)		
40～44歳	144	123 (85.4)	21 (14.6)	14 (9.7)	5 (3.5)	2 (1.4)	10 (47.6)				7	3	4 (19.0)	7 (33.3)	
45～49歳	150	129 (86.0)	21 (14.0)	13 (8.7)	8 (5.3)	0 (0.0)	14 (66.7)				13	1	1 (4.8)	6 (28.6)	
50～54歳	140	111 (79.3)	29 (20.7)	20 (14.3)	7 (5.0)	2 (1.4)	22 (75.9)				19	3	1 (3.4)	6 (20.7)	
55～59歳	130	118 (90.8)	12 (9.2)	7 (5.4)	3 (2.3)	2 (1.5)	8 (66.7)				6	2	0 (0.0)	4 (33.3)	
男 60～64歳	159	133 (83.6)	26 (16.4)	14 (8.8)	10 (6.3)	2 (1.3)	14 (53.8)	1			11	2	3 (11.5)	9 (34.6)	
65～69歳	276	201 (72.8)	75 (27.2)	45 (16.3)	24 (8.7)	6 (2.2)	51 (68.0)		1	1	45	4	8 (10.7)	16 (21.3)	
70～74歳	228	162 (71.1)	66 (28.9)	34 (14.9)	25 (11.0)	7 (3.1)	43 (65.2)	1	1		38	3	3 (4.5)	20 (30.3)	
75～79歳	10	5 (50.0)	5 (50.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	3 (60.0)				3		0 (0.0)	2 (40.0)	
計	1,330	1,058 (79.5)	272 (20.5)	165 (12.4)	86 (6.5)	21 (1.6)	177 (65.1)	2	2	1	154	18	20 (7.4)	75 (27.6)	
39歳以下	218	176 (80.7)	42 (19.3)	28 (12.8)	11 (5.0)	3 (1.4)	33 (78.6)				26	7	0 (0.0)	9 (21.4)	
40～44歳	420	352 (83.8)	68 (16.2)	46 (11.0)	19 (4.5)	3 (0.7)	50 (73.5)				45	5	6 (8.8)	12 (17.6)	
45～49歳	338	290 (85.8)	48 (14.2)	33 (9.8)	13 (3.8)	2 (0.6)	36 (75.0)				31	5	2 (4.2)	10 (20.8)	
50～54歳	296	255 (86.1)	41 (13.9)	35 (11.8)	3 (1.0)	3 (1.0)	33 (80.5)				26	7	0 (0.0)	8 (19.5)	
55～59歳	238	196 (82.4)	42 (17.6)	22 (9.2)	17 (7.1)	3 (1.3)	32 (76.2)	1			26	5	2 (4.8)	8 (19.0)	
女 60～64歳	288	236 (81.9)	52 (18.1)	26 (9.0)	21 (7.3)	5 (1.7)	39 (75.0)			1	35	3	3 (5.8)	10 (19.2)	
65～69歳	325	243 (74.8)	82 (25.2)	34 (10.5)	35 (10.8)	13 (4.0)	60 (73.2)				54	6	4 (4.9)	18 (22.0)	
70～74歳	230	183 (79.6)	47 (20.4)	24 (10.4)	17 (7.4)	6 (2.6)	34 (72.3)				34		0 (0.0)	13 (27.7)	
75～79歳	10	7 (70.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	3 (100.0)				3		0 (0.0)	0 (0.0)	
計	2,363	1,938 (82.0)	425 (18.0)	249 (10.5)	137 (5.8)	39 (1.7)	320 (75.3)	1	0	1	280	38	17 (4.0)	88 (20.7)	
総 数	3,693	2,996 (81.1)	697 (18.9)	414 (11.2)	223 (6.0)	60 (1.6)	497 (71.3)	3	2	2	434	56	37 (5.3)	163 (23.4)	

表2 市町別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳								二次検査結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%) (A群)		要二次検査(%)	二次検査 受診者数(%)			胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認 め ず			
		B群(%)	C群(%)		D群(%)										
鹿沼市	112	86 (76.8)	26 (23.2)	17 (15.2)	7 (6.3)	2 (1.8)	22 (84.6)				21	1	0 (0.0)	4 (15.4)	
栃木市	522	414 (79.3)	108 (20.7)	66 (12.6)	31 (5.9)	11 (2.1)	68 (63.0)				55	13	10 (9.3)	30 (27.8)	
小山市	657	545 (83.0)	112 (17.0)	69 (10.5)	33 (5.0)	10 (1.5)	84 (75.0)	1			67	16	6 (5.4)	22 (19.6)	
大田原市	297	225 (75.8)	72 (24.2)	43 (14.5)	27 (9.1)	2 (0.7)	43 (59.7)				41	2	4 (5.6)	25 (34.7)	
矢板市	226	187 (82.7)	39 (17.3)	25 (11.1)	11 (4.9)	3 (1.3)	33 (84.6)		1		28	4	1 (2.6)	5 (12.8)	
那須塩原市	779	655 (84.1)	124 (15.9)	73 (9.4)	39 (5.0)	12 (1.5)	87 (70.2)	1		1	73	12	0 (0.0)	37 (29.8)	
さくら市	553	445 (80.5)	108 (19.5)	52 (9.4)	45 (8.1)	11 (2.0)	84 (77.8)			1	80	3	12 (11.1)	12 (11.1)	
下野市	303	252 (83.2)	51 (16.8)	34 (11.2)	13 (4.3)	4 (1.3)	41 (80.4)				38	3	1 (2.0)	9 (17.6)	
野木町	131	107 (81.7)	24 (18.3)	16 (12.2)	6 (4.6)	2 (1.5)	20 (83.3)	1			18	1	1 (4.2)	3 (12.5)	
塩谷町	51	40 (78.4)	11 (21.6)	7 (13.7)	3 (5.9)	1 (2.0)	6 (54.5)				6		2 (18.2)	3 (27.3)	
那珂川町	62	40 (64.5)	22 (35.5)	12 (19.4)	8 (12.9)	2 (3.2)	9 (40.9)	1			7	1	0 (0.0)	13 (59.1)	
総 数	3,693	2,996 (81.1)	697 (18.9)	414 (11.2)	223 (6.0)	60 (1.6)	497 (71.3)	3	2	2	434	56	37 (5.3)	163 (23.4)	

表3 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判 定 内 訳									
		異常認めず (%) (A群)		要二次検査 (%)		B群 (%)		C群 (%)		D群 (%)	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
29歳以下	384	353	(91.9)	31	(8.1)	28	(7.3)	0	(0.0)	3	(0.8)
30～34歳	223	191	(85.7)	32	(14.3)	30	(13.5)	1	(0.4)	1	(0.4)
35～39歳	251	219	(87.3)	32	(12.7)	28	(11.2)	3	(1.2)	1	(0.4)
40～44歳	118	100	(84.7)	18	(15.3)	15	(12.7)	2	(1.7)	1	(0.8)
45～49歳	142	115	(81.0)	27	(19.0)	17	(12.0)	4	(2.8)	6	(4.2)
男 50～54歳	136	114	(83.8)	22	(16.2)	19	(14.0)	3	(2.2)	0	(0.0)
55～59歳	77	64	(83.1)	13	(16.9)	11	(14.3)	2	(2.6)	0	(0.0)
60～64歳	98	75	(76.5)	23	(23.5)	16	(16.3)	5	(5.1)	2	(2.0)
65～69歳	72	58	(80.6)	14	(19.4)	8	(11.1)	4	(5.6)	2	(2.8)
70歳以上	34	24	(70.6)	10	(29.4)	8	(23.5)	1	(2.9)	1	(2.9)
計	1,535	1,313	(85.5)	222	(14.5)	180	(11.7)	25	(1.6)	17	(1.1)
29歳以下	353	288	(81.6)	65	(18.4)	60	(17.0)	1	(0.3)	4	(1.1)
30～34歳	252	202	(80.2)	50	(19.8)	44	(17.5)	3	(1.2)	3	(1.2)
35～39歳	304	251	(82.6)	53	(17.4)	40	(13.2)	8	(2.6)	5	(1.6)
40～44歳	342	278	(81.3)	64	(18.7)	54	(15.8)	8	(2.3)	2	(0.6)
45～49歳	308	243	(78.9)	65	(21.1)	49	(15.9)	8	(2.6)	8	(2.6)
女 50～54歳	243	184	(75.7)	59	(24.3)	49	(20.2)	8	(3.3)	2	(0.8)
55～59歳	227	188	(82.8)	39	(17.2)	29	(12.8)	4	(1.8)	6	(2.6)
60～64歳	182	147	(80.8)	35	(19.2)	22	(12.1)	8	(4.4)	5	(2.7)
65～69歳	101	77	(76.2)	24	(23.8)	16	(15.8)	7	(6.9)	1	(1.0)
70歳以上	39	27	(69.2)	12	(30.8)	8	(20.5)	4	(10.3)	0	(0.0)
計	2,351	1,885	(80.2)	466	(19.8)	371	(15.8)	59	(2.5)	36	(1.5)
総 数	3,886	3,198	(82.3)	688	(17.7)	551	(14.2)	84	(2.2)	53	(1.4)

4	肺がん検診
---	-------

1 概要

【胸部X線】

撮 影 方 式	FPD方式
撮 影 枚 数	背腹1方向、または背腹・側面2方向
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分』に準拠
読 影 医	呼吸器専門医

【胸部CT】

撮 影 装 置	Alexion
撮 影 方 式	5mmスライス 30mA 120kV
撮 影 枚 数	60枚前後
読 影 方 法	二重読影及び比較読影
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん低線量CT検査の判定基準と指導区分』に準拠
読 影 医	呼吸器専門医、肺がんCT検診認定医

【喀痰細胞診】

検 査 方 法	3日連続蓄痰
処 理 方 法	擦合せ2枚法、パパニコロウ染色
従 事 技 師	公益社団法人日本臨床細胞学会認定細胞検査士
判 定 方 法	細胞所見に基づき、判定を行う。細胞診検査後、C判定以上の場合は細胞診専門医が最終的な判定を行う。
判 定 基 準	肺癌取扱い規約『肺がん検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分』に準拠
判 定 医	公益社団法人日本臨床細胞学会認定専門医

2 実施状況

【胸部X線および胸部CT】

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地 域	男	32,137	18,625 (58.0)	12,275 (38.2)	1,237 (3.8)
	女	45,769	29,827 (65.2)	14,596 (31.9)	1,346 (2.9)
職 域	男	8,208	6,871 (83.7)	1,193 (14.5)	144 (1.8)
	女	6,446	5,648 (87.6)	708 (11.0)	90 (1.4)

【喀痰細胞診】 喀痰細胞診は原則、胸部X線又は胸部CTとの併用検査である為、前頁の受診者数に含まれる

		受診者数	異常認めず (%)	要再検査 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)
地域	男	1,127	1,109 (98.4)	15 (1.3)	0 (0.0)	3 (0.3)
	女	118	118 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
職域	男	154	153 (99.4)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	29	29 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	61,521	75,996	78,489	79,789	77,906
	要精検率 (%)	3.4	3.0	3.5	3.4	3.3
職域	受診者数	5,531	5,645	5,568	14,309	14,654
	要精検率 (%)	1.0	1.1	1.3	1.7	1.6

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	喀痰細胞診 受診者数	要精検者数 (%)	要精検内訳		精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)
				X線・CT	喀痰		原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
39歳以下	437	0	4 (0.9)	4	-	3 (75.0)				3	0 (0.0)	1 (25.0)
40～44歳	1,148	0	13 (1.1)	13	-	12 (92.3)		2	4	6	0 (0.0)	1 (7.7)
45～49歳	1,416	1	20 (1.4)	20	0	16 (80.0)			7	9	0 (0.0)	4 (20.0)
50～54歳	1,588	52	27 (1.7)	27	0	23 (85.2)			6	17	0 (0.0)	4 (14.8)
55～59歳	1,563	59	40 (2.6)	40	0	27 (67.5)		3	10	14	2 (5.0)	11 (27.5)
男 60～64歳	2,330	113	67 (2.9)	67	0	56 (83.6)		6	31	19	1 (1.5)	10 (14.9)
65～69歳	5,386	230	196 (3.6)	196	0	160 (81.6)		15	90	55	6 (3.1)	30 (15.3)
70～74歳	7,668	311	322 (4.2)	322	0	257 (79.8)	2	20	154	81	12 (3.7)	53 (16.5)
75～79歳	6,307	254	274 (4.3)	274	0	229 (83.6)	2	20	145	62	8 (2.9)	37 (13.5)
80歳以上	4,294	107	274 (6.4)	274	0	237 (86.5)		26	137	74	7 (2.6)	30 (10.9)
計	32,137	1,127	1,237 (3.8)	1,237	0	1,020 (82.5)	4	92	584	340	36 (2.9)	181 (14.6)
39歳以下	731	0	6 (0.8)	6	-	5 (83.3)			3	2	1 (16.7)	0 (0.0)
40～44歳	2,683	0	28 (1.0)	28	-	20 (71.4)		1	10	9	1 (3.6)	7 (25.0)
45～49歳	3,124	0	28 (0.9)	28	-	26 (92.9)			14	12	2 (7.1)	0 (0.0)
50～54歳	3,270	15	30 (0.9)	30	0	24 (80.0)			11	13	1 (3.3)	5 (16.7)
55～59歳	3,264	19	68 (2.1)	68	0	59 (86.8)		3	34	22	2 (2.9)	7 (10.3)
女 60～64歳	4,504	8	108 (2.4)	108	0	99 (91.7)		8	51	40	2 (1.9)	7 (6.5)
65～69歳	7,557	21	238 (3.1)	238	0	218 (91.6)	3	9	130	76	4 (1.7)	16 (6.7)
70～74歳	9,712	26	321 (3.3)	321	0	286 (89.1)	2	17	151	116	3 (0.9)	32 (10.0)
75～79歳	7,011	16	312 (4.5)	312	0	290 (92.9)	1	18	155	116	6 (1.9)	16 (5.1)
80歳以上	3,913	13	207 (5.3)	207	0	177 (85.5)	3	17	88	69	2 (1.0)	28 (13.5)
計	45,769	118	1,346 (2.9)	1,346	0	1,204 (89.5)	9	73	647	475	24 (1.8)	118 (8.8)
総数	77,906	1,245	2,583 (3.3)	2,583	0	2,224 (86.1)	13	165	1,231	815	60 (2.3)	299 (11.6)

表2 性・年齢階級別実施状況（胸部X線のみ—地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳				精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異常認めず		
39歳以下	435	391 (89.9)	40 (9.2)	4 (0.9)		3 (75.0)				3	0 (0.0)	1 (25.0)
40~44歳	1,134	973 (85.8)	150 (13.2)	11 (1.0)		10 (90.9)		1	3	6	0 (0.0)	1 (9.1)
45~49歳	1,384	1,121 (81.0)	244 (17.6)	19 (1.4)		15 (78.9)				6	0 (0.0)	4 (21.1)
50~54歳	1,493	1,145 (76.7)	324 (21.7)	24 (1.6)		21 (87.5)				5	0 (0.0)	3 (12.5)
55~59歳	1,456	1,064 (73.1)	358 (24.6)	34 (2.3)		24 (70.6)		2	9	13	2 (5.9)	8 (23.5)
男 60~64歳	2,161	1,466 (67.8)	639 (29.6)	56 (2.6)		47 (83.9)		4	26	17	1 (1.8)	8 (14.3)
65~69歳	5,075	3,184 (62.7)	1,711 (33.7)	180 (3.5)		146 (81.1)		12	83	51	6 (3.3)	28 (15.6)
70~74歳	7,273	4,160 (57.2)	2,823 (38.8)	290 (4.0)		226 (77.9)	2	18	136	70	12 (4.1)	52 (17.9)
75~79歳	5,995	2,914 (48.6)	2,830 (47.2)	251 (4.2)		209 (83.3)	2	17	134	56	8 (3.2)	34 (13.5)
80歳以上	4,155	1,529 (36.8)	2,364 (56.9)	262 (6.3)		227 (86.6)		25	131	71	7 (2.7)	28 (10.7)
計	30,561	17,947 (58.7)	11,483 (37.6)	1,131 (3.7)		928 (82.1)	4	79	533	312	36 (3.2)	167 (14.8)
39歳以下	728	685 (94.1)	38 (5.2)	5 (0.7)		4 (80.0)				2	1 (20.0)	0 (0.0)
40~44歳	2,669	2,385 (89.4)	258 (9.7)	26 (1.0)		18 (69.2)		1	9	8	1 (3.8)	7 (26.9)
45~49歳	3,098	2,640 (85.2)	431 (13.9)	27 (0.9)		25 (92.6)				13	2 (7.4)	0 (0.0)
50~54歳	3,219	2,585 (80.3)	608 (18.9)	26 (0.8)		22 (84.6)				11	1 (3.8)	3 (11.5)
55~59歳	3,203	2,407 (75.1)	732 (22.9)	64 (2.0)		56 (87.5)		3	31	22	2 (3.1)	6 (9.4)
女 60~64歳	4,437	3,048 (68.7)	1,288 (29.0)	101 (2.3)		92 (91.1)		8	45	39	2 (2.0)	7 (6.9)
65~69歳	7,465	4,783 (64.1)	2,450 (32.8)	232 (3.1)		212 (91.4)	3	8	125	76	4 (1.7)	16 (6.9)
70~74歳	9,590	5,706 (59.5)	3,576 (37.3)	308 (3.2)		275 (89.3)	2	15	146	112	3 (1.0)	30 (9.7)
75~79歳	6,930	3,726 (53.8)	2,900 (41.8)	304 (4.4)		283 (93.1)	1	18	151	113	6 (2.0)	15 (4.9)
80歳以上	3,885	1,692 (43.6)	1,989 (51.2)	204 (5.3)		174 (85.3)	3	17	88	66	2 (1.0)	28 (13.7)
計	45,224	29,657 (65.6)	14,270 (31.6)	1,297 (2.9)		1,161 (89.5)	9	70	621	461	24 (1.9)	112 (8.6)
総数	75,785	47,604 (62.8)	25,753 (34.0)	2,428 (3.2)		2,089 (86.0)	13	149	1,154	773	60 (2.5)	279 (11.5)

表3 性・年齢階級別実施状況（胸部X線+喀痰細胞診—地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳				精検受診者数 (%)		精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)	
		異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			X線	喀痰	原発性肺がん	肺がん(疑)			その他の疾患
39歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~44歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45~49歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
50~54歳	50	42 (84.0)	0 (0.0)	8 (16.0)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
55~59歳	57	43 (75.4)	0 (0.0)	13 (22.8)	1 (1.8)	1	0	0 (0.0)				0 (0.0)	1 (100.0)	
男 60~64歳	111	65 (58.6)	2 (1.8)	40 (36.0)	4 (3.6)	4	0	3 (75.0)		1	1	1	0 (0.0)	1 (25.0)
65~69歳	227	121 (53.3)	3 (1.3)	96 (42.3)	7 (3.1)	7	0	6 (85.7)		1	2	3	0 (0.0)	1 (14.3)
70~74歳	308	135 (43.8)	2 (0.6)	153 (49.7)	18 (5.8)	18	0	18 (100.0)		1	7	10	0 (0.0)	0 (0.0)
75~79歳	252	98 (38.9)	0 (0.0)	138 (54.8)	16 (6.3)	16	0	13 (81.3)		2	8	3	0 (0.0)	3 (18.8)
80歳以上	106	31 (29.2)	0 (0.0)	68 (64.2)	7 (6.6)	7	0	5 (71.4)		1	4		0 (0.0)	2 (28.6)
計	1,112	536 (48.2)	7 (0.6)	516 (46.4)	53 (4.8)	53	0	45 (84.9)	0	6	22	17	0 (0.0)	8 (15.1)
39歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~44歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45~49歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50~54歳	15	12 (80.0)	0 (0.0)	3 (20.0)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
55~59歳	19	17 (89.5)	0 (0.0)	2 (10.5)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
女 60~64歳	8	7 (87.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
65~69歳	21	15 (71.4)	0 (0.0)	6 (28.6)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
70~74歳	26	12 (46.2)	0 (0.0)	12 (46.2)	2 (7.7)	2	0	1 (50.0)		1			0 (0.0)	1 (50.0)
75~79歳	16	4 (25.0)	0 (0.0)	12 (75.0)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	13	7 (53.8)	0 (0.0)	6 (46.2)	0 (0.0)	0	0	-	-	-	-	-	-	-
計	118	74 (62.7)	0 (0.0)	42 (35.6)	2 (1.7)	2	0	1 (50.0)	0	1	0	0	0 (0.0)	1 (50.0)
総数	1,230	610 (49.6)	7 (0.6)	558 (45.4)	55 (4.5)	55	0	46 (83.6)	0	7	22	17	0 (0.0)	9 (16.4)

表4 性・年齢階級別実施状況（胸部CTのみ—地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳				精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)			原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異常認めず		
39歳以下	2	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-
40~44歳	14	10 (71.4)	2 (14.3)	2 (14.3)	2 (14.3)	2 (100.0)	1	1	0	0 (0.0)	0 (0.0)	
45~49歳	31	14 (45.2)	16 (51.6)	1 (3.2)	1 (3.2)	1 (100.0)		1	0	0 (0.0)	0 (0.0)	
50~54歳	43	15 (34.9)	25 (58.1)	3 (7.0)	3 (7.0)	2 (66.7)		1	1	0 (0.0)	1 (33.3)	
55~59歳	48	22 (45.8)	21 (43.8)	5 (10.4)	5 (10.4)	3 (60.0)	1	1	1	0 (0.0)	2 (40.0)	
男 60~64歳	56	23 (41.1)	27 (48.2)	6 (10.7)	6 (10.7)	5 (83.3)		4	1	0 (0.0)	1 (16.7)	
65~69歳	81	19 (23.5)	54 (66.7)	8 (9.9)	8 (9.9)	7 (87.5)	2	4	1	0 (0.0)	1 (12.5)	
70~74歳	84	13 (15.5)	57 (67.9)	14 (16.7)	14 (16.7)	13 (92.9)	1	11	1	0 (0.0)	1 (7.1)	
75~79歳	58	15 (25.9)	36 (62.1)	7 (12.1)	7 (12.1)	7 (100.0)	1	3	3	0 (0.0)	0 (0.0)	
80歳以上	32	1 (3.1)	26 (81.3)	5 (15.6)	5 (15.6)	5 (100.0)		2	3	0 (0.0)	0 (0.0)	
計	449	134 (29.8)	264 (58.8)	51 (11.4)	51 (11.4)	45 (88.2)	0	6	28	11	0 (0.0)	6 (11.8)
39歳以下	3	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (100.0)		1		0	0 (0.0)	0 (0.0)
40~44歳	14	7 (50.0)	5 (35.7)	2 (14.3)	2 (14.3)	2 (100.0)		1	1	0	0 (0.0)	0 (0.0)
45~49歳	26	13 (50.0)	12 (46.2)	1 (3.8)	1 (3.8)	1 (100.0)		1		0	0 (0.0)	0 (0.0)
50~54歳	36	12 (33.3)	20 (55.6)	4 (11.1)	4 (11.1)	2 (50.0)			2	0	0 (0.0)	2 (50.0)
55~59歳	42	10 (23.8)	28 (66.7)	4 (9.5)	4 (9.5)	3 (75.0)		3		0	0 (0.0)	1 (25.0)
女 60~64歳	59	13 (22.0)	39 (66.1)	7 (11.9)	7 (11.9)	7 (100.0)		6	1	0	0 (0.0)	0 (0.0)
65~69歳	71	19 (26.8)	46 (64.8)	6 (8.5)	6 (8.5)	6 (100.0)	1	5		0	0 (0.0)	0 (0.0)
70~74歳	96	15 (15.6)	70 (72.9)	11 (11.5)	11 (11.5)	10 (90.9)	1	5	4	0	0 (0.0)	1 (9.1)
75~79歳	65	4 (6.2)	53 (81.5)	8 (12.3)	8 (12.3)	7 (87.5)		4	3	0	0 (0.0)	1 (12.5)
80歳以上	15	2 (13.3)	10 (66.7)	3 (20.0)	3 (20.0)	3 (100.0)			3	0	0 (0.0)	0 (0.0)
計	427	96 (22.5)	284 (66.5)	47 (11.0)	47 (11.0)	42 (89.4)	0	2	26	14	0 (0.0)	5 (10.6)
総数	876	230 (26.3)	548 (62.6)	98 (11.2)	98 (11.2)	87 (88.8)	0	8	54	25	0 (0.0)	11 (11.2)

表5 性・年齢階級別実施状況（胸部CT+喀痰細胞診—地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳				CT	喀痰	精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)
		異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)				原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異常認めず		
39歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~44歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45~49歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50~54歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55~59歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男 60~64歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	1	0	1 (100.0)		1		0 (0.0)	0 (0.0)	
65~69歳	3	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	1	0	1 (100.0)			1	0 (0.0)	0 (0.0)	
70~74歳	3	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75~79歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	1	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	15	1 (6.7)	0 (0.0)	12 (80.0)	2 (13.3)	2	0	2 (100.0)	0	1	1	0	0 (0.0)	0 (0.0)
39歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~44歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45~49歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50~54歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55~59歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女 60~64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65~69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70~74歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75~79歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	15	1 (6.7)	0 (0.0)	12 (80.0)	2 (13.3)	2	0	2 (100.0)	0	1	1	0	0 (0.0)	0 (0.0)

表6 市町別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	喀痰細胞診 受診者数	要精検者数 (%)	要精検内訳		精検受診者数 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
				X線・CT	喀痰		原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
宇都宮市	3,442	397	107 (3.1)	107	0	87 (81.3)		7	44	36	0 (0.0)	20 (18.7)
栃木市	11,516	181	382 (3.3)	382	0	344 (90.1)	2	27	198	117	11 (2.9)	27 (7.1)
鹿沼市	2,709	21	155 (5.7)	155	0	136 (87.7)		14	78	44	0 (0.0)	19 (12.3)
小山市	11,040	124	333 (3.0)	333	0	298 (89.5)	3	19	155	121	9 (2.7)	26 (7.8)
大田原市	8,826	100	256 (2.9)	256	0	217 (84.8)	3	19	120	75	10 (3.9)	29 (11.3)
矢板市	3,600	37	124 (3.4)	124	0	109 (87.9)		7	69	33	2 (1.6)	13 (10.5)
那須塩原市	7,588	94	214 (2.8)	214	0	174 (81.3)		12	108	54	1 (0.5)	39 (18.2)
さくら市	5,784	48	286 (4.9)	286	0	248 (86.7)	1	19	119	109	12 (4.2)	26 (9.1)
那須烏山市	2,228	28	91 (4.1)	91	0	78 (85.7)	1	9	35	33	4 (4.4)	9 (9.9)
下野市	4,807	30	120 (2.5)	120	0	106 (88.3)		7	57	42	1 (0.8)	13 (10.8)
益子町	2,777	34	86 (3.1)	86	0	78 (90.7)	1	5	49	23	0 (0.0)	8 (9.3)
茂木町	2,087	17	70 (3.4)	70	0	51 (72.9)		2	25	24	1 (1.4)	18 (25.7)
芳賀町	2,519	31	76 (3.0)	76	0	65 (85.5)		4	36	25	2 (2.6)	9 (11.8)
野木町	2,407	38	66 (2.7)	66	0	50 (75.8)		3	27	20	4 (6.1)	12 (18.2)
塩谷町	1,245	18	39 (3.1)	39	0	32 (82.1)		3	21	8	3 (7.7)	4 (10.3)
那珂川町	1,939	14	56 (2.9)	56	0	45 (80.4)		3	22	20	0 (0.0)	11 (19.6)
足利市	3,392	33	122 (3.6)	122	0	106 (86.9)	2	5	68	31	0 (0.0)	16 (13.1)
総 数	77,906	1,245	2,583 (3.3)	2,583	0	2,224 (86.1)	13	165	1,231	815	60 (2.3)	299 (11.6)

※ 胸部CTを用いた肺がん検診は鹿沼市のみ

表7 性・年齢階級別実施状況（職域検診）

	受診者数	喀痰細胞診 受診者数	判 定 内 訳							X線	喀 痰 細胞診
			異常認めず (%)	要再検査 (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)					
29歳以下	549	5	522 (95.1)	0 (0.0)	26 (4.7)	1 (0.2)	1	0			
30～34歳	503	8	473 (94.0)	0 (0.0)	25 (5.0)	5 (1.0)	5	0			
35～39歳	1,051	12	974 (92.7)	0 (0.0)	69 (6.6)	8 (0.8)	8	0			
40～44歳	1,027	17	926 (90.2)	0 (0.0)	91 (8.9)	10 (1.0)	10	0			
45～49歳	1,204	20	1,044 (86.7)	0 (0.0)	146 (12.1)	14 (1.2)	14	0			
男 50～54歳	1,282	23	1,071 (83.5)	0 (0.0)	185 (14.4)	26 (2.0)	26	0			
55～59歳	899	21	687 (76.4)	0 (0.0)	190 (21.1)	22 (2.4)	22	0			
60～64歳	801	24	586 (73.2)	0 (0.0)	196 (24.5)	19 (2.4)	19	0			
65～69歳	593	17	405 (68.3)	0 (0.0)	165 (27.8)	23 (3.9)	23	0			
70歳以上	299	7	183 (61.2)	0 (0.0)	100 (33.4)	16 (5.4)	16	0			
計	8,208	154	6,871 (83.7)	0 (0.0)	1,193 (14.5)	144 (1.8)	144	0			
29歳以下	588	1	565 (96.1)	0 (0.0)	20 (3.4)	3 (0.5)	3	0			
30～34歳	387	5	368 (95.1)	0 (0.0)	18 (4.7)	1 (0.3)	1	0			
35～39歳	733	2	695 (94.8)	0 (0.0)	33 (4.5)	5 (0.7)	5	0			
40～44歳	809	4	759 (93.8)	0 (0.0)	48 (5.9)	2 (0.2)	2	0			
45～49歳	998	5	900 (90.2)	0 (0.0)	89 (8.9)	9 (0.9)	9	0			
女 50～54歳	937	2	817 (87.2)	0 (0.0)	108 (11.5)	12 (1.3)	12	0			
55～59歳	836	6	698 (83.5)	0 (0.0)	124 (14.8)	14 (1.7)	14	0			
60～64歳	661	3	501 (75.8)	0 (0.0)	143 (21.6)	17 (2.6)	17	0			
65～69歳	360	1	258 (71.7)	0 (0.0)	83 (23.1)	19 (5.3)	19	0			
70歳以上	137	0	87 (63.5)	0 (0.0)	42 (30.7)	8 (5.8)	8	0			
計	6,446	29	5,648 (87.6)	0 (0.0)	708 (11.0)	90 (1.4)	90	0			
総 数	14,654	183	12,519 (85.4)	0 (0.0)	1,901 (13.0)	234 (1.6)	234	0			

表8 性・年齢階級別実施状況（地域検診）：「肺癌検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」準拠

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳					要精検者数(%) (E判定者数)	精検受診者数(%)	精検結果内訳				未受診(%)	未把握(%)	
		A	B	C	D	E			原発性肺がん	肺がん(疑)	その他の疾患	異常認めず			
男	39歳以下	435	0	391	40	2	2	2 (0.5)	2 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)
	40~44歳	1,134	0	973	150	2	9	9 (0.8)	8 (88.9)		1	3	4	0 (0.0)	1 (11.1)
	45~49歳	1,385	0	1,122	244	5	14	14 (1.0)	11 (78.6)			3	8	0 (0.0)	3 (21.4)
	50~54歳	1,543	0	1,187	332	6	18	18 (1.2)	15 (83.3)			3	12	0 (0.0)	3 (16.7)
	55~59歳	1,513	0	1,107	371	9	26	26 (1.7)	18 (69.2)		2	6	10	1 (3.8)	7 (26.9)
	60~64歳	2,272	0	1,533	679	18	42	42 (1.8)	35 (83.3)		5	19	11	0 (0.0)	7 (16.7)
	65~69歳	5,302	0	3,308	1,807	47	140	140 (2.6)	114 (81.4)			10	58	4 (2.9)	22 (15.7)
	70~74歳	7,581	0	4,297	2,976	119	189	189 (2.5)	151 (79.9)	2	15	81	53	6 (3.2)	32 (16.9)
	75~79歳	6,247	0	3,012	2,968	85	182	182 (2.9)	153 (84.1)	2	18	94	39	3 (1.6)	26 (14.3)
	80歳以上	4,261	0	1,560	2,432	99	170	170 (4.0)	149 (87.6)			22	76	4 (2.4)	17 (10.0)
	計	31,673	0	18,490	11,999	392	792	792 (2.5)	656 (82.8)	4	73	343	236	18 (2.3)	118 (14.9)
女	39歳以下	728	0	685	38	2	3	3 (0.4)	3 (100.0)			1	2	0 (0.0)	0 (0.0)
	40~44歳	2,669	0	2,385	258	11	15	15 (0.6)	13 (86.7)			8	5	0 (0.0)	2 (13.3)
	45~49歳	3,098	0	2,640	431	13	14	14 (0.5)	14 (100.0)			7	7	0 (0.0)	0 (0.0)
	50~54歳	3,234	0	2,597	611	12	14	14 (0.4)	12 (85.7)			7	5	1 (7.1)	1 (7.1)
	55~59歳	3,222	0	2,424	734	34	30	30 (0.9)	27 (90.0)		2	12	13	2 (6.7)	1 (3.3)
	60~64歳	4,445	0	3,055	1,289	36	65	65 (1.5)	57 (87.7)		6	28	23	1 (1.5)	7 (10.8)
	65~69歳	7,486	0	4,798	2,456	93	139	139 (1.9)	129 (92.8)	3	6	71	49	2 (1.4)	8 (5.8)
	70~74歳	9,616	0	5,718	3,588	111	199	199 (2.1)	181 (91.0)	2	10	87	82	2 (1.0)	16 (8.0)
	75~79歳	6,946	0	3,730	2,912	115	189	189 (2.7)	174 (92.1)	1	14	84	75	5 (2.6)	10 (5.3)
	80歳以上	3,898	0	1,699	1,995	90	114	114 (2.9)	100 (87.7)	2	12	41	45	1 (0.9)	13 (11.4)
	計	45,342	0	29,731	14,312	517	782	782 (1.7)	710 (90.8)	8	50	346	306	14 (1.8)	58 (7.4)
総数		77,015	0	48,221	26,311	909	1,574	1,574 (2.0)	1,366 (86.8)	12	123	689	542	32 (2.0)	176 (11.2)

表9 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）：「肺癌検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」準拠

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳					要精検者数(%) (E判定者数)
		A	B	C	D	E	
男	29歳以下	549	0	522	26	0	1 (0.2)
	30~34歳	503	0	473	25	4	1 (0.2)
	35~39歳	1,051	0	974	69	5	3 (0.3)
	40~44歳	1,027	0	926	91	3	7 (0.7)
	45~49歳	1,204	0	1,044	146	4	10 (0.8)
	50~54歳	1,282	0	1,071	185	8	18 (1.4)
	55~59歳	899	0	687	190	10	12 (1.3)
	60~64歳	801	0	586	196	8	11 (1.4)
	65~69歳	593	0	405	165	8	15 (2.5)
	70歳以上	299	0	183	100	6	10 (3.3)
	計	8,208	0	6,871	1,193	56	88 (1.1)
女	29歳以下	588	0	565	20	2	1 (0.2)
	30~34歳	387	0	368	18	1	0 (0.0)
	35~39歳	733	0	695	33	2	3 (0.4)
	40~44歳	809	0	759	48	2	0 (0.0)
	45~49歳	998	0	900	89	2	7 (0.7)
	50~54歳	937	0	817	108	8	4 (0.4)
	55~59歳	836	0	698	124	6	8 (1.0)
	60~64歳	661	0	501	143	10	7 (1.1)
	65~69歳	360	0	258	83	6	13 (3.6)
	70歳以上	137	0	87	42	4	4 (0.0)
	計	6,446	0	5,648	708	43	47 (0.7)
総数		14,654	0	12,519	1,901	99	135 (0.9)

5	大腸がん検診
---	--------

1 概要

検査装置	OCセンサーPLEDIA
検査方法	免疫学的便潜血検査2日法
判定基準	異常認めず：すべて陰性
	要精検：1日でも陽性

2 実施状況

		受診者数	異常認めず (%)		要精検 (%)	
地域	男	30,104	28,289	(94.0)	1,815	(6.0)
	女	45,210	43,453	(96.1)	1,757	(3.9)
職域	男	14,449	13,846	(95.8)	603	(4.2)
	女	9,750	9,425	(96.7)	325	(3.3)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	59,362	73,438	75,514	76,845	75,314
	要精検率 (%)	5.4	4.8	4.7	4.5	4.7
職域	受診者数	24,449	25,413	25,328	24,450	24,199
	要精検率 (%)	4.5	3.9	3.7	3.7	3.8

表1 性・年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳							未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%)	要精検(%)		大腸がん (早期)	大腸がん (進行)	大腸がん (疑)	腫瘍・ ポリープ (10mm以上)	その他 の疾患	異常 認めず			
39歳以下	361	354 (98.1)	7 (1.9)	3 (42.9)					1	2	2 (28.6)	2 (28.6)	
40～44歳	1,082	1,050 (97.0)	32 (3.0)	18 (56.3)				3	11	4	1 (3.1)	13 (40.6)	
45～49歳	1,380	1,343 (97.3)	37 (2.7)	19 (51.4)	1			2	10	6	6 (16.2)	12 (32.4)	
50～54歳	1,574	1,492 (94.8)	82 (5.2)	52 (63.4)	1			9	28	14	6 (7.3)	24 (29.3)	
55～59歳	1,553	1,470 (94.7)	83 (5.3)	48 (57.8)	2	1		10	28	7	5 (6.0)	30 (36.1)	
男 60～64歳	2,298	2,183 (95.0)	115 (5.0)	76 (66.1)	2	2	1	8	50	13	6 (5.2)	33 (28.7)	
65～69歳	5,024	4,716 (93.9)	308 (6.1)	209 (67.9)	10	3	3	37	128	28	21 (6.8)	78 (25.3)	
70～74歳	7,053	6,624 (93.9)	429 (6.1)	306 (71.3)	15	7	4	41	196	43	24 (5.6)	99 (23.1)	
75～79歳	5,769	5,373 (93.1)	396 (6.9)	291 (73.5)	5	8	4	27	197	50	29 (7.3)	76 (19.2)	
80歳以上	4,010	3,684 (91.9)	326 (8.1)	234 (71.8)	9	3	4	18	156	44	28 (8.6)	64 (19.6)	
計	30,104	28,289 (94.0)	1,815 (6.0)	1,256 (69.2)	45	24	16	155	805	211	128 (7.1)	431 (23.7)	
39歳以下	746	724 (97.1)	22 (2.9)	14 (63.6)					10	4	1 (4.5)	7 (31.8)	
40～44歳	2,690	2,608 (97.0)	82 (3.0)	52 (63.4)				6	22	24	6 (7.3)	24 (29.3)	
45～49歳	3,195	3,090 (96.7)	105 (3.3)	68 (64.8)	2		2	2	38	24	11 (10.5)	26 (24.8)	
50～54歳	3,633	3,500 (96.3)	133 (3.7)	95 (71.4)	1			5	57	32	6 (4.5)	32 (24.1)	
55～59歳	3,554	3,423 (96.3)	131 (3.7)	97 (74.0)		1		2	64	30	7 (5.3)	27 (20.6)	
女 60～64歳	4,832	4,687 (97.0)	145 (3.0)	105 (72.4)	2	1		14	64	24	13 (9.0)	27 (18.6)	
65～69歳	7,333	7,057 (96.2)	276 (3.8)	213 (77.2)	11	2	2	25	130	43	15 (5.4)	48 (17.4)	
70～74歳	9,072	8,726 (96.2)	346 (3.8)	272 (78.6)	3	10	2	26	180	51	25 (7.2)	49 (14.2)	
75～79歳	6,497	6,209 (95.6)	288 (4.4)	236 (81.9)	5	6	2	20	163	40	17 (5.9)	35 (12.2)	
80歳以上	3,658	3,429 (93.7)	229 (6.3)	154 (67.2)	6	5	3	11	92	37	25 (10.9)	50 (21.8)	
計	45,210	43,453 (96.1)	1,757 (3.9)	1,306 (74.3)	30	25	11	111	820	309	126 (7.2)	325 (18.5)	
総 数	75,314	71,742 (95.3)	3,572 (4.7)	2,562 (71.7)	75	49	27	266	1,625	520	254 (7.1)	756 (21.2)	

表2 市町別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳							未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%)	要精検(%)		大腸がん (早期)	大腸がん (進行)	大腸がん (疑)	腫瘍・ ポリープ (10mm以上)	その他 の疾患	異常 認めず			
宇都宮市	3,499	3,315 (94.7)	184 (5.3)	106 (57.6)	3	3		10	72	18	1 (0.5)	77 (41.8)	
栃木市	11,058	10,529 (95.2)	529 (4.8)	381 (72.0)	14	6	9	34	248	70	32 (6.0)	116 (21.9)	
鹿沼市	3,593	3,420 (95.2)	173 (4.8)	130 (75.1)		2		25	76	27	2 (1.2)	41 (23.7)	
小山市	11,359	10,816 (95.2)	543 (4.8)	406 (74.8)	10	9	2	35	259	91	65 (12.0)	72 (13.3)	
大田原市	8,807	8,385 (95.2)	422 (4.8)	313 (74.2)	10	6	6	23	225	43	30 (7.1)	79 (18.7)	
矢板市	3,482	3,298 (94.7)	184 (5.3)	144 (78.3)	3	3		11	101	26	23 (12.5)	17 (9.2)	
那須塩原市	7,589	7,228 (95.2)	361 (4.8)	246 (68.1)	7	8		21	175	35	4 (1.1)	111 (30.7)	
さくら市	5,508	5,254 (95.4)	254 (4.6)	180 (70.9)	12	5	3	28	91	41	29 (11.4)	45 (17.7)	
那須烏山市	2,190	2,079 (94.9)	111 (5.1)	82 (73.9)	3			13	45	21	8 (7.2)	21 (18.9)	
下野市	4,928	4,770 (96.8)	158 (3.2)	121 (76.6)	3		2	18	66	32	13 (8.2)	24 (15.2)	
益子町	3,054	2,929 (95.9)	125 (4.1)	95 (76.0)	1	2		11	50	31	11 (8.8)	19 (15.2)	
茂木町	2,179	2,075 (95.2)	104 (4.8)	62 (59.6)	1	1	2	7	34	17	1 (1.0)	41 (39.4)	
芳賀町	2,171	2,044 (94.2)	127 (5.8)	95 (74.8)	3	2	1	9	56	24	8 (6.3)	24 (18.9)	
野木町	2,750	2,617 (95.2)	133 (4.8)	98 (73.7)	2	2	1	7	58	28	10 (7.5)	25 (18.8)	
塩谷町	1,225	1,159 (94.6)	66 (5.4)	49 (74.2)			1	3	33	12	10 (15.2)	7 (10.6)	
那珂川町	1,922	1,824 (94.9)	98 (5.1)	54 (55.1)	3			11	36	4	7 (7.1)	37 (37.8)	
総 数	75,314	71,742 (95.3)	3,572 (4.7)	2,562 (71.7)	75	49	27	266	1,625	520	254 (7.1)	756 (21.2)	

表3 性・年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)	要精検 (%)	
男	29歳以下	556	542 (97.5)	14 (2.5)
	30～34歳	653	629 (96.3)	24 (3.7)
	35～39歳	1,667	1,616 (96.9)	51 (3.1)
	40～44歳	2,066	1,995 (96.6)	71 (3.4)
	45～49歳	2,258	2,187 (96.9)	71 (3.1)
	50～54歳	2,479	2,382 (96.1)	97 (3.9)
	55～59歳	1,968	1,873 (95.2)	95 (4.8)
	60～64歳	1,525	1,450 (95.1)	75 (4.9)
	65～69歳	827	766 (92.6)	61 (7.4)
	70歳以上	450	406 (90.2)	44 (9.8)
計	14,449	13,846 (95.8)	603 (4.2)	
女	29歳以下	576	551 (95.7)	25 (4.3)
	30～34歳	441	426 (96.6)	15 (3.4)
	35～39歳	1,134	1,101 (97.1)	33 (2.9)
	40～44歳	1,239	1,201 (96.9)	38 (3.1)
	45～49歳	1,457	1,406 (96.5)	51 (3.5)
	50～54歳	1,666	1,620 (97.2)	46 (2.8)
	55～59歳	1,474	1,425 (96.7)	49 (3.3)
	60～64歳	1,063	1,028 (96.7)	35 (3.3)
	65～69歳	512	490 (95.7)	22 (4.3)
	70歳以上	188	177 (94.1)	11 (5.9)
計	9,750	9,425 (96.7)	325 (3.3)	
総数	24,199	23,271 (96.2)	928 (3.8)	

6	子宮がん検診
---	--------

1 概要

1] 検査方式

検査方法	頸部：子宮頸部の細胞診・HPV-DNA検査 （住民：細胞診のみ、ASC-US時HPV-DNA検査追加、HPV-DNA検査併用） （事業所：ASC-US時HPV-DNA検査追加） 体部：子宮体部の細胞診
処理方法	頸部：細胞診（液状検体法）、HPV-DNA検査（リアルタイムPCR法） 体部：細胞診（直接塗抹法）
従事技師	公益社団法人日本臨床細胞学会認定細胞検査士
判定方法	細胞所見に基づき、判定を行う。子宮頸がんについては細胞診検査後ASC-US以上の場合、子宮体がんについては疑陽性以上の場合に細胞診専門医が最終的な判定を行う。
判定基準	頸部：『ベセスダシステム』に準拠 体部：子宮体癌取り扱い規約『陰性・疑陽性・陽性の3段階分類』に準拠
判定医	公益社団法人日本臨床細胞学会認定専門医

2] 判定区分

【子宮頸がん検診】

		標本適否		細胞診検査		
		不適	正	NILM	ASC-US	ASC-H～
HPV検査	検査未実施	判定不能		異常認めず	要精検	要精検
	陰性	判定不能		異常認めず	精検不要	要精検
	陽性	要精検 ^{*1}		要精検 ^{*1}	要精検	要精検
		判定不能 ^{*2}		精検不要 ^{*2}	要精検	要精検
	判定不能	判定不能		判定不能	要精検	要精検

*1 前回の結果（細胞診検査NILM・HPV検査陽性）かつ前回受診日6ヶ月以前

*2 上記以外

【子宮体がん検診】

	異常認めず	要精検
細胞診結果 (結果分類)	陰性	疑陽性 ・ 陽性

2 実施状況

1] 地域・職域別実施状況

		方式	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)
頸部	地域	集団検診	31,090	30,165 (97.0)	316 (1.0)	604 (1.9)	5 (0.0)
		医療機関	10,081	9,478 (94.0)	198 (1.9)	399 (4.0)	6 (0.1)
		計	41,171	39,643 (96.3)	514 (1.3)	1,003 (2.4)	11 (0.0)
	職域	集団検診	3,549	3,447 (97.1)	30 (0.9)	72 (2.0)	0 (0.0)
体部	地域	医療機関	3,538	3,520 (99.5)	-	18 (0.5)	-

【年次推移】

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
頸部	地域	受診者数	29,196	40,991	37,232	37,029	41,171
		要精検率 (%)	2.5	2.7	3.0	2.7	2.4
	職域	受診者数	3,241	3,507	3,445	3,631	3,549
		要精検率 (%)	2.7	2.7	3.1	2.1	2.0
体部	地域	受診者数	2,860	3,342	3,199	3,410	3,538
		要精検率 (%)	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5

表1 子宮頸がん検診 検査方法別年齢階級別実施状況（地域検診）

	受診者数	細胞診結果内訳（ベセスダ分類）											HPV結果内訳			
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	other malign.	標本不適	陰性	陽性	判定不能	
19歳以下	0													-	-	-
20～24歳	21	20			1									-	-	-
25～29歳	36	33	1		2									-	-	-
30～34歳	29	21	1	1	3	2		1						-	-	-
35～39歳	29	27	1		1									-	-	-
40～44歳	188	182		1	4			1						-	-	-
45～49歳	161	153	3	1	2	2								-	-	-
50～54歳	191	182	4		4	1								-	-	-
55～59歳	155	154				1								-	-	-
60～64歳	152	150	1		1									-	-	-
65～69歳	234	231	1			2								-	-	-
70～74歳	251	247	1		1	2								-	-	-
75～79歳	165	163			1	1								-	-	-
80歳以上	56	56												-	-	-
計	1,668	1,619	13	3	20	11	0	2	0	0	0	0		-	-	-
(%)																
19歳以下	24	22	1		1									1	0	
20～24歳	601	535	18	2	39	6							1	8	10	
25～29歳	788	732	15	2	36	2		1						9	6	
30～34歳	1,135	1,057	21	7	39	10		1						11	10	
35～39歳	1,512	1,466	10	2	11	19		4						8	2	
40～44歳	1,858	1,773	29	5	28	12		11						23	6	
45～49歳	2,564	2,488	30	3	23	12		8						25	5	
50～54歳	2,667	2,589	34	3	28	8		4				1	28	6		
55～59歳	2,257	2,225	12	4	11	2		3					12	0		
60～64歳	3,008	2,983	11	1	6	6	1						7	4		
65～69歳	3,806	3,771	13	2	8	11						1	11	2		
70～74歳	4,027	3,995	14	1	9	6						2	12	2		
75～79歳	2,571	2,549	9	3	6	3						1	7	2		
80歳以上	1,053	1,039	7	4	1	2							4	3		
計	27,871	27,224	224	39	246	99	1	32	0	0	0	6	166	58	0	
(%)													(74.1)	(25.9)	(0.0)	
19歳以下	8	6			2									5	3	
20～24歳	249	213	7	2	24	2		1						200	49	
25～29歳	529	478	19		23	7		2						449	80	
30～34歳	836	772	18	2	30	11		3						738	98	
35～39歳	1,112	1,038	28	3	26	12		5						1,013	96	
40～44歳	1,222	1,150	25	2	29	11		5						1,140	82	
45～49歳	1,146	1,089	26		19	7		5						1,093	53	
50～54歳	1,246	1,193	20	2	18	10		3						1,176	70	
55～59歳	1,003	981	9	2	4	4		1				2	962	39		
60～64歳	891	873	6	2	7	1						2	863	26		
65～69歳	1,058	1,045	8		2	2						1	1,039	18		
70～74歳	1,076	1,067	5	1	2	1							1,061	15		
75～79歳	868	857	3	2	2	3		1					845	23		
80歳以上	388	383	4			1							384	4		
計	11,632	11,145	178	18	188	72	0	26	0	0	0	5	10,968	656	0	
(%)													(94.4)	(5.6)	(0.0)	
総数	41,171	39,988	415	60	454	182	1	60	0	0	0	11	11,134	714	0	
(%)													(94.0)	(6.0)	(0.0)	

表1 続き

	判定内訳				精検 受診 者数	子 宮 頸がん	精検結果内訳						未受診	未把握
	異 常 認めず	精検不要	要精検	判定不能			AIS	CIN3	CIN2	CIN1	その他 の疾患	異 常 認めず		
19歳以下	-	-	-	-	-								-	-
20～24歳	20	0	1	0	1					1				
25～29歳	33	0	3	0	3					2	1			
30～34歳	21	0	8	0	7				3	3	1	0	1	
35～39歳	27	0	2	0	2				1		1	0	0	
40～44歳	182	0	6	0	4					2	2	1	1	
45～49歳	153	0	8	0	7			1		3	3	0	1	
50～54歳	182	0	9	0	9			1		4	1	3	0	0
55～59歳	154	0	1	0	0							0	1	
60～64歳	150	0	2	0	1					1		0	1	
65～69歳	231	0	3	0	2					1	1	1	0	
70～74歳	247	0	4	0	2						2	1	1	
75～79歳	163	0	2	0	2			1			1	0	0	
80歳以上	56	0	0	0	-							-	-	
計	1,619	0	49	0	40	0	0	3	4	17	1	15	3	6
(%)	(97.1)	(0.0)	(2.9)	(0.0)	(81.6)							(6.1)	(12.2)	
19歳以下	22	1	1	0	0								0	1
20～24歳	535	8	57	1	43				2	30	1	10	2	12
25～29歳	732	9	47	0	35				4	18		13	1	11
30～34歳	1,057	11	67	0	46			4	8	22		12	4	17
35～39歳	1,466	8	38	0	33			3	6	15	2	7	3	2
40～44歳	1,773	23	62	0	49	1	1	3	9	25		10	3	10
45～49歳	2,488	25	51	0	42		1	4	4	14	2	17	1	8
50～54歳	2,589	28	49	1	41	1		3	1	18	3	15	3	5
55～59歳	2,225	12	20	0	16				2	7		7	1	3
60～64歳	2,983	7	18	0	15	2		1	2	5		5	0	3
65～69歳	3,771	11	23	1	20			2	2	9	1	6	2	1
70～74歳	3,995	12	18	2	10			2		2	2	4	2	6
75～79歳	2,549	7	14	1	11				2	3	2	4	1	2
80歳以上	1,039	4	10	0	7			1	1	2	1	2	1	2
計	27,224	166	475	6	368	4	2	23	43	170	14	112	24	83
(%)	(97.7)	(0.6)	(1.7)	(0.0)	(77.5)							(5.1)	(17.5)	
19歳以下	5	1	2	0	1					1			1	0
20～24歳	190	23	36	0	25				3	13		9	3	8
25～29歳	440	36	53	0	38			1	9	15	2	11	7	8
30～34歳	724	46	66	0	54			3	3	29	3	16	2	10
35～39歳	989	53	70	0	63			4	8	25	3	23	3	4
40～44歳	1,109	43	70	0	55			4	5	26	0	20	5	10
45～49歳	1,065	34	47	0	35			3	1	21	0	10	3	9
50～54歳	1,150	50	46	0	40			2	3	22	2	11	3	3
55～59歳	957	20	24	2	21	1			2	9	2	7	0	3
60～64歳	859	9	21	2	16				1	5	0	10	5	0
65～69歳	1,034	11	12	1	10			1		3	0	6	2	0
70～74歳	1,056	9	11	0	10				1	3	0	6	0	1
75～79歳	841	8	19	0	14					6	0	8	2	3
80歳以上	381	5	2	0	2						0	2	0	0
計	10,800	348	479	5	384	1	0	18	36	178	12	139	36	59
(%)	(92.8)	(3.0)	(4.1)	(0.0)	(80.2)							(7.5)	(12.3)	
総数	39,643	514	1,003	11	792	5	2	44	83	365	27	266	63	148
(%)	(96.3)	(1.2)	(2.4)	(0.0)	(79.0)							(6.3)	(14.8)	

表2 子宮頸がん検診 市町別検査方法別実施状況

	受診者数	細胞診結果内訳（べセスタ分類）										HPV結果内訳			
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	other malig.	標本不適	陰性	陽性	判定不能
宇都宮市 細胞診のみ	1,668	1,619	13	3	20	11		2					-	-	-
足利市 HPV併用	97	88	3		4	1		1					87	8	0
HPV追加	2,383	2,348	14	6	7	6		1			1		12	2	0
栃木市 HPV追加	7,836	7,589	84	8	101	35	1	17			1		61	23	0
鹿沼市 HPV追加	2,558	2,479	24	4	30	13		7			1		17	7	0
小山市 HPV併用	5,403	5,194	77	3	86	32		9			2		5,080	321	0
真岡市 HPV追加	2,487	2,426	18	3	33	4		2			1		9	9	0
大田原市 HPV併用	529	491	16	1	11	7		3					481	48	0
HPV追加	3,525	3,470	23	2	16	12		1			1		19	4	0
矢板市 HPV追加	1,455	1,429	8		10	6		2					5	3	0
那須塩原市 HPV併用	1,094	1,035	24	5	20	7		3					1,024	70	0
HPV追加	2,103	2,077	11	4	6	5							10	1	0
さくら市 HPV追加	1,874	1,822	18	5	15	13		1					14	4	0
那須烏山市 HPV併用	22	21	1										18	3	0
HPV追加	929	908	10	2	6	3							9	1	0
下野市 HPV併用	2,659	2,557	36	5	44	13		3			1		2,523	135	0
益子町 HPV追加	1,299	1,274	10	2	12	1							7	3	0
茂木町 HPV併用	263	257	3		3								254	9	0
HPV追加	8	8											-	-	-
芳賀町 HPV併用	677	648	11	2	8	4		3			1		646	30	0
HPV追加	86	84			1						1		-	-	-
野木町 HPV併用	888	854	7	2	12	8		4			1		855	32	0
塩谷町 HPV追加	647	636	2	1	7	1							2	0	0
那珂川町 HPV追加	681	674	2	2	2			1					1	1	0

※「ASC-US時HPV追加」は「HPV追加」と略した

【子宮頸がん検診実施方法】

実施方法	市町名
細胞診のみ	宇都宮市
HPV追加	鹿沼市、栃木市、真岡市、矢板市、さくら市、益子町、塩谷町、那珂川町、芳賀町（医療機関方式）
HPV併用	小山市、下野市、野木町、芳賀町（医療機関方式以外）
HPV併用+HPV追加	足利市（30、35、40歳の希望者）、那須塩原市（30歳から59歳）、大田原市（25歳から45歳）、那須烏山市（31・36・41歳）、茂木町（30歳以上）

表2 続き

令和7年10月31日現在

	判定内訳				精検 受診 者数 (%)	子 宮 頸がん	精検結果内訳					未受診 (%)	未把握 (%)
	異 常 認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)	判定不能 (%)			AIS	CIN3	CIN2	CIN1	その 他の 疾患		
宇都宮市 細胞診のみ	1,619 (97.1)	0 (0.0)	49 (2.9)	0 (0.0)	40 (2.4)		3	4	17	1	15	3 (6.1)	6 (12.2)
足利市 HPV併用	86 (88.7)	4 (4.1)	7 (7.2)	0 (0.0)	5 (5.2)		1				4	1 (14.3)	1 (14.3)
HPV追加	2,348 (98.5)	12 (0.5)	22 (0.9)	1 (0.0)	18 (0.8)	1	1	4	7		5	0 (0.0)	4 (18.2)
栃木市 HPV追加	7,589 (96.8)	61 (0.8)	185 (2.4)	1 (0.0)	146 (1.9)	3	1	8	17	76	41	13 (7.0)	26 (14.1)
鹿沼市 HPV追加	2,479 (96.9)	17 (0.7)	61 (2.4)	1 (0.0)	51 (2.0)			4	7	22	2	0 (0.0)	10 (16.4)
小山市 HPV併用	5,018 (92.9)	156 (2.9)	227 (4.2)	2 (0.0)	183 (3.4)	1		6	17	86	3	14 (6.2)	30 (13.2)
真岡市 HPV追加	2,426 (97.5)	9 (0.4)	51 (2.1)	1 (0.0)	29 (1.2)			1	3	12	3	0 (0.0)	22 (43.1)
大田原市 HPV併用	471 (89.0)	24 (4.5)	34 (6.4)	0 (0.0)	25 (4.7)			1	2	10	3	4 (11.8)	5 (14.7)
HPV追加	3,470 (98.4)	19 (0.5)	35 (1.0)	1 (0.0)	28 (0.8)			1	1	10	3	3 (8.6)	4 (11.4)
矢板市 HPV追加	1,429 (98.2)	5 (0.3)	21 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.1)			2	2	7	1	3 (14.3)	2 (9.5)
那須塩原市 HPV併用	999 (91.3)	46 (4.2)	49 (4.5)	0 (0.0)	43 (3.9)			2	5	20	3	0 (0.0)	6 (12.2)
HPV追加	2,077 (98.8)	10 (0.5)	16 (0.8)	0 (0.0)	13 (0.6)			2	3	6	1	0 (0.0)	3 (18.8)
さくら市 HPV追加	1,822 (97.2)	14 (0.7)	38 (2.0)	0 (0.0)	32 (1.7)			2	2	15	2	2 (5.3)	4 (10.5)
那須烏山市 HPV併用	19 (86.4)	2 (9.1)	1 (4.5)	0 (0.0)	1 (4.5)						1	0 (0.0)	0 (0.0)
HPV追加	908 (97.7)	9 (1.0)	12 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.1)	1			2	2	1	0 (0.0)	2 (16.7)
下野市 HPV併用	2,486 (93.5)	76 (2.9)	96 (3.6)	1 (0.0)	83 (3.1)			4	10	41	3	5 (5.2)	8 (8.3)
益子町 HPV追加	1,274 (98.1)	7 (0.5)	18 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.2)			1	1	7	1	0 (0.0)	2 (11.1)
茂木町 HPV併用	250 (95.1)	8 (3.0)	5 (1.9)	0 (0.0)	4 (1.5)					1		0 (0.0)	1 (20.0)
HPV追加	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-							-	-
芳賀町 HPV併用	633 (93.5)	19 (2.8)	24 (3.5)	1 (0.1)	16 (2.4)			2	1	7		3 (12.5)	5 (20.8)
HPV追加	84 (97.7)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	0 (0.0)							1 (100.0)	0 (0.0)
野木町 HPV併用	838 (94.4)	13 (1.5)	36 (4.1)	1 (0.1)	24 (2.7)			2	1	13		9 (25.0)	3 (8.3)
塩谷町 HPV追加	636 (98.3)	2 (0.3)	9 (1.4)	0 (0.0)	5 (0.8)				1	3		2 (22.2)	2 (22.2)
那珂川町 HPV追加	674 (99.0)	1 (0.1)	6 (0.9)	0 (0.0)	4 (0.6)			1		3		0 (0.0)	2 (33.3)

※「ASC-US時HPV追加」は「HPV追加」と略した

表3 子宮頸がん検診 年齢階級別実施状況（職域検診・ASC-US時HPV追加）

	受診者数		細胞診結果内訳（ベセスダ分類）										HPV結果内訳			判定内訳		
	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	other malig	標本不適	陰性	陽性	判定不能	異常認めず	精検不要	要精検	判定不能
19歳以下	1	1			8	2						-	-	-	1	0	0	0
20～24歳	116	103	3		8	2						1	2	0	103	1	12	0
25～29歳	273	261	3		7	1		1				2	1	0	261	2	10	0
30～34歳	293	282	4		6	1						3	1	0	282	3	8	0
35～39歳	423	412	4	1	2	3		1				3	1	0	412	3	8	0
40～44歳	443	436	4		1	1		1				3	1	0	436	3	4	0
45～49歳	485	463	11	1	9	1						8	3	0	463	8	14	0
50～54歳	587	569	8	1	4	4		1				6	2	0	569	6	12	0
55～59歳	439	437	1			1						1	0	0	437	1	1	0
60～64歳	318	313	4			1						3	1	0	313	3	2	0
65～69歳	138	137				1						-	-	-	137	0	1	0
70歳以上	33	33										-	-	-	33	0	0	0
計	3,549	3,447	42	3	37	16	0	4	0	0	0	30	12	0	3,447	30	72	0
(%)												(71.4)	(28.6)	(0.0)	(97.1)	(0.8)	(2.0)	(0.0)

表4 子宮体がん検診 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳		精検受診者数	精検結果内訳					
		異常認めず	要精検		子宮体がん	子宮内異型増殖症	子宮内増殖症	その他の疾患	異常認めず	
19歳以下	0	-	-	-						
20～24歳	11	11	0	-						
25～29歳	45	44	1	0						
30～34歳	117	117	0	-						
35～39歳	197	197	0	-						
40～44歳	447	445	2	2					1	1
45～49歳	687	684	3	2						2
50～54歳	705	702	3	3	1	1				1
55～59歳	414	412	2	0						
60～64歳	303	302	1	0						
65～69歳	242	240	2	1						1
70～74歳	204	200	4	4						4
75～79歳	109	109	0	-						
80歳以上	57	57	0	-						
総数	3,538	3,520	18	12	1	1	0	1	1	9
(%)		(99.5)	(0.5)	(66.7)						

表5 子宮体がん検診 市町別実施状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳			精検受診者数	(%)	精検結果内訳					
		異常認めず	(%)	要精検			(%)	子宮体がん	子宮内異型増殖症	子宮内増殖症	その他の疾患	異常認めず
鹿沼市	321	320	(99.7)	1	(0.3)	1	(100.0)	1				
栃木市	1,067	1,062	(99.5)	5	(0.5)	3	(60.0)					3
小山市	674	670	(99.4)	4	(0.6)	3	(75.0)				1	2
真岡市	1,376	1,370	(99.6)	6	(0.4)	3	(50.0)		1			2
芳賀町	54	52	(96.3)	2	(3.7)	2	(100.0)					2
茂木町	8	8	(100.0)	0	(0.0)	-	-					
野木町	38	38	(100.0)	0	(0.0)	-	-					
総数	3,538	3,520	(99.5)	18	(0.5)	12	(66.7)	1	1	0	1	9

7	乳がん検診
---	-------

1 概要

1] 検査方法

【マンモグラフィ】

撮影方式	FPD方式
撮影装置	マンモグラフィガイドラインに準拠
撮影線量	マンモグラフィガイドラインに準拠
撮影技師	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構認定技師
読影方法	二重読影及び比較読影
読影医	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構認定読影医

【乳房超音波】

検査装置	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
検査方法	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
検査技師	NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構「乳がん検診超音波検査実施技師」
読影方法	乳房超音波診断ガイドラインに準拠
読影医	公益社団法人日本超音波医学会認定超音波指導医 NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構「乳がん検診超音波検査実施・判定医師」

2] 判定区分

【マンモグラフィと乳房超音波による分離併用総合判定方式】

判定対象	マンモグラフィもしくは乳房超音波の少なくともどちらか一方で要精検となった症例
判定方法	マンモグラフィの情報なしで実施された乳房超音波と、マンモグラフィの画像を比較検討する
判定基準	マンモグラフィと乳房超音波の総合判定マニュアルに準拠

*マンモグラフィまたは乳房超音波のみの受診者については、それぞれ単独で判定する

2 実施状況

	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
地域	50,809	25,006 (49.2)	23,789 (46.8)	2,014 (4.0)
職域	4,965	2,432 (49.0)	2,315 (46.6)	218 (4.4)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	37,373	47,387	48,476	48,952	50,809
	要精検率 (%)	3.8	4.1	4.2	3.5	4.0
職域	受診者数	4,390	4,874	4,868	5,004	4,965
	要精検率 (%)	4.4	5.3	5.7	4.5	4.4

表1 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳				精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)	要精検(%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
29歳以下	149	87 (58.4)	51 (34.2)	11 (7.4)	9 (81.8)		1	8			0 (0.0)	2 (18.2)
30～34歳	1,622	811 (50.0)	744 (45.9)	67 (4.1)	60 (89.6)	1	1	50	8	2 (3.0)	5 (7.5)	
35～39歳	3,033	1,336 (44.0)	1,561 (51.5)	136 (4.5)	123 (90.4)	4	2	98	19	1 (0.7)	12 (8.8)	
40～44歳	4,075	1,516 (37.2)	2,254 (55.3)	305 (7.5)	273 (89.5)	9	7	182	75	7 (2.3)	25 (8.2)	
45～49歳	4,778	1,651 (34.6)	2,824 (59.1)	303 (6.3)	275 (90.8)	15	7	190	63	3 (1.0)	25 (8.3)	
50～54歳	4,873	2,101 (43.1)	2,557 (52.5)	215 (4.4)	186 (86.5)	15	6	126	39	6 (2.8)	23 (10.7)	
55～59歳	4,359	2,258 (51.8)	1,945 (44.6)	156 (3.6)	146 (93.6)	11	2	85	47	3 (1.9)	7 (4.5)	
60～64歳	5,171	2,791 (54.0)	2,189 (42.3)	191 (3.7)	173 (90.6)	26	2	95	45	6 (3.1)	12 (6.3)	
65～69歳	6,933	3,742 (54.0)	2,979 (43.0)	212 (3.1)	196 (92.5)	29	1	98	59	6 (2.8)	10 (4.7)	
70～74歳	7,870	4,324 (54.9)	3,323 (42.2)	223 (2.8)	214 (96.0)	35	8	122	49	3 (1.3)	6 (2.7)	
75～79歳	5,414	2,995 (55.3)	2,298 (42.4)	121 (2.2)	111 (91.7)	24	6	47	34	4 (3.3)	6 (5.0)	
80歳以上	2,532	1,394 (55.1)	1,064 (42.0)	74 (2.9)	69 (93.2)	8	4	37	20	1 (1.4)	4 (5.4)	
総 数	50,809	25,006 (49.2)	23,789 (46.8)	2,014 (4.0)	1,835 (91.1)	177	5	57	1,138	458	137 (6.8)	

表2 年齢階級別実施状況（マンモグラフィ＋乳房超音波—地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳				精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)
	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)	要精検(%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
29歳以下	11	5 (45.5)	4 (36.4)	2 (18.2)	2 (100.0)			2			0 (0.0)	0 (0.0)
30～34歳	140	61 (43.6)	67 (47.9)	12 (8.6)	11 (91.7)		1	8	2	0 (0.0)	1 (8.3)	
35～39歳	692	257 (37.1)	378 (54.6)	57 (8.2)	53 (93.0)	1	1	38	13	0 (0.0)	4 (7.0)	
40～44歳	3,934	1,441 (36.6)	2,193 (55.7)	300 (7.6)	269 (89.7)	9	7	179	74	7 (2.3)	24 (8.0)	
45～49歳	4,721	1,630 (34.5)	2,789 (59.1)	302 (6.4)	274 (90.7)	15	7	189	63	3 (1.0)	25 (8.3)	
50～54歳	4,831	2,083 (43.1)	2,533 (52.4)	215 (4.5)	186 (86.5)	15	6	126	39	6 (2.8)	23 (10.7)	
55～59歳	4,317	2,231 (51.7)	1,930 (44.7)	156 (3.6)	146 (93.6)	11	2	85	47	3 (1.9)	7 (4.5)	
60～64歳	5,117	2,763 (54.0)	2,166 (42.3)	188 (3.7)	171 (91.0)	25	2	94	45	5 (2.7)	12 (6.4)	
65～69歳	6,863	3,696 (53.9)	2,955 (43.1)	212 (3.1)	196 (92.5)	29	1	98	59	6 (2.8)	10 (4.7)	
70～74歳	7,782	4,280 (55.0)	3,282 (42.2)	220 (2.8)	212 (96.4)	35	8	121	48	3 (1.4)	5 (2.3)	
75～79歳	5,342	2,955 (55.3)	2,268 (42.5)	119 (2.2)	109 (91.6)	24	6	45	34	4 (3.4)	6 (5.0)	
80歳以上	2,470	1,359 (55.0)	1,038 (42.0)	73 (3.0)	68 (93.2)	8	4	37	19	1 (1.4)	4 (5.5)	
総 数	46,220	22,761 (49.2)	21,603 (46.7)	1,856 (4.0)	1,697 (91.4)	172	5	55	1,022	443	121 (6.5)	

表3 年齢階級別実施状況（乳房超音波のみ—地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)	
	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)		要精検(%)	乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患			異常 認めず
29歳以下	138	82 (59.4)	47 (34.1)	9 (6.5)	7 (77.8)		1	6			0 (0.0)	2 (22.2)
30～34歳	1,482	750 (50.6)	677 (45.7)	55 (3.7)	49 (89.1)	1		42	6		2 (3.6)	4 (7.3)
35～39歳	2,341	1,079 (46.1)	1,183 (50.5)	79 (3.4)	70 (88.6)	3	1	60	6		1 (1.3)	8 (10.1)
40～44歳	141	75 (53.2)	61 (43.3)	5 (3.5)	4 (80.0)			3	1		0 (0.0)	1 (20.0)
45～49歳	57	21 (36.8)	35 (61.4)	1 (1.8)	1 (100.0)			1			0 (0.0)	0 (0.0)
50～54歳	42	18 (42.9)	24 (57.1)	0 (0.0)	-	-					-	-
55～59歳	42	27 (64.3)	15 (35.7)	0 (0.0)	-	-					-	-
60～64歳	54	28 (51.9)	23 (42.6)	3 (5.6)	2 (66.7)	1		1			1 (33.3)	0 (0.0)
65～69歳	70	46 (65.7)	24 (34.3)	0 (0.0)	-	-					-	-
70～74歳	88	44 (50.0)	41 (46.6)	3 (3.4)	2 (66.7)				1	1	0 (0.0)	1 (33.3)
75～79歳	72	40 (55.6)	30 (41.7)	2 (2.8)	2 (100.0)			2			0 (0.0)	0 (0.0)
80歳以上	62	35 (56.5)	26 (41.9)	1 (1.6)	1 (100.0)				1		0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	4,589	2,245 (48.9)	2,186 (47.6)	158 (3.4)	138 (87.3)	5	0	2	116	15	4 (2.5)	16 (10.1)

表4 市町別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳					未受診(%)	未把握(%)	
	受診者数	異常認めず(%)	精検不要(%)		要精検(%)	乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患			異常 認めず
宇都宮市	1,305	647 (49.6)	555 (42.5)	103 (7.9)	90 (87.4)	9		3	62	16	0 (0.0)	13 (12.6)
足利市	3,230	1,689 (52.3)	1,418 (43.9)	123 (3.8)	120 (97.6)	13	1	8	55	43	0 (0.0)	3 (2.4)
栃木市	6,215	2,929 (47.1)	3,020 (48.6)	266 (4.3)	242 (91.0)	30	2	7	121	82	5 (1.9)	19 (7.1)
鹿沼市	2,433	1,205 (49.5)	1,128 (46.4)	100 (4.1)	91 (91.0)	7		1	59	24	0 (0.0)	9 (9.0)
小山市	7,083	3,588 (50.7)	3,269 (46.2)	226 (3.2)	208 (92.0)	20		6	123	59	7 (3.1)	11 (4.9)
大田原市	6,103	2,965 (48.6)	2,927 (48.0)	211 (3.5)	178 (84.4)	25		9	112	32	8 (3.8)	25 (11.8)
矢板市	2,449	1,181 (48.2)	1,199 (49.0)	69 (2.8)	64 (92.8)	4		3	51	6	1 (1.4)	4 (5.8)
那須塩原市	5,561	2,706 (48.7)	2,621 (47.1)	234 (4.2)	202 (86.3)	25		1	147	29	1 (0.4)	31 (13.2)
さくら市	3,298	1,636 (49.6)	1,374 (41.7)	288 (8.7)	265 (92.0)	11	1	4	179	70	16 (5.6)	7 (2.4)
那須烏山市	1,414	671 (47.5)	696 (49.2)	47 (3.3)	44 (93.6)	2		1	29	12	0 (0.0)	3 (6.4)
下野市	4,314	2,138 (49.6)	2,040 (47.3)	136 (3.2)	133 (97.8)	15		2	81	35	0 (0.0)	3 (2.2)
益子町	1,767	861 (48.7)	856 (48.4)	50 (2.8)	48 (96.0)	3		1	27	17	1 (2.0)	1 (2.0)
茂木町	557	294 (52.8)	241 (43.3)	22 (3.9)	21 (95.5)	1		1	12	7	0 (0.0)	1 (4.5)
芳賀町	1,498	735 (49.1)	722 (48.2)	41 (2.7)	37 (90.2)	1		4	23	9	3 (7.3)	1 (2.4)
野木町	1,625	812 (50.0)	764 (47.0)	49 (3.0)	48 (98.0)	8		6	28	6	0 (0.0)	1 (2.0)
塩谷町	900	453 (50.3)	420 (46.7)	27 (3.0)	24 (88.9)	2	1		15	6	0 (0.0)	3 (11.1)
那珂川町	1,057	496 (46.9)	539 (51.0)	22 (2.1)	20 (90.9)	1			14	5	0 (0.0)	2 (9.1)
総 数	50,809	25,006 (49.2)	23,789 (46.8)	2,014 (4.0)	1,835 (91.1)	177	5	57	1,138	458	42 (2.1)	137 (6.8)

表5 年齢階級別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
29歳以下	580	248 (42.8)	310 (53.4)	22 (3.8)
30～34歳	443	202 (45.6)	226 (51.0)	15 (3.4)
35～39歳	561	243 (43.3)	292 (52.0)	26 (4.6)
40～44歳	569	240 (42.2)	282 (49.6)	47 (8.3)
45～49歳	679	292 (43.0)	352 (51.8)	35 (5.2)
50～54歳	783	416 (53.1)	333 (42.5)	34 (4.3)
55～59歳	607	326 (53.7)	265 (43.7)	16 (2.6)
60～64歳	468	296 (63.2)	159 (34.0)	13 (2.8)
65～69歳	214	134 (62.6)	72 (33.6)	8 (3.7)
70歳以上	61	35 (57.4)	24 (39.3)	2 (3.3)
総 数	4,965	2,432 (49.0)	2,315 (46.6)	218 (4.4)

表6 方式別判定内訳（職域検診）

	受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
マンモグラフィ + 乳房超音波	2,299	1,076 (46.8)	1,132 (49.2)	91 (4.0)
マンモグラフィのみ	505	424 (84.0)	49 (9.7)	32 (6.3)
乳房超音波のみ	2,161	932 (43.1)	1,134 (52.5)	95 (4.4)

表7 方式・年齢階級別受診状況（職域検診）

	受診者数	29歳以下 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60歳以上 (%)
マンモグラフィ + 乳房超音波	2,299	2 (0.1)	72 (3.1)	803 (34.9)	955 (41.5)	467 (20.3)
マンモグラフィのみ	505	1 (0.2)	23 (4.6)	189 (37.4)	203 (40.2)	89 (17.6)
乳房超音波のみ	2,161	577 (26.7)	909 (42.1)	256 (11.8)	232 (10.7)	187 (8.7)

8 前立腺がん検診

1 概要

検査装置	LUMIPULSE G1200 Plus
検査方法	化学発光酵素免疫測定法（CLEIA法）
判定基準	PSA値による（年齢階層別PSA基準値） 前立腺がん検診ガイドライン（日本泌尿器科学会）準拠

2 実施状況

	受診者数	異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)
地域	26,374	24,132 (91.5)	96 (0.4)	2,146 (8.1)
職域	3,822	3,608 (94.4)	23 (0.6)	191 (5.0)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域	受診者数	21,020	25,142	26,634	27,421	26,374
	要精検率 (%)	8.8	8.2	7.9	7.7	8.1
職域	受診者数	3,744	3,790	3,862	4,106	3,822
	要精検率 (%)	5.2	5.3	5.6	5.0	5.0

表1 年齢階級別実施状況（地域検診）

令和7年10月31日現在

	判定内訳				精検結果内訳				未受診 (%)	未把握 (%)	
	受診者数	異常認めず (%)	要継続通院 (%)	要精検 (%)	精検受診者数 (%)	前立腺がん	前立腺がん(疑)	その他の疾患			異常認めず
39歳以下	4	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-
40～44歳	48	48 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-
45～49歳	231	223 (96.5)	0 (0.0)	8 (3.5)	8 (100.0)		3	2	3	0 (0.0)	0 (0.0)
50～54歳	1,692	1,647 (97.3)	0 (0.0)	45 (2.7)	36 (80.0)	2	8	7	19	0 (0.0)	9 (20.0)
55～59歳	1,713	1,643 (95.9)	0 (0.0)	70 (4.1)	42 (60.0)	2	9	9	22	4 (5.7)	24 (34.3)
60～64歳	2,427	2,208 (91.0)	2 (0.1)	217 (8.9)	140 (64.5)	8	25	36	71	14 (6.5)	63 (29.0)
65～69歳	5,008	4,588 (91.6)	3 (0.1)	417 (8.3)	296 (71.0)	18	69	110	99	30 (7.2)	91 (21.8)
70～74歳	6,623	6,095 (92.0)	16 (0.2)	512 (7.7)	362 (70.7)	20	112	116	114	34 (6.6)	116 (22.7)
75～79歳	5,847	5,243 (89.7)	38 (0.6)	566 (9.7)	430 (76.0)	36	121	152	121	30 (5.3)	106 (18.7)
80歳以上	2,781	2,433 (87.5)	37 (1.3)	311 (11.2)	226 (72.7)	18	70	77	61	20 (6.4)	65 (20.9)
総数	26,374	24,132 (91.5)	96 (0.4)	2,146 (8.1)	1,540 (71.8)	104	417	509	510	132 (6.2)	474 (22.1)

表2 市町別実施状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	判定内訳			精検受診者数 (%)	精検結果内訳				未受診(%)	未把握(%)
		異常認めず(%)	要継続通院(%)	要精検(%)		前立腺 が ん	前立腺 が ん (疑)	その他 の疾患	異常 認めず		
宇都宮市	1,220	1,127 (92.4)	3 (0.2)	90 (7.4)	52 (57.8)	8	17	15	12	0 (0.0)	38 (42.2)
栃木市	4,279	3,860 (90.2)	32 (0.7)	387 (9.0)	288 (74.4)	9	66	135	78	19 (4.9)	80 (20.7)
鹿沼市	793	746 (94.1)	0 (0.0)	47 (5.9)	29 (61.7)	2	9	6	12	0 (0.0)	18 (38.3)
小山市	4,099	3,693 (90.1)	18 (0.4)	388 (9.5)	298 (76.8)	20	64	133	81	35 (9.0)	55 (14.2)
大田原市	3,361	3,125 (93.0)	10 (0.3)	226 (6.7)	163 (72.1)	13	54	48	48	20 (8.8)	43 (19.0)
矢板市	1,306	1,193 (91.3)	2 (0.2)	111 (8.5)	83 (74.8)	10	17	18	38	11 (9.9)	17 (15.3)
那須塩原市	2,642	2,428 (91.9)	11 (0.4)	203 (7.7)	118 (58.1)	14	55	20	29	0 (0.0)	85 (41.9)
さくら市	1,735	1,587 (91.5)	1 (0.1)	147 (8.5)	103 (70.1)	7	23	23	50	16 (10.9)	28 (19.0)
那須烏山市	834	766 (91.8)	2 (0.2)	66 (7.9)	46 (69.7)	3	13	4	26	7 (10.6)	13 (19.7)
下野市	1,528	1,373 (89.9)	6 (0.4)	149 (9.8)	122 (81.9)	2	37	37	46	9 (6.0)	18 (12.1)
益子町	1,085	1,027 (94.7)	2 (0.2)	56 (5.2)	45 (80.4)	2	13	11	19	2 (3.6)	9 (16.1)
茂木町	263	245 (93.2)	0 (0.0)	18 (6.8)	10 (55.6)	1	3	2	4	0 (0.0)	8 (44.4)
芳賀町	911	837 (91.9)	2 (0.2)	72 (7.9)	52 (72.2)	3	10	15	24	1 (1.4)	19 (26.4)
野木町	950	866 (91.2)	4 (0.4)	80 (8.4)	55 (68.8)	3	14	18	20	7 (8.8)	18 (22.5)
塩谷町	496	466 (94.0)	1 (0.2)	29 (5.8)	19 (65.5)	3	4	6	6	5 (17.2)	5 (17.2)
那珂川町	872	793 (90.9)	2 (0.2)	77 (8.8)	57 (74.0)	4	18	18	17	0 (0.0)	20 (26.0)
総数	26,374	24,132 (91.5)	96 (0.4)	2,146 (8.1)	1,540 (71.8)	104	417	509	510	132 (6.2)	474 (22.1)

表3 年齢階級別判定内訳 (職域検診)

	受診者数	異常認めず(%)	要継続通院(%)	要精検(%)
29歳以下	9	9 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30～34歳	20	19 (95.0)	0 (0.0)	1 (5.0)
35～39歳	32	32 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40～44歳	54	54 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
45～49歳	187	183 (97.9)	0 (0.0)	4 (2.1)
50～54歳	1,277	1,237 (96.9)	2 (0.2)	38 (3.0)
55～59歳	1,093	1,042 (95.3)	2 (0.2)	49 (4.5)
60～64歳	717	643 (89.7)	11 (1.5)	63 (8.8)
65～69歳	277	247 (89.2)	5 (1.8)	25 (9.0)
70歳以上	156	142 (91.0)	3 (1.9)	11 (7.1)
総数	3,822	3,608 (94.4)	23 (0.6)	191 (5.0)

学 域 ・ 母 子 保 健

- 1 心 臓 検 診
- 2 腎臓検診（尿検査）
- 3 寄 生 虫 卵 検 査
- 4 小児生活習慣病予防健診
- 5 貧 血 検 査
- 6 脂 質 検 査
- 7 血 清 検 査
- 8 骨粗しょう症検診
- 9 結 核 検 診
- 10 先天性代謝異常等検査

1	心 臓 検 診
---	---------

1 概 要

1] 目 的

突然死の防止と心疾患児の適正管理

2] 根拠法令

学校保健安全法

3] 対 象

小学校、中学校、高等学校の1年生及びその他の学年

4] 検診方法

(1) 心電図・心音図方式

心臓病調査票と標準12誘導心電図検査・2点3心音図検査を実施し、判定の結果要精検となった者は、医療機関で精密検査を受診して管理区分を決定した。

(2) 心電図方式

心臓病調査票と標準12誘導心電図検査を実施し、判定の結果要精検となった者は、医療機関で精密検査を受診して管理区分を決定した。

※他学年は、実施主体が定める検診方式により実施。(1)、(2)いずれかを選択)

5] 判定方法

「栃木県の学校心臓検診における管理基準と判定基準」をもとに、県立学校の児童・生徒は「栃木県児童生徒健康管理委員会」で、市町立及び私立校の児童・生徒は「宇都宮市医師会心臓検診委員会」で判定した。

2 実施状況

表1 検診方式別実施状況

			心電図・心音図方式			心電図方式		
			受診者数	有所見者数(%)		受診者数	有所見者数(%)	
小学校	1年生	男	3,632	168	(4.6)	-	-	-
		女	3,293	124	(3.8)	-	-	-
		計	6,925	292	(4.2)	-	-	-
	他学年	男	1,683	110	(6.5)	2,368	101	(4.3)
		女	1,509	66	(4.4)	2,218	80	(3.6)
		計	3,192	176	(5.5)	4,586	181	(3.9)
中学校	1年生	男	4,164	302	(7.3)	-	-	-
		女	3,820	228	(6.0)	-	-	-
		計	7,984	530	(6.6)	-	-	-
	他学年	男	-	-	-	31	0	(0.0)
		女	-	-	-	57	2	(3.5)
		計	-	-	-	88	2	(2.3)
高等学校	1年生	男	-	-	-	6,203	464	(7.5)
		女	-	-	-	5,672	291	(5.1)
		計	-	-	-	11,875	755	(6.4)
	他学年	男	-	-	-	2,058	153	(7.4)
		女	-	-	-	1,222	60	(4.9)
		計	-	-	-	3,280	213	(6.5)
総 数	男	9,479	580	(6.1)	10,660	718	(6.7)	
	女	8,622	418	(4.8)	9,169	433	(4.7)	
	計	18,101	998	(5.5)	19,829	1,151	(5.8)	

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
心電図・心音図方式	受診者数	19,865	19,672	19,159	18,695	18,101
	有所見率(%)	2.6	2.6	5.5*	5.8	5.5
心電図方式	受診者数	23,848	21,279	21,500	20,907	19,829
	有所見率(%)	6.8	7.6	6.3	6.5	5.8

*検診方式の変更により増加

表2 郡市別実施状況（小学校1年生）

		計	鹿沼市	日光市	芳賀	下都賀 (小山)	塩谷	那須	南那須	私立	県立
受診状況	在籍者数	6,949	626	440	991	2,186	846	1,506	217	1	136
	受診者数	6,925	626	440	991	2,180	840	1,501	217	1	129
	(%)	(99.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(99.7)	(99.3)	(99.7)	(100.0)	(100.0)	(94.9)
	有所見者数	542	40	27	80	141	63	134	21	0	36
	(%)	(7.8)	(6.4)	(6.1)	(8.1)	(6.5)	(7.5)	(8.9)	(9.7)	(0.0)	(27.9)
	調査票10点以上	374	25	22	54	104	43	82	14	0	30
	学校医所見	31	2	5	3	8	4	4	4	0	1
	心電図所見	192	21	3	28	41	18	56	8	0	17
	心音図所見	29	3	1	3	4	4	7	1	0	6
	対象者数	292	26	9	40	64	33	83	14	0	23
受診者数	246	25	8	34	45	29	73	12	0	20	
(%)	(3.6)	(4.0)	(1.8)	(3.4)	(2.1)	(3.5)	(4.9)	(5.5)	(0.0)	(15.5)	
有所見者数	176	18	7	24	36	18	44	10	0	19	
(%)	(2.5)	(2.9)	(1.6)	(2.4)	(1.7)	(2.1)	(2.9)	(4.6)	(0.0)	(14.7)	
先天性心疾患	心室中隔欠損	22	2	1	4	5	1	2	1	0	6
	心室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心房中隔欠損	9	0	1	1	3	0	1	0	0	3
	心房中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室中隔欠損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動脈管開存	6	0	0	1	1	1	2	0	0	1
	動脈管開存疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ファロー四徴症	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	ファロー四徴症疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肺動脈狭窄・閉鎖	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	大血管転位	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	大血管転位疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（複雑心奇形）	7	2	0	0	1	2	1	0	0	1
	右胸心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	52	5	2	7	11	4	7	1	0	15	
精密検査有所見内訳	弁障害	25	4	0	4	5	2	7	1	0	2
	川崎病既往（後遺症なし）	43	6	3	7	7	5	11	3	0	1
	川崎病既往（後遺症あり）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心筋炎既往	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	僧帽弁逸脱症	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	47	6	3	7	7	6	13	4	0	1
	心筋症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他（心臓腫瘍を含む）	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	心雑音・心音異常	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	1	0	0	1	0	1	0	0	2	
心電図異常	房室ブロックⅠ度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	房室ブロックⅡ度	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	高度房室ブロック	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	不完全右脚ブロック	24	2	1	1	7	5	7	0	0	1
	その他の脚ブロック	8	3	0	1	2	1	1	0	0	0
	軸偏位	5	0	0	2	1	0	2	0	0	0
	WPW・LGL症候群他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異常ST-T・T変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異常Q波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	QT延長	6	1	0	2	0	0	1	1	0	1
	心室期外収縮	10	0	1	2	1	1	4	1	0	0
	上室期外収縮	10	0	0	1	5	0	4	0	0	0
	その他の高度の不整脈	4	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	その他	11	0	0	1	2	1	4	1	0	2
	計	80	9	2	10	19	9	23	4	0	4
その他	A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B（登校はできるが運動は不可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C（軽い運動は可）	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	D（中程度の運動まで可）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	E（強い運動も可）	109	10	5	17	16	10	26	10	0	15
	管理不要	64	8	2	7	20	8	17	0	0	2

表3 郡市別実施状況（中学校1年生）

		計	鹿沼市	日光市	芳賀	下都賀 (小山)	塩谷	那須	南那須	私立	県立	
受診状況	在籍者数	8,080	650	532	1,195	2,348	887	1,667	252	102	447	
	受診者数	7,984	638	526	1,183	2,324	875	1,647	248	102	441	
	(%)	(98.8)	(98.2)	(98.9)	(99.0)	(99.0)	(98.6)	(98.8)	(98.4)	(100.0)	(98.7)	
	有所見者数	853	55	64	118	266	87	164	18	6	75	
	(%)	(10.7)	(8.6)	(12.2)	(10.0)	(11.4)	(9.9)	(10.0)	(7.3)	(5.9)	(17.0)	
	有所見内訳											
	調査票10点以上	514	22	35	72	161	64	93	12	4	51	
	学校医所見	31	9	5	1	6	7	0	1	0	2	
	心電図所見	385	28	30	55	122	29	76	8	3	34	
	心音図所見	75	7	7	13	22	8	13	2	0	3	
先天性心疾患	対象者数	530	34	40	78	171	45	104	8	2	48	
	受診者数	423	29	38	61	114	40	91	7	1	42	
	(%)	(5.3)	(4.5)	(7.2)	(5.2)	(4.9)	(4.6)	(5.5)	(2.8)	(1.0)	(9.5)	
	有所見者数	318	20	26	45	83	36	70	5	1	32	
	(%)	(4.0)	(3.1)	(4.9)	(3.8)	(3.6)	(4.1)	(4.3)	(2.0)	(1.0)	(7.3)	
	心室中隔欠損	23	1	4	4	8	1	2	0	0	3	
	心室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心房中隔欠損	9	2	1	1	2	1	0	0	0	2	
	心房中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	房室中隔欠損	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	房室中隔欠損疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	動脈管開存	6	0	0	0	0	1	1	0	0	4	
	動脈管開存疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ファロー四徴症	5	0	0	1	1	1	1	0	0	1	
	ファロー四徴症疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肺動脈狭窄・閉鎖	4	1	1	0	2	0	0	0	0	0		
大血管転位	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0		
大血管転位疑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他（複雑心奇形）	12	3	1	2	3	0	0	0	0	3		
右胸心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	67	8	7	8	17	4	5	0	0	18		
精密検査有所見内訳	弁障害	44	4	3	3	12	6	8	0	0	8	
	川崎病既往（後遺症なし）	26	1	2	3	8	4	7	0	0	1	
	川崎病既往（後遺症あり）	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
	心筋炎既往	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	僧帽弁逸脱症	7	0	0	2	2	1	2	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	35	1	3	5	10	5	10	0	0	1	
	その他の心疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心筋症	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	心雑音・心音異常	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	4	2	0	0	1	0	0	0	0	1		
心電図異常	房室ブロックⅠ度	6	0	1	1	1	2	0	1	0	0	
	房室ブロックⅡ度	13	0	0	3	5	2	2	1	0	0	
	高度房室ブロック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	不完全右脚ブロック	64	4	5	6	19	8	16	1	0	5	
	その他の脚ブロック	10	0	0	3	2	1	4	0	0	0	
	軸偏位	5	1	0	1	0	1	2	0	0	0	
	WPW・LGL症候群他	12	0	0	2	6	1	3	0	0	0	
	異常ST-T・T変化	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
	異常Q波	3	1	0	0	0	1	1	0	0	0	
	QT延長	25	0	2	6	7	2	6	1	0	1	
	心室期外収縮	36	2	4	5	6	5	10	1	0	3	
	上室期外収縮	31	0	2	1	6	2	14	1	0	5	
	その他の高度の不整脈	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	その他	21	1	2	1	6	2	3	0	1	5	
	計	232	9	17	33	58	27	61	6	1	20	
その他	管理区分	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	
	A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	B（登校はできるが運動は不可）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	C（軽い運動は可）	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	D（中程度の運動まで可）	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	
	E（強い運動も可）	208	11	17	36	47	22	43	3	1	28	
管理不要	106	9	8	9	34	13	27	2	0	4		

表4 実施状況（高等学校1年生）

	計	私立	県立
在籍者数	11,961	1,990	9,971
受診者数	11,875	1,946	9,929
（%）	(99.3)	(97.8)	(99.6)
有所見者数	1,301	208	1,093
（%）	(11.0)	(10.7)	(11.0)
受診状況			
内訳			
有所見			
調査票10点以上	885	162	723
学校医所見	5	1	4
心電図所見	605	73	532
対象者数	755	108	647
受診者数	645	73	572
（%）	(5.4)	(3.8)	(5.8)
有所見者数	488	56	432
（%）	(4.1)	(2.9)	(4.4)
先天性心疾患			
心室中隔欠損	37	2	35
心室中隔欠損疑	0	0	0
心房中隔欠損	20	3	17
心房中隔欠損疑	0	0	0
房室中隔欠損	2	0	2
房室中隔欠損疑	0	0	0
動脈管開存	8	0	8
動脈管開存疑	0	0	0
ファロー四徴症	2	0	2
ファロー四徴症疑	0	0	0
肺動脈狭窄・閉鎖	0	0	0
大血管転位	3	0	3
大血管転位疑	0	0	0
その他（複雑心奇形）	5	0	5
右胸心	0	0	0
計	77	5	72
弁障害	58	6	52
後天性心疾患			
川崎病既往（後遺症なし）	24	5	19
川崎病既往（後遺症あり）	0	0	0
心筋炎既往	2	0	2
僧帽弁逸脱症	11	1	10
その他	0	0	0
計	37	6	31
その他の心疾患			
心筋症	1	0	1
その他（心臓腫瘍を含む）	2	0	2
心雑音・心音異常	0	0	0
計	3	0	3
心電図異常			
房室ブロックⅠ度	9	1	8
房室ブロックⅡ度	24	2	22
高度房室ブロック	3	0	3
不完全右脚ブロック	94	6	88
その他の脚ブロック	36	4	32
軸偏位	12	1	11
WPW・LGL症候群他	19	3	16
異常ST-T・T変化	16	1	15
異常Q波	3	0	3
QT延長	30	4	26
心室期外収縮	79	13	66
上室期外収縮	38	3	35
その他の高度の不整脈	10	2	8
その他	32	2	30
計	405	42	363
その他	8	4	4
管理区分			
A（在宅医療・入院が必要）	0	0	0
B（登校はできるが運動は不可）	0	0	0
C（軽い運動は可）	0	0	0
D（中程度の運動まで可）	12	1	11
E（強い運動も可）	319	33	286
管理不要	156	22	134

2

腎臓検診（尿検査）

【腎臓検診】

1 概 要

1] 目 的

腎臓病、糖尿病等の早期発見と学校生活における指導区分の適切な管理

2] 対 象

児童・生徒

2 検査方法

1] 1次検査

提出された尿検体は、尿自動分析装置を用いて試験紙法による半定量検査を実施した。検査項目は、蛋白、潜血、糖の3項目で、蛋白が（±）以上のものに対しては、色素結合定量（ピロガロールレッド・モリブデン錯体）法により確認検査を実施した。

2] 2次検査

1次検査と同様の検査を実施後、蛋白または潜血が陽性のものについては沈渣鏡検を行い、その後、腎臓検診判定委員会で総合判定を実施した。

3 実施状況

表1 実施状況

	一次検査				二次検査				要精検対象者数* (%)		精検受診者数 (%)	
	受診者数	陽性者数 (%)	陽性者数のうち 至急対象者数		受診者数	陽性者数 (%)	陽性者数のうち 至急対象者数					
幼稚園	男	15	1 (6.7)	0	1	0 (0.0)	0		-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	15	1 (6.7)	0	1	0 (0.0)	0		-	-	-	-
小学校	男	24,356	514 (2.1)	8	497	121 (24.3)	9	129 (0.5)	111 (86.0)			
	女	22,563	986 (4.4)	8	940	221 (23.5)	18	229 (1.0)	194 (84.7)			
	計	46,919	1,500 (3.2)	16	1,437	342 (23.8)	27	358 (0.8)	305 (85.2)			
中学校	男	13,488	1,151 (8.5)	15	1,098	259 (23.6)	16	274 (2.0)	203 (74.1)			
	女	12,420	1,065 (8.6)	6	966	196 (20.3)	27	202 (1.6)	151 (74.8)			
	計	25,908	2,216 (8.6)	21	2,064	455 (22.0)	43	476 (1.8)	354 (74.4)			
高等学校	男	21,670	1,472 (6.8)	36	1,368	266 (19.4)	10	302 (1.4)	210 (69.5)			
	女	19,664	1,456 (7.4)	31	1,323	222 (16.8)	14	253 (1.3)	170 (67.2)			
	計	41,334	2,928 (7.1)	67	2,691	488 (18.1)	24	555 (1.3)	380 (68.5)			
総 数	男	59,529	3,138 (5.3)	59	2,964	646 (21.8)	35	705 (1.2)	524 (74.3)			
	女	54,647	3,507 (6.4)	45	3,229	639 (19.8)	59	684 (1.3)	515 (75.3)			
	計	114,176	6,645 (5.8)	104	6,193	1,285 (20.7)	94	1,389 (1.2)	1,039 (74.8)			

*要精検対象者数：一次検査の至急対象者数及び二次検査の陽性者数

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	123,867	122,026	119,444	116,764	114,176
要精検率 (%)	1.2	1.3	1.2	1.0	1.2

表1-(1) 一次検査陽性者の項目別内訳

		受診者数	陽性者数 (%)	内至急 対象者数	蛋白 (%)	糖 (%)	潜血 (%)
幼稚園	男	15	1 (6.7)	0	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)
	女	0	-	-	-	-	-
	計	15	1 (6.7)	0	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)
小学校	男	24,356	514 (2.1)	8	320 (1.3)	19 (0.1)	193 (0.8)
	女	22,563	986 (4.4)	8	514 (2.3)	20 (0.1)	504 (2.2)
	計	46,919	1,500 (3.2)	16	834 (1.8)	39 (0.1)	697 (1.5)
中学校	男	13,488	1,151 (8.5)	15	1,015 (7.5)	32 (0.2)	146 (1.1)
	女	12,420	1,065 (8.6)	6	553 (4.5)	35 (0.3)	543 (4.4)
	計	25,908	2,216 (8.6)	21	1,568 (6.1)	67 (0.3)	689 (2.7)
高等学校	男	21,670	1,472 (6.8)	36	1,234 (5.7)	76 (0.4)	224 (1.0)
	女	19,664	1,456 (7.4)	31	750 (3.8)	60 (0.3)	754 (3.8)
	計	41,334	2,928 (7.1)	67	1,984 (4.8)	136 (0.3)	978 (2.4)
総数	男	59,529	3,138 (5.3)	59	2,569 (4.3)	127 (0.2)	564 (0.9)
	女	54,647	3,507 (6.4)	45	1,817 (3.3)	115 (0.2)	1,801 (3.3)
	計	114,176	6,645 (5.8)	104	4,386 (3.8)	242 (0.2)	2,365 (2.1)

表1-(2) 二次検査陽性者の項目別内訳

		受診者数	陽性者数 (%)	内至急 対象者数	蛋白 (%)	糖 (%)	潜血 (%)
幼稚園	男	1	0 (0.0)	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-
	計	1	0 (0.0)	-	-	-	-
小学校	男	497	121 (24.3)	9	50 (10.1)	5 (1.0)	70 (14.1)
	女	940	221 (23.5)	18	85 (9.0)	4 (0.4)	155 (16.5)
	計	1,437	342 (23.8)	27	135 (9.4)	9 (0.6)	225 (15.7)
中学校	男	1,098	259 (23.6)	16	204 (18.6)	8 (0.7)	66 (6.0)
	女	966	196 (20.3)	27	103 (10.7)	18 (1.9)	91 (9.4)
	計	2,064	455 (22.0)	43	307 (14.9)	26 (1.3)	157 (7.6)
高等学校	男	1,368	266 (19.4)	10	189 (13.8)	18 (1.3)	71 (5.2)
	女	1,323	222 (16.8)	14	125 (9.4)	13 (1.0)	106 (8.0)
	計	2,691	488 (18.1)	24	314 (11.7)	31 (1.2)	177 (6.6)
総数	男	2,964	646 (21.8)	35	443 (14.9)	31 (1.0)	207 (7.0)
	女	3,229	639 (19.8)	59	313 (9.7)	35 (1.1)	352 (10.9)
	計	6,193	1,285 (20.7)	94	756 (12.2)	66 (1.1)	559 (9.0)

【尿検査】

1 概 要

1] 目 的

腎臓病、糖尿病等の早期発見

2] 対 象

幼児・児童・生徒等

2 検査方法

1] 1次検査

提出された尿検体は、尿自動分析装置を用いて試験紙法による半定量検査を実施した。検査項目は、A項目が蛋白、糖の2項目、B項目が蛋白、潜血、糖の3項目で、蛋白が（±）以上のものに対しては、色素結合定量（ピロガロールレッド・モリブデン錯体）法により確認検査を実施した。

2] 2次検査

1次検査と同様の検査を実施するが、今年度の依頼はなかった。

3 実施状況

表1 検査方法別実施状況

		一次検査						二次検査					
		A項目（蛋白+糖）			B項目（蛋白+糖+潜血）			A項目（蛋白+糖）			B項目（蛋白+糖+潜血）		
		受診者数	陽性者数（%）		受診者数	陽性者数（%）		受診者数	陽性者数（%）		受診者数	陽性者数（%）	
幼稚園 保育所	男	2,986	36 (1.2)		16,732	336 (2.0)		0	-	-	0	-	-
	女	2,867	53 (1.8)		15,146	612 (4.0)		0	-	-	0	-	-
	計	5,853	89 (1.5)		31,878	948 (3.0)		0	-	-	0	-	-
小学校	男	0	-	-	26	0 (0.0)		0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	23	0 (0.0)		0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	49	0 (0.0)		0	-	-	0	-	-
中学校	男	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	4	1 (25.0)		0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	4	1 (25.0)		0	-	-	0	-	-
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	-
総 数	男	2,986	36 (1.2)		16,758	336 (2.0)		0	-	-	0	-	-
	女	2,867	53 (1.8)		15,173	613 (4.0)		0	-	-	0	-	-
	計	5,853	89 (1.5)		31,931	949 (3.0)		0	-	-	0	-	-

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	41,507	41,416	40,180	38,164	37,784
陽性率（%）	2.1	2.3	2.3	2.6	2.7

表2-(1) 一次検査陽性者の項目別内訳（A項目：蛋白+糖）

		受診者数	陽性者数(%)		蛋白(%)		糖(%)	
幼稚園 保育所	男	2,986	36	(1.2)	30	(1.0)	6	(0.2)
	女	2,867	53	(1.8)	51	(1.8)	2	(0.1)
	計	5,853	89	(1.5)	81	(1.4)	8	(0.1)
小学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
中学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-
総 数	男	2,986	36	(1.2)	30	(1.0)	6	(0.2)
	女	2,867	53	(1.8)	51	(1.8)	2	(0.1)
	計	5,853	89	(1.5)	81	(1.4)	8	(0.1)

表2-(2) 一次検査陽性者の項目別内訳（B項目：蛋白+糖+潜血）

		受診者数	陽性者数(%)		蛋白(%)		糖(%)		潜血(%)	
幼稚園 保育所	男	16,732	336	(2.0)	138	(0.8)	12	(0.1)	202	(1.2)
	女	15,146	612	(4.0)	198	(1.3)	19	(0.1)	431	(2.8)
	計	31,878	948	(3.0)	336	(1.1)	31	(0.1)	633	(2.0)
小学校	男	26	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-
	女	23	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-
	計	49	0	(0.0)	-	-	-	-	-	-
中学校	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	4	1	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(25.0)
	計	4	1	(25.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(25.0)
高等学校	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	男	16,758	336	(2.0)	138	(0.8)	12	(0.1)	202	(1.2)
	女	15,173	613	(4.0)	198	(1.3)	19	(0.1)	432	(2.8)
	計	31,931	949	(3.0)	336	(1.1)	31	(0.1)	634	(2.0)

3

寄生虫卵検査

1 概 要

1] 目 的

蟯虫卵の検出

2] 対 象

幼児・児童・生徒等

3] 検査方法

肛門付近に産卵された蟯虫卵をセロテープに付着させ、顕微鏡下で虫卵の有無を検査した。

2 実施状況

表1 実施状況

		二回法	
		受診者数	陽性者数(%)
幼稚園 保育所	男	623	0 (0.0)
	女	596	0 (0.0)
	計	1,219	0 (0.0)
小学校	男	0	- -
	女	0	- -
	計	0	- -
中学校	男	0	- -
	女	0	- -
	計	0	- -
高等学校	男	0	- -
	女	0	- -
	計	0	- -
その他	男	85	0 (0.0)
	女	65	2 (3.1)
	計	150	2 (1.3)
総 数	男	708	0 (0.0)
	女	661	2 (0.3)
	計	1,369	2 (0.1)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	3,682	2,750	2,348	2,006	1,369
陽性率(%)	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1

4

小児生活習慣病予防健診

1 概 要

1] 目 的

小児期の生活習慣病予防を目的としたリスクの早期発見・早期対応

2] 対 象

児童・生徒

3] 検査内容

(1) 検査項目

- 1) 肥満度（身体計測値から肥満度を算出）
- 2) 脂 質（総コレステロール・HDLコレステロール・LDLコレステロール）
- 3) 血 圧
- 4) 小児生活習慣病予防健診調査票（糖尿病現病歴・家族歴）

(2) 判定

（公財）予防医学事業中央会が示す項目別判定基準に準拠して判定した後、その判定をもとに総合判定を決定する。

総合判定

判定区分	指導内容
I（要医学的管理）	I-1 引き続き専門医による管理を行うことを勧める
	I-2 専門医への受診を勧める
	I-3
II（要経過観察）	医師、学校、家庭などが連携して生活指導を行い、数か月～1年後に経過観察のための再検査を受けることが望ましい
III（要生活指導）	学校、家庭などの連携のもとに生活指導を行うことが望ましい
IV（管理不要）	所見はあるが管理は不要。但し、次回健診時に各検査項目値の変動に留意する
N（正常）	今回の健診では異常所見が認められない

2 実施状況

表1 判定内訳

		受診者数	I 要医学的管理 (%)		II 要経過観察 (%)		III 要生活指導 (%)		IV 管理不要 (%)		N 正常 (%)	
小学校 (124校)	男	2,251	77	(3.4)	219	(9.7)	365	(16.2)	1,066	(47.4)	524	(23.3)
	女	2,104	39	(1.9)	182	(8.7)	359	(17.1)	1,100	(52.3)	424	(20.2)
	計	4,355	116	(2.7)	401	(9.2)	724	(16.6)	2,166	(49.7)	948	(21.8)
中学校 (87校)	男	3,997	110	(2.8)	304	(7.6)	381	(9.5)	2,321	(58.1)	881	(22.0)
	女	3,746	86	(2.3)	260	(6.9)	572	(15.3)	2,097	(56.0)	731	(19.5)
	計	7,743	196	(2.5)	564	(7.3)	953	(12.3)	4,418	(57.1)	1,612	(20.8)
高等学校 (0校)	男	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数 (211校)	男	6,248	187	(3.0)	523	(8.4)	746	(11.9)	3,387	(54.2)	1,405	(22.5)
	女	5,850	125	(2.1)	442	(7.6)	931	(15.9)	3,197	(54.6)	1,155	(19.7)
	計	12,098	312	(2.6)	965	(8.0)	1,677	(13.9)	6,584	(54.4)	2,560	(21.2)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	14,088	13,675	12,982	12,792	12,098
有所見率(%)*	24.8	24.1	26.0	24.5	24.4

*判定区分Ⅰ～Ⅲ

表2 検査項目別実施状況

	受診者数	肥満度		血 圧		糖尿病歴		家族歴	
		肥満 (%)	やせ (%)	有所見者数 (%)	有所見者数 (%)	有所見者数 (%)	有所見者数 (%)		
小学校 (124校)	男	2,251	401 (17.8)	58 (2.6)	253 (11.2)	2 (0.09)	1,400 (62.2)		
	女	2,104	307 (14.6)	60 (2.9)	333 (15.8)	1 (0.05)	1,321 (62.8)		
	計	4,355	708 (16.3)	118 (2.7)	586 (13.5)	3 (0.07)	2,721 (62.5)		
中学校 (87校)	男	3,997	573 (14.3)	116 (2.9)	1,170 (29.3)	4 (0.10)	2,521 (63.1)		
	女	3,746	405 (10.8)	42 (1.1)	854 (22.8)	1 (0.03)	2,474 (66.0)		
	計	7,743	978 (12.6)	158 (2.0)	2,024 (26.1)	5 (0.06)	4,995 (64.5)		
高等学校 (0校)	男	0	-	-	-	-	-		
	女	0	-	-	-	-	-		
	計	0	-	-	-	-	-		
総 数 (211校)	男	6,248	974 (15.6)	174 (2.8)	1,423 (22.8)	6 (0.10)	3,921 (62.8)		
	女	5,850	712 (12.2)	102 (1.7)	1,187 (20.3)	2 (0.03)	3,795 (64.9)		
	計	12,098	1,686 (13.9)	276 (2.3)	2,610 (21.6)	8 (0.07)	7,716 (63.8)		

	受診者数	脂 質	
		有所見者数 (%)	有所見者数 (%)
小学校 (124校)	男	2,209	657 (29.7)
	女	2,080	587 (28.2)
	計	4,289	1,244 (29.0)
中学校 (87校)	男	3,977	572 (14.4)
	女	3,721	934 (25.1)
	計	7,698	1,506 (19.6)
高等学校 (0校)	男	0	-
	女	0	-
	計	0	-
総 数 (211校)	男	6,186	1,229 (19.9)
	女	5,801	1,521 (26.2)
	計	11,987	2,750 (22.9)

5

貧血検査

1 概要

1] 目的

貧血の早期発見・早期対応

2] 対象

児童・生徒

3] 判定基準

学術委員指導の下、統計学的に算出して設定した基準範囲を用い判定した。

2 実施状況

表1 判定内訳

		受診者数	異常認めず(%)	要観察(%)	要精検(%)
小学校 (100校)	男	1,863	1,853 (99.5)	8 (0.4)	2 (0.1)
	女	1,792	1,776 (99.1)	11 (0.6)	5 (0.3)
	計	3,655	3,629 (99.3)	19 (0.5)	7 (0.2)
中学校 (87校)	男	5,711	5,684 (99.5)	24 (0.4)	3 (0.1)
	女	5,322	5,109 (96.0)	162 (3.0)	51 (1.0)
	計	11,033	10,793 (97.8)	186 (1.7)	54 (0.5)
高等学校 (8校)	男	629	589 (93.6)	30 (4.8)	10 (1.6)
	女	769	682 (88.7)	68 (8.8)	19 (2.5)
	計	1,398	1,271 (90.9)	98 (7.0)	29 (2.1)
その他 (6校)	男	22	21 (95.5)	1 (4.5)	0 (0.0)
	女	348	306 (87.9)	35 (10.1)	7 (2.0)
	計	370	327 (88.4)	36 (9.7)	7 (1.9)
総数 (201校)	男	8,225	8,147 (99.1)	63 (0.8)	15 (0.2)
	女	8,231	7,873 (95.7)	276 (3.4)	82 (1.0)
	計	16,456	16,020 (97.4)	339 (2.1)	97 (0.6)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	20,889	19,290	18,397	17,747	16,456
有所見率(%)	2.6	2.5	2.4	3.1	2.7

表2 検査項目別実施状況

	受診者数	血色素量			赤血球数			ヘマトクリット			
		異常認めず(%)	要観察(%)	要精検(%)	異常認めず(%)	要観察(%)	要精検(%)	異常認めず(%)	要観察(%)	要精検(%)	
小学校 (100校)	男	1,863	1,853 (99.5)	8 (0.4)	2 (0.1)	1,860 (99.8)	2 (0.1)	1 (0.1)	1,851 (99.4)	11 (0.6)	1 (0.1)
	女	1,792	1,776 (99.1)	12 (0.7)	4 (0.2)	1,787 (99.7)	4 (0.2)	1 (0.1)	1,785 (99.6)	7 (0.4)	0 (0.0)
	計	3,655	3,629 (99.3)	20 (0.5)	6 (0.2)	3,647 (99.8)	6 (0.2)	2 (0.1)	3,636 (99.5)	18 (0.5)	1 (0.0)
中学校 (87校)	男	5,711	5,685 (99.5)	24 (0.4)	2 (0.0)	5,701 (99.8)	9 (0.2)	1 (0.0)	5,697 (99.8)	12 (0.2)	2 (0.0)
	女	5,322	5,109 (96.0)	162 (3.0)	51 (1.0)	5,293 (99.5)	28 (0.5)	1 (0.0)	5,267 (99.0)	28 (0.5)	27 (0.5)
	計	11,033	10,794 (97.8)	186 (1.7)	53 (0.5)	10,994 (99.6)	37 (0.3)	2 (0.0)	10,964 (99.4)	40 (0.4)	29 (0.3)
高等学校 (8校)	男	629	596 (94.8)	33 (5.2)	0 (0.0)	418 (66.5)	201 (32.0)	10 (1.6)	537 (85.4)	92 (14.6)	0 (0.0)
	女	769	684 (88.9)	68 (8.8)	17 (2.2)	647 (84.1)	120 (15.6)	2 (0.3)	673 (87.5)	96 (12.5)	0 (0.0)
	計	1,398	1,280 (91.6)	101 (7.2)	17 (1.2)	1,065 (76.2)	321 (23.0)	12 (0.9)	1,210 (86.6)	188 (13.4)	0 (0.0)
その他 (6校)	男	22	21 (95.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	14 (63.6)	8 (36.4)	0 (0.0)	16 (72.7)	6 (27.3)	0 (0.0)
	女	348	306 (87.9)	35 (10.1)	7 (2.0)	305 (87.6)	43 (12.4)	0 (0.0)	310 (89.1)	37 (10.6)	1 (0.3)
	計	370	327 (88.4)	36 (9.7)	7 (1.9)	319 (86.2)	51 (13.8)	0 (0.0)	326 (88.1)	43 (11.6)	1 (0.3)
総数 (201校)	男	8,225	8,155 (99.1)	66 (0.8)	4 (0.0)	7,993 (97.2)	220 (2.7)	12 (0.1)	8,101 (98.5)	121 (1.5)	3 (0.0)
	女	8,231	7,875 (95.7)	277 (3.4)	79 (1.0)	8,032 (97.6)	195 (2.4)	4 (0.0)	8,035 (97.6)	168 (2.0)	28 (0.3)
	計	16,456	16,030 (97.4)	343 (2.1)	83 (0.5)	16,025 (97.4)	415 (2.5)	16 (0.1)	16,136 (98.1)	289 (1.8)	31 (0.2)

6

脂 質 検 査

1 概 要

1] 目 的

脂質代謝異常の早期発見・早期対応

2] 対 象

児童・生徒

3] 判定基準

学術委員指導の下、統計学的に算出して設定した基準範囲を用い判定した。

2 実施状況

表1 判定内訳

	受診者数	総コレステロール			
		異常認めず (%)	要観察 (%)	要精検 (%)	
総 数 (3校)	男	116	89 (76.7)	24 (20.7)	3 (2.6)
	女	104	67 (64.4)	33 (31.7)	4 (3.8)
	計	220	156 (70.9)	57 (25.9)	7 (3.2)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	0	257	245	230	220
有所見率 (%)	-	18.7	27.3	31.3	29.1

7	血 清 検 査
---	---------

1 概 要**1] 対 象**

県内看護学校の学生

2 実施状況

表1 判定内訳

	受診者数	HB s 抗原	HB s 抗体	HCV 抗体	感染症関連 4項目*	麻疹抗体	結核菌特異的 IFN- γ
専門学校	226	226	226	97	140	10	0

*感染症関連4項目：水痘、ムンプス、麻疹、風疹

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	293	262	263	222	226

8

骨粗しょう症検診

1 概要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で同一年齢平均骨量を測定した。

2] 対象

中学校の生徒

3] 判定基準

	異常認めず	要指導	要精検
同一年齢平均骨量	90%以上	80%～89%	80%未満

2 実施状況

表1 判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)	
1年生	男	30	26 (86.7)	4 (13.3)	0 (0.0)
	女	21	19 (90.5)	2 (9.5)	0 (0.0)
	計	51	45 (88.2)	6 (11.8)	0 (0.0)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	83	82	67	64	51
要精検率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9

結核検診

1 概要

1] 対象

高等学校及び高等専門学校第1学年、各種学校

2] 検査方法

胸部エックス線デジタル撮影による背腹1方向撮影

3] 判定方法

呼吸器の専門医が読影を行い判定した。

2 実施状況

表1 判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
高等学校	男	6,819	6,782 (99.5)	25 (0.4)	12 (0.2)
	女	6,322	6,259 (99.0)	55 (0.9)	8 (0.1)
	計	13,141	13,041 (99.2)	80 (0.6)	20 (0.2)
特別支援学校	男	233	220 (94.4)	12 (5.2)	1 (0.4)
	女	108	96 (88.9)	12 (11.1)	0 (0.0)
	計	341	316 (92.7)	24 (7.0)	1 (0.3)
その他	男	114	111 (97.4)	3 (2.6)	0 (0.0)
	女	365	357 (97.8)	5 (1.4)	3 (0.8)
	計	479	468 (97.7)	8 (1.7)	3 (0.6)
総数	男	7,166	7,113 (99.3)	40 (0.6)	13 (0.2)
	女	6,795	6,712 (98.8)	72 (1.1)	11 (0.2)
	計	13,961	13,825 (99.0)	112 (0.8)	24 (0.2)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	14,982	14,644	14,383	14,310	13,961
要精検率 (%)	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2

10 先天性代謝異常等検査

1 概要

1] 目的

疾患の早期発見と障害発生の予防を目的に県からの委託により検査を実施

2] 対象

栃木県内で出生した新生児のうち、この検査を希望する者

3] 対象疾患

アミノ酸代謝異常症5疾患、有機酸代謝異常症7疾患、脂肪酸代謝異常症5疾患、糖代謝異常症1疾患、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症、脊髄性筋萎縮症および重症複合免疫不全症の合計22疾患

4] 検査方法

先天性代謝異常等検査実施要領に定められた検査方法に基づいて行い、アミノ酸代謝異常症・有機酸代謝異常症・脂肪酸代謝異常症はタンデムマス法により実施した。糖代謝異常症はマイクロプレート酵素法、先天性甲状腺機能低下症および先天性副腎過形成症はELISA法により実施した。また、脊髄性筋萎縮症および重症複合免疫不全症はPCR法により実施した。

5] 判定基準

日本マススクリーニング学会が示す基準に準拠し判定した。

○ライソゾーム病等スクリーニング検査の実施

今年度10月より、従来から実施している22疾患に追加して検査を希望した者を対象にライソゾーム病等スクリーニング検査のパイロットテストを実施した。対象疾患はムコ多糖症Ⅰ型、ムコ多糖症Ⅱ型、ポンペ病、ファブリー病、副腎白質ジストロフィー症の5疾患とした。

○先天性代謝異常等検査における多胎児の再検査の実施

日本マススクリーニング学会のガイドラインにおいて、先天性代謝異常等検査における多胎児の再検査の必要性が示されたことを踏まえ、栃木県においても10月1日以降の出生児を対象に多胎児（ただし一卵性または性別一致の多胎児に限る）に対し、再検査を実施した。

2 実施状況

表1 判定内訳

令和7年10月31日現在

対象疾患	一次検査				再検査			
	検査件数	正	常	要再検査	要精検	検査件数	正	常
アミノ酸代謝異常症	10,047	10,042	5	0	5	3	2	2
有機酸代謝異常症	10,047	10,026	21	0	21	20	1	1
脂肪酸代謝異常症	10,047	10,046	0	1	0	0	0	1
ガラクトース血症	10,047	10,016	31	0	31	30	1	1
先天性甲状腺機能低下症	10,047	9,899	147*	1	147	146	1	2
先天性副腎過形成症	10,047	9,961	86	0	86	82	4	4
重症複合免疫不全症	10,047	10,029	16	2	16	14	2	4
脊髄性筋萎縮症	10,047	10,046	0	1	0	0	0	1
低出生体重児の2回採血	-	-	226	-	226	225	1	1

*先天性甲状腺機能低下症の要再検査は多胎児の2回目採血検査75件を含む

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検査件数	12,795	12,425	11,323	10,670	10,047

人 間 ド ッ ク

人 間 ド ッ ク

1 概 要

1] 目 的

総合的な健康診断により、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防・改善を図る。

2] 特 徴

- (1) 一般社団法人日本病院会、公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会が実施する「人間ドック健診施設機能評価」の認定を平成17年に受け、以降5年毎の更新を行っている。
- (2) 人間ドックの結果説明に医師3名、保健指導に保健師3名体制で対応している。また、健康相談センターを設置し、人間ドックを受診された後の結果など、各種問合せに保健師等が対応できる体制を整えている。

3] 検査項目

(1) 基本コース

身体計測、血圧、心電図、貧血、白血球、血小板、血清蛋白、肝機能、膵機能、腎機能
尿検査、脂質代謝、糖代謝、尿酸、CRP、リウマチ因子、肝炎ウイルス、CPK
視力、眼圧、眼底、聴力、肺機能、上部消化管X線、胸部X線、便潜血、腹部超音波、
診察、保健指導

(2) オプション検査

上部消化管内視鏡（経口・経鼻）、ペプシノゲン、ヘリコバクター・ピロリ抗体
胸部CT、喀痰細胞診、子宮頸部細胞診*、HPV-DNA、経腔超音波、マンモグラフィ
（3Dマンモグラフィ）、乳房超音波、前立腺特異抗原（PSA）、甲状腺ホルモン（TSH・
FT4）、甲状腺超音波、HOMA-R、アレルギー、遺伝子（生活習慣病予防プログラ
ム）、NT-proBNP、頸動脈超音波、骨粗鬆症、内臓脂肪、血管年齢、視野、MCIスク
リーニング検査、姿勢分析

* 細胞診結果がASC-USの場合はHPV-DNAを追加実施

(3) 専門コース

婦 人 ド ッ ク 子宮頸がん検診（内診、細胞診*）
乳がん検診（マンモグラフィ（3Dマンモグラフィ）、乳房超音波）
* 細胞診結果がASC-USの場合はHPV-DNAを追加実施

肺 ド ッ ク 肺がん検診（胸部CT、喀痰細胞診）

4] 判定区分

A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察	
D1 要医療	D2 要精密検査	D3 至急精検	E 要継続治療

5] 検査基準値

公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会の判定基準及び各種疾患ガイドライン等に基づき判定した。

6] フォローアップ

総合判定結果により、要医療・要精密検査・至急精検対象者には医療機関への紹介状を結果書に添付し受診を促している。併せて精密検査結果連絡票を同封し、受診結果を医療機関から返信してもらうことにより、精密検査の受診状況を把握している。その後、人間ドック受診月より3ヶ月を経過（至急精検は1ヶ月及び3ヶ月）しても精密検査結果連絡票の返信が無い場合は、受診勧奨の手紙を個人宛に送付し、医療機関への受診を促している。

また、糖代謝、脂質代謝、尿酸の要経過観察者は、生活習慣改善後の3～6ヶ月後に医療機関や当施設での再検査を勧めている。胸部CTや喀痰細胞診についても当施設で再検査を実施している。当施設では糖代謝、脂質代謝、尿酸の要経過観察者で33名、胸部CTで11名、喀痰細胞診で1名の再検査を実施した。

MCI（軽度認知障害）スクリーニング検査プラスオプション検査開始

アルツハイマー型認知症の原因や進行に関わるたんぱく質を測定しMCIのリスクを評価する。物忘れの自覚のない段階から将来のリスクを評価でき、認知症の早期発見・早期予防の手段として有効な検査を導入した。

2 実施状況

- (1) 人間ドック実施日数は205日で、とちぎ健康の森の長寿命化工事の影響を受け例年より大幅に少ない日数となった。
- (2) 施設型特定健康診査を54名実施した。集計は地域保健【1健康診査-2】へ計上した。
- (3) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究の健診事業として17名実施した。
- (4) 風しんの追加的対策の一環として抗体検査を16名実施した。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本コース	10,650	11,340	11,287	11,561	11,023

表1 性・年齢階級別実施状況

	受診者数	年 齢 階 級 区 分										
		29歳以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上	
基 本 コ ー ス	男	6,272	46	238	408	629	808	983	1,095	1,007	510	548
	女	4,751	26	112	261	515	699	940	891	633	336	338
	計	11,023	72	350	669	1,144	1,507	1,923	1,986	1,640	846	886
専 門 コ ー ス	婦人ドック 女	12	1	1	0	0	3	1	3	1	2	0
	男	51	1	0	4	5	9	9	4	9	3	7
	肺ドック 女	104	0	0	9	10	19	25	19	14	8	0

表2 オプション受診者数

		受診者数	年 齢 階 級 区 分									
			29歳以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上
上部消化管内視鏡	男	2,065	5	52	113	166	253	284	336	346	237	273
	女	1,396	1	20	75	142	168	242	240	210	143	155
ペプシノゲン	男	258	0	8	23	23	31	48	71	46	6	2
	女	282	1	4	15	28	41	69	68	48	7	1
ヘリコバクター・ピロリ抗体	男	393	3	20	36	36	52	63	87	72	13	11
	女	378	4	13	28	46	57	81	77	57	10	5
胸部CT	男	437	2	10	17	33	43	55	55	66	62	94
	女	143	1	4	4	7	19	20	17	17	16	38
喀痰	男	357	0	4	10	17	25	35	47	65	65	89
	女	93	0	1	1	5	9	7	12	17	14	27
子宮頸がん	女	2,647	6	50	130	274	409	550	541	365	185	137
HPV-DNA	女	148	2	6	8	17	27	46	24	15	2	1
経膈超音波	女	333	2	8	19	40	62	86	62	39	11	4
マンモグラフィ	女	2,127	1	1	27	172	328	471	471	326	179	151
3Dマンモグラフィ*	女	640	0	0	9	60	86	152	135	100	56	42
乳房超音波	女	3,157	7	63	153	331	489	635	635	432	214	198
前立腺	男	1,778	4	6	22	62	145	298	400	373	218	250
	女	68	0	2	8	5	9	13	11	6	8	6
甲状腺ホルモン	男	200	0	9	8	21	26	34	48	21	15	18
	女	300	0	5	2	21	27	43	80	55	31	36
HOMA-R	男	97	1	5	10	11	9	19	9	18	7	8
	女	65	0	3	2	6	16	11	12	6	3	6
アレルギー	男	78	4	8	13	12	10	10	9	9	2	1
	女	64	1	6	7	9	13	11	8	4	5	0
遺伝子	男	18	1	1	3	4	5	0	2	1	1	0
	女	13	0	1	3	2	3	0	3	1	0	0
NT-ProBNP	男	81	0	2	2	8	10	17	14	13	10	5
	女	61	0	2	0	3	8	10	13	15	4	6
頸動脈超音波	男	200	0	1	5	9	17	34	28	37	20	49
	女	192	0	1	4	8	17	25	46	39	21	31
骨粗鬆症	男	45	0	0	1	4	5	4	4	4	8	15
	女	311	1	1	4	16	22	61	80	61	39	26
内臓脂肪	男	177	1	4	14	15	24	29	32	23	16	19
	女	90	0	2	3	11	6	22	18	17	4	7
血管年齢	男	206	1	3	16	14	18	31	32	30	26	35
	女	196	0	2	2	17	25	38	46	38	12	16
視野	男	149	1	2	8	16	19	31	29	21	10	12
	女	149	1	0	4	10	18	42	39	18	11	6
MCIスクリーニング	男	46	0	0	1	2	10	8	8	7	7	3
	女	46	0	1	0	1	7	3	12	13	6	3
姿勢分析	男	9	0	1	0	2	0	0	1	4	0	1
	女	19	0	0	1	1	1	3	2	7	1	3

* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者

表3 性・年齢階級別総合判定内訳

	受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
29歳以下	46	2 (4.3)	6 (13.0)	28 (60.9)	0 (0.0)	10 (21.7)	0 (0.0)
30～34歳	238	5 (2.1)	17 (7.1)	144 (60.5)	3 (1.3)	67 (28.2)	2 (0.8)
35～39歳	408	2 (0.5)	55 (13.5)	235 (57.6)	9 (2.2)	106 (26.0)	1 (0.2)
40～44歳	629	1 (0.2)	40 (6.4)	417 (66.3)	17 (2.7)	150 (23.8)	4 (0.6)
45～49歳	808	2 (0.2)	31 (3.8)	532 (65.8)	19 (2.4)	222 (27.5)	2 (0.2)
男 50～54歳	983	1 (0.1)	18 (1.8)	640 (65.1)	25 (2.5)	291 (29.6)	8 (0.8)
55～59歳	1,095	0 (0.0)	6 (0.5)	691 (63.1)	44 (4.0)	348 (31.8)	6 (0.5)
60～64歳	1,007	0 (0.0)	8 (0.8)	648 (64.3)	47 (4.7)	300 (29.8)	4 (0.4)
65～69歳	510	0 (0.0)	3 (0.6)	283 (55.5)	36 (7.1)	183 (35.9)	5 (1.0)
70歳以上	548	0 (0.0)	0 (0.0)	284 (51.8)	25 (4.6)	236 (43.1)	3 (0.5)
計	6,272	13 (0.2)	184 (2.9)	3,902 (62.2)	225 (3.6)	1,913 (30.5)	35 (0.6)
29歳以下	26	1 (3.8)	4 (15.4)	15 (57.7)	0 (0.0)	6 (23.1)	0 (0.0)
30～34歳	112	2 (1.8)	12 (10.7)	66 (58.9)	2 (1.8)	29 (25.9)	1 (0.9)
35～39歳	261	3 (1.1)	31 (11.9)	138 (52.9)	2 (0.8)	83 (31.8)	4 (1.5)
40～44歳	515	5 (1.0)	29 (5.6)	324 (62.9)	8 (1.6)	143 (27.8)	6 (1.2)
45～49歳	699	1 (0.1)	23 (3.3)	466 (66.7)	16 (2.3)	182 (26.0)	11 (1.6)
女 50～54歳	940	0 (0.0)	22 (2.3)	614 (65.3)	33 (3.5)	266 (28.3)	5 (0.5)
55～59歳	891	0 (0.0)	11 (1.2)	646 (72.5)	23 (2.6)	208 (23.3)	3 (0.3)
60～64歳	633	0 (0.0)	4 (0.6)	425 (67.1)	27 (4.3)	174 (27.5)	3 (0.5)
65～69歳	336	0 (0.0)	0 (0.0)	206 (61.3)	12 (3.6)	117 (34.8)	1 (0.3)
70歳以上	338	0 (0.0)	0 (0.0)	207 (61.2)	24 (7.1)	107 (31.7)	0 (0.0)
計	4,751	12 (0.3)	136 (2.9)	3,107 (65.4)	147 (3.1)	1,315 (27.7)	34 (0.7)
総 数	11,023	25 (0.2)	320 (2.9)	7,009 (63.6)	372 (3.4)	3,228 (29.3)	69 (0.6)

表4 検査項目別判定内訳(1)

		受診者数	やせ (%)	普通 (%)	肥満 (%)
B M I	男	6,268	160 (2.6)	3,967 (63.3)	2,141 (34.2)
	女	4,751	524 (11.0)	3,167 (66.7)	1,060 (22.3)

		受診者数	非該当 (%)	基準該当 (%)
腹 囲	男	6,268	3,562 (56.8)	2,706 (43.2)
	女	4,751	4,123 (86.8)	628 (13.2)

		受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
診 察	男	6,269	6,091 (97.2)	11 (0.2)	53 (0.8)	0 (0.0)	48 (0.8)	63 (1.0)
	女	4,751	4,537 (95.5)	17 (0.4)	65 (1.4)	0 (0.0)	59 (1.2)	71 (1.5)
血 圧	男	6,269	2,311 (36.9)	606 (9.7)	1,357 (21.6)	0 (0.0)	206 (3.3)	1,789 (28.5)
	女	4,751	2,493 (52.5)	458 (9.6)	900 (18.9)	0 (0.0)	81 (1.7)	819 (17.2)
心 電 図	男	6,267	4,291 (68.5)	926 (14.8)	791 (12.6)	0 (0.0)	100 (1.6)	159 (2.5)
	女	4,749	3,530 (74.3)	648 (13.6)	480 (10.1)	1 (0.0)	50 (1.1)	40 (0.8)
貧 血	男	6,266	5,424 (86.6)	486 (7.8)	264 (4.2)	0 (0.0)	56 (0.9)	36 (0.6)
	女	4,751	3,578 (75.3)	300 (6.3)	530 (11.2)	0 (0.0)	140 (2.9)	203 (4.3)
白血球数	男	6,266	5,919 (94.5)	64 (1.0)	196 (3.1)	0 (0.0)	73 (1.2)	14 (0.2)
	女	4,751	4,357 (91.7)	35 (0.7)	306 (6.4)	0 (0.0)	47 (1.0)	6 (0.1)
血小板数	男	6,203	5,742 (92.6)	374 (6.0)	40 (0.6)	0 (0.0)	33 (0.5)	14 (0.2)
	女	4,718	4,285 (90.8)	345 (7.3)	27 (0.6)	0 (0.0)	50 (1.1)	11 (0.2)
血清蛋白	男	6,089	5,441 (89.4)	36 (0.6)	583 (9.6)	0 (0.0)	22 (0.4)	7 (0.1)
	女	4,668	3,906 (83.7)	26 (0.6)	718 (15.4)	0 (0.0)	15 (0.3)	3 (0.1)
肝 機 能	男	6,266	3,819 (60.9)	978 (15.6)	535 (8.5)	0 (0.0)	464 (7.4)	470 (7.5)
	女	4,751	3,992 (84.0)	338 (7.1)	166 (3.5)	0 (0.0)	117 (2.5)	138 (2.9)
膵 機 能	男	6,115	5,694 (93.1)	0 (0.0)	418 (6.8)	0 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
	女	4,657	4,306 (92.5)	0 (0.0)	349 (7.5)	0 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
腎 機 能	男	6,266	4,970 (79.3)	0 (0.0)	1,138 (18.2)	0 (0.0)	56 (0.9)	102 (1.6)
	女	4,751	3,988 (83.9)	1 (0.0)	712 (15.0)	0 (0.0)	16 (0.3)	34 (0.7)
尿	男	6,261	5,294 (84.6)	597 (9.5)	262 (4.2)	0 (0.0)	51 (0.8)	57 (0.9)
	女	4,747	3,806 (80.2)	628 (13.2)	223 (4.7)	0 (0.0)	57 (1.2)	30 (0.6)
脂質代謝	男	6,266	1,863 (29.7)	1,494 (23.8)	1,454 (23.2)	0 (0.0)	130 (2.1)	1,325 (21.1)
	女	4,751	1,666 (35.1)	1,072 (22.6)	1,076 (22.6)	0 (0.0)	110 (2.3)	827 (17.4)
糖 代 謝	男	6,267	1,849 (29.5)	2,626 (41.9)	1,109 (17.7)	0 (0.0)	72 (1.1)	611 (9.7)
	女	4,751	1,937 (40.8)	1,921 (40.4)	656 (13.8)	1 (0.0)	24 (0.5)	212 (4.5)

	受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
尿酸	男	6,266	4,467 (71.3)	792 (12.6)	245 (3.9)	0 (0.0)	66 (1.1)
	女	4,751	4,626 (97.4)	69 (1.5)	25 (0.5)	0 (0.0)	5 (0.1)
CRP	男	6,032	5,633 (93.4)	308 (5.1)	18 (0.3)	0 (0.0)	70 (1.2)
	女	4,644	4,319 (93.0)	264 (5.7)	9 (0.2)	0 (0.0)	47 (1.0)
リウマチ因子	男	5,146	4,546 (88.3)	0 (0.0)	587 (11.4)	0 (0.0)	2 (0.0)
	女	4,118	3,521 (85.5)	0 (0.0)	548 (13.3)	0 (0.0)	1 (0.0)
肝炎ウイルス	男	5,376	5,326 (99.1)	0 (0.0)	22 (0.4)	0 (0.0)	6 (0.1)
	女	4,337	4,298 (99.1)	0 (0.0)	15 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.0)
CPK	男	6,029	5,737 (95.2)	0 (0.0)	289 (4.8)	0 (0.0)	3 (0.0)
	女	4,584	4,277 (93.3)	0 (0.0)	306 (6.7)	0 (0.0)	1 (0.0)
眼底	男	6,182	4,350 (70.4)	21 (0.3)	1,304 (21.1)	334 (5.4)	10 (0.2)
	女	4,692	3,635 (77.5)	15 (0.3)	746 (15.9)	185 (3.9)	7 (0.1)
眼圧	男	6,135	5,731 (93.4)	0 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	13 (0.2)
	女	4,653	4,381 (94.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	21 (0.5)
聴力	男	6,248	4,794 (76.7)	0 (0.0)	1,162 (18.6)	0 (0.0)	221 (3.5)
	女	4,733	4,153 (87.7)	0 (0.0)	450 (9.5)	0 (0.0)	86 (1.8)
肺機能	男	6,121	5,444 (88.9)	0 (0.0)	495 (8.1)	0 (0.0)	136 (2.2)
	女	4,639	4,334 (93.4)	0 (0.0)	201 (4.3)	0 (0.0)	84 (1.8)
腹部超音波	男	6,202	865 (13.9)	1,691 (27.3)	3,511 (56.6)	0 (0.0)	125 (2.0)
	女	4,711	1,109 (23.5)	1,551 (32.9)	1,930 (41.0)	0 (0.0)	114 (2.4)
甲状腺ホルモン	男	68	62 (91.2)	0 (0.0)	4 (5.9)	0 (0.0)	1 (1.5)
	女	200	165 (82.5)	0 (0.0)	29 (14.5)	0 (0.0)	3 (1.5)
甲状腺超音波	男	66	14 (21.2)	24 (36.4)	24 (36.4)	0 (0.0)	4 (6.1)
	女	300	28 (9.3)	84 (28.0)	170 (56.7)	0 (0.0)	11 (3.7)
NT-ProBNP	男	81	76 (93.8)	0 (0.0)	5 (6.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	61	42 (68.9)	0 (0.0)	19 (31.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
頸動脈超音波	男	200	87 (43.5)	45 (22.5)	68 (34.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	192	124 (64.6)	34 (17.7)	31 (16.1)	0 (0.0)	3 (1.6)
骨粗鬆症	男	45	26 (57.8)	0 (0.0)	14 (31.1)	0 (0.0)	3 (6.7)
	女	311	172 (55.3)	0 (0.0)	62 (19.9)	0 (0.0)	48 (15.4)
視野	男	149	140 (94.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (6.0)
	女	149	146 (98.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.0)

※受診者数に判定不能含む

表4 検査項目別判定内訳(2)

		受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要医療 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
胃がん検診	上部消化管 X線 男	3,562	2,522 (70.8)	0 (0.0)	910 (25.5)	0 (0.0)	130 (3.6)	0 (0.0)
	上部消化管 X線 女	2,411	1,566 (65.0)	0 (0.0)	804 (33.3)	0 (0.0)	41 (1.7)	0 (0.0)
	上部消化管 視鏡 男	2,065	89 (4.3)	647 (31.3)	1,248 (60.4)	32 (1.5)	33 (1.6)	14 (0.7)
	上部消化管 視鏡 女	1,396	57 (4.1)	624 (44.7)	668 (47.9)	19 (1.4)	17 (1.2)	10 (0.7)
	計 男	5,627	2,611 (46.4)	647 (11.5)	2,158 (38.4)	32 (0.6)	163 (2.9)	14 (0.2)
	計 女	3,807	1,623 (42.6)	624 (16.4)	1,472 (38.7)	19 (0.5)	58 (1.5)	10 (0.3)
肺がん検診	胸部 X線 男	5,702	5,071 (88.9)	0 (0.0)	473 (8.3)	0 (0.0)	148 (2.6)	10 (0.2)
	胸部 X線 女	4,350	3,824 (87.9)	0 (0.0)	412 (9.5)	0 (0.0)	104 (2.4)	10 (0.2)
	胸部 C T 男	488	218 (44.7)	0 (0.0)	257 (52.7)	0 (0.0)	13 (2.7)	0 (0.0)
	胸部 C T 女	247	116 (47.0)	0 (0.0)	127 (51.4)	0 (0.0)	4 (1.6)	0 (0.0)
	計 男	6,190	5,289 (85.4)	0 (0.0)	730 (11.8)	0 (0.0)	161 (2.6)	10 (0.2)
	計 女	4,597	3,940 (85.7)	0 (0.0)	539 (11.7)	0 (0.0)	108 (2.3)	10 (0.2)
喀痰細胞診	男	365	359 (98.4)	0 (0.0)	5 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	95	94 (98.9)	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
大腸がん検診	男	6,154	5,925 (96.3)	0 (0.0)	4 (0.1)	0 (0.0)	215 (3.5)	10 (0.2)
	女	4,502	4,351 (96.6)	0 (0.0)	3 (0.1)	0 (0.0)	145 (3.2)	3 (0.1)
子宮頸がん検診	女	2,656	2,231 (84.0)	116 (4.4)	233 (8.8)	3 (0.1)	55 (2.1)	18 (0.7)
乳がん検診	マンモグラフィ* 女	2,134	1,808 (84.7)	0 (0.0)	275 (12.9)	0 (0.0)	51 (2.4)	0 (0.0)
	乳房超音波 女	3,168	1,047 (33.0)	1,267 (40.0)	795 (25.1)	0 (0.0)	59 (1.9)	0 (0.0)
前立腺がん検診	男	1,778	1,647 (92.6)	0 (0.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	90 (5.1)	39 (2.2)

※ 受診者数に判定不能を含む

※ 肺がん検診は重複受診者及び肺ドック受診者を含む

※ 子宮頸がん検診、乳がん検診は婦人ドック受診者を含む

* マンモグラフィの受診者の中で、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

		受診者数	陰性 (%)	陽性 (%)
HPV-DNA	女	148	140 (94.6)	8 (5.4)
ペプシノゲン	男	258	250 (96.9)	8 (3.1)
	女	282	277 (98.2)	5 (1.8)
ヘリコバクター・ピロリ抗体	男	393	328 (83.5)	65 (16.5)
	女	378	308 (81.5)	70 (18.5)

※ HPV-DNA受診者数に追加者を含む

表5 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳								未受診 (%)	未把握 (%)
				胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	食道 がん	食道がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず			
29歳以下	43	1 (2.3)	1 (100.0)							1		0 (0.0)	0 (0.0)
30~34歳	226	4 (1.8)	3 (75.0)							2	1	0 (0.0)	1 (25.0)
35~39歳	383	5 (1.3)	4 (80.0)							4		0 (0.0)	1 (20.0)
40~44歳	574	11 (1.9)	10 (90.9)			1				6	3	0 (0.0)	1 (9.1)
45~49歳	757	22 (2.9)	13 (59.1)							10	3	0 (0.0)	9 (40.9)
男 50~54歳	904	35 (3.9)	23 (65.7)							19	4	0 (0.0)	12 (34.3)
55~59歳	1,005	34 (3.4)	25 (73.5)							19	6	0 (0.0)	9 (26.5)
60~64歳	870	41 (4.7)	32 (78.0)							28	4	1 (2.4)	8 (19.5)
65~69歳	443	19 (4.3)	14 (73.7)	1						10	3	1 (5.3)	4 (21.1)
70歳以上	422	23 (5.5)	20 (87.0)	2	1	1	1	1	1	14		0 (0.0)	3 (13.0)
計	5,627	195 (3.5)	145 (74.4)	3	1	2	1	1	1	113	24	2 (1.0)	48 (24.6)
29歳以下	17	0 (0.0)	-									-	-
30~34歳	80	2 (2.5)	1 (50.0)							1		0 (0.0)	1 (50.0)
35~39歳	212	2 (0.9)	1 (50.0)							1		0 (0.0)	1 (50.0)
40~44歳	415	5 (1.2)	3 (60.0)							3		0 (0.0)	2 (40.0)
45~49歳	543	6 (1.1)	5 (83.3)							4	1	0 (0.0)	1 (16.7)
女 50~54歳	766	17 (2.2)	10 (58.8)							6	4	1 (5.9)	6 (35.3)
55~59歳	743	15 (2.0)	13 (86.7)							11	2	0 (0.0)	2 (13.3)
60~64歳	521	11 (2.1)	9 (81.8)							8	1	1 (9.1)	1 (9.1)
65~69歳	271	12 (4.4)	10 (83.3)							10		2 (16.7)	0 (0.0)
70歳以上	239	7 (2.9)	4 (57.1)							4		0 (0.0)	3 (42.9)
計	3,807	77 (2.0)	56 (72.7)	0	0	0	0	0	0	48	8	4 (5.2)	17 (22.1)
総 数	9,434	272 (2.9)	201 (73.9)	3	1	2	1	1	1	161	32	6 (2.2)	65 (23.9)

表6 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況 (上部消化管X線)

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳								未受診 (%)	未把握 (%)
				胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	食道 がん	食道がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず			
29歳以下	38	1 (2.6)	1 (100.0)							1		0 (0.0)	0 (0.0)
30~34歳	174	1 (0.6)	1 (100.0)								1	0 (0.0)	0 (0.0)
35~39歳	270	1 (0.4)	1 (100.0)							1		0 (0.0)	0 (0.0)
40~44歳	408	7 (1.7)	6 (85.7)			1				4	1	0 (0.0)	1 (14.3)
45~49歳	504	11 (2.2)	8 (72.7)							6	2	0 (0.0)	3 (27.3)
男 50~54歳	620	28 (4.5)	20 (71.4)							16	4	0 (0.0)	8 (28.6)
55~59歳	669	23 (3.4)	16 (69.6)							12	4	0 (0.0)	7 (30.4)
60~64歳	524	34 (6.5)	26 (76.5)							23	3	1 (2.9)	7 (20.6)
65~69歳	206	12 (5.8)	10 (83.3)							8	2	0 (0.0)	2 (16.7)
70歳以上	149	12 (8.1)	10 (83.3)	1		1	1			7		0 (0.0)	2 (16.7)
計	3,562	130 (3.6)	99 (76.2)	1	0	2	1	0	0	78	17	1 (0.8)	30 (23.1)
29歳以下	16	0 (0.0)	-									-	-
30~34歳	60	1 (1.7)	1 (100.0)							1		0 (0.0)	0 (0.0)
35~39歳	137	0 (0.0)	-									-	-
40~44歳	273	2 (0.7)	1 (50.0)							1		0 (0.0)	1 (50.0)
45~49歳	375	2 (0.5)	2 (100.0)							2		0 (0.0)	0 (0.0)
女 50~54歳	524	9 (1.7)	6 (66.7)							4	2	0 (0.0)	3 (33.3)
55~59歳	503	13 (2.6)	11 (84.6)							10	1	0 (0.0)	2 (15.4)
60~64歳	311	6 (1.9)	5 (83.3)							5		1 (16.7)	0 (0.0)
65~69歳	128	6 (4.7)	6 (100.0)							6		0 (0.0)	0 (0.0)
70歳以上	84	2 (2.4)	2 (100.0)							2		0 (0.0)	0 (0.0)
計	2,411	41 (1.7)	34 (82.9)	0	0	0	0	0	0	31	3	1 (2.4)	6 (14.6)
総 数	5,973	171 (2.9)	133 (77.8)	1	0	2	1	0	0	109	20	2 (1.2)	36 (21.1)

表7 胃がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（上部消化管内視鏡）

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳								未受診 (%)	未把握 (%)
				胃がん (早期)	胃がん (進行)	胃がん (疑)	食道 がん	食道がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず			
29歳以下	5	0 (0.0)	-	-								-	-
30~34歳	52	3 (5.8)	2 (66.7)							2		0 (0.0)	1 (33.3)
35~39歳	113	4 (3.5)	3 (75.0)							3		0 (0.0)	1 (25.0)
40~44歳	166	4 (2.4)	4 (100.0)							2	2	0 (0.0)	0 (0.0)
45~49歳	253	11 (4.3)	5 (45.5)							4	1	0 (0.0)	6 (54.5)
男 50~54歳	284	7 (2.5)	3 (42.9)							3		0 (0.0)	4 (57.1)
55~59歳	336	11 (3.3)	9 (81.8)							7	2	0 (0.0)	2 (18.2)
60~64歳	346	7 (2.0)	6 (85.7)							5	1	0 (0.0)	1 (14.3)
65~69歳	237	7 (3.0)	4 (57.1)	1						2	1	1 (14.3)	2 (28.6)
70歳以上	273	11 (4.0)	10 (90.9)	1	1				1	7		0 (0.0)	1 (9.1)
計	2,065	65 (3.1)	46 (70.8)	2	1	0	0	1	35	7		1 (1.5)	18 (27.7)
29歳以下	1	0 (0.0)	-	-								-	-
30~34歳	20	1 (5.0)	0 (0.0)									0 (0.0)	1 (100.0)
35~39歳	75	2 (2.7)	1 (50.0)							1		0 (0.0)	1 (50.0)
40~44歳	142	3 (2.1)	2 (66.7)							2		0 (0.0)	1 (33.3)
45~49歳	168	4 (2.4)	3 (75.0)							2	1	0 (0.0)	1 (25.0)
女 50~54歳	242	8 (3.3)	4 (50.0)							2	2	1 (12.5)	3 (37.5)
55~59歳	240	2 (0.8)	2 (100.0)							1	1	0 (0.0)	0 (0.0)
60~64歳	210	5 (2.4)	4 (80.0)							3	1	0 (0.0)	1 (20.0)
65~69歳	143	6 (4.2)	4 (66.7)							4		2 (33.3)	0 (0.0)
70歳以上	155	5 (3.2)	2 (40.0)							2		0 (0.0)	3 (60.0)
計	1,396	36 (2.6)	22 (61.1)	0	0	0	0	0	17	5		3 (8.3)	11 (30.6)
総 数	3,461	101 (2.9)	68 (67.3)	2	1	0	0	1	52	12		4 (4.0)	29 (28.7)

表8 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
				原発性 肺がん	肺がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	47	0 (0.0)	-	-				-	-
30~34歳	238	5 (2.1)	4 (80.0)					4	0 (0.0)
35~39歳	412	6 (1.5)	4 (66.7)					4	0 (0.0)
40~44歳	629	9 (1.4)	8 (88.9)					3	5
45~49歳	812	18 (2.2)	15 (83.3)					6	9
男 50~54歳	972	22 (2.3)	19 (86.4)					6	13
55~59歳	1,060	28 (2.6)	25 (89.3)			2	10	13	0 (0.0)
60~64歳	983	29 (3.0)	27 (93.1)			2	9	16	1 (3.4)
65~69歳	496	12 (2.4)	10 (83.3)				6	4	0 (0.0)
70歳以上	541	32 (5.9)	25 (78.1)			1	13	11	0 (0.0)
計	6,190	161 (2.6)	137 (85.1)			5	53	79	1 (0.6)
29歳以下	22	0 (0.0)	-	-					-
30~34歳	105	1 (1.0)	1 (100.0)						1
35~39歳	258	2 (0.8)	2 (100.0)						1
40~44歳	511	5 (1.0)	5 (100.0)						2
45~49歳	688	10 (1.5)	9 (90.0)						3
女 50~54歳	906	22 (2.4)	15 (68.2)			1	9	5	1 (4.5)
55~59歳	839	22 (2.6)	19 (86.4)			2	11	6	1 (4.5)
60~64歳	610	14 (2.3)	12 (85.7)				7	5	1 (7.1)
65~69歳	330	13 (3.9)	12 (92.3)			2	5	5	1 (7.7)
70歳以上	328	19 (5.8)	17 (89.5)				9	8	1 (5.3)
計	4,597	108 (2.3)	92 (85.2)	0	5	47	40	5	4 (4.6)
総 数	10,787	269 (2.5)	229 (85.1)	0	10	100	119	6	2 (2.2)

表9 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（胸部X線）

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳		精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)		
			X線	喀痰		原発性肺がん	肺がん (疑)	その他の疾患	異 常 認 め ず				
29歳以下	44	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
30～34歳	228	5 (2.2)	5	0	4 (80.0)		4			0 (0.0)	1 (20.0)		
35～39歳	391	5 (1.3)	5	0	4 (80.0)				4	0 (0.0)	1 (20.0)		
40～44歳	591	9 (1.5)	9	0	8 (88.9)				3	5	0 (0.0)	1 (11.1)	
45～49歳	760	18 (2.4)	18	0	15 (83.3)				6	9	0 (0.0)	3 (16.7)	
男 50～54歳	908	21 (2.3)	21	0	18 (85.7)				6	12	0 (0.0)	3 (14.3)	
55～59歳	1,001	26 (2.6)	26	0	23 (88.5)		1	9	13	0 (0.0)	3 (11.5)		
60～64歳	908	25 (2.8)	25	0	24 (96.0)		2	7	15	0 (0.0)	1 (4.0)		
65～69歳	431	10 (2.3)	10	0	9 (90.0)				6	3	0 (0.0)	1 (10.0)	
70歳以上	440	29 (6.6)	29	0	23 (79.3)		1	11	11	0 (0.0)	6 (20.7)		
計	5,702	148 (2.6)	148	0	128 (86.5)	0	4	48	76	0 (0.0)	20 (13.5)		
29歳以下	21	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
30～34歳	101	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
35～39歳	245	2 (0.8)	2	0	2 (100.0)				1	1	0 (0.0)	0 (0.0)	
40～44歳	494	5 (1.0)	5	0	5 (100.0)				2	3	0 (0.0)	0 (0.0)	
45～49歳	650	9 (1.4)	9	0	9 (100.0)				3	6	0 (0.0)	0 (0.0)	
女 50～54歳	861	22 (2.6)	22	0	15 (68.2)		1	9	5	1 (4.5)	6 (27.3)		
55～59歳	803	21 (2.6)	21	0	18 (85.7)		2	10	6	1 (4.8)	2 (9.5)		
60～64歳	579	14 (2.4)	14	0	12 (85.7)				7	5	1 (7.1)	1 (7.1)	
65～69歳	306	13 (4.2)	13	0	12 (92.3)		2	5	5	1 (7.7)	0 (0.0)		
70歳以上	290	18 (6.2)	18	0	16 (88.9)				8	8	1 (5.6)	1 (5.6)	
計	4,350	104 (2.4)	104	0	89 (85.6)	0	5	45	39	5 (4.8)	10 (9.6)		
総 数	10,052	252 (2.5)	252	0	217 (86.1)	0	9	93	115	5 (2.0)	30 (11.9)		

表10 肺がん検診 性・年齢階級別精検受診状況（胸部CT）

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳		精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)		
			CT	喀痰		原発性肺がん	肺がん (疑)	その他の疾患	異 常 認 め ず				
29歳以下	3	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
30～34歳	10	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
35～39歳	21	1 (4.8)	1	0	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)		
40～44歳	38	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
45～49歳	52	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
男 50～54歳	64	1 (1.6)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)		
55～59歳	59	2 (3.4)	2	0	2 (100.0)		1	1		0 (0.0)	0 (0.0)		
60～64歳	75	4 (5.3)	4	0	3 (75.0)				2	1	1 (25.0)	0 (0.0)	
65～69歳	65	2 (3.1)	2	0	1 (50.0)					1	0 (0.0)	1 (50.0)	
70歳以上	101	3 (3.0)	3	0	2 (66.7)				2		0 (0.0)	1 (33.3)	
計	488	13 (2.7)	13	0	9 (69.2)	0	1	5	3	1 (7.7)	3 (23.1)		
29歳以下	1	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
30～34歳	4	1 (25.0)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)		
35～39歳	13	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
40～44歳	17	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
45～49歳	38	1 (2.6)	1	0	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)		
女 50～54歳	45	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
55～59歳	36	1 (2.8)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)		
60～64歳	31	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
65～69歳	24	0 (0.0)	0	0	-	-				-	-	-	-
70歳以上	38	1 (2.6)	1	0	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)		
計	247	4 (1.6)	4	0	3 (75.0)	0	0	2	1	0 (0.0)	1 (25.0)		
総 数	735	17 (2.3)	17	0	12 (70.6)	0	1	7	4	1 (5.9)	4 (23.5)		

表13 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳					未受診 (%)	未把握 (%)
				乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	8	0 (0.0)	-	-					-	-
30~34歳	64	6 (9.4)	6 (100.0)				6		0 (0.0)	0 (0.0)
35~39歳	153	10 (6.5)	10 (100.0)				8	2	0 (0.0)	0 (0.0)
40~44歳	331	27 (8.2)	25 (92.6)	1			22	2	1 (3.7)	1 (3.7)
45~49歳	492	19 (3.9)	16 (84.2)		1		11	4	1 (5.3)	2 (10.5)
50~54歳	637	15 (2.4)	12 (80.0)				10	2	1 (6.7)	2 (13.3)
55~59歳	640	7 (1.1)	6 (85.7)	1			5		0 (0.0)	1 (14.3)
60~64歳	433	7 (1.6)	7 (100.0)	2			4	1	0 (0.0)	0 (0.0)
65~69歳	216	4 (1.9)	3 (75.0)	1				2	0 (0.0)	1 (25.0)
70歳以上	198	4 (2.0)	4 (100.0)	3					0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	3,172	99 (3.1)	89 (89.9)	8	0	1	66	14	3 (3.0)	7 (7.1)

表14 乳がん検診 方式別判定内訳

	受診者数	異常なし (%)	軽度異常 (%)	要経過観察 (%)	要精密検査 (%)	要継続治療 (%)
マンモグラフィ*+乳房超音波	2,130	654 (30.7)	743 (34.9)	659 (30.9)	74 (3.5)	0 (0.0)
マンモグラフィのみ*	4	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
乳房超音波のみ	1,038	339 (32.7)	401 (38.6)	273 (26.3)	25 (2.4)	0 (0.0)
総 数	3,172	997 (31.4)	1,144 (36.1)	932 (29.4)	99 (3.1)	0 (0.0)

* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

表15 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況(マンモグラフィ+乳房超音波)

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	内 訳			精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳					未受診 (%)	未把握 (%)
			マンモ*(%)	超音波 (%)	マンモ*+超音波 (%)		乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	1	0 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (100.0)				1		0 (0.0)	0 (0.0)
35~39歳	27	5 (18.5)	4 (80.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	5 (100.0)				3	2	0 (0.0)	0 (0.0)
40~44歳	172	18 (10.5)	12 (66.7)	4 (22.2)	2 (11.1)	17 (94.4)				15	2	0 (0.0)	1 (5.6)
45~49歳	329	16 (4.9)	7 (43.8)	6 (37.5)	3 (18.8)	13 (81.3)		1	9	3	1 (6.3)	2 (12.5)	
50~54歳	471	14 (3.0)	5 (35.7)	6 (42.9)	3 (21.4)	12 (85.7)				10	2	1 (7.1)	1 (7.1)
55~59歳	472	7 (1.5)	5 (71.4)	1 (14.3)	1 (14.3)	6 (85.7)	1		5		0 (0.0)	1 (14.3)	
60~64歳	325	6 (1.8)	4 (66.7)	2 (33.3)	0 (0.0)	6 (100.0)	2		3	1	0 (0.0)	0 (0.0)	
65~69歳	181	4 (2.2)	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	1		2	0 (0.0)	1 (25.0)		
70歳以上	151	3 (2.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)	3 (100.0)	2		1	0 (0.0)	0 (0.0)		
総 数	2,130	74 (3.5)	40 (54.1)	23 (31.1)	11 (14.9)	66 (89.2)	6	0	1	46	13	2 (2.7)	6 (8.1)

* マンモグラフィの受診者数に、3Dマンモグラフィを追加受診した者を含む

表16 乳がん検診 年齢階級別精検受診状況 (乳房超音波のみ)

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳					未受診 (%)	未把握 (%)
				乳がん (早期)	乳がん (進行)	乳がん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	7	0 (0.0)	-	-					-	-
30~34歳	63	5 (7.9)	5 (100.0)				5	0 (0.0)	0 (0.0)	
35~39歳	126	5 (4.0)	5 (100.0)				5	0 (0.0)	0 (0.0)	
40~44歳	159	9 (5.7)	8 (88.9)	1			7	1 (11.1)	0 (0.0)	
45~49歳	163	3 (1.8)	3 (100.0)				2	0 (0.0)	0 (0.0)	
50~54歳	165	1 (0.6)	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)	
55~59歳	166	0 (0.0)	-	-				-	-	
60~64歳	107	1 (0.9)	1 (100.0)				1	0 (0.0)	0 (0.0)	
65~69歳	35	0 (0.0)	-	-				-	-	
70歳以上	47	1 (2.1)	1 (100.0)	1				0 (0.0)	0 (0.0)	
総 数	1,038	25 (2.4)	23 (92.0)	2	0	0	20	1 (4.0)	1 (4.0)	

表17 前立腺がん検診 年齢階級別精検受診状況

令和7年10月31日現在

	受診者数	要精検者 (%)	精検受診者 (%)	精 検 結 果 内 訳				未受診 (%)	未把握 (%)
				前立腺 が ん	前立腺 が ん (疑)	その他 の疾患	異 常 認めず		
29歳以下	4	0 (0.0)	-	-				-	-
30~34歳	6	0 (0.0)	-	-				-	-
35~39歳	22	1 (4.5)	0 (0.0)					0 (0.0)	1 (100.0)
40~44歳	62	0 (0.0)	-	-				-	-
45~49歳	145	3 (2.1)	2 (66.7)		1		1	0 (0.0)	1 (33.3)
50~54歳	298	9 (3.0)	4 (44.4)				4	0 (0.0)	5 (55.6)
55~59歳	400	20 (5.0)	14 (70.0)	2		5	7	0 (0.0)	6 (30.0)
60~64歳	373	21 (5.6)	13 (61.9)	2	4	1	6	1 (4.8)	7 (33.3)
65~69歳	218	16 (7.3)	13 (81.3)	1	5	1	6	0 (0.0)	3 (18.8)
70歳以上	250	20 (8.0)	13 (65.0)	2	3	3	5	1 (5.0)	6 (30.0)
総 数	1,778	90 (5.1)	59 (65.6)	7	13	10	29	2 (2.2)	29 (32.2)

健 康 支 援

健康支援

概要及び実施状況

1] 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月から、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者から委託を受け、「特定保健指導」を実施している。

令和6年度は28団体から委託を受け、積極的支援513人、動機付け支援874人、動機付け支援相当3人、合わせて1,390人の特定保健指導を実施した。そのうち健診当日の初回面接の分割実施は、国保以外1団体の40人（積極的支援10人、動機付け支援30人）に実施した。（健診当日の分割実施①の時点を実績として計上）

表1 特定保健指導実施状況

	実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
		評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
積極的支援 男	397	347 (87.4)	0 (0.0)	47 (11.8)	2 (0.5)	0 (0.0)
積極的支援 女	116	89 (76.7)	0 (0.0)	24 (20.7)	3 (2.6)	0 (0.0)
動機付け支援相当 男	2	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
動機付け支援相当 女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
動機付け支援 男	527	462 (87.7)	61 (11.6)	1 (0.2)	2 (0.4)	0 (0.0)
動機付け支援 女	347	297 (85.6)	37 (10.7)	6 (1.7)	3 (0.9)	3 (0.9)
総数 男	926	810 (87.5)	62 (6.7)	48 (5.2)	4 (0.4)	0 (0.0)
総数 女	464	387 (83.4)	37 (8.0)	30 (6.5)	6 (1.3)	3 (0.6)

前年度健診分の実施者9人（積極的支援3人、動機付け支援6人）含む

^{*1}実施者数に初回面接のみ契約の3人（積極的支援1人、動機付け支援2人）を含む

^{*2}督促終了とは、終了時評価が実施出来ず、度重なる督促により終了した者

^{*3}脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月以上経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

^{*4}資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

^{*5}初回未完了者とは、健診当日に初回面接の分割実施①を実施、後日の電話で②行動計画作成を完了できなかった者

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
積極的支援	416	483	394	459	513
動機付け支援相当	1	3	10	5	3
動機付け支援	963	1,016	969	652	874
総数	1,380	1,502	1,373	1,116	1,390

令和6年度より第4期となり、積極的支援における評価体系が見直され、従来からの保健指導の介入量（プロセス評価）に加えて、受診者の行動変容につながり成果が出たことを評価するアウトカム評価が導入された。また、クラウド型の保健指導システムを導入・使用開始し、受診者はメール支援やモニタリングツール等のWebサービスが利用可能となった。

表2-1 積極的支援実施状況

		実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	101	87 (86.1)	0 (0.0)	14 (13.9)	0 (0.0)
	女	42	34 (81.0)	0 (0.0)	7 (16.7)	1 (2.4)
国保以外	男	295	260 (88.1)	0 (0.0)	32 (10.8)	2 (0.7)
	女	65	52 (80.0)	0 (0.0)	12 (18.5)	1 (1.5)
総数		503	433 (86.1)	0 (0.0)	65 (12.9)	4 (0.8)

表2-2 積極的支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
国保以外	男	1	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	9	3 (33.3)	0 (0.0)	5 (55.6)	1 (11.1)	0 (0.0)
総数		10	3 (30.0)	0 (0.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	0 (0.0)

表3 動機付け支援相当実施状況

		実施者数	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	1	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	0	-	-	-	-
国保以外	男	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数		3	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

表4-1 動機付け支援実施状況

		実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	195	171 (87.7)	22 (11.3)	1 (0.5)	1 (0.5)
	女	105	97 (92.4)	7 (6.7)	1 (1.0)	0 (0.0)
国保以外	男	332	291 (87.7)	39 (11.7)	0 (0.0)	1 (0.3)
	女	212	179 (84.4)	28 (13.2)	2 (0.9)	2 (0.9)
総数		844	738 (87.4)	96 (11.4)	4 (0.5)	4 (0.5)

表4-2 動機付け支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
国保以外	男	0	-	-	-	-	-
	女	30	21 (70.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	3 (10.0)
総数		30	21 (70.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	3 (10.0)

2] 専門職の派遣、健康教育等の受託

市町等からの委託を受け、専門職の派遣を10団体に対して63日間実施した。また、健康教育は1団体に対して1日間実施した。

表5 実施状況

		実施団体数	実施日数	職種別派遣人数		
				保健師	管理栄養士	健康運動指導士
専門職の派遣	地域	4	36	27	4	7
	職域	6	27	17	5	17
	学域	0	0	0	0	0
健康教育の受託	地域	0	0	0	0	0
	職域	1	1	1	0	1
	学域	0	0	0	0	0
総数		11	64	45	9	25

3] 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を16団体に提供した。また、そのうち8団体に対して個別に結果説明を実施した。

表6 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地域	10	6
職域	6	2
総数	16	8

4] 健康相談センター

今年度は100人から113件の相談があった。相談件数は前年度より38件減少した。人間ドックや集団健診後の検査所見の説明や医療機関受診に関する相談が6割以上を占めていた。

表7 相談内容と件数

	件数
検査所見の説明	44
医療機関紹介	30
検査内容	2
生活習慣アドバイス	4
紹介状	17
その他	16
総数	113

とちぎ健康づくりセンター支援事業

とちぎ健康づくりセンター支援事業

1 概要

1] 目的

健康増進施設「とちぎ健康づくりセンター」設置の目的である「生活習慣の改善による生活習慣病の予防その他県民の自主的な健康づくりの総合的な支援」の一層の推進のため、栃木県、とちぎ健康づくりセンターを運営する社会福祉法人とちぎ健康福祉協会、当事業団が協定書に基づき実施している。

2] 内容

- (1) とちぎ健康づくりセンター事業における医学的助言
- (2) とちぎ健康づくりセンター利用者の応急時における処置
- (3) とちぎ健康づくりセンター利用者の健康状態把握のための検査、測定等
- (4) とちぎ健康づくりセンターの利用促進に係る取組
- (5) 健康づくり相談及び健康づくり講座への支援
- (6) 特定保健指導対象者への運動プログラム提供ととちぎ健康づくりセンターの利用勧奨
- (7) とちぎ健康の森来館者に対する健康情報の提供

2 実施状況

1] とちぎ健康づくりセンター事業における医学的助言

とちぎ健康づくりセンターの利用を希望する有病者に対し、自己の身体能力に応じた適切な健康づくりが実践できるよう、医師による面接相談を実施した。また、スタッフに対し、疾患や利用者に関する助言等を実施した。

表1 医学的助言利用者数

相談日（日）	面接・相談（人）	助言・指導（人）
20	53	54

2] とちぎ健康づくりセンター利用者の応急時における処置

とちぎ健康づくりセンター利用時における負傷等の応急処置については、0件であった。

3] とちぎ健康づくりセンター利用者の健康状態把握のための検査、測定等

とちぎ健康づくりセンター利用者が安全に、より効果的に健康づくりに取り組めるよう、医学的検査（健康チェック）を希望者に対し実施した。

表2 検査・測定利用者数

	利用者数
健康診断	2
血液検査	2
内臓脂肪検査	9
骨密度測定	1
血管年齢検査	9
姿勢分析	6
計	29

4] とちぎ健康づくりセンター利用促進に係る取組

事業団における人間ドック受診者や特定保健指導利用者に対して、センターが実施する体力測定や健康づくり講座・施設利用講習への参加勧奨を行った。また、各種の講座チラシや情報誌「さんぽ」等の配布に協力した。

5] 健康づくり相談及び健康づくり講座への支援

事業団から医師を派遣し、センター利用者の面接相談（1] 参照）や健康づくり講座の講師として協力した。また、事業団が有する検査機器を利用して、受講者の内臓脂肪測定や骨密度測定を実施した

表3 健康づくり講座への支援内容

	支 援 内 容	実施数
3・3講座	内臓脂肪検査	11人
	医師派遣（講師）	1回
食べて健康講座	骨密度測定	3人
体を動かそう講座	姿勢分析	15人

6] 特定保健指導対象者への運動プログラムの提供と、とちぎ健康づくりセンターの利用勧奨

事業団における特定保健指導利用者が運動に取り組めるように、センターの施設利用券を208枚配付し、50枚の利用があった。

7] とちぎ健康の森来館者に対する健康情報の提供

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会が主催する「とちぎ健康の森 健康づくりDay」に「骨密度測定コーナー」を設置し、臨床検査技師1人を派遣し、123人に骨密度測定を実施した。

環 境 保 健

- 1 腸 内 細 菌 検 査
- 2 食 品 検 査
- 3 簡 易 専 用 水 道 検 査
- 4 食 品 自 主 衛 生 管 理 認 証 事 業
- 5 放 射 能 検 査
- 6 そ の 他 の 検 査

1	腸内細菌検査
---	--------

1 概要

1] 目的

食中毒発生の未然防止を目的として、赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌の保菌者検索を行った。

2] 対象

対象者は、食品取扱者、集団生活者（幼児・施設入所者）、学校給食従事者等

3] 検査方法

(1) PCRスクリーニング検査

検体はキャリーブレイク輸送培地に採取し、赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌由来の遺伝子を3菌種同時にスクリーニングする検査法（マルチプレックスPCR法）で検査を行い、疑陽性となった検体に対して培養法を行った。

(2) 赤痢菌検査

- ・分離培養はSS培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・シモンズの酢酸塩クエン酸塩培地・VP培地を使用し、生化学的性状を確認した。

(3) サルモネラ属菌検査

- ・分離培養はSS培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・クロモアガーサルモネラ培地・シモンズのクエン酸塩培地・VP培地を使用し、生化学的性状を確認した。
- ・生化学的性状が一致したものはサルモネラ免疫血清を用い、O抗原の同定検査を実施した。

(4) 腸管出血性大腸菌検査

- ・分離培養はクロモアガー STEC培地を使用した。
- ・確認培養は、TSI培地・LIM培地・CLIG培地・クロモアガー O157培地・シモンズのクエン酸塩培地・VP培地を使用した。
- ・生化学的性状が一致したものは、病原大腸菌免疫血清を用いて同定検査を実施した。また、同時にベロ毒素産生能検査を実施した。

2 実施状況

表1 赤痢菌、サルモネラ属菌(チフス菌・パラチフスA菌を含む)検査実施状況

	団体数	受検者数	陽性者数 (%)	赤痢菌	サルモネラ属菌群								腸管出血性大腸菌 陽性者数 (%)
					O1,3,19	O13	O3,10	O4	O7	O8	O9	不明	
食品取扱者	1,310	76,805	45 (0.06)	0	1	1	3	20	14	4	2	0	0 (0.000)
学校給食従事者	380	41,443	22 (0.05)	0	1	1	0	9	4	3	3	1	0 (0.000)
総数	1,690	118,248	67 (0.06)	0	2	2	3	29	18	7	5	1	0 (0.000)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
赤痢菌・サルモネラ属菌	受検者数	129,980	131,465	126,572	124,659	118,248
腸管出血性大腸菌	受検者数	129,980	131,465	126,572	124,659	118,248

2	食 品 検 査
---	---------

1 概 要

1] 目 的

安全な食品の確保、飲食物に起因する衛生上の危害を防止するため、細菌学的及び理化学的検査を実施する。

2] 対 象

- (1) 食品衛生法に基づく食品検査
- (2) 各種食品の指導基準に基づく検査
- (3) 栄養表示基準に基づく栄養成分分析
- (4) 調理場等のふきとり検査
- (5) 学校給食用食材検査
- (6) 保存試験
- (7) 異物検査
- (8) その他

3] 検査方法

法令項目は「食品衛生法に基づく方法」により検査を実施した。その他の項目は、各種の通知や食品衛生検査指針等に基づいて検査を実施した。

2 実施状況

表1 実施状況

	施設数	検体数	項目別検査件数	
			細菌検査	理化学検査
法令等による検査	220	954	1,526	584
一般依頼検査	792	3,721	6,453	300
総数	1,012	4,675	7,979	884

表2 検査項目数と不適件数（不適率）

	検査項目数	不適件数(%)
細菌検査	7,979	28 (0.4)
理化学検査	884	1 (0.1)
総数	8,863	29 (0.3)

【年次推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
法令等による検査	細菌検査	5,013	3,247	1,449	1,467	1,526
	理化学検査	597	627	592	602	584
一般依頼検査	細菌検査	3,710	5,687	6,644	6,093	6,453
	理化学検査	404	390	257	323	300
不適率(%)	細菌検査	1.3	0.8	0.2	0.3	0.4
	理化学検査	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1

表3 主な検査項目の件数及び不適数

【細菌検査】			【理化学検査】		
	件数	不適数		件数	不適数
食中毒菌	黄色ブドウ球菌	1,620	添加物試験	ソルビン酸	50
	サルモネラ属菌	514		亜硝酸根	66
	腸管出血性大腸菌O157等	317		二酸化硫黄	26
	腸炎ビブリオ	140		食用タール系色素	23
	カンピロバクター	115		安息香酸	16
	セレウス菌	19		プロピレングリコール	14
	リステリア属菌	20		パラオキシ安息香酸	18
その他細菌項目	生菌数	2,161	6	サッカリンナトリウム	4
	大腸菌群	1,381	18	ナトリウム	50
	E.coli(大腸菌)	1,139	4	カルシウム	22
	カビ	42	無機物	ヒ素	11
	酵母	144		鉛	4
	クロストリジウム属菌	42		重金属(鉛として)	7
	乳酸菌数	59		その他の無機物	0
	緑膿菌	59	栄養成分関係	たんぱく質	50
	耐熱性好気性菌	35		水分	61
				熱量(エネルギー値)	50
		脂質		50	
		食物繊維	3		
		牛乳規格試験	54		
		無脂乳固形分	16		
		乳脂肪分	13		
		シアン化合物	14	1	
		酸価	82		
		過酸化価	88		
		水分活性	36		
		異物検査	2		

3

簡易専用水道検査

1 概要

1] 目的

市や町の水道水を受水槽と呼ばれる飲料用水槽に受けて使用する簡易専用水道及び小規模貯水槽水道について、設置者が実施している日々の管理状況を検査し、飲料水の安全を確保する。

2] 対象

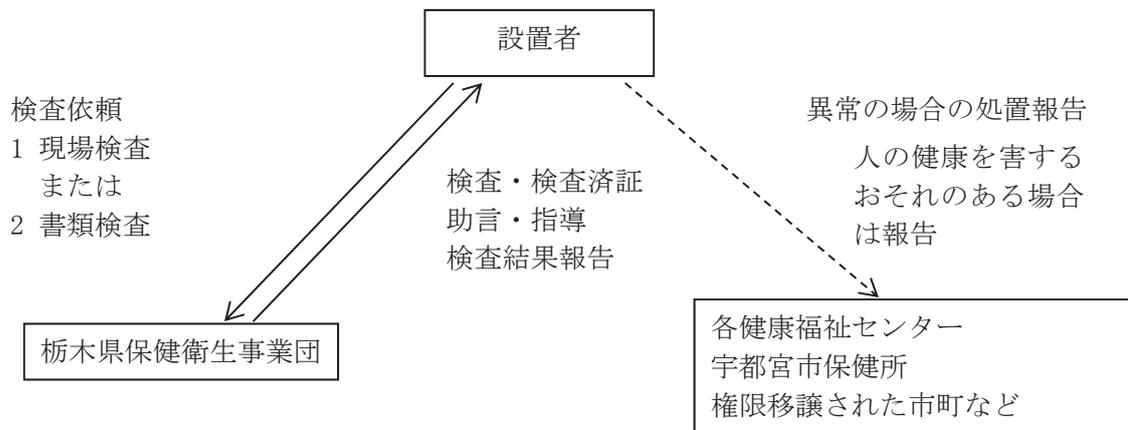
学校や共同住宅、ビルなどに設置される受水槽の有効容量が10^mを超える施設（現場検査）、及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）の適用がある施設（書類検査）。受水槽の有効容量が10^m以下の施設（小規模貯水槽水道）及び井戸水を受水槽に受けている施設についても依頼に基づき簡易専用水道検査に準じて検査を実施。

3] 登録検査機関

水道法第34条の2第2項に基づく国土交通大臣登録検査機関（登録番号第41号）

※令和6年度より主管部局が厚生労働省から国土交通省に変更

4] 検査システム



5] 検査方法

(1) 現場検査

1) 書類の整理等に関する検査

給水設備の図面（配管系統図や周辺構造物の配置図）、水槽の清掃記録、その他の帳簿書類の保存状況確認

2) 施設検査

受水槽や高置水槽及びその周辺の管理状況確認

3) 水質検査

臭気、味、色、色度、濁度及び残留塩素

(2) ビル管理対象施設における書類検査

当該施設の管理担当者がビル管理技術者の意見に基づき記入した「簡易専用水道施設管理状況報告書」の内容を確認し、実施した。

2 実施状況

1] 実施状況

表1 実施件数

	実施件数
現場検査	1,271
書類検査	124

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現場検査	1,296	1,361	1,305	1,326	1,271
衛生上問題あり (%)	1.4	1.9	2.4	1.6	1.3
書類検査	137	133	136	131	124
衛生上問題あり (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総 数	1,433	1,494	1,441	1,457	1,395
衛生上問題あり (%)	1.3	1.7	2.2	1.4	1.1

表2 現場検査における受水槽の規模別実施状況

	V : 受水槽の有効容量 (m ³)	施設数	規模比率
小規模貯水槽水道	0 < V ≤ 5	19	1.5
	5 < V ≤ 10	72	5.7
簡易専用水道	10 < V ≤ 20	515	40.5
	20 < V ≤ 40	448	35.2
	40 < V ≤ 60	140	11.0
	60 < V ≤ 80	32	2.5
	80 < V ≤ 100	16	1.3
	100 < V	29	2.3
総 数		1,271	100.0

2] 検査別総合判定

	実施件数	問題なし (%)	改善が必要 (%)	衛生上問題あり (%)
現場検査	1,271	634 (49.9)	621 (48.8)	16 (1.3)
書類検査	124	124 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	1,395	758 (54.3)	621 (44.4)	16 (1.1)

3] 現場検査における不適について

表3 現場検査における不適事項件数及び内容

検査事項	判定基準	不適件数	
		受水槽	高置水槽
水槽周囲の状態	1 点検、清掃、修理等に支障のない空間がある	6	3
	2 清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていない	67	10
	3 たまり水、湧水等がない	39	25
水槽本体の状態	4 点検、清掃、修理等に支障のない形状である	0	5
	5 亀裂し、又は漏水している箇所がない	75	19
	6 雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がない	70	31
	7 電極部、揚水管等の接合部が固定、防水密閉されている	26	7
水槽上部の状態	8 水たまりができず、ほこり等有害なものの堆積がない	61	28
	9 ふたの上部には、他の設備機器等が置かれていない	0	0
	10 上床盤上部に、汚染設備、機器等が置かれていない	5	0
水槽内部の状態	11 沈積物、内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常にない	112	41
	12 掃除が定期的に行われている	3	1
	13 光が透過する状態になっていない	10	23
	14 当該施設以外の配管設備がない	5	1
	15 流入口と流出口が近接していない	13	2
	16 水中及び水面に異常な浮遊物質がない	11	1
マンホールの状態	17 ふたが防水密閉型であり、ほこり等有害なものが入らず、点検等を行う者以外が容易に開閉できないものである	87	58
	18 マンホール面は有効に立ち上がっている	2	0
オーバーフロー管の状態	19 管端部からほこり等有害なものが入らない	1	1
	20 管端部の防虫網が確認でき、正常であり、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分である	15	13
	21 管端部と排水管の流入口等とは直結でなく、その間隔は逆流防止に十分な距離である	9	1
通気管の状態	22 管端部からほこり等有害なものが入らない	4	6
	23 管端部の防虫網が確認でき、正常であり、網目の大きさは虫等の侵入を防ぐのに十分である	54	77
	24 十分な有効断面積を有するものである	0	0
水抜管の状態	25 管端部と排水管の流入口等とは直結でなく、その間隔は逆流防止に十分な距離である	23	0
給水管等の状態	26 当該施設以外の配管設備と直接連結されていない	0	
	27 水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していない	0	
水質検査	28 臭気	0	
	29 味	0	
	30 色	0	
	31 色度	1	
	32 濁度	1	
	33 残留塩素	3	
書類の整理等に関する検査	34 簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにした図面、受水槽の周囲の構造物の配置を明らかにした平面図及び水槽の掃除の記録その他の帳簿書類の適切な整理及び保存がなされていること。	214	

4] 保健所報告（簡易専用水道の区分で衛生上問題のあった施設）

表4 保健所報告件数及び内容

No.	報告要件 番 号	詳 細	指摘場所		
			受水槽	高置水槽	給水栓
1	(2)	水槽内部に虫類の死骸	○		
2	(5)	水槽上部に亀裂、すき間	○		
3	(3)	残留塩素不検出			○
4	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入		○	
5	(3)	残留塩素不検出			○
6	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
7	(5)	通気管の笠が破損		○	
8	(6)	清掃未実施	○		
9	(6)	清掃未実施	○	○	
10	(3)	残留塩素不検出			○
11	(3)	残留塩素不検出			○
12	(4)	上部パネル接合部から植物根が侵入	○		
13	(6)	水槽内部に藻が発生		○	
14	(5)	水槽上部に亀裂		○	
15	(3)	残留塩素不検出			○
16	(2)	水槽内部に虫類の死骸	○		

付表 厚生労働省告示第262号による水の供給について特に衛生上問題のある場合

報告要件番号	内 容
(1)	汚水槽その他排水設備から水槽に汚水若しくは排水が流入し、又はそのおそれがある場合
(2)	水槽内に動物等の死骸がある場合
(3)	給水栓における水質の検査において、異常が認められる場合
(4)	水槽の上部が清潔に保たれず、又は、マンホール面が槽上面から、衛生上有効に立ち上がっていないため、汚水等が水槽に流入するおそれがある場合
(5)	マンホール、通気管等が著しく破損し、又は汚水若しくは雨水が水槽に流入するおそれがある場合
(6)	その他検査者が水の供給について特に衛生上問題があると認める場合

4 食品自主衛生管理認証事業

1 概要

1) 認証制度

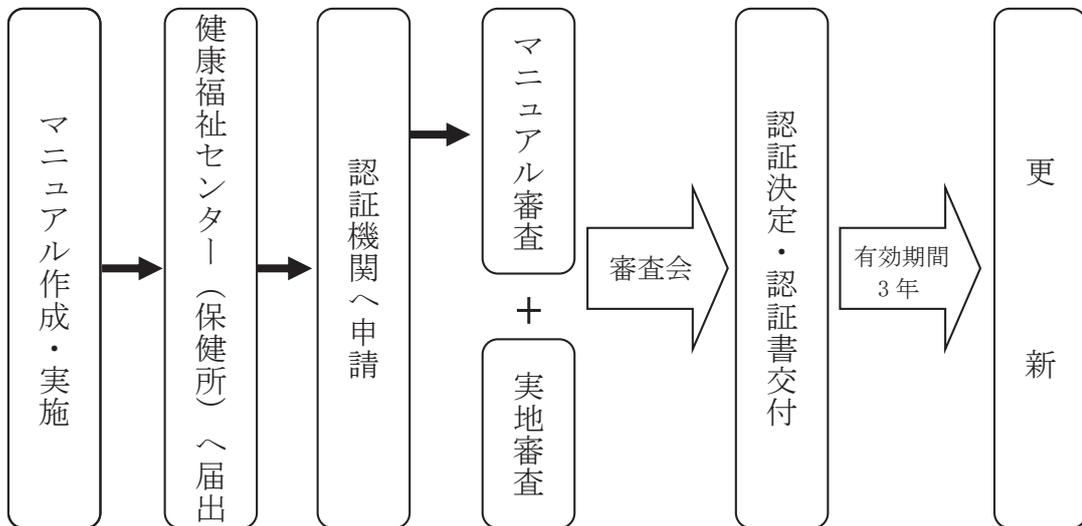
栃木県食品自主衛生管理認証制度（とちぎHACCP）

2) 目的

食品関係事業者が自主的に行う衛生管理について、一定の水準にある施設を認証することにより、県内食品関係施設の衛生管理を推進させ食品の安全確保を図り、県民の安全・安心な食生活に寄与することを目的としている。

3) 認証の仕組み

栃木県食品自主衛生管理認証制度実施要綱（令和3年6月1日改正）に基づき、対象26業種の審査を行い認証書を交付する。



2 実施状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	新規	更新								
総数	9	16	7	17	4	20	3	20	3	16

5

放射能検査

1 概要

1] 目的

県民の健康と食の安全・安心を守るために実施する。

2] 対象

学校・保育園給食、飲料水、農産物、畜産物、加工食品、魚介類、土壌 他

3] 搬入方法

- (1) 直接食品環境検査所に持込む方法
- (2) 指定場所にて回収する方法
- (3) 検査員が直接採取及び回収する方法

4] 検査方法

(1) 精密検査

- 1) 測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー
- 2) 検出核種：放射性ヨウ素 (^{131}I)、放射性セシウム (^{134}Cs 、 ^{137}Cs)

2 実施状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検査件数	370	599	542	479	406
不適合件数 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

6

その他の検査

1 浴槽水等の検査

1] 概要

(1) 目的

安全な水を確保し、衛生上の危害を防止するため検査を実施する。

(2) 対象

浴槽水、温泉水、地下水、河川水 他

(3) 搬入方法

- 1) 直接食品環境検査所に持ち込む方法
- 2) 検査員が直接採取及び回収する方法

(4) 検査方法

レジオネラ症防止指針や各通知等に基づいて検査を実施した。

2] 実施状況

表1 検査項目別不適状況

	検査件数	不適件数
レジオネラ属菌	421	33
浴槽水基準項目	66	6
嫌気性芽胞菌	139	0
その他	31	0
総数	657	39

2 ノロウイルス検査

1] 概要

(1) 目的

食中毒を未然に防止するため検査を実施した。

(2) 対象

大量調理施設や飲食店の調理員 他

(3) 搬入方法

- 1) 直接食品環境検査所に持ち込む方法
- 2) 指定場所にて回収する方法

(4) 検査方法

大量調理施設衛生管理マニュアルに基づくリアルタイムPCRによる遺伝子検査法で実施した。

2] 実施状況

表2 依頼区分別陽性状況

	検査件数	陽性件数
大量調理施設	888	63
ホテル・レジャー施設	15	0
飲食店	96	0
その他	12	4
総数	1,011	67

発見がん追跡調査結果

- 1 集 団 検 診
- 2 人 間 ド ッ ク

1	集 団 検 診
---	---------

1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

令和5年度の地域検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

3] 調査期間

初回調査：令和6年9月・・・調査票回収期限：令和6年9月30日

再調査：令和6年11月・・・調査票回収期限：令和6年11月29日

※再調査は、下記の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

1] 精密検査結果内訳

精検受診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検受診日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者

精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者

精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者

2] 発見がん追跡調査

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者のうちがん又はがん疑いの者を含む）

詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者

がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者

その他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等

令和5年度 地域検診における発見がん追跡調査結果

令和7年1月31日現在

対 象 年 齢	胃がん		肺がん		大腸がん	乳がん	前立腺がん
	X線	胸部X線	胸部CT				
	50-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	-
受診者数	26,279	58,110	687	57,423	36,949	27,421	
要精検者数	1,735	1,068	26	2,304	1,353	2,124	
要精検率(%)							
男女計	受診歴計	6.6	1.8	3.8	4.0	3.7	7.7
	初回	9.8	2.7	5.6	4.9	9.2	9.4
	非初回	5.8	1.5	1.6	3.8	2.5	7.4
男性	受診歴計	8.8	2.1	5.4	5.3	-	7.7
	初回	12.7	3.2	8.4	6.5	-	9.4
	非初回	7.7	1.7	1.9	5.0	-	7.4
女性	受診歴計	4.8	1.7	2.3	3.3	3.7	-
	初回	7.1	2.4	3.0	3.8	9.2	-
	非初回	4.3	1.4	1.3	3.2	2.5	-
精検受診者数	1,426	933	23	1,586	1,216	1,450	
精検受診率(%)	82.2	87.4	88.5	68.8	89.9	68.3	
追跡調査回収率(%)	95.6	98.7	100.0	99.0	96.6	92.2	
発見がん数	35	41	0	94	118	148	
がん発見率(%)							
男女計	受診歴計	0.13	0.07	0.00	0.16	0.32	0.54
	初回	0.21	0.09	0.00	0.40	0.70	0.75
	非初回	0.11	0.06	0.00	0.11	0.24	0.50
男性	受診歴計	0.23	0.12	0.00	0.26	-	0.54
	初回	0.28	0.21	0.00	0.66	-	0.75
	非初回	0.22	0.09	0.00	0.16	-	0.50
女性	受診歴計	0.05	0.04	0.00	0.11	0.32	-
	初回	0.15	0.02	0.00	0.23	0.70	-
	非初回	0.03	0.05	0.00	0.08	0.24	-
早期がん割合*(%)		59.4	41.5	-	59.6	74.6	-
陽性反応適中度(%)							
男女計	受診歴計	2.0	3.8	0.0	4.1	8.7	6.97
	初回	2.1	3.4	0.0	8.3	7.6	7.97
	非初回	2.0	4.1	0.0	2.9	9.6	6.71
男性	受診歴計	2.7	5.8	0.0	4.9	-	6.97
	初回	2.2	6.4	0.0	10.2	-	7.97
	非初回	2.9	5.3	0.0	3.2	-	6.71
女性	受診歴計	1.0	2.3	0.0	3.3	8.7	-
	初回	2.1	0.8	0.0	6.0	7.6	-
	非初回	0.6	3.3	0.0	2.6	9.6	-

*肺がんは0～I A期を早期がん に計上した。

対 象 年 齢	子宮頸がん									
	細胞診のみ			ASC-US時HPV追加**			HPV併用**			
	20-74歳	20-39歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳	
受 診 者 数	1,452	76	1,376	24,645	4,124	20,521	7,095	2,483	4,612	
要 精 検 者 数	41	8	33	484	225	259	417	214	203	
要 精 検 率 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									
精 検 受 診 者 数	30	6	24	402	180	222	351	182	169	
精 検 受 診 率 (%)	73.2	75.0	72.7	83.1	80.0	85.7	84.2	85.0	83.3	
追跡調査回収率 (%)	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
CIN3以上の発見数	1	0	1	18	3	15	16	8	8	
CIN3以上の発見率 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									
早期がん割合* (%)	100.0	-	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
CIN3以上の陽性反応適中度 (%)	受診歴計									
	初回									
	非初回									

*子宮頸がんはIA期を早期がんに計上した。

**子宮頸がんのASC-US時HPV追加、HPV併用については、

- ・細胞診ASC-USかつHPV (-) は精検不要とした。
- ・細胞診NILMかつHPV (+) で前回 (6か月以前) 結果も細胞診NILMかつHPV (+) は要精検とした。

【付表1】 令和4年度 栃木県におけるがん検診実施状況 (栃木県がん検診実施状況報告書より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受 診 者 数	73,505	169,052	166,629	81,641	76,022
要 精 検 率 (%)	6.33	2.24	5.46	2.54	3.30
精 検 受 診 率 (%)	83.7	83.7	65.3	87.0	93.2

【付表2】 令和5年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況 (住民)
(日本対がん協会がん検診の年次報告書より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受 診 者 数	1,643,849	2,832,186	2,477,211	1,115,509	1,106,217	413,978
要 精 検 率 (%)	4.72	1.91	5.44	1.37	3.99	6.36
精 検 受 診 率 (%)	78.5	77.8	66.7	81.9	89.6	63.9

【付表3】 がん検診プロセス指標の基準値一覧(がん検診のあり方に関する検討会報告書より)

		胃 (検診間隔1年)	大腸	肺 (検診以外の肺の 検査受診考慮)	乳 (連続受診者を考慮)	子宮頸*				
対象年齢		50-74歳	40-74歳	40-74歳	40-74歳	20-74歳	20-39歳	40-74歳		
精検受診率		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上				
要精検率	男女計	受診歴計	7.6%以下	6.8%以下	2.3%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下	
		初回	10.3%以下	8.9%以下	3.1%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下	
		非初回	7.1%以下	6.4%以下	2.0%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下	
	男性	受診歴計	9.3%以下	8.6%以下	2.8%以下	-	-	-	-	
		初回	12.6%以下	11.1%以下	3.9%以下	-	-	-	-	
		非初回	8.6%以下	8.0%以下	2.4%以下	-	-	-	-	
	女性	受診歴計	6.6%以下	5.8%以下	2.0%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下	
		初回	12.6%以下	7.5%以下	2.7%以下	9.7%以下	3.7%以下	4.6%以下	2.9%以下	
		非初回	8.6%以下	5.4%以下	1.8%以下	5.3%以下	2.0%以下	3.8%以下	1.6%以下	
	がん発見率	男女計	受診歴計	0.11%以上	0.21%以上	0.05%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
			初回	0.19%以上	0.49%以上	0.07%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上
			非初回	0.10%以上	0.15%以上	0.05%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上
男性		受診歴計	0.19%以上	0.31%以上	0.08%以上	-	-	-	-	
		初回	0.31%以上	0.73%以上	0.10%以上	-	-	-	-	
		非初回	0.16%以上	0.22%以上	0.07%以上	-	-	-	-	
女性		受診歴計	0.05%以上	0.14%以上	0.03%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上	
		初回	0.09%以上	0.34%以上	0.05%以上	0.52%以上	0.30%以上	0.22%以上	0.36%以上	
		非初回	0.05%以上	0.11%以上	0.03%以上	0.23%以上	0.08%以上	0.14%以上	0.07%以上	
陽性反応適中度		男女計	受診歴計	1.5%以上	3.0%以上	2.2%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上
			初回	1.9%以上	5.5%以上	2.2%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上
			非初回	1.4%以上	2.3%以上	2.2%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上
	男性	受診歴計	2.0%以上	3.6%以上	2.9%以上	-	-	-	-	
		初回	2.5%以上	6.6%以上	2.6%以上	-	-	-	-	
		非初回	1.9%以上	2.7%以上	3.0%以上	-	-	-	-	
	女性	受診歴計	0.8%以上	2.5%以上	1.7%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上	
		初回	1.1%以上	4.5%以上	1.9%以上	5.3%以上	8.1%以上	4.9%以上	12.8%以上	
		非初回	0.8%以上	1.9%以上	1.5%以上	4.4%以上	4.1%以上	3.8%以上	4.3%以上	

*子宮頸：要精検率はASC-US以上の割合、がん発見率及び陽性反応適中度はCIN3以上に対する値

がん検診のあり方に関する検討会による「がん検診の事業のあり方について（令和6年7月）」において、検診が目指すべき感度・特異度に基づいた新たなプロセス指標基準値が設定された。

本書は同報告書の別添6表7（全国の標準的な性・年齢階級に基づいた上限74歳の基準値）を用いて評価を行う。

胃がん検診

【胃X線検査】

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
男	17,041	1,462 (8.6)
女	20,528	938 (4.6)
総数	37,569	2,400 (6.4)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精検受診																精検未把握	精検未受診	総数
	早期がん	進行がん	がが疑い	食道がん	その他の悪性腫瘍	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	十二指腸潰瘍癒痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	その他の疾患	異常なし			
男	20	13	10	1	0	29	21	57	5	20	121	3	597	87	83	122	217	56	1,462
女	6	2	1	0	0	32	17	13	4	19	121	3	385	71	41	96	103	24	938
総数	26	15	11	1	0	61	38	70	9	39	242	6	982	158	124	218	320	80	2,400

3 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)	
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		回収数	(%)
男	43	0	0	0	43	41	(95.3)
女	9	0	0	0	9	9	(100.0)
総数	52	0	0	0	52	50	(96.2)

2) 調査結果内訳 (調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細)

	確定がん			食道がん (%)	良性疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
男	18 (41.9)	11 (25.6)	3 (7.0)	0 (0.0)	6 (14.0)	0 (0.0)	3 (7.0)	2 (4.7)
女	6 (66.7)	2 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	24 (46.2)	13 (25.0)	3 (5.8)	0 (0.0)	7 (13.5)	0 (0.0)	3 (5.8)	2 (3.8)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

		受診者数		要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん数 (%)		陽性反応
										適中度 (%)
男	39歳以下	194	8	(4.1)	8	(100.0)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	901	42	(4.7)	31	(73.8)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	1,117	45	(4.0)	34	(75.6)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	1,273	69	(5.4)	51	(73.9)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	1,101	63	(5.7)	46	(73.0)	0	(0.00)	(0.0)	
	60～64歳	1,718	119	(6.9)	99	(83.2)	1	(0.06)	(0.8)	
	65～69歳	3,362	327	(9.7)	265	(81.0)	13	(0.39)	(4.0)	
	70～74歳	4,476	468	(10.5)	377	(80.6)	14	(0.31)	(3.0)	
	75～79歳	2,664	285	(10.7)	246	(86.3)	4	(0.15)	(1.4)	
	80歳以上	235	36	(15.3)	32	(88.9)	0	(0.00)	(0.0)	
計	17,041	1,462	(8.6)	1,189	(81.3)	32	(0.19)	(2.2)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	11,930	1,046	(8.8)	838	(80.1)	28	(0.23)	(2.7)	
	初回	2,545	324	(12.7)	245	(75.6)	7	(0.28)	(2.2)	
	非初回	9,385	722	(7.7)	593	(82.1)	21	(0.22)	(2.9)	
女	39歳以下	320	13	(4.1)	12	(92.3)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	1,701	47	(2.8)	38	(80.9)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	2,076	36	(1.7)	31	(86.1)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	2,140	53	(2.5)	41	(77.4)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	1,980	75	(3.8)	59	(78.7)	1	(0.05)	(1.3)	
	60～64歳	2,666	120	(4.5)	103	(85.8)	0	(0.00)	(0.0)	
	65～69歳	3,540	175	(4.9)	151	(86.3)	1	(0.03)	(0.6)	
	70～74歳	4,023	266	(6.6)	234	(88.0)	5	(0.12)	(1.9)	
	75～79歳	1,996	148	(7.4)	138	(93.2)	1	(0.05)	(0.7)	
	80歳以上	86	5	(5.8)	4	(80.0)	0	(0.00)	(0.0)	
計	20,528	938	(4.6)	811	(86.5)	8	(0.04)	(0.9)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	14,349	689	(4.8)	588	(85.3)	7	(0.05)	(1.0)	
	初回	2,686	190	(7.1)	150	(78.9)	4	(0.15)	(2.1)	
	非初回	11,663	499	(4.3)	438	(87.8)	3	(0.03)	(0.6)	
計	39歳以下	514	21	(4.1)	20	(95.2)	0	(0.00)	(0.0)	
	40～44歳	2,602	89	(3.4)	69	(77.5)	0	(0.00)	(0.0)	
	45～49歳	3,193	81	(2.5)	65	(80.2)	0	(0.00)	(0.0)	
	50～54歳	3,413	122	(3.6)	92	(75.4)	0	(0.00)	(0.0)	
	55～59歳	3,081	138	(4.5)	105	(76.1)	1	(0.03)	(0.7)	
	60～64歳	4,384	239	(5.5)	202	(84.5)	1	(0.02)	(0.4)	
	65～69歳	6,902	502	(7.3)	416	(82.9)	14	(0.20)	(2.8)	
	70～74歳	8,499	734	(8.6)	611	(83.2)	19	(0.22)	(2.6)	
	75～79歳	4,660	433	(9.3)	384	(88.7)	5	(0.11)	(1.2)	
	80歳以上	321	41	(12.8)	36	(87.8)	0	(0.00)	(0.0)	
計	37,569	2,400	(6.4)	2,000	(83.3)	40	(0.11)	(1.7)		
50～74歳 (再掲)	受診歴計	26,279	1,735	(6.6)	1,426	(82.2)	35	(0.13)	(2.0)	
	初回	5,231	514	(9.8)	395	(76.8)	11	(0.21)	(2.1)	
	非初回	21,048	1,221	(5.8)	1,031	(84.4)	24	(0.11)	(2.0)	

(2) 受診歴別プロセス指標値

		受診者数		要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん内訳			陽性反応			
								早期 (%)	進行 (%)	不明	適中度 (%)			
初回	男	3,779	437	(11.6)	335	(76.7)	8	(0.21)	6	(85.7)	1	(14.3)	1	(1.8)
	女	4,435	271	(6.1)	217	(80.1)	4	(0.09)	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(1.5)
	計	8,214	708	(8.6)	552	(78.0)	12	(0.15)	9	(81.8)	2	(18.2)	1	(1.7)
非初回	男	13,262	1,025	(7.7)	854	(83.3)	24	(0.18)	12	(54.5)	10	(45.5)	2	(2.3)
	女	16,093	667	(4.1)	594	(89.1)	4	(0.02)	3	(75.0)	1	(25.0)	0	(0.6)
	計	29,355	1,692	(5.8)	1,448	(85.6)	28	(0.10)	15	(57.5)	11	(42.3)	2	(1.7)
総数	37,569	2,400	(6.4)	2,000	(83.3)	40	(0.11)	24	(64.9)	13	(35.1)	3	(1.7)	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	37,569	2,400 (6.4)	(83.3)	40 (0.11)	(1.7)
令和4年度	39,045	2,532 (6.5)	(83.1)	37 (0.09)	(1.5)
令和3年度	39,973	3,098 (7.8)	(84.3)	54 (0.14)	(1.7)

4] 発見がんの詳細

(1) 性別深達度

深達度	早期		進行				不明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	11	7	5	4	2	0	3
女	5	1	1	0	1	0	0
総数	16	8	6	4	3	0	3

以下の(2)~(8)は深達度不明の3名を除き集計した

(2) 深達度

深達度	発見数	総数 (%)
早期 M	16	24 (64.9)
SM	8	
進行 MP	6	13 (35.1)
SS	4	
SE	3	
SI	0	
総数	37	37 (100.0)

(3) 肉眼的分類

肉眼的分類	発見数
I	2
II a	9
0型 II a+ II c	4
II b	1
II c	7
II b+ II c	1
1型	0
2型	4
3型	5
4型	4
5型	0
総数	37

(4) 進行度分類 (病理)

進行度	発見数
I A	21
I B	7
II A	0
II B	3
III A	1
III B	1
III C	2
IV	0
不明	0
未記入	2
総数	37

(5) 部位 (壁在) 分類

	早期	進行	総数
前壁	3	0	3
後壁	7	4	11
大彎	4	2	6
小彎	10	5	15
全周	0	1	1
未記入	0	1	1
総数	24	13	37

(6) 部位 (UML) 分類

	早期	進行	総数
U	4	3	7
UM	0	0	0
MU	0	1	1
M	9	3	12
ML	1	1	2
LM	1	1	2
L	8	2	10
全体	1	2	3
未記入	0	0	0
総数	24	13	37

(7) 組織型分類

組織型	発見数
pap	3
tub1	17
tub2	6
por1	2
por2	2
por (1,2不明)	2
sig	3
muc	1
特殊型	1
不明	0
未記入	0
総数	37

(8) 治療方法

	発見数
外科手術	7
腹腔鏡下手術	15
内視鏡的治療	15
化学療法	0
無治療	0
その他	0
未記入	0
総数	37

【胃がんリスク層別化検査】

1 検診実施状況

1) 判定区分

	異常認めず		要二次検査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	-	-	+	+
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	-	+	+	-

2) リスク分類別内訳

年齢	受診者数	A群 (%)		B群 (%)		C群 (%)		D群 (%)		B+C+D群 (%)	
39歳以下	315	273	(86.7)	24	(7.6)	14	(4.4)	4	(1.3)	42	(13.3)
40～44歳	456	386	(84.6)	42	(9.2)	25	(5.5)	3	(0.7)	70	(15.4)
45～49歳	404	356	(88.1)	26	(6.4)	16	(4.0)	6	(1.5)	48	(11.9)
50～54歳	453	385	(85.0)	32	(7.1)	25	(5.5)	11	(2.4)	68	(15.0)
55～59歳	365	314	(86.0)	17	(4.7)	25	(6.8)	9	(2.5)	51	(14.0)
60～64歳	407	324	(79.6)	47	(11.5)	30	(7.4)	6	(1.5)	83	(20.4)
65～69歳	557	423	(75.9)	55	(9.9)	60	(10.8)	19	(3.4)	134	(24.1)
70～74歳	529	384	(72.6)	56	(10.6)	61	(11.5)	28	(5.3)	145	(27.4)
75～79歳	22	16	(72.7)	1	(4.5)	3	(13.6)	2	(9.1)	6	(27.3)
総数	3,508	2,861	(81.6)	300	(8.6)	259	(7.4)	88	(2.5)	647	(18.4)

3) 性別要二次検査者数

	受診者数	要二次検査者数 (%)	
男	1,187	235	(19.8)
女	2,321	412	(17.8)
総数	3,508	647	(18.4)

2 二次検査結果内訳（発見胃がん追跡調査前の二次検査結果）

	二次検査受診															二次検査未把握	二次検査未受診	総数	
	早期がん	進行がん	がん疑い	その他の胃悪性腫瘍	食道がん	粘膜下腫瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍・癒痕	胃ポリープ	異型上皮	萎縮性胃炎	その他の胃炎	逆流性食道炎	その他の疾患	異常なし				
男	2	1	2	0	1	0	2	1	5	11	0	87	9	5	11	17	64	17	235
女	0	1	1	1	0	5	3	1	8	28	0	189	20	3	17	29	86	20	412
総数	2	2	3	1	1	5	5	2	13	39	0	276	29	8	28	46	150	37	647

3 発見胃がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追跡調査対象者数* (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収率 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	5	0	0	0	5	5 (100.0)
女	2	0	0	0	2	2 (100.0)
総数	7	0	0	0	7	7 (100.0)

*追跡調査対象者数：二次検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者

2] 調査結果内訳

	発見がん			良性疾患 (%)	追跡不能 (%)	未確定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)			
男	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
女	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	3 (42.9)	1 (14.3)	2 (28.5)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下	92	11 (12.0)	10 (90.9)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	124	24 (19.4)	17 (70.8)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	103	13 (12.6)	9 (69.2)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	140	15 (10.7)	6 (40.0)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	103	13 (12.6)	5 (38.5)	0 (0.00)	(0.0)
男 60～64歳	137	25 (18.2)	17 (68.0)	0 (0.00)	(0.0)
65～69歳	236	63 (26.7)	43 (68.3)	4 (1.69)	(6.3)
70～74歳	242	68 (28.1)	46 (67.6)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	10	3 (30.0)	1 (33.3)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
計	1,187	235 (19.8)	154 (65.5)	4 (0.34)	(1.7)
39歳以下	223	31 (13.9)	26 (83.9)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	332	46 (13.9)	31 (67.4)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	301	35 (11.6)	25 (71.4)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	313	53 (16.9)	34 (64.2)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	262	38 (14.5)	24 (63.2)	0 (0.00)	(0.0)
女 60～64歳	270	58 (21.5)	45 (77.6)	1 (0.37)	(1.7)
65～69歳	321	71 (22.1)	60 (84.5)	1 (0.31)	(1.4)
70～74歳	287	77 (26.8)	58 (75.3)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	12	3 (25.0)	3 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
計	2,321	412 (17.8)	306 (74.3)	2 (0.09)	(0.5)
総数	3,508	647 (18.4)	460 (71.1)	6 (0.17)	(0.9)

(2) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	3,508	647 (18.4)	(71.1)	6 (0.17)	(0.9)
令和4年度	3,781	771 (20.4)	(74.3)	1 (0.03)	(0.1)
令和3年度	3,704	800 (21.6)	(71.9)	4 (0.11)	(0.5)

(3) リスク分類別プロセス指標値

	B群	C群	D群
要二次検査者数	300	259	88
二次検査受診者数 (%)	207 (69.0)	183 (70.7)	70 (79.5)
発見がん数 (%)	男 2	1	1
	女 0	1	1
計	2 (0.67)	2 (0.77)	2 (2.27)

4] 発見がんの詳細

(1) 性別深達度

深達度	早期		進行	不明
	M	SM	SE	
男	1	1	1	1
女	1	0	0	1
総数	2 (33.3)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)

(2) 肉眼的分類

肉眼的分類	発見数
0型（表在型）	3
2型	1
4型	2
総数	6

(3) 進行度分類（病理）

進行度	発見数
I A	3
I B	1
III C	1
不明	1
総数	6

(4) 部位（壁在）分類

	早期	進行	不明	総数
小彎	2	0	0	2
大彎	1	0	2	3
全周	0	1	0	1
総数	3	1	2	6

(5) 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	不明	総数
L	3	0	2	5
全体	0	1	0	1
総数	3	1	2	6

(6) 組織型分類

組織型	B群	C群	D群	総数
tub1	0	0	2	2
tub2	2	1	0	3
sig	0	1	0	1
総数	2	2	2	6

(7) 治療方法

	発見数
外科手術	2
腹腔鏡下手術	2
内視鏡的治療	2
総数	6

(8) 前回受診結果

リスク分類	令和5年度受診結果					前回受診結果	
	検診方法	深達度	がん内訳	進行度	組織型	受診年度	検診方法（判定）
B群	リスク	SM	早期がん	I B	tub2	H24	X線（異常なし）
B群	X線+リスク	SE	進行がん	III C	tub2	R4	X線（精検不要）
C群	X線+リスク	不明	-	I A	sig	R4	X線（精検不要）
C群	X線+リスク	不明	-	-	tub2	R1	X線（異常なし）
D群	X線+リスク	M	早期がん	I A	tub1		受診歴なし
D群	X線+リスク	M	早期がん	I A	tub1		受診歴なし

4 まとめ

令和5年度胃がん検診（胃 X線検査）の受診者は37,569人、要精検率は6.4%であった。追跡調査の結果、精検受診率83.3%、がん発見率0.11%、陽性反応適中度1.7%であった。また、発見された胃がんは、早期がん64.9%、進行がん35.1%であった。

対象年齢50～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率6.6%、がん発見率0.13%、陽性反応適中度2.0%で基準値を満たしていたが、精検受診率は82.2%で基準値を満たしていなかった。

受診歴別では、非初回受診者において、要精検率5.8%、がん発見率0.11%、陽性反応適中度2.0%で基準値を満たしていたが、女性の非初回受診者では、がん発見率0.03%、陽性反応適中度0.6%で基準値を満たしていなかった。

令和5年度の胃がんリスク層別化検査は、7市3町において実施され、受診者数3,508人、二次検査対象者率18.4%であった。追跡調査の結果、二次検査受診率71.1%、がん発見率0.17%、陽性反応適中度0.9%であった。

肺がん検診

1 検診実施状況

1] 肺がん検診

(1) 胸部X線検査 (+ 喀痰細胞診)

	受診者数	要精検者数					
		X線検査				喀痰細胞診 (%)	
		D判定 (%)*		E判定 (%)*			
胸部X線	31,160	428	(1.4)	779	(2.5)	-	-
男 胸部X線+喀痰細胞診	1,277	30	(2.3)	48	(3.8)	3	(0.2)
計	32,437	458	(1.4)	827	(2.5)	-	-
胸部X線	46,369	485	(1.0)	850	(1.8)	-	-
女 胸部X線+喀痰細胞診	133	2	(1.5)	4	(3.0)	0	(0.0)
計	46,502	487	(1.0)	854	(1.8)	-	-
胸部X線	77,529	913	(1.2)	1,629	(2.1)	-	-
総数 胸部X線+喀痰細胞診	1,410	32	(2.3)	52	(3.7)	3	(0.2)
総数	78,939	945	(1.2)	1,681	(2.1)	-	-

(2) 胸部CT検査 (+ 喀痰細胞診)

	受診者数	要精検者数					
		CT検査				喀痰細胞診 (%)	
		D判定 (%)*		E判定 (%)*			
胸部CT	405	26	(6.4)	27	(6.7)	-	-
男 胸部CT+喀痰細胞診	15	3	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
計	420	29	(6.9)	27	(6.4)	-	-
胸部CT	430	27	(6.3)	10	(2.3)	-	-
女 胸部CT+喀痰細胞診	0	-	-	-	-	-	-
計	430	27	(6.3)	10	(2.3)	-	-
胸部CT	835	53	(6.3)	37	(4.4)	-	-
総数 胸部CT+喀痰細胞診	15	3	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
総数	850	56	(6.6)	37	(4.4)	-	-

*要精検者数のD判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」

2 精検結果内訳 (胸部X線検査要精検 (E判定) 者および喀痰細胞診要精検者のみ)

	精検受診													精検	精検	総
	原発性肺がん	肺がん疑い	転移性肺腫瘍	悪性腫瘍以外の肺腫瘍	その他の悪性腫瘍	縦隔腫瘍	活動性肺結核疑い	不活動性肺結核疑い	肺結核治癒	その他の呼吸器疾患	循環器疾患	その他の異常	異常認めず			
男	6	69	1	5	1	5	0	4	7	304	6	15	279	100	25	827
女	7	52	2	8	0	7	0	5	6	304	5	20	357	68	13	854
総数	13	121	3	13	1	12	0	9	13	608	11	35	636	168	38	1,681

3 発見がん追跡調査結果 (胸部X線検査要精検 (E判定) 者および喀痰細胞診要精検者のみ)

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	75	0	5	0	70	70 (100.0)
女	59	0	5	0	54	53 (98.1)
総数	134	0	10	0	124	123 (99.2)

2] 調査結果内訳（調査数及び発見がんの詳細を把握していた数を併せた内訳）

	発見がん			その他 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	0-I A期 (%)	0-I A期外 (%)	不明 (%)				
男	17 (24.3)	25 (35.7)	2 (2.9)	24 (34.3)	0 (0.0)	2 (2.9)	0 (0.0)
女	7 (13.0)	13 (24.1)	0 (0.0)	27 (50.0)	3 (5.6)	3 (5.6)	1 (1.9)
総数	24 (19.4)	38 (30.6)	2 (1.6)	51 (41.1)	3 (2.4)	5 (4.0)	1 (0.8)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)		発見がん数 (%)		陽性反応 適中度 (%)
男	39歳以下	319	5 (1.6)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	40～44歳	1,169	7 (0.6)	6 (85.7)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	45～49歳	1,385	13 (0.9)	12 (92.3)	1 (0.07)	1 (0.07)	(7.7)	
	50～54歳	1,629	27 (1.7)	23 (85.2)	1 (0.06)	1 (0.06)	(3.7)	
	55～59歳	1,426	24 (1.7)	17 (70.8)	1 (0.07)	1 (0.07)	(4.2)	
	60～64歳	2,399	56 (2.3)	46 (82.1)	1 (0.04)	1 (0.04)	(1.8)	
	65～69歳	5,717	135 (2.4)	117 (86.7)	6 (0.10)	6 (0.10)	(4.4)	
	70～74歳	8,421	204 (2.4)	168 (82.4)	17 (0.20)	17 (0.20)	(8.3)	
	75～79歳	5,983	191 (3.2)	170 (89.0)	12 (0.20)	12 (0.20)	(6.3)	
	80歳以上	3,989	165 (4.1)	138 (83.6)	5 (0.13)	5 (0.13)	(3.0)	
	計	32,437	827 (2.5)	702 (84.9)	44 (0.14)	44 (0.14)	(5.3)	
	40～74歳 受診歴計	22,146	466 (2.1)	389 (83.5)	27 (0.12)	27 (0.12)	(5.8)	
	(再掲) 初回	6,298	202 (3.2)	159 (78.7)	13 (0.21)	13 (0.21)	(6.4)	
	非初回	15,848	264 (1.7)	230 (87.1)	14 (0.09)	14 (0.09)	(5.3)	
女	39歳以下	516	0 (0.0)	-	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	40～44歳	2,712	11 (0.4)	9 (81.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	45～49歳	3,149	11 (0.3)	11 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	50～54歳	3,242	30 (0.9)	27 (90.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	55～59歳	3,282	41 (1.2)	32 (78.0)	1 (0.03)	1 (0.03)	(2.4)	
	60～64歳	4,906	86 (1.8)	76 (88.4)	2 (0.04)	2 (0.04)	(2.3)	
	65～69歳	8,052	162 (2.0)	151 (93.2)	5 (0.06)	5 (0.06)	(3.1)	
	70～74歳	10,621	261 (2.5)	238 (91.2)	6 (0.06)	6 (0.06)	(2.3)	
	75～79歳	6,525	152 (2.3)	141 (92.8)	5 (0.08)	5 (0.08)	(3.3)	
	80歳以上	3,497	100 (2.9)	88 (88.0)	1 (0.03)	1 (0.03)	(1.0)	
	計	46,502	854 (1.8)	773 (90.5)	20 (0.04)	20 (0.04)	(2.3)	
	40～74歳 受診歴計	35,964	602 (1.7)	544 (90.4)	14 (0.04)	14 (0.04)	(2.3)	
	(再掲) 初回	9,908	238 (2.4)	209 (87.8)	2 (0.02)	2 (0.02)	(0.8)	
	非初回	26,056	364 (1.4)	335 (92.0)	12 (0.05)	12 (0.05)	(3.3)	
計	39歳以下	835	5 (0.6)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	40～44歳	3,881	18 (0.5)	15 (83.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
	45～49歳	4,534	24 (0.5)	23 (95.8)	1 (0.02)	1 (0.02)	(4.2)	
	50～54歳	4,871	57 (1.2)	50 (87.7)	1 (0.02)	1 (0.02)	(1.8)	
	55～59歳	4,708	65 (1.4)	49 (75.4)	2 (0.04)	2 (0.04)	(3.1)	
	60～64歳	7,305	142 (1.9)	122 (85.9)	3 (0.04)	3 (0.04)	(2.1)	
	65～69歳	13,769	297 (2.2)	268 (90.2)	11 (0.08)	11 (0.08)	(3.7)	
	70～74歳	19,042	465 (2.4)	406 (87.3)	23 (0.12)	23 (0.12)	(4.9)	
	75～79歳	12,508	343 (2.7)	311 (90.7)	17 (0.14)	17 (0.14)	(5.0)	
	80歳以上	7,486	265 (3.5)	226 (85.3)	6 (0.08)	6 (0.08)	(2.3)	
	計	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	64 (0.08)	(3.8)	
	40～74歳 受診歴計	58,110	1,068 (1.8)	933 (87.4)	41 (0.07)	41 (0.07)	(3.8)	
	(再掲) 初回	16,206	440 (2.7)	368 (83.6)	15 (0.09)	15 (0.09)	(3.4)	
	非初回	41,904	628 (1.5)	565 (90.0)	26 (0.06)	26 (0.06)	(4.1)	

(2) 検査方法別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
胸部X線	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	(3.8)
喀痰細胞診	1,410	3 (0.2)	3 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)

(3) 受診歴別プロセス指標値

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より

初 回：前年度、肺がん検診を受診していない者

非初回：前年度も肺がん検診を受診している者

(肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診)

1) 受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	発見がん内訳			陽性反応 適中度 (%)
					0-I A期 (%)	0-I A期外 (%)	不明 (%)	
初 回	男	8,189	304 (3.7)	238 (78.3)	16 (0.20)	4 (25.0)	12 (75.0)	0 (0.0) (5.3)
	女	12,257	302 (2.5)	267 (88.4)	6 (0.05)	2 (33.3)	4 (66.7)	0 (0.0) (2.0)
	計	20,446	606 (3.0)	505 (83.3)	22 (0.11)	6 (27.3)	16 (72.7)	0 (0.0) (3.6)
非初回	男	24,248	523 (2.2)	464 (88.7)	28 (0.12)	13 (46.4)	13 (46.4)	2 (7.1) (5.4)
	女	34,245	552 (1.6)	506 (91.7)	14 (0.04)	5 (35.7)	9 (64.3)	0 (0.0) (2.5)
	計	58,493	1,075 (1.8)	970 (90.2)	42 (0.07)	18 (42.9)	22 (52.4)	2 (4.8) (3.9)
総 数	78,939	1,681 (2.1)	1,475 (87.7)	64 (0.08)	24 (37.5)	38 (59.4)	2 (3.1) (3.8)	

2) 受診歴別臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0	0	0
I A	0	0
I A1	1	4
I A2	3	9
I A3	2	5
I B	3	6
II A	0	0
II B	1	3
III A	5	5
III B	3	2
III C	1	0
IV	0	0
IV A	0	3
IV B	3	3
不明	0	2
総数	22	42

(4) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	78,939	1,681 (2.1)	(87.7)	64 (0.08)	(3.8)
令和4年度	77,616	1,871 (2.4)	(87.6)	67 (0.09)	(3.6)
令和3年度	75,151	1,373 (1.8)	(85.9)	46 (0.06)	(3.4)

4] 発見がんの詳細

(1) 組織型

	男	女	総数
腺癌	23	18	41
扁平上皮癌	12	2	14
小細胞癌	3	0	3
大細胞癌	1	0	1
その他	1	0	1
不明	4	0	4
総数	44	20	64

(2) 臨床病期分類

	男	女	総数
0	0	0	0
I A	0	0	0
I A1	4	1	5
I A2	6	6	12
I A3	7	0	7
I B	7	2	9
II A	0	0	0
II B	2	2	4
III A	6	4	10
III B	3	2	5
III C	1	0	1
IV	0	0	0
IV A	0	3	3
IV B	6	0	6
不明	2	0	2
総数	44	20	64

(3) 治療方法

	男	女	総数
胸腔鏡下手術	24	11	35
ロボット支援下手術	1	0	1
胸腔鏡下手術、化学療法	0	1	1
胸腔鏡下手術、放射線療法	1	0	1
化学療法	6	4	10
放射線療法	3	0	3
化学療法、放射線療法	4	2	6
治療拒否	1	1	2
不明	4	1	5
総数	44	20	64

4 喫煙及び組織型

1] 喫煙指数 (本数/日×年)

喫煙指数	男	女	総数
0 ~ 200	8	17	25
200 ~ 400	2	2	4
400 ~ 600	9	1	10
600 ~ 800	6	0	6
800 ~ 1000	9	0	9
1000 ~ 1200	8	0	8
1200 ~ 1400	0	0	0
1400 ~	2	0	2
総数	44	20	64

2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組織型	男	女	総数
600未満	腺癌	13	18	31
	扁平上皮癌	4	2	6
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	1	0	1
600以上	腺癌	10	0	10
	扁平上皮癌	8	0	8
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	1	0	1
	その他	1	0	1
	不明	3	0	3
総数		44	20	64

※喫煙歴無 男4人、女16人

3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組織型	男	女	総数
吸わない	腺癌	2	15	17
	扁平上皮癌	1	1	2
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	0	0
	不明	1	0	1
止めた	腺癌	11	1	12
	扁平上皮癌	6	0	6
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	1	0	1
	その他	0	0	0
	不明	3	0	3
吸う	腺癌	10	2	12
	扁平上皮癌	5	1	6
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	その他	1	0	1
	不明	0	0	0
総数		44	20	64

5 その他の発見がん

1] 胸部CT検査（+喀痰細胞診）からの発見がん

(1) プロセス指標値

	受診者数	要精検E判定数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
胸部CT	835	37 (4.4)	33 (89.2)	1 (0.12)	(2.70)
胸部CT+ 喀痰細胞診	15	0 (0.0)	-	0 (0.00)	(0.00)

(2) 発見がんの詳細

年齢	性別	前年度受診	組織型	臨床病期分類	治療方法
70代	男性	無	腺癌	I A1	胸腔鏡下手術

2] 要精検D判定者からの肺がん

(1) 検査方法別肺がん数

	受診者数	要精検D判定数 (%)	肺がん数
胸部X線	77,529	913 (1.2)	7
胸部X線+ 喀痰細胞診	1,410	32 (2.3)	1
胸部CT	835	53 (6.3)	1
胸部CT+ 喀痰細胞診	15	3 (20.0)	0

(2) 肺がんの詳細

検査方法	年代・性別	前年度受診	組織型	臨床病期分類	治療方法
X線のみ	70代女性	有	腺癌	I A2	胸腔鏡下手術
X線のみ	80代女性	無	腺癌	II B	放射線療法
X線のみ	70代男性	無	腺癌	I A3	胸腔鏡下手術
X線のみ	80代男性	有	扁平上皮癌	IV A	化学療法
X線のみ	70代男性	有	扁平上皮癌	III A	手術
X線のみ	70代男性	無	扁平上皮癌	I B	胸腔鏡下手術
X線のみ	60代男性	無	腺癌	II A	手術
X線+喀痰	70代男性	有	小細胞癌	II B	化学療法、放射線療法
CTのみ	50代女性	無	腺癌	I B	胸腔鏡下手術

6 まとめ

令和5年度の肺がん検診（胸部X線検査（+喀痰細胞診））の受診者は78,939人、要精検率は2.1%であった。追跡調査の結果、精検受診率87.7%、がん発見率0.08%、陽性反応適中度3.8%であった。受診歴別でみると、がん発見率は初回受診者0.11%、非初回受診者0.07%であり、臨床進行期分類0～I A期割合は初回受診者27.3%、非初回受診者42.9%であった。

対象年齢40～74歳のプロセス指標値との比較では、要精検率1.8%、がん発見率0.07%、陽性反応適中度3.8%で基準値を満たしていたが、精検受診率は87.4%で基準値を満たしていなかった。がん発見率、陽性反応適中度を受診歴別でみると、男性の初回・非初回受診者、女性の非初回受診者で基準値を満たしていたが、女性の初回受診者では、がん発見率0.02%、陽性反応適中度0.8%で基準値を満たしていなかった。

また、今回、要精検D判定者から9名の肺がんが発見された。判定方法を統一できるよう検討が必要である。

付表 胸部検診（肺がん検診）における至急精検結果

1] 至急対象所見内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	39	22	61
結核疑い	3	0	3
その他疑い	11	8	19
総数	53	30	83

2] 肺がん疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
原発性肺がん	4	2	6
肺がん疑い	12	8	20
転移性肺腫瘍	0	1	1
その他の呼吸器疾患	14	9	23
循環器疾患	1	1	2
その他の異常	3	0	3
異常なし	3	0	3
不明	2	1	3
総数	39	22	61

3] 結核疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	1	0	1
その他の呼吸器疾患	2	0	2
総数	3	0	3

4] その他疑いの精検結果内訳

	男	女	総数
その他の呼吸器疾患	7	6	13
循環器疾患	2	0	2
その他の異常	1	1	2
異常なし	0	1	1
不明	1	0	1
総数	11	8	19

大腸がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
男	30,752	1,845 (6.0)
女	46,093	1,651 (3.6)
総数	76,845	3,496 (4.5)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診										憩 痔	そ の 他 の 疾 患	異 常 認 め ず	精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数		
	早 期 が ん	進 行 が ん	疑 念	腺 腫 (10mm 以上)	腺 腫 (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	ク ロ ー ン 病							潰 瘍 性 大 腸 炎	
男	39	21	20	117	356	63	207	4	6	0	6	81	64	21	192	421	227	1,845
女	36	19	10	62	237	31	219	2	7	0	9	141	113	31	291	258	185	1,651
総数	75	40	30	179	593	94	426	6	13	0	15	222	177	52	483	679	412	3,496

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)		調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)	
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)	回収数	回収率 (%)			
男	86	0	0	0	86	85	(98.8)	
女	66	3	0	0	63	62	(98.4)	
総数	152	3	0	0	149	147	(98.7)	

※精検検査項目が空欄又は不適切であった精検未受診者等のうち癌が発見された7名を含む

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん		腺 腫 (10mm 以上)	腺 腫 (10mm 未 満)	ポ リ ー プ (10mm 以上)	ポ リ ー プ (10mm 未 満)	そ の 他 の 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	(%)	(%)	(%)	(%)				
男	48 (55.8)	29 (33.7)	5 (5.8)	1 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)
女	34 (51.5)	26 (39.4)	2 (3.0)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.0)	1 (1.5)
総数	82 (53.9)	55 (36.2)	7 (4.6)	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	3 (2.0)	2 (1.3)

3] プロセス指標値

(1) 性・年齢階級別プロセス指標値

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
男	39歳以下	248	6 (2.4)	5 (83.3)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	1,159	39 (3.4)	31 (79.5)	3 (0.26)	(0.1)
	45～49歳	1,407	54 (3.8)	33 (61.1)	0 (0.00)	(0.0)
	50～54歳	1,633	75 (4.6)	40 (53.3)	6 (0.37)	(8.0)
	55～59歳	1,492	62 (4.2)	36 (58.1)	3 (0.20)	(4.8)
	60～64歳	2,382	113 (4.7)	69 (61.1)	5 (0.21)	(4.4)
	65～69歳	5,393	281 (5.2)	177 (63.0)	10 (0.19)	(3.6)
	70～74歳	7,785	499 (6.4)	332 (66.5)	28 (0.36)	(5.6)
	75～79歳	5,518	386 (7.0)	274 (71.0)	12 (0.22)	(3.1)
	80歳以上	3,735	330 (8.8)	206 (62.4)	10 (0.27)	(3.0)
計	30,752	1,845 (6.0)	1,203 (65.2)	77 (0.25)	(4.2)	
40～74歳 (再掲)	受診歴計	21,251	1,123 (5.3)	718 (63.9)	55 (0.26)	(4.9)
	初回	4,246	275 (6.5)	180 (65.5)	28 (0.66)	(10.2)
	非初回	17,005	848 (5.0)	538 (63.4)	27 (0.16)	(3.2)
女	39歳以下	531	19 (3.6)	12 (63.2)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	2,760	84 (3.0)	57 (67.9)	0 (0.00)	(0.0)
	45～49歳	3,279	108 (3.3)	76 (70.4)	1 (0.03)	(0.9)
	50～54歳	3,565	118 (3.3)	78 (66.1)	4 (0.11)	(3.4)
	55～59歳	3,599	107 (3.0)	79 (73.8)	4 (0.11)	(3.7)
	60～64歳	5,166	158 (3.1)	113 (71.5)	4 (0.08)	(2.5)
	65～69歳	7,901	242 (3.1)	188 (77.7)	10 (0.13)	(4.1)
	70～74歳	9,902	364 (3.7)	277 (76.1)	16 (0.16)	(4.4)
	75～79歳	6,091	270 (4.4)	208 (77.0)	12 (0.20)	(4.4)
	80歳以上	3,299	181 (5.5)	122 (67.4)	9 (0.27)	(5.0)
計	46,093	1,651 (3.6)	1,210 (73.3)	60 (0.13)	(3.6)	
40～74歳 (再掲)	受診歴計	36,172	1,181 (3.3)	868 (73.5)	39 (0.11)	(3.3)
	初回	6,177	232 (3.8)	173 (74.6)	14 (0.23)	(6.0)
	非初回	29,995	949 (3.2)	695 (73.2)	25 (0.08)	(2.6)
計	39歳以下	779	25 (3.2)	17 (68.0)	0 (0.00)	(0.0)
	40～44歳	3,919	123 (3.1)	88 (71.5)	3 (0.08)	(2.4)
	45～49歳	4,686	162 (3.5)	109 (67.3)	1 (0.02)	(0.6)
	50～54歳	5,198	193 (3.7)	118 (61.1)	10 (0.19)	(5.2)
	55～59歳	5,091	169 (3.3)	115 (68.0)	7 (0.14)	(4.1)
	60～64歳	7,548	271 (3.6)	182 (67.2)	9 (0.12)	(3.3)
	65～69歳	13,294	523 (3.9)	365 (69.8)	20 (0.15)	(3.8)
	70～74歳	17,687	863 (4.9)	609 (70.6)	44 (0.25)	(5.1)
	75～79歳	11,609	656 (5.7)	482 (73.5)	24 (0.21)	(3.7)
	80歳以上	7,034	511 (7.3)	328 (64.2)	19 (0.27)	(3.7)
計	76,845	3,496 (4.5)	2,413 (69.0)	137 (0.18)	(3.9)	
40～74歳 (再掲)	受診歴計	57,423	2,304 (4.0)	1,586 (68.8)	94 (0.16)	(4.1)
	初回	10,423	507 (4.9)	353 (69.6)	42 (0.40)	(8.3)
	非初回	47,000	1,797 (3.8)	1,233 (68.6)	52 (0.11)	(2.9)

(2) 受診歴別プロセス指標値

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		陽性反応 適中度 (%)
						早期 (%)	進行 (%)	
初回	男	5,180	352 (6.8)	232 (65.9)	33 (0.64)	18 (54.5)	15 (45.5)	(9.4)
	女	7,366	308 (4.2)	222 (72.1)	18 (0.24)	9 (50.0)	9 (50.0)	(5.8)
	計	12,546	660 (5.3)	454 (68.8)	51 (0.41)	27 (52.9)	24 (47.1)	(7.7)
非初回	男	25,572	1,493 (5.8)	971 (65.0)	44 (0.17)	30 (68.2)	14 (31.8)	(2.9)
	女	38,727	1,343 (3.5)	988 (73.6)	42 (0.11)	25 (59.5)	17 (40.5)	(3.1)
	計	64,299	2,836 (4.4)	1,959 (69.1)	86 (0.13)	55 (64.0)	31 (36.0)	(3.0)
総数	76,845	3,496 (4.5)	2,413 (69.0)	137 (0.18)	82 (59.9)	55 (40.1)	(3.9)	

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	76,845	3,496 (4.5)	(69.0)	137 (0.18)	(3.9)
令和4年度	75,514	3,558 (4.7)	(66.6)	123 (0.16)	(3.5)
令和3年度	73,438	3,507 (4.8)	(70.9)	106 (0.14)	(3.0)

4] 発見がんの詳細

(1) 占居部位

	男	女	総数
盲腸	2	6	8
上行結腸	14	11	25
横行結腸	11	7	18
下行結腸	5	3	8
S状結腸	22	23	45
直腸S状部	10	5	15
直腸	11	5	16
不明	2	0	2
総数	77	60	137

(2) 組織分類

	男	女	総数
乳頭腺癌	2	2	4
管状腺癌	52	35	87
高分化	18	21	39
中分化	1	0	1
低分化	0	1	1
粘液癌	4	1	5
不明			
総数	77	60	137

(3) 組織学的深達度

	男	女	総数
Tis(M)	36	23	59
T1a(SM)	1	2	3
T1b(SM)	11	9	20
T2(MP)	9	13	22
T3(SS)	18	13	31
T4a(SE)	2	0	2
総数	77	60	137

(4) 治療方法

	早期	進行	総数
ポリペクトミー	15	0	15
内視鏡的粘膜切除	51	0	51
腹腔鏡下手術	14	38	52
外科手術	1	15	16
その他	0	2	2
不明	1	0	1
総数	82	55	137

(5) Stage分類

	男	女	総数
0	36	23	59
I	18	19	37
II a	11	7	18
III a	3	5	8
III b	5	6	11
III c	0	0	0
IV	4	0	4
総数	77	60	137

(6) Dukes分類

	男	女	総数
A	54	42	96
B	11	7	18
C	8	11	19
D	4	0	4
総数	77	60	137

4 まとめ

令和5年度大腸がん検診の受診者は76,845人、要精検率4.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率69.0%、がん発見率0.18%、陽性反応適中度3.9%であった。

がん発見率を性別で見ると、男性0.25%、女性0.13%であり、男性が有意に高かった ($p < 0.05$)。性年齢階級別では、男性は40～44歳、50～54歳、70～74歳で高く、女性は65歳から上昇する傾向を示した。受診歴別では、初回受診者0.41%、非初回受診者0.13%であり、初回受診者が有意に高かった ($p < 0.05$)。早期がん割合は、初回受診者52.9%、非初回受診者

64.0%であり、非初回受診者が高い傾向を示した。

プロセス指標値を経年でみると、要精検率は低下傾向、がん発見率および陽性反応適中度は上昇傾向であった。

対象年齢40～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率4.0%、陽性反応適中度4.1%は基準値を満たしていたが、精検受診率68.8%、がん発見率0.16%では基準値を満たしていなかった。受診歴別でも、初回・非初回受診者ともに要精検率、陽性反応適中度は基準値を満たしていたが、精検受診率、がん発見率は基準値を満たしていなかった。

発見された大腸がんの占居部位はS状結腸が最も多く45人（32.8%）、次いで上行結腸25人（18.2%）、横行結腸18人（13.1%）であった。例年では直腸に癌が多く発見されているが、今回はS状結腸に癌が最も多く発見される結果となった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型87人（63.5%）、中分化型39人（28.5%）を合わせると92.0%を占めていた。また、粘液癌が1人（0.7%）発見された。

深達度は、癌が粘膜内にとどまるTis(M)が59人（43.1%）と最も高かった。早期がん（Tis(M)、T1a,T1b(SM)）割合は、137人中82人（59.9%）であり、例年同様に約6割を占めていた。

治療は、早期がんでは内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的切除が82人中66人（80.5%）、進行がんでは腹腔鏡下手術が55人中38人（69.1%）に実施され、術式の中で多く用いられていた。

子宮頸がん検診

1 検診実施状況

1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
細胞診のみ	1,654	43 (2.6)
ASC-US時HPV追加*	27,840	514 (1.8)
HPV併用**	7,535	436 (5.8)
総数	37,029	993 (2.7)

*細胞診ASC-USの場合のみHPV-DNA検査を実施する方式

**細胞診とHPV-DNA検査を併用する方式

2] 市町別検査方式

細胞診のみ	宇都宮市
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外
HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳

3] 判定区分

		標本適否		細胞診		
		不適正		NILM	ASC-US	ASC-H ~
HPV検査	検査未実施	判定不能		異常認めず	要精密検査	要精密検査
	陰性	判定不能		異常認めず	精検不要	要精密検査
	陽性	判定不能** / 要精密検査*		精検不要** / 要精密検査*	要精密検査	要精密検査
	判定不能	判定不能		判定不能	要精密検査	要精密検査

*前回結果「細胞診NILM・HPV陽性」かつ前回受診6か月以前

**上記以外

2 発見がん追跡調査結果

1] プロセス指標値 (対象年齢のみ)

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上* 発見数 (%)	CIN3以上* 陽性反応 適中度 (%)
細胞診	20-74歳 受診歴計	1,452	41 (2.8)	30 (73.2)	1 (0.07)	(2.4)
	初回	776	36 (4.6)	26 (72.2)	1 (0.13)	(2.8)
	非初回	676	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	(0.0)
	20-39歳 受診歴計	76	8 (10.5)	6 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
	初回	75	8 (10.7)	6 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回	1	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
	40-74歳 受診歴計	1,376	33 (2.4)	24 (72.7)	1 (0.07)	(3.0)
	初回	701	28 (4.0)	20 (71.4)	1 (0.14)	(3.6)
	非初回	675	5 (0.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	(0.0)
ASC-US時 HPV追加	20-74歳 受診歴計	24,645	484 (2.0)	402 (83.1)	18 (0.07)	(3.7)
	初回	6,138	237 (3.9)	195 (82.3)	13 (0.21)	(5.5)
	非初回	18,507	247 (1.3)	207 (83.8)	5 (0.03)	(2.0)
	20-39歳 受診歴計	4,124	225 (5.5)	180 (80.0)	3 (0.07)	(1.3)
	初回	2,111	143 (6.8)	115 (80.4)	3 (0.14)	(2.1)
	非初回	2,013	82 (4.1)	65 (79.3)	0 (0.00)	(0.0)
	40-74歳 受診歴計	20,521	259 (1.3)	222 (85.7)	15 (0.07)	(5.8)
	初回	4,027	94 (2.3)	80 (85.1)	10 (0.25)	(10.6)
	非初回	16,494	165 (1.0)	142 (86.1)	5 (0.03)	(3.0)
HPV併用	20-74歳 受診歴計	7,095	417 (5.9)	351 (84.2)	16 (0.23)	(3.8)
	初回	4,319	233 (5.4)	196 (84.1)	9 (0.21)	(3.9)
	非初回	2,776	184 (6.6)	155 (84.2)	7 (0.25)	(3.8)
	20-39歳 受診歴計	2,483	214 (8.6)	182 (85.0)	8 (0.32)	(3.7)
	初回	1,839	147 (8.0)	124 (84.4)	6 (0.33)	(4.1)
	非初回	644	67 (10.4)	58 (86.6)	2 (0.31)	(3.0)
	40-74歳 受診歴計	4,612	203 (4.4)	169 (83.3)	8 (0.17)	(3.9)
	初回	2,480	86 (3.5)	72 (83.7)	3 (0.12)	(3.5)
	非初回	2,132	117 (5.5)	97 (82.9)	5 (0.23)	(4.3)

*CIN3以上とは、CIN3、AIS、子宮頸部浸潤がんを指す (以降、同様とする)

2] プロセス指標値の年次推移

		受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	細胞診のみ	1,654	43 (2.6)	(74.4)	1 (0.06)	1 (0.06)	(2.3)
	ASC-US時 HPV追加	27,840	514 (1.8)	(81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	(3.5)
	HPV併用	7,535	436 (5.8)	(83.7)	17 (0.23)	3 (0.04)	(3.9)
令和4年度	細胞診のみ	1,380	43 (3.1)	(74.4)	2 (0.14)	0 (0.00)	(4.7)
	ASC-US時 HPV追加	26,831	516 (1.9)	(81.4)	18 (0.07)	4 (0.01)	(3.5)
	HPV併用	9,021	571 (6.3)	(89.3)	19 (0.21)	6 (0.07)	(3.3)
令和3年度	細胞診のみ	1,306	42 (3.2)	(73.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
	ASC-US時 HPV追加	27,418	555 (2.0)	(83.6)	30 (0.11)	5 (0.02)	(5.4)
	HPV併用	12,267	523 (4.3)	(88.0)	25 (0.20)	3 (0.02)	(4.8)

3 検査方式別発見がん追跡調査結果

1] 細胞診のみ

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総 数	1,654	43 (2.6)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本									不適正標本	
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma		
19歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	11	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	24	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34歳	13	11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	28	25	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	163	153	4	0	3	3	0	0	0	0	0	0
45～49歳	145	138	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0
50～54歳	154	148	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
55～59歳	160	158	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	181	178	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
65～69歳	263	260	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
70～74歳	310	308	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
75～79歳	154	152	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
80歳以上	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	1,654	1,611	21	4	8	10	0	0	0	0	0	0

(2) 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

		精 検 受 診					結 精		総		
上	扁	腺	そ	子	子	子	そ	異	結	精	総
皮	平	が	の	宮	宮	宮	の	常	果	検	
内	上	が	他	頸	頸	頸	他	を	未	未	
腺	皮	ん	の	部	部	部	の	認	把	受	
が	が	*	が	上	上	上	疾	め	握	診	
ん	ん	*	ん	皮	皮	皮	患	ず		数	
*	*	*	*	内	内	内					
				腫	腫	腫					
				瘍	瘍	瘍					
				3	2	1					
				*	*	*					
総数	0	1	0	0	0	2	12	3	14	10	1
											43

*追跡対象者

※ 以降、上皮内腺がん、子宮頸部上皮内腫瘍3、子宮頸部上皮内腫瘍2、子宮頸部上皮内腫瘍1は、AIS、CIN3、CIN2、CIN1と表記する

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

追跡調査対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	1	0	0	1	1 (100.0)

2) 調査結果内訳

発見がん	IB期以上 (%)	IA期 (%)	AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	異常なし (%)	追跡不能 (%)
総数	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

3) プロセス指標値

①細胞診結果別CIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	1,654	0	1,611	21	4	8	10	0	0	0	0
要精検者数	43	-	-	21	4	8	10	-	-	-	-
精検受診者数	32	-	-	15	4	6	7	-	-	-	-
CIN3以上発見数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
(再掲) 発見がん数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数		精検受診者数		CIN3以上発見数		(再掲) 発見がん数 (%)		CIN3以上陽性反応適中度 (%)	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)				
19歳以下	0	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	(-)	
20～24歳	11	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
25～29歳	24	1	(4.2)	1	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
30～34歳	13	2	(15.4)	2	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
35～39歳	28	3	(10.7)	3	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
40～44歳	163	10	(6.1)	7	(70.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
45～49歳	145	7	(4.8)	4	(57.1)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
50～54歳	154	6	(3.9)	5	(83.3)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
55～59歳	160	2	(1.3)	2	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
60～64歳	181	3	(1.7)	2	(66.7)	1	(0.55)	1	(0.55)	(33.3)	
65～69歳	263	3	(1.1)	2	(66.7)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
70～74歳	310	2	(0.6)	2	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
75～79歳	154	2	(1.3)	2	(100.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
80歳以上	48	0	(0.0)	-	(-)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)	
計	1,654	43	(2.6)	32	(74.4)	1	(0.06)	1	(0.06)	(2.3)	
20～74歳	受診歴計	1,452	41	(2.8)	30	(73.2)	1	(0.07)	1	(0.07)	(2.4)
(再掲)	初回	776	36	(4.6)	26	(72.2)	1	(0.13)	1	(0.13)	(2.8)
	非初回	676	5	(0.7)	4	(80.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)
20～39歳	受診歴計	76	8	(10.5)	6	(75.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)
(再掲)	初回	75	8	(10.7)	6	(75.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)
	非初回	1	0	(0.0)	-	(-)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)
40～74歳	受診歴計	1,376	33	(2.4)	24	(72.7)	1	(0.07)	1	(0.07)	(3.0)
(再掲)	初回	701	28	(4.0)	20	(71.4)	1	(0.14)	1	(0.14)	(3.6)
	非初回	675	5	(0.7)	4	(80.0)	0	(0.00)	0	(0.00)	(0.0)

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数		精検受診者数		CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)		
		(%)	(%)	(%)	(%)			I A期 (%)	I B期以上 (%)			
初回	825	38	(4.6)	28	(73.7)	1	(0.12)	1	(100.0)	0	(0.0)	(2.6)
非初回	829	5	(0.6)	4	(80.0)	0	(0.00)	0	(0.0)	0	(0.0)	(0.0)
総数	1,654	43	(2.6)	32	(74.4)	1	(0.06)	1	(100.0)	0	(0.0)	(2.3)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見がんの1人の詳細

項目	結果
進行期分類	I A2期
TNM分類	T1a2・N0・M0
組織分類	扁平上皮癌
治療分類	単純子宮全摘出術および放射線療法

2] ASC-US時HPV追加

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	27,840	514 (1.8)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本									不適正標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma	
19歳以下	20	16	0	0	4	0	0	0	0	0	0
20～24歳	561	493	18	1	47	1	0	1	0	0	0
25～29歳	817	764	16	2	30	3	0	2	0	0	0
30～34歳	1,175	1,102	12	3	34	12	0	12	0	0	0
35～39歳	1,571	1,491	24	3	34	11	0	8	0	0	0
40～44歳	1,971	1,879	36	1	23	16	0	16	0	0	0
45～49歳	2,627	2,526	50	4	29	14	0	4	0	0	0
50～54歳	2,666	2,580	39	5	26	8	0	8	0	0	0
55～59歳	2,260	2,223	23	3	8	2	0	1	0	0	0
60～64歳	3,086	3,046	21	6	6	4	0	1	0	0	2
65～69歳	3,796	3,756	19	3	9	7	0	1	0	1	0
70～74歳	4,115	4,072	24	1	6	9	1	0	0	0	2
75～79歳	2,228	2,196	19	4	4	3	0	1	0	0	1
80歳以上	947	930	10	3	2	2	0	0	0	0	0
総数	27,840	27,074	311	39	262	92	1	55	0	1	5

3) 細胞診ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	0	-	- (-)
20～24歳	18	9	9 (50.0)
25～29歳	16	8	8 (50.0)
30～34歳	12	10	2 (16.7)
35～39歳	24	22	2 (8.3)
40～44歳	36	28	8 (22.2)
45～49歳	50	44	6 (12.0)
50～54歳	39	34	5 (12.8)
55～59歳	23	20	3 (13.0)
60～64歳	21	16	5 (23.8)
65～69歳	19	15	4 (21.1)
70～74歳	24	19	5 (20.8)
75～79歳	19	16	3 (15.8)
80歳以上	10	6	4 (40.0)
総数	311	247	64 (20.6)

(2) 精検結果内訳（発見がん追跡調査前）

	精 検 受 診									結 果	精 検	総 数
	A	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん*	C	I	N	その他の疾患**	異常を認めず			
総数	1	1	1	3	19	53	169	16	158	70	23	514

* 追跡対象者

** その他の疾患から3人追跡調査の対象者とした

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)				調 査 除 外 内 訳		調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)					
総数	25	0	0	0		25	25 (100.0)	

2) 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	その他の疾患 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)					
総数	2 (8.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (64.0)	2 (8.0)	4 (16.0)	1 (4.0)

3) プロセス指標値

① 細胞診結果別CIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	27,835	5	27,074	311	39	262	92	1	55	0	1
精検不要者数	247	-	-	247	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	514	-	-	64	39	262	92	1	55	-	1
精検受診者数	421	-	-	49	35	206	78	1	51	-	1
CIN3 以上発見数	18	0	0	2	1	0	12	1	2	0	0
(再掲) 発見がん数	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上陽性 反応適中度 (%)	
19歳以下	20	4 (20.0)	1 (25.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
20～24歳	561	59 (10.5)	50 (84.7)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
25～29歳	817	45 (5.5)	35 (77.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
30～34歳	1,175	63 (5.4)	50 (79.4)	2 (0.17)	0 (0.00)	(3.2)	
35～39歳	1,571	58 (3.7)	45 (77.6)	1 (0.06)	0 (0.00)	(1.7)	
40～44歳	1,971	64 (3.2)	56 (87.5)	7 (0.36)	1 (0.05)	(10.9)	
45～49歳	2,627	57 (2.2)	53 (93.0)	4 (0.15)	0 (0.00)	(7.0)	
50～54歳	2,666	52 (2.0)	45 (86.5)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
55～59歳	2,260	17 (0.8)	13 (76.5)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
60～64歳	3,086	22 (0.7)	19 (86.4)	2 (0.06)	0 (0.00)	(9.1)	
65～69歳	3,796	25 (0.7)	22 (88.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
70～74歳	4,115	22 (0.5)	14 (63.6)	2 (0.05)	1 (0.02)	(9.1)	
75～79歳	2,228	15 (0.7)	11 (73.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
80歳以上	947	11 (1.2)	7 (63.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
計	27,840	514 (1.8)	421 (81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	(3.5)	
20～74歳 (再掲)	受診歴計	24,645	484 (2.0)	402 (83.1)	18 (0.07)	2 (0.01)	(3.7)
	初回	6,138	237 (3.9)	195 (82.3)	13 (0.21)	2 (0.03)	(5.5)
	非初回	18,507	247 (1.3)	207 (83.8)	5 (0.03)	0 (0.00)	(2.0)
20～39歳 (再掲)	受診歴計	4,124	225 (5.5)	180 (80.0)	3 (0.07)	0 (0.00)	(1.3)
	初回	2,111	143 (6.8)	115 (80.4)	3 (0.14)	0 (0.00)	(2.1)
	非初回	2,013	82 (4.1)	65 (79.3)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	20,521	259 (1.3)	222 (85.7)	15 (0.07)	2 (0.01)	(5.8)
	初回	4,027	94 (2.3)	80 (85.1)	10 (0.25)	2 (0.05)	(10.6)
	非初回	16,494	165 (1.0)	142 (86.1)	5 (0.03)	0 (0.00)	(3.0)

※子宮頸がんの発見がん2人以外に、55～59歳と65～69歳で子宮体癌が2人発見された

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	
初回	6,590	250 (3.8)	202 (80.8)	13 (0.20)	2 (0.03)	0 (0.0)	2 (100.0)	(5.2)
非初回	21,250	264 (1.2)	219 (83.0)	5 (0.02)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	(1.9)
総数	27,840	514 (1.8)	421 (81.9)	18 (0.06)	2 (0.01)	0 (0.0)	2 (100.0)	(3.5)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見CIN3以上の詳細

①進行期分類

進行期分類	発見数
I A期及びCIN3、AIS	CIN3 16
	AIS 0
I B期以上	I B2期 1
	III C2期 1
総 数	18

②TNM分類

TNM分類	I A期	I B期以上
Tis・N0・M0	0	0
T1b2・N0・M0	0	1
T2a2・N2・M0	0	1
T不明・N不明・M不明	0	0
総 数	0	2

③組織分類

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
CIN3	16	-	-
AIS	0	-	-
扁平上皮癌	0	0	2
総 数	16	0	2

④治療分類

・手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	14	0	0	0
単純子宮全摘出術	1	0	0	0
広汎子宮全摘出術	0	0	0	2
不明	1	0	0	0
総 数	16	0	0	2

・化学療法および放射線療法

I B2期1人とⅢC2期1人はともに広汎子宮全摘出術と放射線療法を施行

3] HPV併用

(1) 検診実施状況

1) 実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	7,535	436 (5.8)

2) 細胞診結果の内訳

	受診者数	適正標本								不適正標本	
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS		Adeno-carcinoma
19歳以下	6	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
20～24歳	249	215	12	0	19	2	0	1	0	0	0
25～29歳	432	378	17	0	28	4	0	5	0	0	0
30～34歳	785	705	31	3	34	6	0	5	0	0	1
35～39歳	1,017	952	32	4	20	3	0	5	0	0	1
40～44歳	1,053	973	45	0	17	12	0	6	0	0	0
45～49歳	826	774	36	0	12	3	0	1	0	0	0
50～54歳	797	748	22	7	11	7	0	2	0	0	0
55～59歳	516	494	14	2	4	1	0	1	0	0	0
60～64歳	488	470	10	1	4	3	0	0	0	0	0
65～69歳	496	492	2	0	1	1	0	0	0	0	0
70～74歳	436	428	4	0	2	2	0	0	0	0	0
75～79歳	280	275	2	0	1	2	0	0	0	0	0
80歳以上	154	151	0	0	1	2	0	0	0	0	0
総数	7,535	7,059	227	17	156	48	0	26	0	0	2

3)HPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)	(%)
19歳以下	6	5	1	(16.7)
20～24歳	249	210	39	(15.7)
25～29歳	432	360	72	(16.7)
30～34歳	785	703	81	(10.3)
35～39歳	1,017	932	84	(8.3)
40～44歳	1,053	975	77	(7.3)
45～49歳	826	776	50	(6.1)
50～54歳	797	756	41	(5.1)
55～59歳	516	493	23	(4.5)
60～64歳	488	457	31	(6.4)
65～69歳	496	482	14	(2.8)
70～74歳	436	418	18	(4.1)
75～79歳	280	261	19	(6.8)
80歳以上	154	145	9	(5.8)
総数	7,535	6,973	559	(7.4)

※受診者数はHPV検査判定不能2人、希望なし1人を含む

(2) 精検結果内訳（発見がん追跡調査前）

	精 検 受 診									結 果	精 検	総 数
	A	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん**	C	C	C	その他の疾患***	異常を認めず****			
総数	1	2	1	3	20	33	159	15	131	58	13	436

* 追跡対象者

** その他のがんから1人追跡調査の対象者とした

*** その他の疾患から2人追跡調査の対象者とした

**** 調査時は精密検査結果がCIN3であったため、異常を認めずから1人追跡調査の対象者とした

(3) 発見がん追跡調査結果

1) 調査状況

	追跡調査対象者数(a)	調 査 除 外 内 訳			調査数	回収数 (%)
		詳細把握(b)	がん以外(c)	その他(d)	(a-(b+c+d))	
総数	28	0	0	0	28	28 (100.0)

2) 調査結果内訳

	発見がん		AIS(%)	CIN3(%)	CIN2(%)	CIN1(%)	その他の疾患(%)	異常なし(%)	未確定(%)
	I B期以上(%)	I A期(%)							
総数	2 (7.1)	2 (7.1)	2 (7.1)	12 (42.9)	1 (3.6)	2 (7.1)	1 (3.6)	4 (14.3)	2 (7.1)

3) プロセス指標値

①細胞診結果別HPV-DNA検査結果及びCIN3以上発見数

細胞診結果	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
受診者数	7,533	2	7,059	227	17	156	48	0	26	0	0
HPV検査 (-)	6,973	-	6,790	110	6	49	6	-	12	-	-
(+)	559	-	268	117	11	107	42	-	14	-	-
未実施	1	-	1	0	0	0	0	-	0	-	-
精検不要者数	306	-	196	110	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	436	-	72	117	17	156	48	-	26	-	-
精検受診者数	365	-	63	96	17	125	41	-	23	-	-
CIN3以上発見数	18	0	1	2	2	1	11	0	1	0	0
(再掲) 発見がん数	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0

②年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	CIN3以上陽性 反応適中度 (%)	
19歳以下	6	2 (33.3)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
20～24歳	249	31 (12.4)	24 (77.4)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
25～29歳	432	53 (12.3)	45 (84.9)	1 (0.23)	0 (0.00)	(1.9)	
30～34歳	785	74 (9.4)	62 (83.8)	2 (0.25)	0 (0.00)	(2.7)	
35～39歳	1,017	56 (5.5)	51 (91.1)	5 (0.49)	0 (0.00)	(8.9)	
40～44歳	1,053	62 (5.9)	47 (75.8)	3 (0.28)	0 (0.00)	(4.8)	
45～49歳	826	34 (4.1)	30 (88.2)	1 (0.12)	0 (0.00)	(2.9)	
50～54歳	797	34 (4.3)	32 (94.1)	3 (0.38)	1 (0.13)	(8.8)	
55～59歳	516	23 (4.5)	20 (87.0)	1 (0.19)	1 (0.19)	(4.3)	
60～64歳	488	23 (4.7)	16 (69.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
65～69歳	496	11 (2.2)	9 (81.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
70～74歳	436	16 (3.7)	15 (93.8)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)	
75～79歳	280	10 (3.6)	7 (70.0)	1 (0.36)	1 (0.36)	(10.0)	
80歳以上	154	7 (4.5)	5 (71.4)	1 (0.65)	1 (0.65)	(14.3)	
計	7,535	436 (5.8)	365 (83.7)	18 (0.24)	4 (0.05)	(4.1)	
20～74歳 (再掲)	受診歴計	7,095	417 (5.9)	351 (84.2)	16 (0.23)	2 (0.03)	(3.8)
	初回	4,319	233 (5.4)	196 (84.1)	9 (0.21)	2 (0.05)	(3.9)
	非初回	2,776	184 (6.6)	155 (84.2)	7 (0.25)	0 (0.00)	(3.8)
20～39歳 (再掲)	受診歴計	2,483	214 (8.6)	182 (85.0)	8 (0.32)	0 (0.00)	(3.7)
	初回	1,839	147 (8.0)	124 (84.4)	6 (0.33)	0 (0.00)	(4.1)
	非初回	644	67 (10.4)	58 (86.6)	2 (0.31)	0 (0.00)	(3.0)
40～74歳 (再掲)	受診歴計	4,612	203 (4.4)	169 (83.3)	8 (0.17)	2 (0.04)	(3.9)
	初回	2,480	86 (3.5)	72 (83.7)	3 (0.12)	2 (0.08)	(3.5)
	非初回	2,132	117 (5.5)	97 (82.9)	5 (0.23)	0 (0.00)	(4.3)

※子宮頸がんの発見がん4人以外に、45～49歳で子宮体癌1人が発見された

③受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3以上 発見数 (%)	(再掲) 発見がん数 (%)	発見がん内訳		CIN3以上 陽性反応 適中度 (%)
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	
初回	4,521	239 (5.3)	201 (84.1)	11 (0.24)	4 (0.09)	2 (50.0)	2 (50.0)	(4.6)
非初回	3,014	197 (6.5)	164 (83.2)	7 (0.23)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	(3.6)
総数	7,535	436 (5.8)	365 (83.7)	18 (0.24)	4 (0.05)	2 (50.0)	2 (50.0)	(4.1)

※ 令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

4) 発見CIN3以上の詳細

①進行期分類

進行期分類	発見数
I A期及びCIN3、AIS	CIN3 12
	AIS 2
	I A1期 2
I B期以上	II B期 1
	III C1期 1
総 数	18

②TNM分類

TNM分類	I A期	I B期以上
TX・N1・M0	0	1
Tis・NX・M0	0	0
Tis・N0・M0	0	0
T1a1・NX・M0	1	0
T1a1・N0・M0	1	0
T2b・NX・M0	0	1
T不明・N不明・M不明	0	0
総 数	2	2

③組織分類

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
CIN3	12	-	-
AIS	2	-	-
扁平上皮癌	0	2	0
腺癌	0	0	1
不明	0	0	1
総 数	14	2	2

④治療分類

・手術療法

術 式	CIN3	AIS	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	8	1	0	0
単純子宮全摘出術	3	0	1	1
準広汎子宮全摘出術	0	1	0	0
子宮頸部円錐切除術+準広汎子宮全摘出術	0	0	1	0
不明	1	0	0	1
総 数	12	2	2	2

※CIN3の不明1人は他院で施行予定

・化学療法および放射線療法

II B期1人は単純子宮全摘出術で化学療法と放射線療法を施行

4 まとめ

令和5年度子宮頸がん検診追跡調査の結果は、治療対象であるCIN3及びAISを追加し、対象年齢（20～74歳、20～39歳、40～74歳）及び検診受診歴（初回・非初回）を区別して集計し評価した。これは、「がん検診事業のあり方について（令和5年6月がん検診のあり方に関する検討会）」で示された新たなプロセス指標基準値に基づくものである。

各方式毎のプロセス指標値を20～74歳の対象年齢及び受診歴別でみると、細胞診のみの方式は一部の市町に限られ、受診者数1,452人、要精検率2.8%、精検受診率73.2%、CIN3以上発見数1人0.07%（I A期の子宮頸がん）、CIN3以上陽性反応適中度2.4%であった。

実施数が最も多いASC-US時HPV追加方式では、同対象年齢で受診者数24,645人、要精検率2.0%、（非初回1.3%）、精検受診率83.1%、CIN3以上発見数18人0.07%（非初回5人0.03%）、CIN3以上陽性反応適中度3.7%であった。

細胞診とHPV検査による利点が期待されるHPV併用方式では、同対象年齢で受診者数7,095人、要精検率5.9%、（非初回6.6%）、精検受診率84.2%、CIN3以上発見数16人0.23%（非初回7人0.25%）、CIN3以上陽性反応適中度3.8%であった。

新たなプロセス指標基準値と比較すると、CIN3以上発見率は、HPV併用方式で基準値を大きく上回るが、細胞診及びASC-US時HPV追加方式では下回った。また、精検受診率およびCIN3以上陽性反応適中度は全ての方式で基準値を下回った。

最近、子宮頸がん検診の方法として、従来の細胞診法に変わってHPV単独法が提案されているが、細胞診とHPV検査の利点が期待されるHPV併用方式の実施形態及びプロセス指標の詳細な検討が、より精度の高い新たな検診方法の提案につながるものと思われる。

乳がん検診

本報告書ではマンモグラフィをMG、乳房超音波をUSと表記する。

1 検診実施状況

1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	44,326	1,560 (3.5)
US	4,627	136 (2.9)
総 数	48,953	1,696 (3.5)

2] 検診方式別年齢階級別受診者数

	39歳以下 (%)		40～49歳 (%)		50～59歳 (%)		60～69歳 (%)		70歳以上 (%)	
MG + US	908	(2.0)	8,650	(19.5)	8,586	(19.4)	11,987	(27.0)	14,195	(32.0)
US	4,174	(90.2)	143	(3.1)	68	(1.5)	86	(1.9)	156	(3.4)
総 数	5,082	(10.4)	8,793	(18.0)	8,654	(17.7)	12,073	(24.7)	14,351	(29.3)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診								精 検	精 検	総 数	
	早 期 がん	進 行 がん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	乳 管 内 乳 頭 腫	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し				
総数	123	17	46	229	365	156	32	129	427	149	23	1,696

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳				追加調査 (e)*	調査数 (a-(b+c+d)+e)	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)				
総 数	186	3	0	0	3	186	181 (97.3)

*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載よりがんが疑われるため調査とした者

2] 調査結果内訳 (調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細)

	発見がん			良性 (%)	経過観察 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
MG+US	112 (61.5)	30 (16.5)	2 (1.1)	17 (9.3)	11 (6.0)	1 (0.5)	4 (2.2)	5 (2.7)
US	5 (71.4)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	117 (61.9)	31 (16.4)	2 (1.1)	17 (9.0)	12 (6.3)	1 (0.5)	4 (2.1)	5 (2.6)

3] プロセス指標値

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
29歳以下	163	4 (2.5)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
30～34歳	1,668	69 (4.1)	59 (85.5)	2 (0.12)	(2.9)
35～39歳	3,251	120 (3.7)	105 (87.5)	6 (0.18)	(5.0)
40～44歳	4,178	278 (6.7)	249 (89.6)	7 (0.17)	(2.5)
45～49歳	4,615	241 (5.2)	209 (86.7)	17 (0.37)	(7.1)
50～54歳	4,553	201 (4.4)	178 (88.6)	13 (0.29)	(6.5)
55～59歳	4,101	114 (2.8)	102 (89.5)	10 (0.24)	(8.8)
60～64歳	5,271	162 (3.1)	146 (90.1)	20 (0.38)	(12.4)
65～69歳	6,802	164 (2.4)	150 (91.5)	19 (0.28)	(11.6)
70～74歳	7,776	202 (2.6)	190 (94.1)	32 (0.41)	(15.8)
75～79歳	4,540	93 (2.0)	89 (95.7)	18 (0.40)	(19.4)
80歳以上	2,035	48 (2.4)	44 (91.7)	6 (0.29)	(12.5)
総 数	48,953	1,696 (3.5)	1,524 (89.9)	150 (0.31)	(8.8)

(2) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
令和5年度	48,953	1,696 (3.5)	(89.9)	150 (0.31)	(8.8)
令和4年度	48,476	2,032 (4.2)	(89.9)	160 (0.33)	(7.9)
令和3年度	47,387	1,938 (4.1)	(91.5)	153 (0.32)	(7.9)

4] 発見がんの詳細

(1) 臨床病期 (Stage) 分類

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis) 29 (78.0)
	I 88
	II A 18
	II B 6
進行	III A 1 (20.7)
	III B 2
	III C 1
	IV 3
不明	2
総 数	150

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

(2) 組織学的分類

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	26 (17.3)
非浸潤性小葉癌	1 (0.7)
微小浸潤癌	5 (3.3)
腺管形成型	23 (15.3)
浸潤性乳管癌	充実型 10 (6.7)
	硬性型 52 (34.7)
	亜型不明 14 (9.3)
	その他** 1 (0.7)
特殊型	浸潤性小葉癌 9 (6.0)
	粘液癌 4 (2.7)
	浸潤性微小乳頭癌 1 (0.7)
	充実乳頭癌 1 (0.7)
	不明・未記入 3 (2.0)
総 数	150

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

**硬性型と充実型の混在

4 検診方式別発見がん追跡調査結果

1] MG + US併用方式 (MGはMLO1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

(1) プロセス指標値

1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検者数 (%)*		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)	
			MG	U S				
29歳以下	8	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)	
30～34歳	155	14 (9.0)	8 (5.2)	6 (3.9)	13 (92.9)	0 (0.00)	(0.0)	
35～39歳	745	52 (7.0)	37 (5.0)	18 (2.4)	46 (88.5)	2 (0.27)	(3.8)	
40～44歳	4,075	274 (6.7)	195 (4.8)	105 (2.6)	245 (89.4)	7 (0.17)	(2.6)	
45～49歳	4,575	237 (5.2)	136 (3.0)	126 (2.8)	206 (86.9)	17 (0.37)	(7.2)	
50～54歳	4,522	200 (4.4)	120 (2.7)	105 (2.3)	177 (88.5)	13 (0.29)	(6.5)	
55～59歳	4,064	114 (2.8)	66 (1.6)	59 (1.5)	102 (89.5)	10 (0.25)	(8.8)	
60～64歳	5,225	162 (3.1)	96 (1.8)	81 (1.6)	146 (90.1)	20 (0.38)	(12.3)	
65～69歳	6,762	164 (2.4)	94 (1.4)	80 (1.2)	150 (91.5)	19 (0.28)	(11.6)	
70～74歳	7,726	202 (2.6)	126 (1.6)	104 (1.3)	190 (94.1)	32 (0.41)	(15.8)	
75～79歳	4,483	93 (2.1)	63 (1.4)	48 (1.1)	89 (95.7)	18 (0.40)	(19.4)	
80歳以上	1,986	48 (2.4)	26 (1.3)	29 (1.5)	44 (91.7)	6 (0.30)	(12.5)	
総数	44,326	1,560 (3.5)	967 (2.2)	761 (1.7)	1,408 (90.3)	144 (0.32)	(9.2)	
40-74歳 (再掲)	受診歴計	36,949	1,353 (3.7)	833 (2.3)	660 (1.8)	1,216 (89.9)	118 (0.32)	(8.7)
	初回	6,582	606 (9.2)	438 (6.6)	252 (3.8)	524 (86.5)	46 (0.70)	(7.6)
	非初回	30,367	747 (2.5)	395 (1.3)	408 (1.3)	692 (92.6)	72 (0.24)	(9.6)

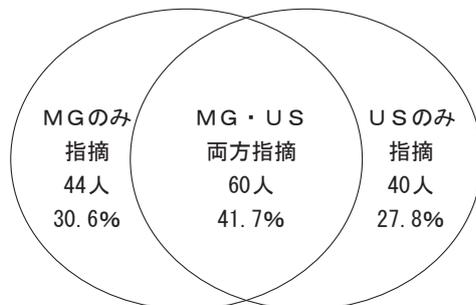
* 検査方法別要精検者数については総合判定後の内訳

2) 検査方法別プロセス指標値

① プロセス指標値

	MG	U S	総数
実施人数	-	-	44,326
発見がん数 (%)	104 (0.23)	100 (0.23)	144 (0.32)
総合判定前			
要精検者数 (%)	1,202 (2.7)	769 (1.7)	1,796 (4.1)
陽性反応適中度 (%)	(8.7)	(13.0)	(8.0)
総合判定後			
要精検者数 (%)	967 (2.2)	761 (1.7)	1,560 (3.5)
陽性反応適中度 (%)	(10.8)	(13.1)	(9.2)

② 検査方法別発見がん内訳



3) 受診歴別プロセス指標値

※令和6年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

① 受診歴別検査方法別要精検率

	初回 (17.0%)				非初回 (83.0%)			
	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)*		受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)*	
			MG	U S			MG	U S
29歳以下	8	0 (0.0)	0.0	0.0	0	- (-)	-	-
30～34歳	60	6 (10.0)	8.3	1.7	95	8 (8.4)	3.2	5.3
35～39歳	202	21 (10.4)	7.9	3.5	543	31 (5.7)	3.9	2.0
40～44歳	1,076	134 (12.5)	9.2	4.7	2,999	140 (4.7)	3.2	1.8
45～49歳	928	106 (11.4)	7.5	5.5	3,647	131 (3.6)	1.8	2.1
50～54歳	917	84 (9.2)	6.3	4.3	3,605	116 (3.2)	1.7	1.8
55～59歳	798	52 (6.5)	4.4	3.1	3,266	62 (1.9)	0.9	1.0
60～64歳	945	73 (7.7)	6.1	2.8	4,280	89 (2.1)	0.9	1.3
65～69歳	1,007	72 (7.1)	5.3	2.6	5,755	92 (1.6)	0.7	0.9
70～74歳	911	85 (9.3)	7.1	3.7	6,815	117 (1.7)	0.9	1.0
75～79歳	474	30 (6.3)	5.3	2.5	4,009	63 (1.6)	0.9	0.9
80歳以上	229	15 (6.6)	4.8	3.1	1,757	33 (1.9)	0.9	1.3
総 数	7,555	678 (9.0)	6.6	3.7	36,771	882 (2.4)	1.3	1.3

* 検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

② 受診歴別臨床病期分類 (Stage) 別発見がん数

		初 回		非初回		総 数	
受診者数		7,555		36,771		44,326	
要精検者数		678		882		1,560	
発見がん数 (%)		58 (0.77)		86 (0.23)		144 (0.32)	
臨床病期分類	早期 (%)	0	13 (72.4)	13 (81.4)	26 (77.8)		
		I	29	57	86		
		II A	9	9	18		
		II B	4	2	6		
	進行 (%)	III A	0 (25.9)	1 (17.4)	1 (20.8)		
		III B	1	1	2		
		III C	0	1	1		
		IV	1	1	2		
不 明		1		1		2	
陽性反応適中度 (%)		(8.6)		(9.8)		(9.2)	

※両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

(2) 発見がんの詳細

1) 臨床病期 (Stage) 分類

臨床病期分類		発見数 (%)	
早期	0 (Tis)	26	(77.8)
	I	86	
進行	II A	18	(20.8)
	II B	6	
	III A	1	
	III B	2	
	III C	1	
	IV	2	
不明		2	
総 数		144	

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

2) 組織学的分類

組織学的分類		発見数 (%)	
	非浸潤性乳管癌	24	(16.7)
	非浸潤性小葉癌	1	(0.7)
浸潤性乳管癌	微小浸潤癌	4	(2.8)
	腺管形成型	23	(16.0)
	充実型	10	(6.9)
	硬性型	51	(35.4)
	亜型不明	12	(8.3)
	その他**	1	(0.7)
	浸潤性小葉癌	9	(6.3)
特殊型	粘液癌	4	(2.8)
	浸潤性微小乳頭癌	1	(0.7)
	充実乳頭癌	1	(0.7)
	不明・未記入	3	(2.1)
総 数		144	

※ 両側乳がん3人あり、Stageの高い方に計上

** 硬性型と充実型の混在

3) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術	不明
総数	83	58	6

※ 両側乳がん3人あり、のべ147人

2] US法

※主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
29歳以下	155	4 (2.6)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
30～34歳	1,513	55 (3.6)	46 (83.6)	2 (0.13)	(3.6)
35～39歳	2,506	68 (2.7)	59 (86.8)	4 (0.16)	(5.9)
40～44歳	103	4 (3.9)	4 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	40	4 (10.0)	3 (75.0)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	31	1 (3.2)	1 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
55～59歳	37	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
60～64歳	46	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
65～69歳	40	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
70～74歳	50	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
75～79歳	57	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
80歳以上	49	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)	(0.0)
総数	4,627	136 (2.9)	116 (85.3)	6 (0.13)	(4.4)
39歳以下(再掲)	4,174	127 (3.0)	108 (85.0)	6 (0.14)	(4.7)

(2) 発見がんの詳細

1) 臨床病期 (Stage) 分類			2) 組織学的分類	
臨床病期分類	発見数	(%)	組織学的分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis)	3	非浸潤性乳管癌	2 (33.3)
	I	2	微小浸潤癌	1 (16.7)
進行	IV	1	浸潤性 硬性型	1 (16.7)
			乳管癌 亜型不明	2 (33.3)
総数	6		総数	6

(4) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房全切除術	不明
総数	1	4	1

5 まとめ

令和5年度の乳がん検診の受診者数は48,953人であり、令和4年度の48,476人から477人増加した。要精検率は3.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率89.9%、がん発見率0.31%、陽性反応適中度8.8%であった。

MG + US併用方式は当施設の乳がん検診の90.5%を占めており、判定方法は分離併用総合判定方式を導入している。受診者数は44,326人、総合判定の対象となったのは1,796人（4.1%）であり、総合判定後の要精検率は3.5%であった。追跡調査の結果、精検受診率90.3%、がん発見数144人（0.32%）、陽性反応適中度9.2%であった。

発見された乳がん144人のうち、MGとUSの両方で指摘したのは60人（41.7%）、MGのみは44人（30.6%）、USのみは40人（27.8%）であった。

対象年齢40～74歳のプロセス指標基準値との比較では、要精検率3.7%、がん発見率0.32%、陽性反応適中度8.7%で基準値を満たしていたが、精検受診率は89.9%で基準値を満たしていなかった。受診歴別では初回受診者は要精検率9.2%、がん発見率0.70%、陽性反応適中度7.6%で、すべて基準値を満たしていた。また、非初回受診者は要精検率2.5%、がん発見率0.24%、陽性反応適中度9.6%で、すべて基準値を満たしていた。

US単独方式は、受診者数4,627人、要精検率2.9%であり、追跡調査の結果、精検受診率85.3%、がん発見数6人（0.13%）、陽性反応適中度4.4%であった。

前立腺がん検診

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	27,421	2,124 (7.7)

※PSA基準値 (64歳以下：3.00ng/mL以下、65歳～69歳：3.50ng/mL以下、70歳以上：4.00ng/mL以下)

2 精検結果内訳 (発見がん追跡調査前)

	精 検 受 診						精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	が ん	が ん 疑 い	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し			
総数	91	420	484	30	24	494	465	116	2,124

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	詳細把握 (b)	以前に診断済 (c)	その他 (d)		
総数	511	4	15	2	452 (92.2)

2] 調査結果内訳

	が ん (%)	そ の 他 の 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	経 過 観 察 (%)	未 確 定 (%)
総数	148 (32.7)	29 (6.4)	44 (9.7)	220 (48.7)	11 (2.4)

3] プロセス指標値

(1) 年齢階級別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
40～44歳	67	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	(0.0)
45～49歳	227	4 (1.8)	4 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)
50～54歳	1,757	39 (2.2)	29 (74.4)	1 (0.06)	(2.6)
55～59歳	1,652	80 (4.8)	46 (57.5)	3 (0.18)	(3.8)
60～64歳	2,557	194 (7.6)	124 (63.9)	8 (0.31)	(4.1)
65～69歳	5,381	424 (7.9)	295 (69.6)	30 (0.56)	(7.1)
70～74歳	7,397	547 (7.4)	356 (65.1)	51 (0.69)	(9.3)
75～79歳	5,034	472 (9.4)	345 (73.1)	36 (0.72)	(7.6)
80歳以上	3,342	364 (10.9)	251 (69.0)	19 (0.57)	(5.2)
総数	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)

(2) 受診歴別プロセス指標値

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
初 回	4,693	439 (9.4)	288 (65.6)	35 (0.75)	(8.0)
非初回	22,728	1,685 (7.4)	1,162 (69.0)	113 (0.50)	(6.7)
総 数	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)

※ 初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者
非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

(3) プロセス指標値の年次推移

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
令和5年度	27,421	2,124 (7.7)	1,450 (68.3)	148 (0.54)	(7.0)
令和4年度	26,634	2,103 (7.9)	1,642 (78.1)	154 (0.58)	(7.3)
令和3年度	25,142	2,060 (8.2)	1,467 (71.2)	168 (0.67)	(8.2)

4] 発見がんの詳細

(1) 臨床病期 (T分類)

T分類	発見数 (%)
T1c	11 (7.4)
T2a	84 (56.8)
T2b	14 (9.5)
T2c	22 (14.9)
T3a	11 (7.4)
T3b	4 (2.7)
T4	1 (0.7)
Tx	0 (0.0)
不 明	1 (0.7)
総 数	148

1) T分類別による所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期 分 類	発見数	所属リンパ節転移 (N)				遠 隔 転 移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	11	11	0	0	0	11	0	0	0
T2a	84	83	0	0	1	82	1	0	1
T2b	14	14	0	0	0	14	0	0	0
T2c	22	21	0	0	1	21	0	0	1
T3a	11	10	1	0	0	10	1	0	0
T3b	4	3	0	1	0	3	0	0	1
T4	1	1	0	0	0	0	1	0	0
Tx	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	1	1	0	0	0	1	0	0	0
総 数	148	144	1	1	2	142	3	0	3

(2) 臨床病期 (Stage分類)

Stage分類	発見数 (%)
I	93 (62.8)
II	35 (23.6)
III	13 (8.8)
IV	3 (2.0)
不明	4 (2.7)
総数	148

1) 臨床病期 (Stage分類) IV 3人の前回受診結果

Stage分類	令和5年度			前回受診結果		
	検診時 PSA値	Gleasonスコア	TNM分類	受診年度	検診時 PSA値	精検結果
IV	19.20	8	T2a, N0, M1	(初回受診のため結果なし)		
IV	124	9	T4, N0, M1	(初回受診のため結果なし)		
IV	237	9	T3a, N1, M1	R3	34.65	結果未把握

(3) Gleasonスコア

Gleasonスコア	発見数 (%)
5	1 (0.7)
6	31 (20.9)
7	60 (40.5)
8	31 (20.9)
9	22 (14.9)
10	1 (0.7)
不明	2 (1.4)
総数	148

(4) 治療方法

治療法	発見数 (%)
監視療法	12 (8.1)
内分泌療法	25 (16.9)
手術療法	81 (54.7)
放射線療法	25 (16.9)
その他	5 (3.4)
不明	0 (0.0)
総数	148

5] 受診歴別発見がん

(1) 臨床病期 (Stage分類)

	発見数	I	II	III	IV	不明
初回	35	18	8	5	2	2
非初回	113	75	27	8	1	2
総数	148	93	35	13	3	4

(2) 非初回受診で発見された113人の前回受診結果

前回受診結果	
異常なし	要精検 (精検未受診者数)
59	54 (14)

4 まとめ

令和5年度前立腺がん検診の受診者数は27,421人、要精検率7.7%であった。追跡調査の結果、精検受診率68.3%、がん発見数148人（0.54%）、陽性反応適中度7.0%であった。

がん発見率を受診歴別で見ると、初回受診者0.75%、非初回受診者0.50%であり、年齢階級別では50歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

臨床病期 TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の131人（88.5%）であった。

臨床病期（Stage分類）IVで発見された3人のうち1人が非初回受診者で、前回検診時に要精検となったものの、精検受診の有無が把握できない「精検結果未把握」であり、Gleasonスコアは病理組織学的に高悪性度群であるスコア9であった。また、非初回受診者の前立腺がん113人のうち54人は前回検診結果が要精検であり、精検未受診者が14人いた。要精検者については悪性度が高く進展の早いがんであることも考慮し、適切な精密検査の受診勧奨が必要であると考えられる。

2

人間ドック

1 調査目的

人間ドックにおける発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

- 1] 前年度のがん検診受診者で、精密検査結果が「がん」又は「がん疑い」と報告のあった者
- 2] 前々年度の精密検査結果が前年の調査以降に判明し、「がん」又は「がん疑い」と報告のあった者（翌年度の検診結果等を確認し、担当医と相談の上、対象とするか決定する）

3 調査内容

人間ドックにおける発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）の把握を行う。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を簡易書留にて郵送し、回収する。

- (1) 事業団（理事長）から医療機関（医療機関長）に対し、調査票を送付する方法
- (2) 事業団担当医から精密検査実施担当医に対し、調査票を送付する方法

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果の報告医療機関またはその紹介先医療機関及び精密検査実施担当医

3] 調査期間

初回調査：令和6年9月・・・調査票回収期限：令和6年9月30日

再調査：令和6年11月・・・調査票回収期限：令和6年11月29日

※再調査は、下記の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者

発見がん数：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者も含む

5 令和5年度人間ドックにおける発見がん追跡調査結果

令和7年1月31日現在

	上部消化管		肺がん*2*3			大腸がん
	X線	内視鏡*1	X線	CT	喀痰	
受診者数	6,455	3,504	10,421	792	3,225	11,163
要精検者数	200	106	226	3	1	442
要精検率(%)	3.1	3.0	2.2	0.4	0.0	4.0
精検受診者数	159	74	191	2	1	307
精検受診率(%)	79.5	69.8	84.5	66.7	100.0	69.5
追跡調査数	1	11	12	1	0	15
追跡調査回収数	1	11	12	1	(-)	15
追跡調査回収率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	(-)	100.0
発見がん数	0	8	4	1	0	14
がん発見率(%)	0.00	0.23	0.04	0.13	0.00	0.13
早期がん数	(-)	5	0	0	(-)	11
早期がん割合(%)	(-)	62.5	0.0	0.0	(-)	78.6
陽性反応適中度(%)	0.0	7.5	1.8	33.3	0.0	3.2
		胃：6				
		食道：2				
	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん*4	腹部超音波*5	甲状腺がん*4	
受診者数	2,824	3,444	1,803	11,448	377	
要精検者数	64	110	97	284	15	
要精検率(%)	2.3	3.2	5.4	2.5	4.0	
精検受診者数	48	99	81	198	9	
精検受診率(%)	75.0	90.0	83.5	69.7	60.0	
追跡調査数	0	11	21	10	4	
追跡調査回収数	(-)	11	17	8	4	
追跡調査回収率(%)	(-)	100.0	81.0	80.0	100.0	
発見がん数	0	11	3	4	4	
がん発見率(%)	0.00	0.32	0.17	0.03	1.06	
早期がん数	(-)	10	(-)	(-)	(-)	
早期がん割合(%)	(-)	90.9	(-)	(-)	(-)	
陽性反応適中度(%)	0.0	10.0	3.1	(-)	26.7	
				肝臓：1		
				膵臓：1		
				腎臓：2		

*1 医療機関を受診し結果が把握できたものすべて含む

*2 最終読影の結果、がん疑い以外で要精検となった者を除く

*3 0期、I A1期を早期がんとして計上

*4 早期がん数、早期がん割合は算出せず

*5 早期がん数、早期がん割合、及び陽性反応適中度は算出せず

調 查 ・ 研 究

- 1 調 查 ・ 研 究
- 2 集 統 計 ・ 解 析
- 3 論 文 ・ 研 究 發 表

1 調査・研究

県民に精度の高い効果的な手法による健診・検査の受診機会を提供し、広く県民の疾病の予防や健康の保持増進に繋げるため、行政や医師会、大学病院等と連携し、各種健診手法の検証や健診・検査等の精度管理等に係る調査、新しい健診・検査の取り組みなども検討している。

1] 発見がん追跡調査の実施

令和5年度に、住民検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施した。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した112医療機関宛てに1,244枚送付し、回収できたのは1,189枚（回収率95.6%）であった。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握し、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っている。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告している。

2] 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施している。当事業団では県内唯一の健診受託機関として参画しており、令和6年度は17名の対象者に健康診査を実施した。

3] 肺がんCT検診無作為化比較試験（JECs Study）への協力

肺がんによる死亡者数の増加を受け、日本医療研究開発機構（AMED）は、非・低喫煙者を対象に胸部X線検査を行う検診と胸部CT検査を行う検診の無作為化比較試験を実施し、胸部CT検査の有効性を検証している。

当事業団は令和4年12月からこの試験に参加し、令和6年2月の新規募集終了まで131名の方に検査を実施した。令和6年度の検査はなかったが、初回検査で胸部CT検査の対象となった方は、5年後の令和9年度～10年度に再度胸部CT検査を行う予定となっている。

2 集統計・解析

県民の疾病予防、健康の保持増進のため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析、がんの追跡調査を行い、その結果及び健診手法などに関して得られた成果を受診団体等に提供した。

1] 地域職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データ*と比較評価し、報告書として提供した。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行った。

・地域職域診断サービス：16団体（10市町、6事業所）に提供

*全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

2] 事業年報作成及び配付

健診・検査で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報（第48号）を610部作成した。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるよう、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開した。

3 論文・研究発表

1] 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表した。

題	名	年月日	学 会 名 等	発 表 者
(1) 実施方法変更による学校心臓検診の結果について		R6.9.5	第62回栃木県公衆衛生学会	岩本 優美
(2) 乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査併用方式の有用性（3年間の発見乳癌より）		R6.9.5	第62回栃木県公衆衛生学会	吉田里奈美
(3) 当施設の胃がんリスク層別化検診と胃X線検査萎縮度分類の胃がん発見率調査		R7.2.20～21	第58回全国予防医学技術研究会	宮代 紗希
(4) 胸部X線画像AI読影支援システム導入後の追跡調査結果報告（第1報）		R7.2.20～21	第58回全国予防医学技術研究会	小澤 悠
(5) 住民健診におけるWeb予約システム及び受診日優先予約方式（日付指定）の導入効果について		R7.2.20～21	第58回全国予防医学技術研究会	幕田 俊幸

(1) 実施方法変更による学校心臓検診の結果について

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○岩本 優美 阿部 菜月 石崎百利乃 吉田里奈美
 齊藤 礼奈 福田 知子 手塚 桂子 渡邊 朋子
 大窪三紀世 増田 英夫 森久保 寛 渡邊 慶

【はじめに】

栃木県における学校心臓検診は、1次検診で省略4誘導心電図及び2点3心音図、2次検診で標準12誘導心電図及び4点8心音図、胸部X線検査を実施していた。一部の心筋症、虚血性心疾患、QT延長症候群、ブルガダ症候群、心房中隔欠損症などの疾患を見つけるには省略4誘導よりも標準12誘導心電図が有効であるため、栃木県立学校心臓検診判定委員会のワーキンググループで検討を重ね、小学1年生は令和4年度より、中学1年生は平成29年度より標準12誘導心電図に変更となった。

今回、令和3年度と4年度の栃木県における小学1年生、中学1年生の学校心臓検診結果を集計し、比較を行ったので報告する。

【対象】

令和3年度、4年度に栃木県で学校心臓検診を受診した小学1年生、中学1年生を対象とした。

【検査実施方法の変更内容】

変更前と変更後の実施方法を表1に示す。

学校心臓検診は1次検診、2次検診を実施していたが、変更後は心臓病調査票と標準12誘導心電図、2点3心音図を実施し、判定結果が要精検となった者は医療機関で精密検査を受診し、管理区分を決定する。心電図の記録時間は、原則10秒から15秒の記録になった。

【結果】

(1) 令和3年度と4年度の実施状況

学校心臓検診実施状況を表2に示す。令和3年度の受診者数は小学1年生15,771名、中学1年生16,871名、4年度の受診者数は小学1年生15,282名、中学1年生16,654名であった。令和3年度の有所見者数は小学1年生950名(6.0%)、中学1年生1,620名(9.6%)、4年度の有所見者数は小学1年生1,162名(7.6%)、中学1年生1,663名(9.9%)であった。

検診時の所見を表3に示す。令和3年度の心電図所見は小学1年生268件、中学1年生758件、4年度は小学1年生532件、中学1年生879件であった。小学1年生の令和3年度、4年度の検診時所見数を比較すると、異常ST-T異常が1件から27件に、QT延長症候群が4件から16件に増加した。

表1 検査実施方法の変更内容

対象学年	変更前 (～R3)		変更度 (R4～)
	1次検診	2次検診	1次検診
小学1年生	省略4誘導心電図 (原則10秒記録) 2点3心音図 心臓病調査票	標準12誘導心電図 (原則10秒記録) 4点8心音図 胸部X線	標準12誘導心電図 (原則15秒記録) 2点3心音図 心臓病調査票
中学1年生	標準12誘導心電図 (原則10秒記録) 2点3心音図 心臓病調査票	標準12誘導心電図 (原則10秒記録) 4点8心音図 胸部X線	標準12誘導心電図 (原則15秒記録) 2点3心音図 心臓病調査票

令和3年度の心音図所見は小学1年生28件、中学1年生70件、4年度は小学1年生84件、中学1年生164件であった。

表2 学校心臓検診実施状況

学年	年度	受診者数	有所見者	
			人	%
小1	R3	15,771	950	6.0
	R4	15,282	1,162	7.6
中1	R3	16,871	1,620	9.6
	R4	16,654	1,663	9.9

表3 検診時所見 (件)

学年	年度	小1		中1	
		R3	R4	R3	R4
心電図異常	不整脈	60	75	198	182
	軸偏位	18	39	31	51
	異常ST-T変化	1	27	36	51
	異常Q波	22	59	41	36
	QT延長症候群	4	16	73	58
	不完全右脚ブロック	92	162	203	263
	その他	71	154	176	238
	計	268	532	758	879
心電図所見数		28	84	70	164

※内訳には所見重複者を含む

(2) 精密検査結果

要精検者数と精密検査結果回収率を表4に示す。令和3年度は小学1年生で要精検率3.4%、回収率56.5%、中学1年生で要精検率5.2%、回収率53.0%であった。4年度は小学1年生で要精検率4.6%、回収率89.4%、中学1年生で要精検率6.1%、回収率83.5%であった。

表4 要精検者数と精密検査結果回収率

学年	年度	要精検		精検結果回収	
		人	%	人	%
小1	R3	546	3.4	309	56.5
	R4	711	4.6	636	89.4
中1	R3	881	5.2	467	53.0
	R4	1,022	6.1	854	83.5

精密検査結果の疾患別内訳を表5に示す。

令和3年度の小学1年生は川崎病既往が77件と最も多く、次いで不完全右脚ブロック45件、不整脈42件であった。中学1年生は不整脈が123件と最も多く、次いで異常なし101件、不完全右脚ブロック49件とその他の心電図異常49件であった。4年度の小学1年生は異常なしが181件と最も多く、次いで不完全右脚ブロック82件、不整脈78件であった。中学1年生は異常なしが241件と最も多く、次いで不整脈184件、不完全右脚ブロック117件であった。

表5 精密検査結果の疾患別内訳 (件)

学年	年度	小1		中1	
		R3	R4	R3	R4
先天性心疾患	心室中隔欠損	38	34	23	46
	心房中隔欠損	17	28	19	27
	動脈管開存	7	16	7	11
	その他	18	34	18	34
弁膜症		28	51	48	93
川崎病既往		77	71	30	26
心筋症 (疑い含む)		0	0	2	3
心電図異常	不完全右脚ブロック	45	82	49	117
	不整脈	42	78	123	184
	WPW症候群	8	14	16	21
	QT延長症候群	2	11	26	39
	ST-T異常	0	7	9	8
	その他	29	57	49	79
その他の疾患		4	26	23	40
異常なし		27	181	101	241
合計		342	690	543	969

※内訳には所見重複者を含む

精密検査後の管理区分を図1に示す。管理区分はB～E、管理不要が付与されており、運動制限のあるB、C、Dの割合は令和3年度が小学1年生0.8%、中学1年生1.9%、4年度が小学1年生1.1%、中学1年生1.3%であった。

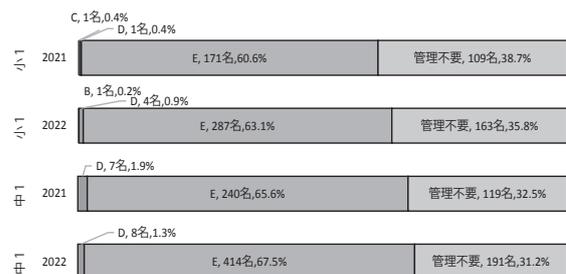


図1 精密検査結果の管理区分

(3) 新たに発見された先天性心疾患

心臓病調査票に既往歴の記載がなく、心臓検診で新たに発見された先天性心疾患の疾患名を表6に示す。令和3年度が小学1年生1名、中学1年生4名、4年度が小学1年生7名、中学1年生2名発見された。そのうち、心房中隔欠損は令和3年度の中学1年生3名、4年度の小学1年生7名、中学1年生1名発見された。

表6 新たに発見された先天性心疾患

学年	年度	疾患名	検診時所見
小1	R3	冠動脈肺動脈瘻	不完全右脚ブロック
	R4	心房中隔欠損	右室肥大 不完全右脚ブロック ST-T異常
	R4	心房中隔欠損	左軸偏位 不完全右脚ブロック クリック
	R4	心房中隔欠損	心室内伝導障害
	R4	心房中隔欠損	不完全右脚ブロック
	R4	心房中隔欠損	不完全右脚ブロック
	R4	心房中隔欠損	不完全右脚ブロック II音の分裂
	R4	心房中隔欠損	不完全右脚ブロック
中1	R3	先天性大動脈弁異常	完全右脚ブロック
	R3	心房中隔欠損	心室期外収縮
	R3	心房中隔欠損	不完全右脚ブロック 陰性T 心雑音
	R3	心房中隔欠損	左軸偏位
	R4	心房中隔欠損	右室肥大
	R4	卵円孔開存	異常Q

標準12誘導心電図が有効であることが考えられる。

中学1年生に関しては、同じ標準12誘導心電図で実施していたにも関わらず、有所見率が増加している。検診時の心音図所見が70件から164件に増加していることから、2次検診の廃止により4点8心音図で確認をしなくなったためであると考えられる。精密検査結果で異常なしの件数が増加しているため、今後心音図の有用性の検討も必要となってくる。

【まとめ】

令和4年度から省略4誘導心電図を標準12誘導心電図に変更したことにより、先天性心疾患や突然死に繋がる心疾患が新たに発見できた。また、学校心臓検診を実施することで適切な管理区分が付与されている。今後も精度の高い検診を提供していきたい。

【考察】

令和3年度と比較すると、4年度の有所見率は小学1年生、中学1年生ともに増加していた。省略4誘導心電図が標準12誘導心電図になったことで小学1年生は異常ST-T変化、QT延長症候群が検診でより多く発見された。令和4年度に新たに発見された心房中隔欠損の小学1年生7名のうち、6名の検診時所見は不完全右脚ブロックであった。検診時の不完全右脚ブロックは、省略4誘導から標準12誘導になったことで拾い上げる件数が増加し、小学1年生は92件から162件に増加した。不完全右脚ブロックは心房中隔欠損の発見に繋がる所見の一つであるため、

(2) 乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査併用方式の有用性（3年間の発見乳癌より）

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○吉田里奈美 大塚 好美 黒川 徳子
渡邊 朋子 大窪三紀世 増田 英夫
阿部 聡子 森久保 寛 渡邊 慶

【はじめに】

当施設では出張型健診においてマンモグラフィ（以下MG）・超音波（以下US）分離併用総合判定方式の乳がん検診を実施している。今回、令和2年度から令和4年度までの3年間で発見された乳癌について集計し、検討したので報告する。

【対象】

3年間の出張型住民健診においてMG・US分離併用方式乳がん検診を受診したのべ120,032人のうち、発見された乳癌414例を対象とした。

【方法】

MG・US分離併用方式で発見された乳癌414例について、検査方法別での年齢階層・臨床病期分類・乳房構成を集計し検討した。

【結果】

1. 3年間の実施状況を表1に示す。受診者数は120,032人、要精検率は4.1%、発見乳癌数は414例、癌発見率は0.34%であった。

表1 年齢階層別実施状況（令和2～4年度）

年齢	受診者数 (人)	要精検者数 (人)	要精検者率 (%)	発見乳癌数 (例)	発見率 (%)
39歳以下	2,640	239	9.1	4	0.15
40～44歳	11,882	896	7.5	24	0.20
45～49歳	12,455	792	6.4	34	0.27
50～54歳	11,379	527	4.6	34	0.30
55～59歳	11,334	408	3.6	46	0.41
60～64歳	14,867	500	3.4	47	0.32
65～69歳	20,218	635	3.1	83	0.41
70～74歳	21,210	576	2.7	80	0.38
75歳以上	14,047	395	2.8	62	0.44
総数	120,032	4,968	4.1	414	0.34

2. 発見乳癌414例の検出方法内訳を図1に示す。MG単独検出が98例（23.7%）、US単独検出が109例（26.3%）、MG・US両方検出が207例（50.0%）であった。

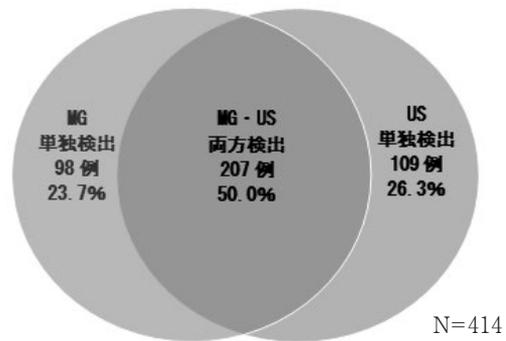


図1 発見乳癌の検出方法内訳

3. 発見乳癌の年齢階層別検査方法内訳を図2に示す。39歳以下を除きすべての年齢階層においてMG単独とUS単独で検出された乳癌が存在した。

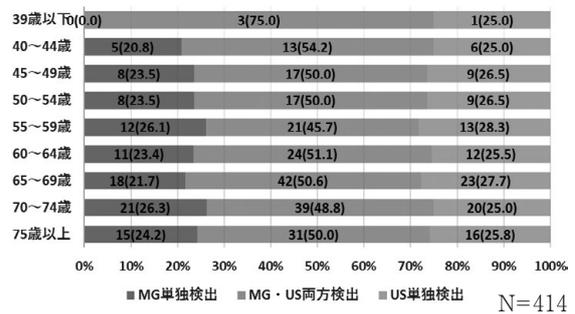


図2 発見乳癌の年齢階層別検査方法内訳

4. 発見乳癌の検査方法別臨床病期分類を表2に示す。MG単独検出では早期癌が94.9%、進行癌が3.1%であった。US単独検出では早期癌が89.9%、進行癌が8.3%であった。MG・US両方検出では早期癌が63.8%、進行癌が34.8%であった。

表2 発見乳癌の検査方法別臨床病期

N=414

stage	発見数 (%)					
	MG単独検出		US単独検出		MG・US両方検出	
0(Tis)	35 (35.7)	(94.9)	24 (22.0)	(89.9)	24 (11.6)	(63.8)
I	58 (59.2)		74 (67.9)		108 (52.2)	
II A	2 (2.0)		7 (6.4)		39 (18.8)	
II B			1 (0.9)		20 (9.7)	
III A		(3.1)		(8.3)	9 (4.4)	(34.8)
III B			1 (0.9)		2 (1.0)	
III C					1 (0.5)	
IV	1 (1.0)				1 (0.5)	
不明	2 (2.0)		2 (1.8)		3 (1.5)	
総数	98		109		207	

5. MG単独とUS単独で検出された乳癌の乳房構成を図3示す。MG単独検出では脂肪性・乳腺散在が63.3%、不均一高濃度が36.7%であった。US単独検出では脂肪性・乳腺散在が56.9%、高濃度乳房とされる不均一高濃度・極めて高濃度が43.2%であった。

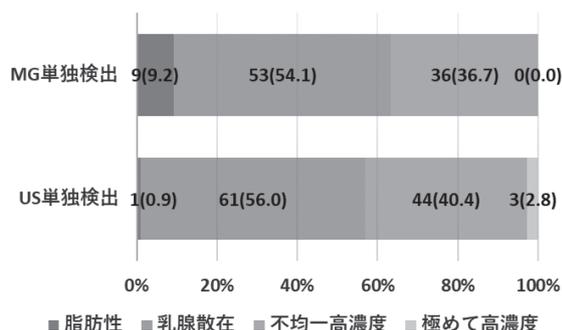


図3 単独で検出された乳癌の検査別乳房構成

【考察】

発見乳癌の検出方法内訳から、発見された乳癌414例にはMG単独・US単独で検出された癌が半数存在し、「いずれか一方で検査を実施」と仮定するとMG単独の場合は109例(26.3%)、US単独の場合は98例(23.7%)の癌が検出できなかったことになる。

年齢階層別検査法別の発見乳癌の割合を見ると、どの年齢階層においても、MG単独、US単独で発見した癌が検出されていた。このことから、年齢に関わらずMGとUSを併用することが乳癌の発見に寄与していると考えられた。

また、一般論としてMGは高濃度乳房、USは脂肪の中に存在する病変の描出が不得手とされているが、今回の検討においても同様の傾向がみられた。

【まとめ】

乳がん検診におけるMG・US併用方式では、それぞれの検査が同程度に相補的に機能していることが再確認された。

またMG上極めて高濃度な乳房ではUSが腫瘍の検出に有効であり、脂肪性の乳房ではMGによる病変検出が優れていることが示された。

(3) 当施設の胃がんリスク層別化検診と胃X線検査萎縮度分類の胃がん発見率調査

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○宮代 紗希 今泉 朱梨 安達 美帆 町田 彩貴
竹村 哲夫 大塚 幸雄 藤田 武志 堀江 聡
増田 英夫 森久保 寛 渡邊 慶

はじめに

胃がん発生の主な要因はピロリ菌への感染であり、感染の持続により萎縮性胃炎に進展し、胃がん発生のリスクが上昇することが知られている。しかし今後胃がん検診を受診する若年層はピロリ菌未感染者が多くなり、胃がん罹患数の減少が予測される。

当施設の胃がんリスク層別化検診（以下ABC検診）および胃X線検査の受診者数と各々の胃がん発見率の推移を示す。（図1）



図1 受診者数と胃がん発見率の推移

受診者数はいずれの検査も年々減少傾向であり、胃がん発見率は、ABC検診は開始当初0.52%であったが、2022年度では0.03%と大幅に減少した。胃X線検査も徐々に発見率が低下し、2022年度では0.09%となりプロセス指標の許容値を下回る結果となった。

今後ピロリ菌未感染の若年層が増えていく中で、受診者の胃がん発生リスクに応じた効率的な検診が必要になると考えられる。

目的

当施設のABC検診と胃X線検査萎縮度分類から胃がん発見率を調査し、胃がん発生リスクの高い集団の絞り込みに活用できるかを検討した。

対象

リスク判定はABC検診を開始した2011年度からの受診者のべ52,615名、萎縮度分類は運用を開始した2017年度からの受診者のべ251,734名を対象とした。また発見胃がんは2017年度から2022年度までの332名を対象とした。

方法

- (1)ABC検診のリスク判定別の受診者数と胃がん発見率を調査した。
- (2)胃X線検査の萎縮度分類別の受診者数と胃がん発見率を調査した。
- (3)発見胃がんに対して、リスクA群の発見がん数、萎縮なしの発見がん数を調査した。その際、ABC検診の受診歴は、胃がん発見時または過去受診がある方を受診歴ありとした。

結果

- (1)ABC検診の受診者のべ52,615名のうち、A群36,817名、B群7,938名、C群6,474名、D群1,386名で、胃がん発見率はA群0.02%、B群0.37%、C群1.19%、D群1.01%であった。（図2）

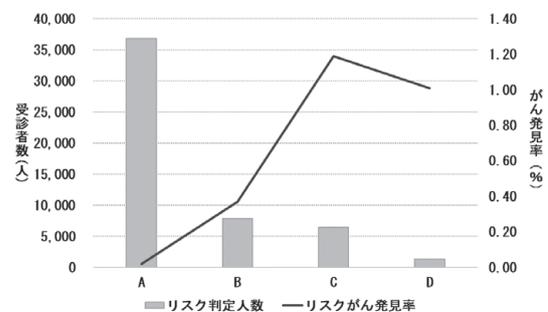


図2 リスク判定別胃がん発見率

(2)胃 X線検査の受診者のべ 251,734 名のうち、萎縮なし 118,830 名、軽度萎縮 37,525 名、中等度萎縮 49,158 名、高度萎縮 44,475 名で、胃癌発見率は萎縮なし 0.004%、軽度萎縮 0.035%、中等度萎縮 0.218%、高度萎縮 0.405%であった。(図3)

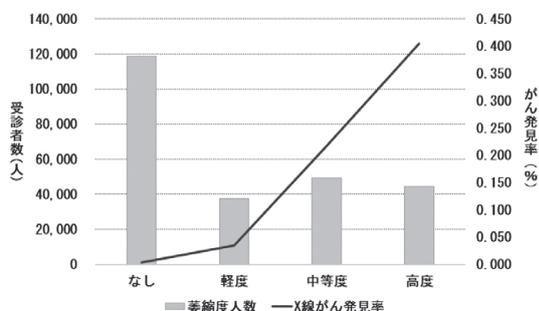


図3 萎縮度分類別胃癌発見率

表1 発見胃癌の集計

	発見がん数	リスク受診歴あり	リスクA	リスクのみ	Baのみor Ba+リスク	発見時萎縮なし
2017年度	59	13	2	4	55	1
2018年度	61	21	4	4	57	2
2019年度	80	21	6	1	79	1
2020年度	39	14	1	2	37	1
2021年度	56	14	2	1	55	0
2022年度	37	5	0	0	37	0
合計	332	88	15	12	320	5

(3)発見胃癌 332 名中、ABC 検診の受診歴ありの方は 88 名、うちリスク A 群は 15 名であった。15 名の萎縮度分類内訳は軽度萎縮 1 名、中等度萎縮 4 名、高度萎縮 10 名であり、胃 X線検査で全員に萎縮が見られた。ABC 検診のみを受診した方は 12 名であった。胃 X線検査のみ、または両方の検査を受診している 320 名中、胃癌発見時に萎縮なしは 5 名であった。5 名のうち ABC 検診も同時受診した 1 名のリスク判定は B 群であった。

発見胃癌の中で、萎縮なしかつリスク A 群の方はいなかった。

考察

リスク A 群の発見胃癌は、全員に萎縮が見られたことから、実際はリスク A 群の中にリスク D 群が含まれていたのではないかと示唆される。そのためリスク判定の数値だけを見るのではなく、背景粘膜診断を考慮することでリスク A 群の中のリスク D

群を振り分けられるのではないかと考えられる。

また萎縮なしの発見胃癌は、リスク判定では B 群であったことから、目視評価のために判定を誤った可能性が示唆される。ピロリ菌除菌済みの胃 X線画像では萎縮度の分類は容易ではないことから、片方の検査結果のみで判断するのではなく、双方の検査結果を併せることで、より絞り込みの精度が高くなると考えられる。

まとめ

ABC 検診と胃 X線検査萎縮度分類の結果を併せることで、胃癌発生リスクの高い集団の絞り込みに活用できると思われる。

胃癌発生リスクを正しく評価し、より効率的な胃癌検診を実施することが今後の課題である。

(4) 胸部X線画像AI読影支援システム導入後の追跡調査結果報告(第1報)

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○小澤 悠 宮代 紗希 平山 隼 中村 唯
岩崎 恭平 堀江 聡 増田 英夫 阿久津敏恵
森久保 寛 渡邊 慶

はじめに

当施設では、胸部X線読影の精度向上を目的にエルピクセル株式会社の胸部X線画像AI解析ソフトEIRL Chest Screeningを導入し、2022年10月1日より人間ドックと巡回検診で運用を開始した。

今回、巡回検診において2022年度の追跡調査が集計されたので、AIを導入した前後(4～9月、10月～3月)の結果を第1報として報告する。

システム概要

運用を開始したAI解析ソフトEIRL Chest Screeningは、5mm～30mmの肺結節の検出による異常陰影所見機能のNoduleに加えて、気胸や心胸郭比、大動脈弓の径などの自動計測機能のMetryを有している。肺がんの検出には、Noduleが有効となる。

AI導入後の読影体制について

AI導入前は1次2次読影のどちらかで要精検になった対象者を確定読影(3次読影)としていたが、AI導入後はあらたにAIが所見を検出していれば、1次・2次読影の判定結果に関わらず確定読影の対象とした。現在、1次、2次読影を含め全ての医師がAIの支援を受けられる形での読影となっている。

対象

2022年度の出張型住民検診の肺がん検診において、胸部CT検査を除く胸部X線検査を受診した延べ77,616名のうち、追跡調査により確定肺がんであった67名を対象とした。

方法

AIを導入した前後(AI導入前:4～9月、AI導入後:10月～3月)に別け、要精検率(E1およびE2判定)、肺がん発見率、陽性反応適中度、組織型、病期分類別に集計を行った。また、読影医とAIが指摘した所見の一致率及びAIが指摘した偽陽性について検証した。

結果

①年度別の発見肺がん数と発見率

年度別に発見肺がん数と発見率を表1に示す。AI導入年度の2022年度では直近の年度と比較し、がん発見率、陽性反応適中度ともに上昇が見られた。また、要精検率も例年に比べ上昇傾向となった。

表1 年度別 発見肺がん数と発見率

年度	受診者数	要精検者 (E判定) (%)	精検受者数率 (%)	確定がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
2022年度 (R4年度)	77,616	1,871 (2.4)	1,639 (87.6)	67 (0.09)	3.6
2021年度 (R3年度)	75,151	1,373 (1.8)	1,179 (85.9)	46 (0.06)	3.4
2020年度 (R2年度)	60,830	1,358 (2.2)	1,214 (89.4)	41 (0.07)	3.0

(対象は胸部CTを除く、胸部X-P及び喀痰細胞診検査併用を含む)

②AI導入前後の発見がん数と発見率

AI導入前後の比較では、表2に示すように、がん発見率、陽性反応適中度ともにAI導入後に上昇がみられた。また、要精検率もAI導入後に上昇傾向であった。

表2 AI導入前後別 発見がん数と発見率

	受診者数	要精検者 (%) E判定	確定がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
検診状況	77,616	1,871 (2.4)	67 (0.09)	3.6
AI導入前	47,576	1,030 (2.2)	36 (0.08)	3.5
AI導入後	30,040	841 (2.8)	31 (0.10)	3.7

③ AI導入前後の組織型分類別発見数

AI導入前後の組織型分類別発見数を図1に示す。AI導入前後で、組織型の割合に大きな差は無かった。

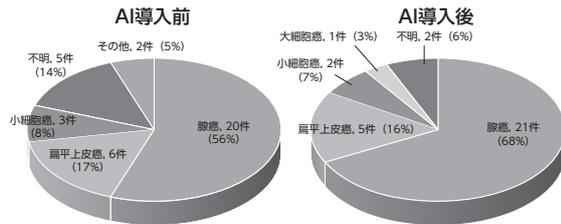


図1 組織分類別発見数

④ AI導入前後の臨床病期分類別発見数

臨床病期分類別発見数では、図2に示すようにIA期（0期～IA3期）の割合がAI導入後に上昇傾向であった。早期肺がんの定義は明確に規定されていないため、早い病期の肺がんとしてIA期の原発性肺がんを早期肺がんとして割合を算出した。

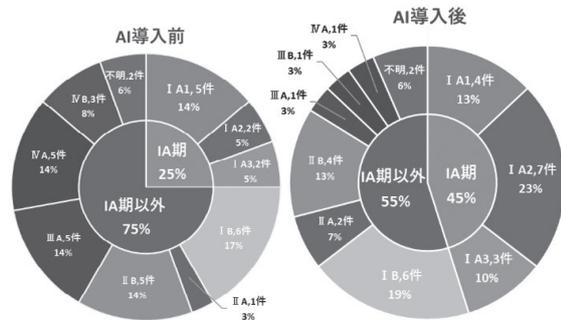


図2 臨床病期分類別発見数

⑤ 読影医とAIが指摘した所見の一致率について

発見肺がんの画像を見直し、AIが指摘した所見と読影医がチェックした所見が一致していたか調査したところ、追跡調査票に記載された箇所と一致した肺がん症例の全て、AIも指摘することが出来た。AIが指摘した所見の中には、心陰影や肋骨に重なる

所見、肺門付近の血管影に重なる所見など指摘が困難な症例が含まれていた。

⑥ AIが指摘した偽陽性について

読影医の負荷の要因となるAIの偽陽性について、導入開始後の1か月分の住民、事業所で撮影をした対象者から、AIが指摘した画像を見直し、偽陽性率を検証した。結果は、偽陽性所見と思われる割合が6.7%となった。指摘が多い症例として、乳頭陰影、骨と血管影の重なりによる正常構造物の重なりによるものが多く占めていた。

考察とまとめ

AIの稼働が10月から開始となり、年度途中でのデータとなったが、確定した肺がんの結果から、AI導入後にがん発見率、陽性反応適中度、早期がん率（IA期）の上昇傾向が見られた。その中には、所見の指摘が困難な症例も含まれており、検診の不利益となる偽陰性に対してAIによる読影支援の有効性が確認できた。

AI導入後は要精検率の上昇傾向が認められたが、運用が進む中で読影医と情報の共有を行うことで、AIの偽陽性の指摘箇所の理解度やバージョンアップに伴う偽陽性率の低減により、運用開始当初より現在は安定している。

次年度以降の追跡調査では、1年通した結果が出るため、今後も同様の精度管理の評価を行い、がん発見率、早期がん率も一定の水準で効果が表れるか検証し、読影医やAI開発ベンダーに情報の共有を図り、診断精度の向上に努めたい。

(5) 住民健診におけるWeb予約システム及び受診日優先予約方式（日付指定）の導入効果について

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

○幕田 俊幸 糸川 美菜 前田 尚紀
我妻 寛之 戸村 圭佑 手塚 真史
永井 充洋 渡邊 慶

はじめに

当支部では、2014年度より住民健診においてWeb予約システムを導入している。

当支部が提案しているWeb予約システムには、受診者自身が健診日・受診項目を選択し予約を取る方式に加え、2017年度より一部の市町で過去数年度受診歴（または前年度受診歴）のある受診者に対し、個人毎の健診案内通知に当該年度の受診日と受診項目を予約済みとして印字のうえ通知する、受診日優先予約方式（日付指定）を提供している。

当支部の健診受託団体のうち、2023年度に新たにWeb予約システム及び受診日優先予約方式（日付指定）を導入した〇市の健診受診状況から、Web予約システムの利用状況及び受診日優先予約方式（日付指定）の効果等について報告する。

Web予約システムの利用状況

栃木県では、新型コロナウイルス流行以前から健診の予約管理を行っている自治体が大部分を占めている。当支部では、栃木県内25市町中17市町の健診を受託しており、そのうち11市町（うち5市町は受診日優先予約方式）においてWeb予約システムを導入している。当支部が提供するWeb予約システムの特徴として、利用の際に、健診案内通知の作成をセットで受託し、健診案内通知には、個人毎に付番したログインIDとパスワードが記載されるとともに、受診者毎に受診可能な検診項目、健診日、健診会場、自己負担金等を通知することで申込しやすい環境を整備している。

〇市の検診申込方法について

〇市のWeb予約システム導入前の申込方法を以下に示す。①3月に広報誌を自治会回覧で各世帯に1部配布。②検診希望者は広報誌内にあ

る検診申込書に必要事項を記入し郵送または窓口申込。ただし、受診時期は誕生日毎に制限あり。③受診日等の確定は、健診日の1~2か月前に問診票等を配布することで通知される。

次に、Web予約システム導入後の申込方法を以下に示す。①4月に個人毎の健診案内通知を郵送。②Web予約システムやコールセンター（20日間）等を利用し申込を行い、その場で健診予約が確定する。なお、誕生日に応じた健診受診時期の制限は廃止した。

また、受診日優先予約の対象者は、過去2年間に何らかの受診歴がある者とした。過去2年間に受診歴のある者は、優先予約項目の内容で変更がない場合は改めての健診申込が不要となる。

〇市の2023年度のWeb予約システムの利用状況を表1に、優先予約内容を変更しなかった者の受診状況を表2に示す。

表1 Web予約システム利用状況（2023年度）

	Web利用・優先予約者数		コールセンター	自治体対応 (電話・窓口)	計
	Web (新規予約・ 日付等変更)	優先予約 内容を変更 しなかった			
件数	2,572	11,373	722	3,911	18,578
%		75.1%	3.9%	21.1%	100.0%

*Web利用率は、Web利用者+優先予約内容を変更しなかった者

表2 優先予約内容を変更しなかった者の受診状況

	優先予約内容を変更しなかった者	うち受診あり	うち受診なし
件数 (%)	11,373 (100%)	9,075 (79.8%)	2,298 (20.2%)

	件数	受診あり		受診なし	
		計	%	計	%
39歳以下	591	320	54.1%	271	45.9%
40~49歳	1,265	813	64.3%	452	35.7%
50~59歳	1,385	1,030	74.4%	355	25.6%
60~69歳	2,140	1,796	83.9%	344	16.1%
70~79歳	4,209	3,714	88.2%	495	11.8%
80歳以上	1,783	1,402	78.6%	381	21.4%
計	11,373	9,075	79.8%	2,298	20.2%

*受診ありの60歳代以上の平均は83.6%

対象

2021年度から2023年度のO市住民健診受診者のうち、毎年検診受診が可能な肺がん検診または大腸がん検診を受診した受診者34,913件を対象とした。

方法

1.受診者数増減の比較

Web予約システム導入前の2022年度と導入後の2023年度の受診者で肺がん検診または大腸がん検診を受診している件数を比較した。

2.2年連続受診率の比較

年度毎に肺がん検診または大腸がん検診を受診している受診件数を抽出し、Web予約システム導入前の2021-2022年度間及びWeb予約システム導入前後の2022-2023年度間で2年連続受診者の割合を比較した。

結果

1.受診者件数の比較

Web予約システム導入前後の2022-2023年度の受診者数を表3に示す。受診者数は、1,262件増加し、増加率は11.1%であった。

2.2年連続受診率の比較

2年連続受診者の割合を表4に示す。2年連続受診率は2021-2022年度間で76.2%、2022-2023年度間で84.8%であった。Web予約システム導入前と比較し、2年連続受診率は8.6ポイント増加した。

表3 2022-2023年度の受診者数比

2022年度	2023年度	件数差	増加率
11,371	12,633	1,262	11.1%

表4 2021-2023年度における2年連続受診率

	2021-2022	2022-2023
受診者数(1年目)	10,909	11,371
2年連続受診者数(%)	8,316 (76.2%)	9,644 (84.8%)

考察

Web予約システム導入前と導入後では、受診者数が大幅に増加するとともに、2年連続受診率の上昇が見られた。これらは健診周知方法を世帯毎から個人毎へ変更したこと及びWeb予約システムの導入により、ナッジ理論を利用した受診勧奨効果があったと考えられる。

主な効果として、個人毎に健診案内通知が届き、健診申込と日程等の確定が可能となることで、健診予約に対する「きっかけの提供」ができていたり、受診日優先予約方式では、受診者が「選ばなくてよい」ことによる予約工程の簡略化が挙げられる。電話予約等の通常予約方式では、少なくとも、①受診日を決める。②受診項目を決める。③予約をする。と少なくとも3回の選択と意思決定が必要となるが、受診日優先予約方式では、「予約された内容で良い」と意思決定するだけで、何のアクションを起こすことなく健診の予約が完了したことになるためである。

実際に、優先予約された者のうち、予約内容を変更しないまま受診した割合は79.8%と非常に高い結果となった(表2)。そのうち60歳以上の受診割合の平均は83.6%であった。これは、比較的Web予約システムの利用が難しいと考えられる高齢者に対して、健診受診までの障害(受診者自身が予約作業を行う等)を取り除くことができていると考えられる。なお、優先予約対象者のうち、予約内容を変更しないまま受診しなかった割合は、全体で20.2%となっていることから、この群に対する受診勧奨等のアプローチが今後の課題の一つと考える。

また、予約作業を行うO市においても、電話で申込をする可能性の高い高齢者からの電話件数を削減することができ、O市職員の作業負担の軽減にも寄与することができた。

まとめ

受診件数を増加させるためには、健診周知方法を世帯毎ではなく、「きっかけの提供」として個人毎に通知することが効果的であることがわかった。

また、受診日優先予約方式には、連続受診を促し、受診の機会を逃さないように働きかける導入効果があり、特に高齢者において、高い効果があることがわかった。

これらは受診者にとって、がんの早期発見・早期治療に繋がるメリットがあると考えられるとともに、健診機関にとっても、今後の人口減少対策の一つとして、新規受診者の獲得及び経年受診率の向上に効果があると考えられるため、引き続き受診日優先予約方式の推進に努めたい。

精 度 管 理

- 1 精 度 管 理 体 制
- 2 精 度 管 理 調 査
- 3 優 良 施 設 認 定 等
- 4 安 全 管 理 体 制 の 充 実
- 5 研 修 会 等 参 加 状 況
- 6 学 術 委 員
- 7 判 定 医

1 精度管理体制

1] 精度管理体制

事業団が実施する健診検査事業等の精度の維持向上を図るため、精度管理体制を整備し、各種精度管理活動を行うと共に、継続的な改善に努めた。



精度管理委員会：全体の精度管理を統括し、各種精度管理調査や各委員会の活動状況の精査や定期的に代表者に報告し承認を得るなど、精度管理に係る重要事項について審議する

健診精度管理委員会：健診の精度を適正に保つため、健診の手順や安全確保の方法、検体の取り扱いや試薬の管理、問診票や結果書などの事項について検討する

検査精度管理委員会：健診精度管理以外を対象に、上記と同様の事項を検討する

精度管理専門委員会：肺がん検診・胃がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診・心電図検査の各分野で、外部の専門家や有識者を含め委員会を編成した。検診の実施方法、撮影や読影精度の向上、医療技術者の技術向上などについて検討する

2] 委員会名簿

(1) 精度管理委員会

	所 属	氏 名		所 属	氏 名
委 員 長	理事長	渡邊 慶		集団健診部	永井 充洋
副 委 員 長	常務理事	金澤 秀行		健康増進部	佐藤 祥一
精度管理責任者	医療局長	森久保 寛		技術部	増田 英夫
委員 (部門責任者)	管理部	福田 篤	事 務 局	精度管理室	木村 高幸
	管理部	渡邊 哲		精度管理室	大出 定夫

(2) 健診精度管理委員会

	所 属	氏 名		所 属	氏 名	
委 員 長	医療局長	森久保 寛		健診推進課	手塚 真史	
副 委 員 長	技術部長	増田 英夫		健診調整課	日賀野 充	
委 員	医療局	湯川 悟	事 務 局	情報処理課	山口 真史	
	医療局	阿久津 敏恵		人間ドック課	蔵野 寿幸	
	医療局	阿部 聡子		健康支援課	忽那 洋子	
	放射線課	堀江 聡		精度管理室	木村 高幸	
	看護課	菊池 宏美		精度管理室	大出 定夫	
	臨床検査一課	高瀬 訓子		精度管理室	大金 優妃	
	臨床検査二課	大窪 三紀世				

(3) 検査精度管理委員会

	所 属	氏 名		所 属	氏 名
委 員 長	技術部長	増田 英夫	事 務 局	食品環境検査所	松島 史朗
副 委 員 長	臨床検査一課長	高瀬 訓子		臨床検査一課	高橋 史
委 員	健診推進課	手塚 真史		精度管理室	木村 高幸
	情報処理課	山口 真史		精度管理室	大出 定夫

(4) 精度管理専門委員会

委 員 会	委 員	所 属	氏 名	事務局
肺がん検診	外部	黒沢病院 呼吸器内科部長	町田 優	放射線課
		栃木県立がんセンター 総括診療部副部長（呼吸器外科）	松隈 治久	
	内部	医療局 放射線課 健康支援課	森久保 寛、阿久津 敏恵 堀江 聡、小澤 悠、善谷 昌弘、平山 隼 大金 優妃	
胃がん検診	外部	元獨協医科大学 放射線科特任教授	石川 勉	放射線課
		国立がん研究センター中央病院 検診センター長	小林 望	
	内部	医療局 放射線課 健康支援課	森久保 寛 堀江 聡、大塚 幸雄、安達 美帆 高橋 夢描	
子宮頸がん 検診	外部	JCHO うつのみや病院	池口 典子	臨床検査 一課
		国際医療福祉大学病院 教授 病理部部長	中里 宜正	
	内部	医療局 臨床検査一課 看護課 健康支援課	森久保 寛、阿久津 敏恵 高瀬 訓子、桑久保 修、益子 和規、 湯沢 直子、阿部 千鶴子 菊池 宏美、金井 里恵、小田 史恵 中島 麻里紗	
		外部	栃木県立がんセンター 病院長（乳腺外科） MIトラスト	
乳がん検診	医療局	森久保 寛、阿部 聡子	臨床検査 二課	
	内部	臨床検査二課 放射線課 健康支援課		大窪 三紀世、渡邊 朋子、大塚 好美 堀江 聡、神尾 恵子、渡邊 律子 中島 麻里紗
	外部	中山内科循環器医院 院長 小林内科医院 院長		中山 信彦 小林 公也
心電図検査	内部	医療局 臨床検査二課	森久保 寛 大窪 三紀世、渡邊 朋子、手塚 桂子	臨床検査 二課
	外部	栃木県立リハビリテーションセンター 理事長 自治医科大学教授 (小児科学とちぎ子ども医療センター) 獨協医科大学病院（小児科教授）	山形 崇倫 村松 一洋 白石 秀明	
先天性代謝 異常等検査	内部	医療局 臨床検査一課	森久保 寛 高瀬 訓子、尾熊 朋子、関口 梨沙、	
	オブザーバー	技術部 部長 増田 英夫、精度管理室 参与 大出 定夫		

3] 委員会開催状況

(1) 精度管理委員会

実施日	区分	内容
R6.4.17	開催	1 精度管理内部監査の状況について 2 精度管理専門委員会の報告 3 健診精度管理委員会の状況について 4 内部精度管理・外部精度管理の状況について 5 令和5年度事業報告について 6 令和6年度事業計画について
R6.7.17	開催	1 検査精度管理委員会の状況について 2 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R6.10.16	開催	1 内部監査の実施について 2 健診精度管理委員会の状況について 3 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R7.1.22	開催	1 内部監査の実施について 2 健診精度管理委員会の状況について 3 検査精度管理委員会の状況について 4 内部精度管理・外部精度管理の状況について
R7.3.19	開催	1 精度管理内部監査の状況について 2 令和7年度学術委員の選任について 3 健診精度管理委員会の状況について 4 検査精度管理委員会の状況について 5 内部精度管理・外部精度管理の状況について 6 労働衛生サービス機能評価認定更新訪問調査結果について

(2) 健診精度管理委員会

実施日	区分	内容
R6.4.1	書面	1 特殊健康診断における白血球百分率の基準値について（再検討）
R6.4.16	書面	1 発見がん追跡調査について
R6.9.10	書面	1 検体検査（血液）の経年分析結果報告について 2 労働衛生サービス機能評価内部監査「不適合」の対応について
R6.9.30	開催	1 事業所健診におけるHDLコレステロール基準値について 2 住民結果書仕様書（ロジック）の修正について 3 大腸がん精密検査結果連絡票の修正について 4 人間ドックの判定について 5 労働衛生サービス機能評価内部監査「不適合」の対応について 6 子宮頸がん検診（細胞診）の間診について
R6.10.24	書面	1 生理機能検査（心電図、肺機能、腹部超音波）の経年分析結果報告について
R6.12.3	書面	1 人間ドックにおける子宮頸がん検診（細胞診）の間診について（再検討）
R7.1.22	書面	1 がん検診理解度CHECKの変更について
R7.2.10	開催	1 職域検診における「精密検査結果把握（がん検診追跡調査）」の実施について
R7.2.14	書面	1 子宮頸がん・体がん検診記録票の修正について～医療機関方式の間診～
R7.2.14	書面	1 小児生活習慣病予防健診における帳票類の修正について
R7.2.19	書面	1 事業所健診における診察手技の変更について（着衣聴診）
R7.3.7	書面	1 人間ドックパンフレットの変更について 2 生理機能検査（眼底・聴力）の経年分析結果報告について
R7.3.27	書面	1 健康診断における新規オプション検査（HIV抗原・抗体検査）の導入について

(3) 検査精度管理委員会

実施日	区分	内容
R7.3.7	開催	1 腸内細菌検査の試薬変更について
R7.3.19	書面	1 ライツゾーム病4疾患および副腎白質ジストロフィー検査の判定基準について

(4) 精度管理専門委員会

委員会名	実施日	内容
肺がん検診	R7.3.6	1 令和5年度出張型住民健診における発見肺がん追跡調査結果について 2 発見がん症例の検討について 3 外部精度管理の結果について
胃がん検診	R7.2.10	1 外部精度管理の結果について 2 令和5年度出張型住民健診における発見胃がん追跡調査結果について 3 2017～2023年度別萎縮度割合とがん発見率について
子宮頸がん検診	R7.3.10	1 令和5年度出張型住民健診における発見子宮頸がん追跡調査結果について 2 外部精度管理の結果について 3 発見がん症例の検討について
乳がん検診	R7.3.11	1 令和5年度出張型住民健診における発見乳がん追跡調査結果について 2 発見がん症例の検討について 3 研究発表「乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査併用方式の有効性」 4 外部精度管理の結果について
心電図検査	R7.2.14	1 令和6年度（4月～12月）心電図検査集計について 2 症例検討 3 外部精度管理の結果について
先天性代謝異常等検査	R7.2.26	1 全国の拡大スクリーニング実施状況 2 令和6年度パイロットテスト実施状況 3 令和7年度ライソゾーム病等検査基準値

2 精度管理調査

事業団施設で行われている各部門の検査について、日常的な検査精度が一定基準の範囲内にあるかを得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行った。また、検体検査については、既知試料（標準物質）などを使用して日々の検査精度（精密度や正確度）を確認し、精度管理の徹底に努めた。

さらに、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図った。

	精度管理名	実施団体名	評価
胸部X線検査	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	評価A、評価B
	胸部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診 子宮がん検診 (細胞診)	日本臨床細胞学会コントロールサーベイ	公益社団法人日本臨床細胞学会	正解率86.6%
	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	全て評価A
胃がん検診	胃X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設・画像評価	特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構	総合判定結果B-1
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	全てA評価
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	精度管理認証事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査に関する精度管理調査 (鉛・有機溶剤に係る生体試料検査に関する精度管理調査)	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会	評価B
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝異常症等検査	先天性代謝異常症等マススクリーニング精度管理	一般社団法人日本マススクリーニング学会	検査精度は適正
	SCID/SMA スクリーニング技能試験 (PT)	一般社団法人日本マススクリーニング学会	「陰性・陽性」判定が適切
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
簡易専用水道検査	簡易専用水道検査外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S

3 優良施設認定等

当事業団は、次に示す全国的評価機関が行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めた。

	認定等の名称	認定団体
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構
特定健康診査 健康診断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	精度管理認証事業	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細胞診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人間ドック	人間ドック健診施設機能評価認定施設	一般社団法人日本病院会
		公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会
簡易専用水道検査	水道法第34条登録検査機関 (登録番号第41号)	厚生労働省
個人情報保護	プライバシーマーク	一般財団法人日本情報経済社会推進協会

4 安全管理体制の充実

1] 個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、職員意識の向上と、個人情報の取り扱いについての社会的信用を確立することを目的に、プライバシーマーク制度を導入し、個人情報保護マネジメントシステムを運用している。平成17年度に県内医療機関初の認定を受けたプライバシーマーク制度の趣旨に基づき、継続的にJIS要求規格に適応した個人情報保護マネジメントシステムの改善に努めている。令和6年度は、通算11回目の付与適格申請を、審査機関である一般財団法人医療情報システム開発センターに行った。

2] リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めた。

個人情報保護方針

公益財団法人栃木県保健衛生事業団は、健診・検査情報を取り扱う重要性を認識し、個人情報を正確かつ安全に取り扱い保護することを社会的責務と捉え、個人情報保護方針を次のとおり定め、宣言いたします。

1 個人情報の取得・利用・提供

私たちは、健診・検査事業及び当事業団の運営管理に必要な範囲においてのみ個人情報を取得・利用・提供を行い、目的外の利用はいたしません。また、個人情報に関する個人の権利を尊重し、個人情報を保護・管理する体制の確立と適切な取得、利用及び提供に関する内部規則を定め、これを遵守いたします。

2 個人情報の安全対策

私たちは、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などが発生しないよう万全の予防措置を講ずることで、個人情報の安全性、正確性の確保を図り、万一の問題発生時には、速やかな是正対策を実施いたします。

3 個人情報に関する法令の遵守

私たちは、個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守いたします。

4 マネジメントシステムの継続的な改善

私たちは、個人情報の保護体制を適切に維持するため、当事業団が策定したマネジメントシステムを随時見直し、継続的に改善を図ります。

5 個人情報保護の教育・監査

私たちは、個人情報保護の重要性及びその適正な取り扱いについて積極的に教育活動を実施するとともに、個人情報保護に関する監査を継続的に実施することにより、マネジメントシステムの遵守を推進いたします。

制 定 年 月 日：平成 16 年 12 月 1 日

最 終 改 訂 年 月 日：令和 4 年 4 月 1 日



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

理事長 渡 邊 慶

◆個人情報の取扱いに関する苦情及び相談は下記にご連絡ください。

電話 028-623-8383 (健診推進課)

e-mail privacy@tochigi-health.or.jp

5 研修会等参加状況

1] 外部研修会等参加状況

名 称	場所	時期	医師	技術職員	事務職員
給与支払者向け定額減税説明会	栃木	4月			2
第64回日本呼吸器学会学術講演会	神奈川	4月	1		
第121回日本内科学会総会・講演会	東京	4月	1		
第24回超音波セミナー	東京	4月		1	
ITEM2024国際医用画像総合展	神奈川	4月		4	
公益法人会計セミナー初級編	Web	4月			1
第76回日本産科婦人科学会学術講演会	神奈川	4月	1		
第111回日本泌尿器科学会総会	神奈川	4月	1		
NBS Web解析システムZoom説明会	Web	5月		3	
令和6年度とちぎ産業保健看護研究会総会及び第1回研究会	栃木	5月		1	
2024フォーラム健康診断の意義と展望（NPO法人健康開発科学研究会）	Web	5月			1
第97回日本産業衛生学会	広島	5月	1		
第107回日本消化器内視鏡学会総会	東京	5月	1		
第92回日本消化器内視鏡技師学会	富山	5・6月		2	
日本超音波医学会第97回学術集会・日本乳腺甲状腺超音波医学会第1回春季大会（同時開催）	神奈川	5・6月	2	1	
	Web			1	
JISQ15001セミナー内部監査員養成コース	東京	6月		1	
第215回撮影技術更新講習会	東京	6月		2	
第65回日本臨床細胞学会総会春期大会	大阪	6月		1	
2024年（令和6年度）新生児マスキング・ワークショップ（第二回）	Web	6月		3	
一般社団法人全国給水衛生検査協会関東甲信越支部主催「令和6年度総会及び情報交換会」	群馬	6月		1	1
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和6年度総会並びに特別講演、懇親会」	東京	6月		1	1
第9回胃がん検診専門技師研修会	Web	6・7月		1	
第63回日本消化器がん検診学会総会	Web	6月		2	
DX総合EXPO2024 夏 東京	東京	6月		1	2
令和6年度算定基礎届事務講習会	栃木	6月			2
第147回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	東京	6月	1		
第21回Tokyoマンモグラフィ技術講習会	東京	7月		1	
課長実践研修	Web	7月他		2	1
若手社員基本スキル・トレーニング	Web	7月他		4	2
第15回FDSC食品衛生精度管理セミナー	東京	7月		1	
令和6（2024）年度新任職員指導担当者研修（栃木県保健福祉課主催）	栃木	7月		1	
よくわかる経理の基本と実務	栃木	7月			1
全衛連主催「検体検査研修会」	Web	7月		1	
責任者講習（暴力団被害防止対策）	栃木	7月			1
予防医学事業中央会令和6年度第1回全国運営会議	東京	7月			2
腹部超音波検査ハイブリッド研修会（精度管理・中級コース）	Web	7月		1	
国際モダンホスピタルショウ2024	東京	7月		3	2
一般財団法人栃木県社会保険協会主催 健康づくり講演会	栃木	7月		1	
第32回日本乳癌学会学術総会	宮城	7月	1		
令和6年度日本CT検診学会夏期セミナー 2024	Web	7・8月		1	
令和6年度とちぎ産業保健看護研究会第2回研究会	栃木	8月		2	
胸部X線検査オンライン研修会（精度管理・基礎コース）	Web	8月		1	
令和6年度化学物質管理者講習	栃木	8月		2	
全衛連労働衛生サービス機能評価2024年度実務責任者オンライン説明会	Web	8月		1	
第51回日本マスキング学会学術集会	熊本	8月		1	
2024年度宇都宮会場TMC研修会	栃木	8月			1
令和6（2024）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（初任者編①）	栃木	8月		1	
第39回肺がんCT検診認定技師更新講習会	Web	8月		1	
令和6年度四国会議	群馬	8月			3
令和6年度全国情報統計研修会	広島	8月			4
2024年度第84回細胞検査士教育セミナー	Web	8・9月		1	
2024年第2回人間ドック健診専門医研修会（第64回認定医・専門医研修会）	Web	8・9月	1		
第62回栃木県公衆衛生学会	栃木	9月		2	
一般社団法人全国給水衛生検査協会関東甲信越支部主催「令和6年度飲料水検査及び簡易専用水道検査技術研修会」	東京	9月			2
令和6（2024）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（初任者編②）	栃木	9月		1	
令和6年度第1回複十字シール運動担当者オンライン会議	Web	9月			1
第22回首都圏ラボラトリーフォーラム 採血の不安解消！リスクに備える知識と応用	東京	9月		3	
第71回日本栄養改善学会学術総会	大阪	9月			1

精度管理【研修会等参加状況】

名 称	場所	時期	医師	技術職員	事務職員
令和6年度宇都宮地区労働衛生大会	栃木	9月			1
第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会	神奈川	9月	1	1	2
	Web		1		
満喜株式会社主催公益法人会計セミナー「新・公益法人会計基準の方向性について」	Web	9月			3
日本法令年末調整実務セミナー 2024	Web	9月			1
第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会	神奈川	9月		2	
仕事と子育ての両立支援セミナー（ステップアップ編）	Web	9月			2
2024年度がん征圧全国大会	埼玉	9月			3
先天性代謝異常検査システム管理会議	東京	9月		1	
第83回日本公衆衛生学会総会	北海道	10月		1	
第21回超音波検査従事者のためのマンモグラフィ読影講習会	愛知	10月		2	
第39回令和6年度結核予防会事務職員セミナー	東京	10月			2
日本医療検査科学会第56回大会	神奈川	10月		2	
全国公益法人協会セミナー	栃木	10月			2
日本超音波医学会第36回関東甲信越地方会学術集会	Web	10月		2	
令和6年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議	新潟	10月			3
栃木県内年金委員オンライン研修会	Web	10月			1
国立研究開発法人日本医療研究（革新的がん医療実用化研究事業）「超音波検査による乳がん検診の有用性を検証する比較試験」	東京	10月	2		
令和6年度第1回運営委員会・研究成果報告会	東京	10月			
第148回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	Web	10月	1		
第65回日本肺癌学会学術集会	Web	10～12月	1		
（通学）部長実践研修	東京	11月			1
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催、国土交通省及び環境省 水・大気環境局環境管理課後援「令和6年度簡易専用水道検査外部精度管理調査」	東京	11月		1	2
乳房超音波技術講習会（精度管理中央機構主催）	東京	11月		1	
令和6年度栃木県保健事業アドバイザー派遣事業第1回専門職向けセミナー～高血圧者の治療勧奨～	栃木	11月		2	
公益法人・一般法人会計セミナー「実務編」	埼玉	11月			1
第52回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	北海道	11月	2	1	
	Web			1	
第41回関東消化器内視鏡技師学会	栃木	11月		7	
第83回全国産業安全衛生大会	広島	11月			1
給与システム年末調整操作説明会	Web	11月			2
令和6（2024）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（経験者編）	栃木	11月		1	
栃木労働局令和6年度雇用管理改善セミナー	栃木	11月			1
第34回日本乳癌検診学会学術総会	群馬	11月	2	5	
2024年度日本消化器関連学会（JDDW2024）	Web	11・12月		1	
日本人間ドック・予防医療学会主催健診施設機能評価Ver.5.0受審準備セミナー	Web	11～1月	1	17	4
JATA災害時支援協力者研修	東京	12月			1
一般検査セミナー EIKEN2024	東京	12月		1	
全衛連主催健診機関職員研修会基礎コース	東京	12月			1
令和6年度胸部画像精度管理研究会	東京	12月		1	
令和6年度第2回複十字シール運動担当者会議	東京	12月			1
特定保健指導実践者研修会（協会けんぽ栃木支部主催）	栃木	12月		2	
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和6年度簡易専用水道検査全国技術研究発表会」	東京	12月			2
第63回日本臨床細胞学会秋期大会	Web	12月		2	
緊急安全周知会	栃木	12月		1	
令和6（2024）年度HACCPアドバイザーフォローアップ研修会	栃木	12月			1
超音波スクリーニング研修講演会2024東京	Web	12月		2	
初心者の為の心電図講習会	Web	12～3月		20	
2024年度第2回乳房超音波スタートアップ講習会	Web	12・1月		1	
令和6年度栃木県保健事業アドバイザー派遣事業第2回専門職向けセミナー～指導困難例への治療勧奨～	栃木	1月		4	
令和6年度「改正育児・介護休業法説明会（オンライン開催）」	Web	1月			2
2024年度レジオネラ属菌検査精度管理サーバイセセミナー	神奈川	1月		1	
第51回建築物環境衛生管理全国大会研究集会優秀発表表彰	東京	1月			1
心電図講習会（フクダ電子）基礎A	東京	1月		3	
令和6（2024）年度HACCP技術研修会	栃木	1月			1
男性の育児休業取得促進・多様な性の理解促進セミナー	Web	1月			1
日本総合健診医学会第53回大会	千葉	1・2月	1		
係長実践研修	Web	2月		2	1
第58回全国予防医学技術研究会	京都	2月	3	3	2
第80回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	東京	2月		1	
マンモグラフィトレーニングスクール	群馬	2月		2	
令和6年度予防医学事業中央会全国業務研修会	福井	2月			4

名 称	場所	時期	医師	技術職員	事務職員
旅客自動車（バス）運転者課程（三日間）	茨城	2月			1
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和6年度簡易専用水道検査外部精度管理調査に関する研修会」	東京	2月			1
高年齢労働者の転倒・腰痛予防から労務管理までを学ぶセミナー（中央労働災害防止協会主催）	東京	2月		1	
ANA流医療現場の接遇マナー研修2日コース	東京	2月		2	
契約医療機関事務説明会	東京	2月			1
第229回マンモグラフィ撮影技術更新講習会	東京	2月		2	
令和6年度とちぎ産業保健看護研究会第4回研究会	栃木	2月		1	
一般社団法人全国給水衛生検査協会主催「令和6年度20条検査・34条検査登録機関検査部門及び信頼性確保部門管理者研修会」	東京	2月		1	
第34回日本乳癌画像研究会	東京	2月		2	
令和6（2024）年度栃木県健康づくり研修（身体活動・運動編）	栃木	2月		3	
令和6年度特定保健指導事業担当者研修会（宇都宮市保健所健康増進課主催）	栃木	2月		1	
グリーン共同発行市場公募地方債オンラインセミナー	Web	2月			2
第76回結核予防全国大会	岩手	2月			2
令和6年度第32回日本CT検診学会学術集会	Web	2・3月	1	1	
健診事務職員育成セミナー基礎編	Web	2・3月			9
令和6（2024）年度特定健診・特定保健指導従事者育成研修会（ICT編）	Web	2・3月		3	
第24回Tokyoマンモグラフィ技術講習会	東京	3月		1	
予防医学事業中央会令和6年度保健指導研修会	東京	3月		2	
公益財団法人日本対がん協会・公益財団法人結核予防会共催令和6年度診療放射線技師研修会	Web	3月		1	
日本医師会主催令和6年度臨床検査精度管理調査報告	東京	3月		1	
令和6年度結核予防会全国支部事務局長研修会並びに事務連絡会議と令和6年度結核予防会事業協議会総会・研修会	東京	3月			2
日本マスキング学会技術部会第42回研修会	Web	3月		3	
先天性代謝異常検査システム共同使用にかかる管理会議	東京	3月		2	
2024年度「日本マスキング学会研修会（基礎技術者、専門技術者、担当医）」	Web	3月		1	
第31回日本産婦人科乳腺医学会	Web	3月	1		
計			28	181	98

2] 内部研修会開催状況

名 称	実施日	講 師 等	参加人数
CXDIにおける線量指標（REX/EI）と画像処理	R6.7.24	キヤノンメディカルシステムズ株式会社 X線営業部 担当者	20名
GE社製「乳房自動超音波装置（ABUS）」のデモンストレーション	R6.9.3	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 担当者	12名
梅毒の現状と検査・診断・治療について	R6.12.11	株式会社シノテスト 学術部担当者	11名
初心者のための心電図講習会 心電図の判読手順とポイント	R7.2.18	高知医療支援研究所 担当者	19名
Onclarity勉強会	R7.3.19	BD日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 学術部担当者	21名
マンモモニタの日常管理実施状況	R7.3.25	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 大森 彩加	30名
内臓脂肪測定におけるAiCEを利用した被ばく線量低減の検討	R7.3.25	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 主任 後藤 知恵	30名
発見がんに対するカテゴリーについて	R7.3.25	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 町田 彩貴	30名
胸部検診車の被ばく線量の測定	R7.3.25	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 宮代 紗希	30名
AI結果報告と症例検討	R7.3.25	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 技師 平山 隼	30名
診療放射線の安全利用について	R7.3.27	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部放射線課 副主幹 中村 好宏	32名
眼底読影所見の現状と比較	R7.3.27	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部看護課 課長補佐 鈴木 麻里	32名
人間ドック眼底検査について	R7.3.27	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部看護課 副主幹 永元 玲子	32名
ANA流医療現場の接遇マナー研修報告	R7.3.27	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部看護課 技師 高橋 明里	32名
健診の安全対策	R7.3.27	公益財団法人栃木県保健衛生事業団 技術部看護課 課長補佐 鈴木 麻里	32名

6 学術委員

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学・国際医療福祉大学病院などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である学術委員から指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めた。

令和6年4月1日現在

氏名	所	属
阿江 竜介	自治医科大学 地域医療学センター	公衆衛生学部門教授
藤原 寛行	自治医科大学	産科婦人科学講座主任教授
妹尾 正	獨協医科大学 医学部大学院	眼科学教授
小橋 元	獨協医科大学	副学長
	獨協医科大学 医学部	公衆衛生学講座主任教授
入澤 篤志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）	主任教授
	獨協医科大学病院	副病院長
小嶋 一幸	獨協医科大学 医学部	上部消化管外科学（一般外科）主任教授
福島 啓太郎	獨協医科大学 医学部	小児科学講師
難波 美津雄	佐野医師会病院	名誉院長
山形 崇倫	栃木県リハビリテーションセンター	理事長
鈴木 光明	新百合ヶ丘総合病院	がんセンター センター長
	自治医科大学	名誉教授
安藤 二郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	病院長
小林 望	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	検診センター長

7 判定医

令和7年4月1日現在

1] 胸部X線（結核・肺がん）読影医

氏名	所属
結核予防会総合健診推進センター	
石川 成美	あい太田クリニック
齊藤 樹	宇都宮東病院
齊藤 芳晃	いとうクリニック
蘇原 泰則	介護老人保健施設マカベシルバートピア
千代谷 厚	尾形病院

氏名	所属
手塚 康裕	宇都宮記念病院総合健診センター
中野 智之	国際医療福祉大学病院呼吸器外科
町田 優	ring株式会社
明島 良太	合同会社 wellpy
阿久津 敏恵	栃木県保健衛生事業団

2] 胃X線読影医

氏名	所属
石川 勉	
伊藤 允	いとう胃腸科クリニック
倉山 英生	若宮クリニック
齋藤 徳彦	齋藤内科医院
高橋 邦生	高橋内科胃腸科外科

氏名	所属
田村 明彦	
椿 昌裕	友愛記念病院
瀨島 秀樹	
宮地 和人	獨協医科大学病院健診センター
森久保 寛	栃木県保健衛生事業団

3] 心電図判定医

氏名	所属
上小牧 憲寛	国際医療福祉大学病院
小林 公也	小林内科医院
齋藤 義弘	ひだまりの森クリニック

氏名	所属
高橋 正樹	高橋内科循環器科クリニック
森 陽祐	森クリニック
株式会社TPC	

4-1] 宇都宮市医師会 成人病対策委員会（胃）

氏名	所属
青木 浩義	青木医院
恩田 光憲	双葉クリニック
金子 広美	たからぎ胃腸外科クリニック
亀田 幸男	亀田内科
齋藤 徳彦	齋藤内科医院

氏名	所属
坂田 秀人	ミヤ健康クリニック
高橋 邦生	高橋内科胃腸科外科
松本 国彦	松本医院
渡辺 洋伸	しん陽東クリニック

4-2] 宇都宮市医師会 成人病対策委員会（心電図）

氏名	所属
高橋 正樹	高橋内科循環器科クリニック

5] 眼底写真読影医

氏名	所属
妹尾 正	
千葉 桂三	栃木県眼科医会

氏名	所属
株式会社TPC	

6] 細胞診指導医

氏名	所属
石田 和之	獨協医科大学病理診断学
中里 宜正	国際医療福祉大学病院

氏名	所属
西川 眞史	栃木医療センター

7] 超音波（腹部・乳腺・甲状腺）判定医

氏名	所属
川上 睦美	東京都多摩北部医療センター・品川区医師会健診センター
小森 俊昭	宇都宮記念病院総合健診センター健診科
坂 佳奈子	四谷メディカルキューブ

氏名	所属
渡邊 菜穂美	獨協医科大学病院健診センター
渡辺 美穂	
阿部 聡子	栃木県保健衛生事業団
森久保 寛	栃木県保健衛生事業団

8] マンモグラフィ読影医

氏名	所属
安藤 二郎	栃木県立がんセンター
大澤 英之	自治医科大学附属病院
角田 美也子	獨協医科大学病院乳腺センター
三枝 充代	自治医科大学附属病院
塩澤 幹雄	とちぎメディカルセンターしもつが
竹原 めぐみ	めぐみ乳腺クリニック
田村 明彦	栃木医療センター
中田 和佳	自治医科大学附属病院

氏名	所属
原尾 美智子	自治医科大学附属病院
林 光弘	関湊記念会クリニック
水沼 洋文	水沼医院
室井 大人	獨協医科大学上部消化管外科
吉澤 浩次	よしざわクリニック
渡辺 美穂	
阿久津 敏恵	栃木県保健衛生事業団
阿部 聡子	栃木県保健衛生事業団

9] 宇都宮市医師会心臓検診判定委員会・栃木県立学校心臓検診判定委員会

氏名	所属
井上 博一	大平ファミリークリニック
遠藤 秀樹	遠藤小児科医院
小澤 武史	おざわ小児科医院
小林 公也	小林内科医院
佐間田 一則	にじいろこども診療所
関根 佳織	獨協医科大学病院小児科
高橋 努	済生会宇都宮病院小児科
高橋 正樹	高橋内科循環器科クリニック
高野 幸一	高野クリニック

氏名	所属
福田 仁	福田循環器科内科医院
福田 宏	福田循環器科内科医院
益田 俊英	益田内科医院
益田 澄夫	益田内科医院
森 陽祐	森クリニック
八木 崇	今泉メディカルクリニック
吉野 良寿	吉野医院
加藤 一昭	栃木県保健衛生事業団

10-1] 栃木県立学校腎臓検診判定委員会

氏名	所属
安藤 康宏	国際医療福祉大学病院予防医学センター
大久保 泰宏	済生会宇都宮病院腎臓内科
齋藤 修	自治医科大学病院透析センター

氏名	所属
頼 建光	獨協医科大学病院腎臓・高血圧内科
中野 信行	宇都宮腎・内科・皮膚科クリニック
村山 直樹	村山医院

10-2] 栃木県保健衛生事業団腎臓検診判定委員会

氏名	所属
大和田 葉子	獨協医科大学病院小児科
金井 孝裕	自治医科大学病院小児科
加納 優治	獨協医科大学病院小児科

氏名	所属
小林 靖明	足利赤十字病院小児科
高橋 努	済生会宇都宮病院小児科

連 携 ・ 協 力

1 連携・協力

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図った。

1] 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、次に示す研修会等を開催した。

研修会等名称	開催日	開催場所
第1回精度管理部会	令和6年8月22日	とちぎ健康の森
第1回前立腺がん検診部会	令和6年9月25日	とちぎ健康の森
子宮がん検診従事者研修会	令和6年11月30日	獨協医科大学病院
前立腺がん検診従事者研修会	令和6年12月12日	栃木県立がんセンター
胃がん検診従事者研修会	令和7年2月10日	Web形式
精度管理研修会	令和7年3月4日	栃木県教育会館
乳がん検診従事者研修会	令和7年3月5日	Web形式
大腸がん検診従事者研修会	令和7年3月6日	Web形式
肺がん検診従事者研修会	令和7年3月6日	Web形式
第2回精度管理部会	令和7年3月12日	書面開催

2] 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催した。

開催月日	主たる審議事項
栃木県集団検診実施機関 連絡協議会総会 令和6年9月13日 (とちぎ健康の森)	1 議題 (1) 役員を選任について (2) 令和5年度事業報告 (3) 令和5年度収支決算報告および令和4年度監査報告 (4) 令和6年度事業計画 (5) 令和6年度収支予算 2 意見交換 3 報告事項およびその他
栃木県集団検診実施機関 連絡協議会健診検査部会 令和7年2月17日 (とちぎ健康の森)	1 あいさつ 2 意見交換 3 その他

3] 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣した。

主な派遣先は次のとおりである。

研修会等名称	講師派遣
産業保健セミナー 計6回（栃木産業保健総合支援センター）	医師
認定産業医研修 計4回（地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催）	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計6回（人財学園）	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計4回（人財学園）	医師
第22回マンモグラフィ読影指導者研修会	医師
第27回マンモグラフィ撮影技術講習会	医師
第59回マンモグラフィ更新講習会・第121回読影試験	医師
第97回マンモグラフィ更新講習会・第122回読影試験	医師
第98回マンモグラフィ更新講習会・第123回読影試験	医師

4] 公衆衛生学実習生の受け入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施した。

内容	実施日	対象	人数
公衆衛生学実習	令和6年5月22日 ～5月23日	獨協医科大学医学部4年生	8人
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和6年6月5日、7日	足利大学看護学部4年生	44人
公衆衛生看護学実習Ⅱ （健診機関における保健活動）	令和6年9月20日	栃木県立衛生福祉大学校 保健学科	26人
健診業務における臨床検査技師の 役割及び他職種との連携について	令和7年3月3日	栃木県立衛生福祉大学校 臨床検査学科2年生	14人

5] 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会及び公益財団法人予防医学事業中央会が開催する全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めた。

6] 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画した。

なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりである。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和6年6月20日	理事長
	理事		医療局長
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和6年8月6日	理事長
	理事		医療局長
栃木県がん対策推進協議会がん検診部会	委員	令和6年7月4日	理事長
		令和7年3月19日 （書面開催）	
栃木県がん対策推進協議会がん検診部会	委員	令和6年7月23日 （Web開催）	医療局長

栃木県がん対策推進協議会がん登録部会	委 員	令和6年9月24日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会	委 員	令和6年10月21日	理事長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び健康 長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委 員	令和7年3月28日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委 員	令和6年10月1日 令和6年12月19日 令和7年2月17日 (書面開催)	医療局長

広 報 活 動

- 1 予防医学推進のための普及活動
- 2 健診・検査受診率向上のための普及活動

広報活動

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施した。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアやSNSの活用、イベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開した。なお、令和6年度は新たにAMラジオでのコマーシャルの放送を行った。

1] 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 結核・呼吸器感染症予防週間運動の実施（9月24日から30日）

1) 県や市町及び学校等にポスターやパンフレットを配付し、結核や呼吸器感染症の予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター 920部
- ・パンフレット 13,100部

2) 県内のマスメディアやSNSを活用した普及啓発を行った。

- | | | | |
|------|--------------|--------|-----------|
| ・テレビ | 45秒告知 | 1種 10回 | (とちぎテレビ) |
| ・ラジオ | 20秒告知(※) | 1種 14回 | (エフエム栃木) |
| | 90秒告知 | 1種 5回 | (エフエム栃木) |
| | 20秒告知 | 1種 14回 | (CRT栃木放送) |
| | 80秒告知 | 1種 6回 | (CRT栃木放送) |
| | 生ワイド出演 | 1種 1回 | (CRT栃木放送) |
| ・新聞 | 半3段モノクロ告知 | 1種 1回 | (下野新聞) |
| | 栃木版半3段モノクロ告知 | 1種 1回 | (読売新聞) |
| ・SNS | X投稿 | 1種 3回 | |

(※) 当事業団の職員による収録・放送

3) 9月24日から30日まで栃木県庁昭和館にて、結核予防のシンボルカラーである“赤色”のライトアップを栃木県感染症対策課との共催で初めて実施した。

(2) 複十字シール運動の実施

1) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

- ・令和6年度募金額 1,397,903円

2) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月30日に実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼した。

3) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅

前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。

2] がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

1) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施した。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,200部） 計2,400部
- ・リーフレット2種（がん検診：4,000部、女性のがんと健康：4,000部） 計8,000部
- ・冊子（がんを知ろう） 2,300部

2) がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん征圧運動を周知した。

- ・テレビ 45秒告知 1種 20回（とちぎテレビ）
- ・ラジオ 90秒告知 2種 10回（エフエム栃木）
- ・新聞 折込紙見開き1/2フルカラー告知 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）
- 栃木版半3段 モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）
- ・SNS X投稿 1種 2回
- Xプロモツイート 1種 1月
- ・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置）1ヵ所

3) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日に宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、10月1日から10日まで栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施した。

4) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月7日に実施し募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。今年度は実施場所を、オリオン通り商店街からJR宇都宮駅東西連絡自由通路に変更し、幅広い世代への啓発活動を行った。

(2) がん征圧募金運動の実施

1) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てられる。

- ・令和6年度募金額 2,623,911円

2) がん征圧募金に関する内容についてSNSを活用し告知掲載を行った。

- ・SNS X投稿 1種 1回

(3) 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブルックス主催試合の冠スポンサーとなり、11月2日、ブルックスアリーナ宇都宮で行った。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行った。また、新たな試みとして、事業団公式Xのフォロー&リポスのキャンペーンを実施した。

(4) がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」(9月14日～15日：壬生町総合公園陸上競技場)が開催され、事務局として参画した。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加した。

(5) その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

・テレビ	45秒告知	3種 40回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 28回	(エフエム栃木)
	90秒告知	2種 10回	(エフエム栃木)
・新聞	半3段モノクロ告知	2種 2回	(下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回	(読売新聞)
・SNS	X投稿	5種 8回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

3] 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 禁煙週間(5月31日から6月6日)の普及活動

1) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行った。

- ・禁煙ポスター(配付) 280部
(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

2) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回	

(2) 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間(11月1日から30日)

1) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行った。

- ・世界糖尿病デーポスター(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア
- ・リーフレット(配布) 4種 計320部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

2) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・テレビ	45秒告知	1種 10回	(とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回	

(3) 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、健診・検査の受診率向上を図った。

・テレビ	45秒告知	2種 20回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 56回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	13種 14回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(4) 生活環境に関する普及活動

1) 食品衛生月間(8月1日から31日)に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアやSNSを活用し意識の向上と知識の普及を図った。

・テレビ	45秒告知	1種 10回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 28回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	3種 3回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

2) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行った。

・ラジオ	20秒告知(※)	1種 14回	(エフエム栃木)
------	----------	--------	----------

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(5) 関係機関等との連携・協力による普及活動

1) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配布・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行った。

- ・とちぎ健康の森健康づくりDay(社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6月2日)禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配布
- ・市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供(5市町) ノベルティ7種 計1,630個

2) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

・複十字誌(公益財団法人結核予防会)	2,742部
・健康の輪(公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会)	243部
・対がん協会報(公益財団法人日本対がん協会)	7,501部
・予防医学ジャーナル(公益財団法人予防医学事業中央会)	180部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページやSNS、定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図った。

1] ホームページ・SNSの活用

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康・保持増進に役立つ情報を配信した。

2] 定期情報誌の発行

- 1) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行した。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。
- 2) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行した。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開した。

3] 看板等を利用した普及啓発

- 1) JR宇都宮駅改札前通路の電飾看板に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出した。
- 2) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出した。
- 3) 新しい広報媒体として、JR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージに、生活習慣病及びがん検診に関する啓発動画を掲出した。
がん征圧月間（9月1日～30日）、乳がん月間（10月1日～31日）、栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間（11月1日～30日）

総

括

1 沿 革
2 組 織 ・ 機 構
3 機 器 整 備 状 況
4 会 議 の 開 催

1 沿革

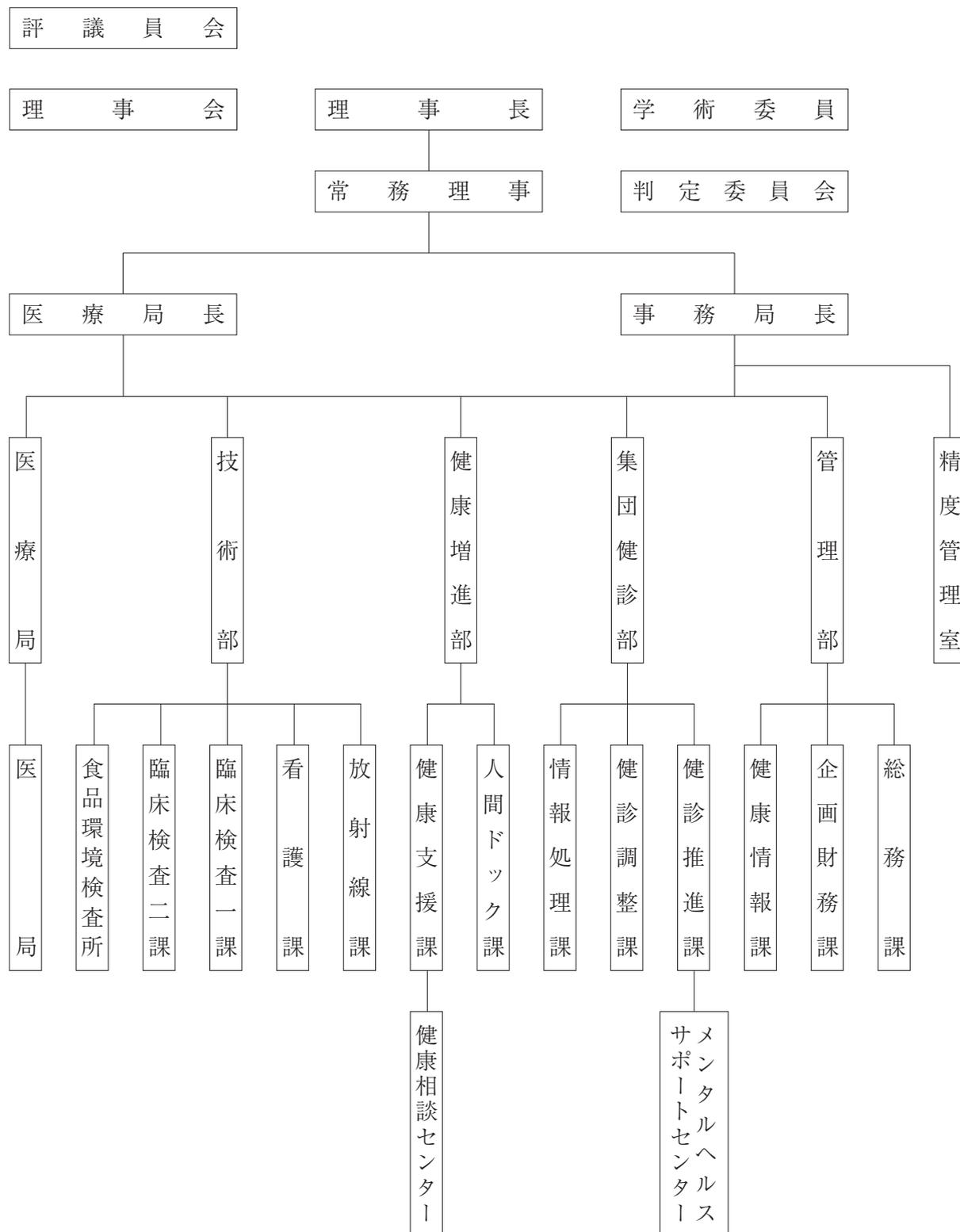
昭和15.4.1	結核予防会栃木県支部設立(昭和46年財団法人結核予防会栃木県支部となる)	平成3.1.1	水道水農薬検査開始	
昭和34.8.14	栃木県寄生虫予防協会設立(昭和40年財団法人栃木県寄生虫予防協会となる) (昭和46年財団法人栃木県予防医学協会と改称)	平成4.3.31	住民健康管理情報処理システム完成	
昭和36.5.19	財団法人栃木県対ガン協会設立	4.1	大腸がん検診開始	
昭和51.3.29	前記3団体の解散、統合を前提に財団法人栃木県保健衛生事業団設立	政府管掌健康保険成人病予防検診開始(指定検診機関認定)	平成5.3.31	事業所健康管理情報処理システム完成
3.31	(財)結核予防会栃木県支部、(財)栃木県予防医学協会、(財)栃木県対ガン協会解散 全ての事業を(財)栃木県保健衛生事業団が継承する	12.1	水質基準改正に伴う検査体制整備	
4.1	医療法第1条第5項の規定に基づく(財)栃木県保健衛生事業団診療所を開設	平成7.3.31	計量証明事業(浄化槽放流水検査)廃止	
8.28	計量法第123条の規定に基づく計量証明事業所(濃度)として登録浄化槽放流水検査開始	平成8.4.1	組織機構改革	
昭和52.4.1	循環器検診、食品検査開始	4.1	水質・食品検査部門「栃木県保健環境センター」移転	
昭和53.4.1	血液・生化学検査、肺がん検診開始	4.1	骨密度検査開始	
10.20	食品衛生に係る水質検査機関指定要領に基づく栃木県知事指定飲料水検査機関として指定を受ける	5.20	食品衛生法第15条、第1項、第2項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関となる	
昭和54.3.26	食品衛生法第14条第1項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関として指定を受ける	平成9.1.1	健康管理情報システム(人間ドック)更新整備	
4.1	労働安全衛生法の規定に基づく一般健康診断、特殊健康診断開始	1.6	健診・検査及び人間ドック部門「とちぎ健康の森」移転	
昭和55.4.1	地域食品認証制度開始	4.1	健康度測定事業開始	
4.18	水道法第20条第3項及び同法第34条の2第2項の規定に基づく厚生大臣指定検査機関として指定を受ける(水質検査、簡易専用水道の管理に関する検査開始)	4.1	健康管理情報処理システム(住民・事業所)更新整備	
昭和56.4.1	学校心臓検診開始	4.21	移転披露式典並びに創立20周年記念式典開催	
昭和57.4.1	先天性代謝異常検査開始	平成10.4.1	前立腺がん検診開始	
昭和58.2.1	老人保健法に基づく健康診査開始	8.1	クリプトスポリジウム検査開始	
4.1	幼児心臓検診開始	10.15	第43回予防医学事業推進全国大会開催	
6.1	学術委員制度の発足	~.16		
8.3	中央労働災害防止協会「健康診断機関等名簿登載機関」登録	平成11.3.31	食品検査管理システム完成	
昭和59.2.29	健康管理データ処理システム完成	3.31	集団健診情報処理システム完成	
昭和60.4.1	神経芽細胞腫検査、クレチン症検査開始	4.1	「日本総合健診医学会優良施設」認定	
昭和61.3.31	人間ドックデータ処理システム完成	10.1	乳房X線(マンモグラフィ)検診車による乳がん検診開始	
4.1	組織機構改革 子宮がん検診開始	10.1	「日本病院会優良自動化健診施設」指定	
7.1	日帰り人間ドック開始	11.1	「労働衛生機関評価機構評価達成機関」認定	
昭和63.3.31	がん検診データ処理システム完成	平成12.3.22	第51回結核予防全国大会開催	
4.1	乳がん検診開始	~.23		
昭和64.1.1	先天性副腎過形成症検査開始	4.14	中央労働災害防止協会「安全衛生サービス機関(特殊健康診断等)」認定	
平成2.3.31	健康診断データ処理システム完成	10.2	人間ドック「ヘリカルCT」開始	
		10.2	人間ドック「内視鏡検査」開始	
		10.27	岡本水質食品検査所環境ISO14001審査登録	
		平成13.3.1	財務会計・給与システム完成	
		4.1	県より健康づくり事業受託 健康支援班設置	
		4.1	がん等生活習慣病研究助成制度制定	
		4.2	中央労働災害防止協会「労働者健康保持増進サービス機関」認定	
		平成14.1.1	「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ検診施設画像」認定	

3.29	ホームページ開設		
4.1	肝炎ウイルス検診開始	平成23.3.31	健康度測定事業終了
8.1	先天性代謝異常検査に高速液体クロマトグラフィー法導入	4.16	胃がんリスク検診開始
9.9	定期情報誌「げんきとちぎ」創刊	平成24.3.26	放射性物質検査開始（簡易検査）
10.21	食品残留農薬検査開始	4.1	健康相談センター設立
平成15.4.1	栃木県学校腎臓検診開始	6.19	放射性物質検査開始（精密検査）
5.30	「日本臨床細胞学会施設」認定	10.1	先天性代謝異常検査にタンデムマス法導入
10.1	「予防医学事業中央会：健診・検査データ共有化事業」施設認証	平成25.3.21	栃木県知事から公益財団法人の認定を受ける
平成16.3.15	経営理念策定	3.31	水質検査事業終了
3.31	医師法に基づく「臨床研修協力施設証」交付	4.1	公益財団法人栃木県保健衛生事業団に移行登記
3.31	神経芽細胞腫検査休止	4.1	岡本水質食品環境検査所を食品環境検査所と改称
3.31	水道法第20条に基づく登録検査機関として登録	4.1	子宮頸がん検診の液化化検体細胞診を開始
3.31	水道法第34条に基づく登録検査機関として登録	4.1	特殊健康診断システム稼働運用開始
4.1	住民・事業所健診及び人間ドック並びに水質食品検査情報処理システム更新	4.1	人間ドック「甲状腺ホルモン検査」「頸動脈超音波検査」「視野スクリーニング検査」開始
4.1	水質基準に関する省令の改正	4.1	経営理念 改訂
7.1	食品衛生法第26条第1項及び第2項の規程に基づく登録検査機関として登録	平成26.4.13	ICカード健診開始
9.17	平成16年度がん征圧全国大会開催	10.31	健康づくり情報コーナー、多目的運動コーナー設置
12.1	個人情報保護方針制定	平成27.4.1	臨床検査課を検体検査を主とする臨床検査一課と生理機能検査を主とする臨床検査二課に再編
12.17	岡本水質食品検査所 I S O 9001 審査登録	4.7	保険医療機関の登録終了
平成17.6.15	残留農薬検査に高速液体クロマトグラフィー質量分析計（LC/MS/MS）導入	12.28	栃木県立がんセンターとの医療連携機関認定
7.12	プライバシーマーク取得	平成29.3.31	自社所有の全てのX線装置のデジタル化が完了
10.1	人間ドック・健診施設機能評価認定取得	7.1	食の安全に関する広報誌「Assist」創刊
10.3	人間ドック「血液サラサラ度測定」「血管年齢測定」「内臓脂肪測定」開始	平成30.2.22	住民健診におけるコールセンターによる予約事業開始
10.15	保険医療機関として指定取得	平成31.4.1	精度管理室設置
平成18.2.15	栃木県食品自主衛生管理認証制度に係る認証機関指定取得	4.1	人間ドック情報管理システム更新
3.17	宇都宮市食品衛生自主管理認証に係る認証機関指定取得	4.28	デジタル読影室整備、胃内視鏡室改修
4.1	生活機能評価開始	令和2.4.1	腸内細菌検査方法をPCR法に変更
平成19.4.1	人間ドック施設改修	9.1	人間ドック「経膈超音波検査」開始
4.1	デジタル読影室整備及び医用画像管理システム（PACS）運用開始	令和4.10.1	胸部X線画像AI読影支援システムの導入
4.1	胃内視鏡室整備	令和5.4.1	人間ドック「3Dマンモグラフィ」開始
8.1	人間ドック「HPV検査」開始	4.1	先天性代謝異常等検査「脊髄性筋萎縮症」「重症複合免疫不全症」開始
平成20.3.31	腸内細菌システム更新	令和6.3.29	衛生検査所登録
4.1	特定健診、特定保健指導開始	4.1	腸内細菌検査を食品環境検査所へ移転
4.1	心の健康づくり事業開始		
4.15	新器材準備室完成		
12.8	ノロウイルス検査開始		
平成21.2.28	食品衛生法に基づく登録廃止		
4.1	人間ドック「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」「ペプシノゲン検査」「子宮体がん検査」開始		

2 組織・機構

1] 組織・機構

令和6年4月1日現在



2] 評議員名簿

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	所属団体等
評議員	小沼一郎	栃木県医師会会長
	麻生好正	獨協医科大学病院長
	山田俊幸	自治医科大学教授
	塚田三夫	栃木県保健所長会会長
	螺良昭人	栃木県議会議員
	青木勲	栃木県経営者協会会長
	横倉正一	栃木県中小企業団体中央会会長
	菊地正幸	栃木県食品衛生協会会長
	武藤孝司	栃木産業保健総合支援センター所長
	大橋哲也	栃木県保険者協議会 副会長
	寺山厚子	栃木県地域婦人連絡協議会会長

3] 役員名簿

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	所属団体等
理事長	渡邊慶	栃木県保健衛生事業団理事長
常務理事	金澤秀行	栃木県保健衛生事業団常務理事
理事	本田正徳	栃木県病院協会会長
	尾澤巖	栃木県立がんセンター理事長兼センター長
	木内敦夫	栃木県産婦人科医会会長
	森久保寛	栃木県保健衛生事業団医療局長兼消化器検診部長
	渡邊芳江	栃木県看護協会常任理事
監事	福田篤	栃木県保健衛生事業団事務局長
	小川俊彦	とちぎ健康福祉協会理事長
	小林麻貴	小林麻貴公認会計士事務所公認会計士

4] 職種別役職員数

令和6年4月1日現在

	男	女	合計
常勤役員	2	0	2
職員	74	165	239
計	76	165	241
事務職	49	62	111
一般事務			
医師	2	2	4
薬剤師	(1)	0	(1)
保健師	0	12	12
看護師	0	30	30
准看護師	0	2	2
診療放射線技師	14	16	30
臨床検査技師	6	36	42
(細胞検査士)	(2)	(2)	(4)
(超音波検査士)	(1)	(9)	(10)
管理栄養士	0	1	1
健康運動指導士	0	1	1
分析化学技師等	3	3	6
計	74	165	239

* () 内の数字は職種重複のため再計上

3 機器整備状況

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備した。

1] 検査等機器

(取得価格 1,000,000円以上)

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	解析付心電計	フクダ電子(株)FCP-9800	4	特定健康診査 健康診断	更新
2	心電音解析装置	フクダ電子(株)ECP-8641	1	心臓検診	更新
3	システム生物顕微鏡	(株)エビデント BV53LED-33	1	子宮がん検診	新規
4	超音波診断装置	コニカミノルタ(株)SONIMAGE HS2	2	乳がん検診	更新
5	超音波骨密度測定装置	富士フイルムメディカル(株)AOS-100SA	1	骨密度検診	更新
6	蛍光マイクロプレートリーダー	(株)ローラン SH-9500Lab	1	代謝異常検査	更新
7	電子内視鏡装置	ニスコ(株)ELUXEO 8000	1	人間ドック	更新
8	温度勾配恒温器	(株)ローラン MTL-1000	1	食品検査	更新
9	リアルタイムPCRシステム	アズサイエンス(株)CFX Opus Deepwell	1	食品検査	更新

2] 電算システム (ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
3	代謝異常検査システム	代謝異常検査システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)ケーシーエス	新規
4	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
5	人間ドックシステム	WEB予約システム連携機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
6	臨床検査システム	臨床検査システム機能追加 (ソフトウェア)	1	エム・ワイ・エス(株)	新規
7	臨床検査システム	臨床検査システムサーバ (ハードウェア)	1	エム・ワイ・エス(株)	更新
8	臨床検査システム	検査検体振分装置サーバ (ハードウェア)	1	ロシュ・ダイアグノスティクス(株)	更新
9	レポートシステム・PACKS	レポートシステム・PACKS (ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット	新規
10	グループウェアシステム	サイボウズサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新
11	グループウェアシステム	サイボウズGaroon (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新
12	業務用アプリ	プリザンター (ソフトウェア)	1	(株)エム・エス・エー・エック	新規
13	財務会計システム	請求システム機能追加 (ソフトウェア)	1	満喜(株)	新規
14	ウイルス対策システム	ウイルス対策システムサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新

3] 車両

No.	車 両 名	型式・規格	数量	用途	区分
1	乳がん検診車	いすゞ 2PG-CXY77CJ キャノン PeruruDIGITAL	1	乳がん検診	更新
2	胃部検診車	日野 2PG-FQ1ANJJ 富士 ESPACIO AVANT	1	胃検診	更新
3	健診スタッフ車	日産 NV200バネット16X-2R	1	健康診断	更新
4	胃部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	富士 ESPACIO AVANT	2	胃検診	新規
5	胸部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キャノン SREX-A32B/S3	1	胸部検診	新規
6	胸部検診車 (蓄電池載せ替え)	チタン酸リチウム蓄電池	2	胸部検診	新規

4 会議の開催

1] 評議員会・理事会

令和6年度の評議員会・理事会を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第31回評議員会	令和6年5月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について 2 監事の選任について
第32回評議員会	令和6年6月19日	1 令和5年度事業報告の承認について 2 令和5年度決算の承認について 3 任期満了に伴う役員の選任について
第33回評議員会	令和7年3月28日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について 2 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
第72回理事会	令和6年4月15日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第73回理事会	令和6年4月25日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第74回理事会	令和6年5月16日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について 2 評議員候補者の推薦について 3 評議員選定委員会委員の選任について 4 評議員選定委員会委員の選任について
第75回理事会	令和6年6月4日	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 業務執行状況の報告 5 前理事田村明彦氏との業務委託契約について
第76回理事会	令和6年6月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事長の選定について
第77回理事会	令和6年7月17日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第78回理事会	令和7年3月11日	1 令和6年度補正予算について 2 令和7年度事業計画について 3 令和7年度予算について 4 役員賠償責任保険の加入について 5 常勤役員の報酬月額について 6 常勤役員の期末手当の額について 7 業務執行状況の報告
第79回理事会	令和7年3月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について 2 評議員会提案議案について

2] 評議員選定委員会

令和6年度の評議員選定委員会を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
第20回評議員選定委員会	令和6年5月23日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について
第21回評議員選定委員会	令和6年7月29日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について

3] その他の会議

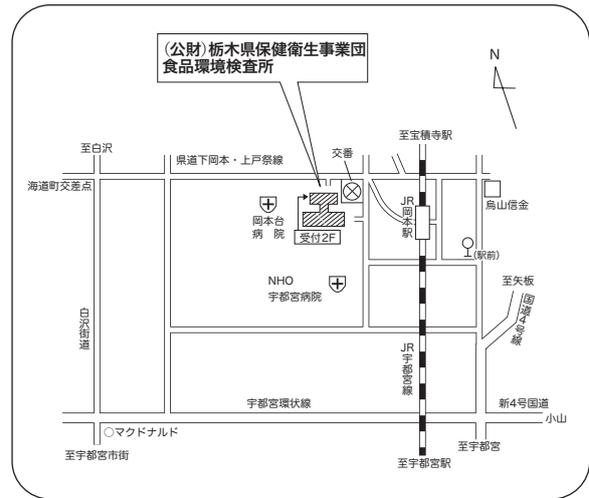
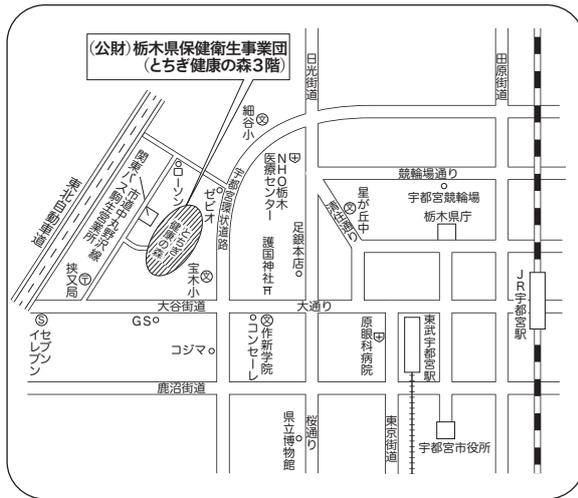
その他の会議を次のとおり開催した。

会議名	開催月日	主たる審議事項
令和6年度 住民健診担当者 意見交換会	令和7年3月4日 (栃木県教育会館 3階 大会議室)	1 がん検診精度管理に関する研修会 (1) 発見がん追跡調査報告 (2) がん検診における精密検査「受診・未受診・未把握」 2 意見交換
第8回 とちぎ産業保健 セミナー	令和7年3月7日 (WEB開催)	1 令和7年度検診・検査の変更点など(精度管理部門) 2 令和7年度検診に関する変更点など(集団検診部門) 3 講演 「地域、職域を問わず 正しいがん検診をすべての人に」 講師：公益財団法人福井県健康管理協会 がん検診事業部長 松田一夫 先生

事業年報編集委員名簿

	所	属		氏	名
委員長	事	務 局	事務局長	福	田 篤
副委員長	精	度 管 理 室	参 事	木	村 高 幸
	健	康 支 援 課	課 長	忽	那 洋 子
委 員	医	療 局	部 長	阿	部 聡 子
	総	務 課	主 事	山	下 真理子
	企	画 財 務 課	主 事	山	田 拓 巳
	健	診 推 進 課	主 事	及	川 晟 也
	健	診 調 整 課	主 事	我	妻 智 充
	情	報 処 理 課	主 事	大	橋 英 一 郎
	人	間 ド ッ ク 課	係 長	徳	原 純 子
	健	康 支 援 課	技 師	関	口 唯
	放	射 線 課	技 師	磯	田 真 由
	看	護 課	係 長	小	泉 享 子
	臨	床 検 査 一 課	技 師	湯	沢 直 子
	臨	床 検 査 二 課	技 師	川	島 志 穂 子
	食	品 環 境 検 査 所	主 事	小	田 部 友 哉
事 務 局	精	度 管 理 室	技 師	中	島 麻 里 紗
	精	度 管 理 室	主 事	関	口 絵 里 加

案 内 図



〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1

(とちぎ健康の森 3階)

代 表 電 話 028-623-8181

F A X 028-623-8586

E-mail jigiyodan@tochigi-health.or.jp

食 品 環 境 検 査 所

〒329-1194 宇都宮市下岡本町2145-13

(栃木県保健環境センター内)

電 話 028-673-9900

F A X 028-673-9955

E-mail okamotok@tochigi-health.or.jp

令和6年度事業年報

令和8年2月28日 発行

発 行 人 渡 邊 慶

編 集 人 高 林 実

データ整理 事業年報 編集委員会

印 刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷

発 行 所 公益財団法人栃木県保健衛生事業団

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1(とちぎ健康の森3階)

電 話(代) 028-623-8181

F A X 028-623-8586

U R L <https://tochigi-health.or.jp>